

昭和十五年

奉祝會關係書類

六四

内閣紀元二千六百年祝典事務局

国立公文書館

分類

排架番号

2 A

36

882

1331

番 號

件

目

次

名

摘 要

- | | |
|----|-------------------|
| 一 | 豫備費充用報告 |
| 二 | 職員囑託報告 |
| 三 | 理事死七登記届出 |
| 四 | 昭和十九年度奉祝會追加豫算認可一件 |
| 五 | 役員選任認可一件 |
| 六 | 奉祝會記事官報登載一件 |
| 七 | 同上 |
| 八 | 役員異動報告 |
| 九 | 副會長就任登記届出 |
| 一〇 | 豫備費充用報告 |
| 一一 | 檀原神宮紀元節祭参列者名簿送付一件 |

目録

- ／一二 副支部長囑託報告
- ／一三 支部長囑託及二解囑報告
- ／一四 職員異動報告
- ／一五 支部長異動報告
- ／一六 職員採用報告
- ／一七 役員解囑報告
- ／一八 役員選任認可ノ件
- ／一九 昭和十四年十二月分收入支出計算書
- ／二〇 理事變更登記届出
- ／二一 奉祝會記事官報登載ノ件
- ／二二 役員解囑報告
- ／二三 理事變更登記届出
- ／二四 副總裁、顧問異動報告
- ／二五 顧問囑託報告
- ／二六 職員囑託報告
- ／二七 同上
- ／二八 役員選任認可ノ件
- ／二九 同上
- ／三〇 副支部長囑託報告
- ／三一 書記解囑報告
- ／三二 職員囑託報告
- ／三三 役員異動報告
- ／三四 一月分收入支出計算書
- ／三五 昭和十五年分收入支出計算書
- ／三六 職員囑託報告
- ／三七 職員異動報告

三八 職員異動報告

三九 支部長囑託報告

四〇 職員囑託報告

四一 職員解職報告

四二 役員發任認可/件

四三 役員解任報告

四四 職員囑託報告

四五 二月分收入支出計算書

四六 職員囑託報告

四七 豫算流用報告

四八 奉祝會收支計算書會計檢查院提出/件

四九 昭和十四年度奉祝會事業狀況收入支出計算書及財產目錄報告

五〇 職員採用報告

五一 同上

五二 職員異動報告

五三 副支部長囑託報告

五四 職員囑託報告

五五 同上

五六 同上

五七 同上

五八 奉祝會會員章程制定認可/件

五九 職員異動報告

六〇 職員囑託報告

六一 支部長囑託茲解職報告

六二 三月分收入支出計算書

六三 役員選任認可ノ件

六四 補助金下付ノ件

六九 職員嘱託報告

六六 同上

六七 副支部長嘱託報告

六八 同上

六九 同上

七〇 役員解任報告

七一 副支部長嘱託報告

七二 役員解任報告

七三 奉祝會記事官報登載ノ件

七四 役員選任認可ノ件

七五 四月分收入支出計算書

七六 副支部長嘱託報告

七七 神武天皇聖蹟顯彰施設ニ關スル事務委嘱ノ件

認可ノ件

七八 奉祝會紋章ノ件 地方長官ニ通牒

七九 職員嘱託報告

八〇 職員異動ノ件 報告

八一 神武天皇聖蹟顯彰施設工事起工祭ニ内閣總理

大臣代理官派遣ノ件

八二 職員採用報告

八三 副支部長嘱託報告

八四 役員選任認可ノ件

八五 五月分收入支出計算書

八六 職員嘱託報告

- 八七 會計檢查二開スル調書送付一件
- 八八 副支部長囑託報告
- 八九 職員囑託一件
- 九〇 副支部長囑託報告
- 九一 支部長囑託並解囑報告
- 九二 役員選任認可一件
- 九三 職員囑託報告
- 九四 同上
- 九五 職員解囑報告
- 九六 六月分收入支出計算書
- 九七 奉祝會記事官報掲載一件
- 九八 役員解任報告
- 九九 同上

- 一〇〇 理事変更登記並出
- 一〇一 副總裁顧問異動報告
- 一〇二 顧問囑託報告
- 一〇三 役員解任報告
- 一〇四 奉祝會補助金三開スル件
- 一〇五 支部長囑託並解囑報告
- 一〇六 副支部長囑託報告
- 一〇七 七月分收入支出計算書
- 一〇八 樞原神宮外苑出土品調査状況報告一件
- 一〇九 役員選任認可一件
- 一一〇 奉祝會實施事務委囑一件認可一件
- 一一一 同上一件
- 一一二 御陵参拜道路改良工事起工祭三内閣總理大

臣代理派當、件

一三 役員解任報告

一四 豫備費支出報告

一五 職員解職報告

一六 支部長囑託解職、件報告

一七 副支部長囑託報告

一八 御陵參拜道路改良、開工事務委囑、件認

可、件

一九 神武天皇聖蹟顯彰施設、開工事務委囑、件

認可、件

二〇 職員囑託報告

二一 同上

二二 職員解職報告

二三 職員採用報告

二四 副支部長囑託報告

二五 職員囑託報告

二六 同上

二七 顧問囑託報告

二八 副支部長囑託報告

二九 役員選任認可、件

三〇 八月分收入支出計算書

三一 役員解任報告

三二 同上

三三 顧問囑託報告

三四 理事変更登記届出

三五 職員異動報告

一三六 九月分收入支出計算書
 一三七 役員選任認可ノ件
 一三八 顧問囑託報告
 一三九 支部長囑託茲解囑報告
 一四〇 豫算流用報告
 一四一 奉祝會追加豫算認可ノ件
 一四二 職員異動報告
 一四三 役員解任報告
 一四四 會計檢查結果通知
 一四五 樞府神宮境域茲畝傍山東北陵參道擴張
 整備工事竣工奉獻式奉獻奉告祭二内閣總
 理大臣心理官派遣ノ件
 一四六 官場神宮境域擴張整備工事 同上

一四七 豫算流用報告
 一四八 豫備費充用報告
 一四九 同上
 一五〇 豫算流用報告
 一五一 職員命免報告
 一五二 支部長囑託茲解囑報告
 一五三 同上
 一五四 常議員會開會報告
 一五五 豫算流用報告
 一五六 昭和十一年度奉祝會豫算認可ノ件
 一五七 役員選任認可ノ件
 一五八 役員解任報告
 一五九 支部長囑託茲解囑報告

一六。顧問嘱託報告
 一六一。豫備費充用報告

五九八四

紀元二千六百年奉祝會
 一八九五號

昭和十四年十二月二十六日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵近衛文麿

内閣總理大臣 阿部 信行 殿

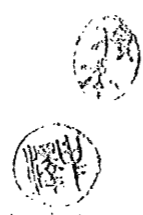
局長

書記官

豫備費充用ノ件報告

供
 昭和十四年度本會收入支出豫算中第一款本部事務費第五項寄附募集
 費ノ既定豫算額ハ左記ノ通不足ヲ生シタルヲ以テ豫備費ヨリ充用致
 候ニ付此段及報告候
 記

款	項	豫當 算額初	豫算 殘高	要支 出額	差引 不足額	充豫 用備 額費
本部事務費	寄附募集費	15000000	71675	1428325	481725	481725



(各通)

外務書記官 鈴木九萬

營繕管財局理事 松隈秀雄

鐵道省運輸局長 長崎惣之助

紀元二千六百年奉祝會幹事ヲ囑託ス

本館
第 二 二 號

昭和十五年一月九日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿



内閣總理大臣 阿部 信行 殿

本會理事根津嘉一郎昭和十五年一月四日死亡致候ニ付
理事變更ノ登記本日完了致候條此段及御届候

書記官



一。

十五

十五

十五

根本

内閣

内閣書記官長

聖書

會計課長

總務課長

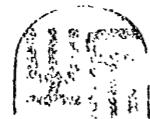
印

昭和十五年度紀元二千六百年奉祝會收入支出

追加豫算認可指令案

紀元二千六百年奉祝會會長公爵近衛文麿

昭和十五年一月九日附第一八號申請昭和十五



年度收入支出追加豫算ニ關スル件認可ス

昭和十五年一月十一日

内閣總理大臣

紀元二千六百年奉祝會長

昭和十五年一月九日

公傳 近衛文麿

内閣總理大臣 阿部 信行 殿

昭和十五年度收入支出追加豫算ニ關スル件

認可申請

本會寄附行爲第六條第一項但書ニ據リ昭和十五年度收入支出追加豫算別紙ノ通決定致候ニ付御認可相成度此段及申請候也



皇陛下御賜金
 本會當開百餘年大勳章
 昭和申年

昭和十五年奉祝會收入支出追加豫算

内閣縣廳大臣 閣下 閣下

昭和十五年六月廿六日

昭和十五年六月廿六日

昭和十五年奉祝會收入支出追加豫算

收入	
第一款 御下賜金	一、〇〇〇、〇〇〇
第一項 御下賜金	一、〇〇〇、〇〇〇
第三款 雜收入	一六、五〇〇
第一項 雜收入	一六、五〇〇
合計	一、〇一六、五〇〇
既決豫算	九、五五八、〇〇〇
收入總計	一〇、五七四、五〇〇

新ニ「第一款 御下賜金」ノ科目ヲ設ケ「第一款 國庫補助金」
 ヲ「第二款」ニ以下順次繰下グ

支 出

第五款 次年度繰越金 一、〇一六、五〇〇
 第一項 次年度繰越金 一、〇一六、五〇〇
 合 計 一、〇一六、五〇〇
 既決豫算 九、五五八、〇〇〇
 支出總計 一〇、五七四、五〇〇

昭和十五年度紀元二千六百年奉祝會收入支出追加豫算説明書

收 入		科 目		備 考	
款 項 目	本年 度追加 豫算	本年 度既決 豫算	計		
第一款 御下賜金	1000000	1	1000000		
第一項 御下賜金	1000000	1	1000000		
第一目 御下賜金	1000000	1	1000000		
第三款 雜收入	16000	78000	94000		
第一項 雜收入	16000	78000	94000		
第一目 預金利子	16000	60000	80000		
合 計	1016000	958000	1077000		

昭和十五年度紀元二千六百年奉祝會收入支出豫算

收入

第一款 國庫補助金	一、〇〇〇、〇〇〇
第一項 國庫補助金	一、〇〇〇、〇〇〇
第二款 寄附金	五、〇〇〇、〇〇〇
第一項 寄附金	五、〇〇〇、〇〇〇
第三款 雜收入	七八、〇〇〇
第一項 雜收入	七八、〇〇〇
第四款 前年度繰越金	三、四八〇、〇〇〇
第一項 前年度繰越金	三、四八〇、〇〇〇
合計	九、五五八、〇〇〇

圓

支出

第一款 本部事務費

九〇、二五四

第一項 會議費

一、〇〇五

第二項 給與費

一七、四四九

第三項 旅費

二、五〇〇

第四項 事務所費

四、四〇〇

第五項 會員章費

二一、一〇〇

第六項 寄附募集費

四〇、八〇〇

第七項 雜費

三、〇〇〇

第二款 支部事務費

九二、〇〇〇

第一項 支部事務費

九二、〇〇〇

第三款 事業費

五、〇二七、三一五

第一項 攝原神宮境域並畝傍山東北陵參道擴張整備費

一、四九五、〇〇〇

第二項 宮崎神宮境域擴張整備費

一三八、〇〇〇

第三項 神武天皇聖蹟調查保存類彰費

二五〇、〇〇〇

第四項 御陵參拜道路改良費

三九六、〇〇〇

第五項 國史館建設費

一、〇四七、四三四

第六項 日本文化大觀編纂出版費

五五〇、八八一

第七項 敎化事業費

四〇〇、〇〇〇

第八項 奉祝會費

七五〇、〇〇〇

第四款 豫備費

二〇〇、〇〇〇

第一項 豫備費 二〇〇、〇〇〇
 第五款 次年度繰越金 四、一四八、四三一
 第一項 次年度繰越金 四、一四八、四三一
 合計 九、五五八、〇〇〇

昭和十五年度紀元二千六百年奉祝會收入支出豫算說明書

科 目	款 項 目	豫算額		增 比	減 較	備 考
		本年度	前年度			
第一款 國庫補助金	第一項 國庫補助金	1,000,000	1,150,000	1	150,000	
	第一目 國庫補助金	1,000,000	1,150,000	1	150,000	
第二款 寄附金	第一項 寄附金	1,000,000	1,000,000		1	
	第一目 寄附金	1,000,000	1,000,000		1	
第三款 雜收入	第一目 雜收入	78,000	32,110	328.90	1	本部撥入 92,000圓
	合計	2,078,000	2,532,110			

科目	本年	前年	增	減
第一項雜收入	48000	38110	9890	
第一目預金利子	68000	33000	35000	
第二目雜入	10000	5110	4890	
第四款前年度繰越金	480000	480000	0	
第一項前年度繰越金	480000	480000	0	
第一目前年度繰越金	480000	480000	0	
合計	1,158,000	1,058,056	99,944	

「紀元二千六百年」
掲載廣告料並賣上代
其他

支出

科目	本年	前年	增	減	備考
第一款本部事務費	90,254	42,354	47,900		
第一項會議費	1,005	1,005	0		
第二項自會護費	1,005	1,005	0		理事會、委員會、 常議員會諸費
第二項給與費	17,449	17,449	0		
第一項自俸給	10,114	10,114	0		主事年三、一六〇圓 書記月八、三〇〇圓 五九〇四圓、六人
第二項自俸給	10,114	10,114	0		職員月一〇〇圓 三人
第三項職員給	11,600	11,600	0		職員月三五圓三人

第四目備人料	五六四	五六四	1	1	給仕月一五圓一人 小使月三二圓一人 三八四圓 職員其ノ他ニ對ス ル手當
第五目手當	三〇〇〇	三〇〇〇	1	1	
第六目賞與	—	—	1	1	
第三項旅費	二五〇〇	二五〇〇	1	1	役職員旅費
第一目旅費	二五〇〇	二五〇〇	1	1	
第四項事務所費	四四〇〇	四四〇〇	1	1	
第一目備品費	五〇〇	五〇〇	1	1	
第二目印刷書費及	一五〇〇	一五〇〇	1	1	
第三目消耗品費	一四〇〇	一四〇〇	1	1	

第四目通信運搬費	一〇〇〇	一〇〇〇	1	1	
第五項會員章費	二一〇〇	二一〇〇	1	1	
第一目會費	一八四五〇	一八四五〇	1	1	
第二目發送諸費	二六五〇	二六五〇	1	1	
第六項寄附募集費	四〇八〇〇	一五〇〇〇	二五八〇〇	1	
第一目寄附募集費	四〇八〇〇	一五〇〇〇	二五八〇〇	1	
第七項雜費	三〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	1	
第一目雜費	三〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	1	舟車馬備入料賄料 其他
第二款支部事務費	九一〇〇〇	一〇〇〇〇〇	1	八〇〇〇	
第一項支部事務費	九一〇〇〇	一〇〇〇〇〇	1	八〇〇〇	

第一目 支部事務費	九三〇〇〇	一〇〇〇〇〇	一	八〇〇〇
第三款事業費	五〇七三二五	三九八〇〇〇	一〇四三二五	一
第一項 櫻原神宮境 東並畝傍山 張陵參道 備費	一四九五〇〇〇	二一五〇〇〇〇	一	六五五〇〇〇
第一目 櫻原神宮境 東並畝傍山 張陵參道 備費	一四九五〇〇〇	二一五〇〇〇〇	一	六五五〇〇〇
第二項 宮崎神宮境 擴張整備 費	一三八〇〇〇	一八〇〇〇〇	一	四二〇〇〇
第一目 宮崎神宮境 擴張整備 費	一三八〇〇〇	一八〇〇〇〇	一	四二〇〇〇
第三項 神武天皇聖 蹟調査保存 費	二五〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇	一五〇〇〇〇	一

第一目 神武天皇聖 蹟調査保存 費	二五〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇	一五〇〇〇〇	一
第四項 神武天皇聖 蹟調査保存 費	三九六〇〇〇	四九八〇〇〇	一	一〇二〇〇〇
第一目 神武天皇聖 蹟調査保存 費	三九六〇〇〇	四九八〇〇〇	一	一〇二〇〇〇
第五項 國史館 建設費	一〇四七五三四	七五三〇〇〇	三〇四三四	一
第一目 國史館 建設費	一〇四七五三四	七五三〇〇〇	三〇四三四	一
第六項 日本文化大 觀編纂出版 費	五五〇八八一	一八六〇〇〇	三六四八八一	一
第一目 日本文化大 觀編纂出版 費	五五〇八八一	一八六〇〇〇	三六四八八一	一
第七項 教化事業費	四〇〇〇〇〇	一一〇〇〇〇	二七〇〇〇〇	一

合	第一目 繰越 金慶	第一項 繰越 金慶	第五款 繰越 金慶	第一項 繰越 金慶	第一項 繰越 金慶	第四款 繰越 金慶	第一項 繰越 金慶	第八項 繰越 金慶	第一目 繰越 金慶
六五五八〇〇〇	四一四八四三一	四一四八四三一	四一四八四三一	四一四八四三一	四一四八四三一	四一四八四三一	四一四八四三一	四一四八四三一	四一四八四三一
七五八九〇五六	四一四八四三一	四一四八四三一	四一四八四三一	四一四八四三一	四一四八四三一	四一四八四三一	四一四八四三一	四一四八四三一	四一四八四三一
一七六八四四四	七三三三二九	七三三三二九	七三三三二九	七三三三二九	七三三三二九	七三三三二九	七三三三二九	七三三三二九	七三三三二九
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

紀元二千六百年奉祝會要覽



選任ノ件認可ス

第一目教化施設費

三七〇〇〇〇

一〇〇〇〇〇

二七〇〇〇〇

1

第二目「昭和二十六年」

三〇〇〇〇〇

一〇〇〇〇〇

一〇〇〇〇〇

附	役	寄	會	寄	事	趣	令
員	員	附	員	附	業	意	旨
名	規	行	規	行	要	書	
簿	程	爲	程	爲	綱		
錄	法						

令旨

輓近我國文運内ニ興リ威信外ニ揚ル是レ皆肇國ノ 洪謨ニ基
 キ 列朝聖徳ノ優洽ニ頼ルト共ニ國民ノ忠誠克ク之ヲ致セリ
 今ヤ世界ノ大勢ハ一轉機ヲ見ムトシ我國此ノ隆昌ノ時ニ逢ヒ
 又恰モ紀元二千六百年ヲ迎ヘムトス 寶祚ノ隆天壤ト與ニ窮
 無キノ 神勅ヲ仰キ國ヲ舉ケテ慶祝ノ至意ヲ表スル洵ニ故ア
 リ乃チ紀元二千六百年奉祝會ヲ起シ諸種ノ記念事業ヲ行ヒ以
 テ全國民ノ要望ニ應ヘムトス予推サレテ之カ總裁ノ任ニ就ケ
 リ本會役員並會員諸子幸ニ協力一致使命ノ遂行ニ邁進シ國體
 尊崇ノ範ヲ後代ニ垂ルルニ於テ遺憾ナカラシメムコトヲ望ム

昭和十三年四月十日



選任ノ件認可ス

第一目教化施設費

340000

100000

140000

1

第三目 紀元二千六百年

紀元二千六百年奉祝會趣意書

我等生を 皇國に享け齊しく 聖恩の洪大なるに浴す、感激曷ぞ堪へん。而して今將に光輝ある紀元二千六百年を迎へて國運隆昌の一新紀元を劃せんとするに方り、同胞一億を擧つて益々奉公の赤誠を捧げ恭しく 聖代を壽ぎ奉るは寔に我等 皇國臣民の一大光榮なりと信ず。

虞んで惟ふに、畏くも 皇祖 天照大神の 皇孫 天津彦彦火瓊瓊杵尊を我國土に降臨せしめ給ふや、三種の神器を親授せられ特に 寶祚無窮の 神勅を下して、『是れ吾が子孫の王たるべき地なり。』と宣せらる。我萬古不易の國體は茲に定まれり。

瞞みて按ずるに 皇宗 神武天皇の都を橿原に奠めらるゝや、亦夙に『上は則ち乾靈の國を授けたまふ徳に答へ、下は則ち皇孫の正を養ひたまひし心を弘めむ。』と語げさせられ、載ち 大統を承け、茲に 皇位に即かせられ、以て大に 天業を恢弘し給へり。爾來、上は 列聖相承けさせられて彌々一系無窮の丕基を鞏くし給ひ、下は億兆一心盡く奉戴の大義に恪遵して常に國體の精華を顯揚せり。斯の如きもの悠々二千六百年、今や 稜威の致す所、正に 皇澤四海に洽く國光六合に布き、名實俱に世界の雄邦として曠古の隆運を仰ぐ。一として 皇祖の 神勅に基き、皇宗の 聖詔に合せざるなし。噫亦盛なる哉。

顧ふに方今内外異に未付有の多事に際す。而かも舉國一體、内に清新潑刺たる國民精神を確保して克く時局の緩急に應じ、外は八紘一宇、萬邦協和の理想を具現して不退轉の決意と努力とを傾倒す。皆是れ崇高なる肇國創業の 鴻圖に由來せずんばあるべからず。

寶祚の隆は固より無窮にして、國運は限りなき發展の過程に在り。今將に紀元二千六百年の盛時を迎へんとす。豈誰か大に威發興起せざらんや。

是を以て我等有志胥謀り。茲に財團法人紀元二千六百年奉祝會を組織して國家既定の各種奉祝記念事業を奉行するの任に膺り、叙上の趣旨に即して紀元二千六百年の意義を闡明し、我萬邦無比なる國體と隆隆無窮なる國運との淵源する所を大に中外に顯揚せんことを期す。

庶幾くば舉國の諸賢。本會の趣旨を諒とせられ翕然として來つて、此の空前の盛時を奉祝する本事業に協戮せられんことを。幸にして惟神の大道由て以て愈々揚り、歴代 神聖の 照鑑に適ふあらば、我等の本懷豈之に如くものあらんや。

選任ノ件認可ス

第一目教化施設費

三、七〇〇〇 一〇、〇〇〇 一、七〇〇〇

1

第二目「紀元二千六百年」

三、七〇〇〇 一〇、〇〇〇 一、七〇〇〇

1

事業要綱

四

本會は紀元二千六百年を奉祝する爲、紀元二千六百年祝典評議委員會の議決に基き、事業費總額約壹千萬圓を以て左記記念事業を施行せんとするものなり

第一 橿原神宮境域並に畝傍山東北陵附近の擴張整備

橿原神宮並に畝傍山東北陵附近は近時俗化する傾向ありて神聖の保持並に風致の保存上憂慮すべき状態に在るを以て神宮境域並に御陵境域を擴張すると共に神宮附屬諸設備を整備し又各種交通施設の改善を圖り以て之が完備を期せむとす。

第二 宮崎神宮境域の擴張整備

宮崎神宮の境域を擴張し土壘、玉垣を以て外圍を整備すると共に神宮附屬の徴古館を移轉改築して之が完備を期せむとす。

第三 神武天皇聖蹟の調査保存顯彰

神武天皇聖蹟及關係史蹟傳説地を調査し、標識・説明標・掲示板・指導標の建設、聖蹟地の整備等適當なる保存顯彰の施設を講じ以て創業の偉績を顯示し國民精神の振興に資せむとす。

第四 御陵參拜道路の改良

近時歴代御陵の巡拜者頗に多きを加へつつあるも、是等御陵に通ずる道路にして現在甚しく狹隘、保守全からず交通不便のもの尠からず。仍て之を近代交通に適する如く改修し、參拜に便し以て聖徳を追慕し奉り皇運の扶翼に精勵努力するの念を振起せしむる上に遺憾なからしめんとす。

第五 國史館の建設

我が尊貴なる國體の精華と我が光輝ある國史の成跡とを認識せしむる爲、莊嚴鞏固にして後世に誇るに足る建築物を建造し、神祇皇室關係を中心に國史に關する各種の資料・實物を陳列し、附屬講堂等を設備し以て國民精神の作興と國史教育の振興に資せむとす。

第六 日本文化大觀の編纂出版

肇國創業以來生成發展し來れる日本文化の精髓を中外に顯揚し、民族文化の振起發揚に資する目的を以て日・英・佛・獨等の各語に依りて編纂し以て廣く内外に頒布せむとす。

第七 其の他の記念事業

以上に掲ぐるものの外、本會又は紀元二千六百年祝典評議委員會に於て適當と認むる事業を施行し以て紀元二千六百年奉祝の意義を闡明し國民精神の作興に資せむとす。

五

選任ノ件認可ス

第一目教化施設費

三七〇〇〇 | 一〇〇〇〇 | 一七〇〇〇

1

第三目「紀元二千六百年」

紀元二千六百年奉祝會寄附行爲

六

第一章 名稱

第一條 本會ハ紀元二千六百年奉祝會ト稱ス

第二章 目的及事業

第二條 本會ハ紀元二千六百年ヲ奉祝記念スル爲左ノ事業ヲ行フヲ以テ目的トス

一 紀元二千六百年祝典評議委員會ノ審議ヲ經タル奉祝記念事業

二 其ノ他本會ニ於テ適當ト認ムル事業

前項ノ事業ハ必要ニ應ジ國、公共團體又ハ私設團體ニ委託シテ之ヲ施行スルコトヲ得

第三章 事務所

第三條 本會ハ事務所ヲ東京市麴町區元千代田町壹番地ニ置ク
本會ハ必要ニ應ジ地方ニ支部ヲ置クコトヲ得

本會ノ決算ハ常議員會ノ認定ヲ經ルモノトス

第七條 本會ノ會計年度ハ毎年一月一日ニ始マリ同年十二月三十一日ニ終ル

第五章 會員及贊助員

第八條 本會ノ事業ヲ翼賛スル者ハ之ヲ會員又ハ贊助員トス

會員及贊助員ノ區別、會員ノ種類並ニ會員及贊助員ノ待遇方法ハ別ニ之ヲ定ム

第六章 總裁、副總裁及顧問

第九條 本會ニ總裁及副總裁ヲ置ク
總裁ニハ皇族ヲ奉戴ス

副總裁ハ總裁之ヲ囑託ス

第十條 本會ニ顧問ヲ置クコトヲ得
顧問ハ總裁之ヲ囑託ス

顧問ハ總裁ノ諮詢ニ應ズ

第七條 役員及職員
第十一條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
會長

第四章 資産及會計

第四條 本會ノ資産ハ左ノ各號ヨリ成ル

一 本會設立ノ際ニ於ケル資産

二 會員及贊助員ノ拠出金

三 政府ノ補助金

四 其ノ他ノ收入

第五條 本會ノ資産ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ管理ス

一 郵便官署又ハ確實ナル銀行ニ預入スルコト

二 確實ナル信託會社ニ信託スルコト

三 國債證券又ハ確實ナル有價證券ヲ買入ルコト

第六條 本會ノ豫算ハ毎年度常議員會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム但シ緊急ノ必要アル場合ニ於テハ會長ニ於テ之ヲ專決スルコトヲ得

副會長 若干人

理事 若干人

監事 若干人

常議員 若干人

評議員 若干人

第十二條 會長及副會長ハ總裁之ヲ囑託ス

會長ハ本會ヲ代表シ一切ノ會務ヲ統理ス

副會長ハ會議ヲ招集シ其ノ議長ト爲ル

キハ會長ノ指名スル副會長其ノ職務ヲ代理ス

第十三條 理事及監事ハ會長ノ推薦ニ依リ總裁之ヲ囑託ス

會長及副會長ノ職ニ在ル者ハ理事トス

理事ハ常議員會ノ議決其ノ他ノ會務ヲ執行ス

監事ハ本會ノ資産ノ狀況及會務ノ執行ヲ監査ス

第十四條 常議員及評議員ハ會長ノ推薦

選任ノ件認可ス



七

第一目教化施設費

三三〇〇〇〇 一〇〇〇〇〇 一七〇〇〇〇

1

第三目「紀元二千六百年」

紀元二千六百年奉祝會寄附行爲

第一章 名稱

第一條 本會ハ紀元二千六百年奉祝會ト稱ス

第二章 目的及事業

第二條 本會ハ紀元二千六百年ヲ奉祝記念スル爲メ左ノ事業ヲ行フヲ以テ目的トス
一 紀元二千六百年祝典評議委員會ノ審議ヲ經タル奉祝記念事業
二 其ノ他本會ニ於テ適當ト認ムル事業

第三章 事務所

第三條 本會ハ事務所ヲ東京市麹町區元千代田町壹番地ニ置ク
本會ハ必要ニ應ジ地方ニ支部ヲ設クモコトヲ得

第四章 資産及會計

第四條 本會ノ資産ハ左ノ各號ヨリ成ル
一 本會設立ノ際ニ於ケル資産
二 會員及贊助員ノ贈出金
三 政府ノ補助金
四 其ノ他ノ收入
第五條 本會ノ資産ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ管理ス
一 郵便官署又ハ確實ナル銀行ニ預入スルコト
二 確實ナル信託會社ニ信託スルコト
三 國債證券又ハ確實ナル有價證券ヲ買入ルルコト

第五章 役員及職員

第六條 本會ノ豫算ハ毎年度常議員會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム但シ緊急ノ必要アル場合ニ於テハ會長ニ於テ之ヲ專決スルコトヲ得

第六章 總裁、副總裁及顧問

第九條 本會ニ總裁及副總裁ヲ置ク
總裁ニハ皇族ヲ奉戴ス
副總裁ハ總裁之ヲ囑託ス
第十條 本會ニ顧問ヲ置クコトヲ得
顧問ハ總裁之ヲ囑託ス
顧問ハ總裁ノ諮詢ニ應ズ

第七章 役員及職員

第十一條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
會長
副會長
理事
監事
常議員
評議員

第八章 會員及贊助員

第八條 本會ノ事業ヲ翼賛スル者ハ之ヲ會員又ハ贊助員トス
會員及贊助員ノ區別、會員ノ種類並ニ會員及贊助員ノ待遇方法ハ別ニ之ヲ定ム

第九章 總會

第十二條 會長及副會長ハ總裁之ヲ囑託ス
會長ハ本會ヲ代表シ一切ノ會務ヲ統理ス
副會長ハ會議ヲ招集シ其ノ議長ト爲ル
副會長ハ會長ヲ輔佐シ會長事故アルトキハ會長ノ指名スル副會長其ノ職務ヲ代理ス

第十章 理事及監事

第十三條 理事及監事ハ會長ノ推薦ニ依リ總裁之ヲ囑託ス
會長及副會長ノ職ニ在ル者ハ理事トス
理事ハ常議員會ノ議決其ノ他ノ會務ヲ執行ス
監事ハ本會ノ資産ノ狀況及會務ノ執行ヲ監査ス

第十一章 常議員及評議員

第十四條 常議員及評議員ハ會長ノ推薦

參照

寄附行爲第六條



選任ノ件認可ス

第一目教化施設費
第二目「紀元二千六百年」

37000	10000	14000	1
-------	-------	-------	---

第十五條 本會ニ左ノ職員ヲ置ク
幹事長 若干人
幹事 若干人
主事 若干人
書記 若干人

第十六條 幹事長及幹事ハ會長ノ推薦ニ依リ總裁之ヲ囑託ス
幹事長及幹事ハ會長ノ命ヲ承ケ會務ヲ掌理ス

第十七條 主事及書記ハ會長之ヲ命ジ又ハ囑託ス
主事及書記ハ上職ノ命ヲ受ケ庶務ニ從事ス

第十八條 本會ハ事務ノ都合ニ依リ調査委員、囑託及雇員ヲ置クコトヲ得

第十九條 本會ニ常議員會及評議員會ヲ置ク

第二十條 常議員會ハ常議員ヲ以テ之ヲ組織シ重要ナル會務ヲ審議ス

評議員會ハ評議員ヲ以テ之ヲ組織シ會長ノ諮問ニ應ズ

第二十一條 常議員會及評議員會ノ議事ハ出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第二十二條 本會附行爲ハ常議員會ノ議決ヲ經主務官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ變更スルコトヲ得ズ

第二十三條 本會解散ノ際ニ於ケル資産ノ處分方法ハ常議員會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第二十四條 本會附行爲ニ定ムルモノノ外必要ナル規程ハ會長之ヲ定ム

第二十五條 第九條、第十二條乃至第十四條及第十六條ノ規定ニ依リ總裁ヨリ副總裁及會長以下ノ役職員ノ囑託アル者ヲ總裁シ會長以下ノ役職員ハ副總裁之ヲ囑託スルモノトス

紀元二千六百年奉祝會會員規程

第一條 本會ノ會員ハ左ノ五種トス

- 一 名譽會員 金壹萬圓以上ノ寄附者
- 二 特別有功會員 金五千圓以上ノ寄附者
- 三 有功會員 金千圓以上ノ寄附者
- 四 特別會員 金貳百圓以上ノ寄附者
- 五 通常會員 金拾圓以上ノ寄附者

第二條 金拾圓未滿ノ寄附者ハ贊助員トス

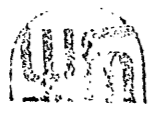
第三條 物件ノ寄附者ハ前二條ニ準ジ會員又ハ贊助員トス

第四條 本會ニ特ニ功勞アル者ハ常議員會ノ議決ヲ經テ會員ニ列スルコトヲ得

第五條 會員ニハ各所定ノ會員章ヲ贈與ス

第六條 會員及贊助員ノ待遇方法ハ別ニ之ヲ定ム

選任ノ件認可ス



第一目教化施設費

三三〇〇〇 100000 二七〇〇〇

1

寄附金拂込方法

(イ) 振替貯金ニテ御送金ノ場合ハ左記口座へ御拂込ノコト

東京特二六〇〇番 紀元二千六百年奉祝會

(ロ) 左記銀行本支店ニ於テ寄附金ノ取扱ヲ致居候ニ付御便宜ノ店ニ御拂込ノコト

- 第一銀行 三井銀行 三菱銀行 安田銀行
- 住友銀行 三和銀行 第百銀行 野村銀行
- 横濱正金銀行 朝鮮銀行 臺灣銀行

役員名簿 (昭和十四年八月十日現在)

總裁 秩父宮雍仁親王殿下

副總裁 男爵 平沼騏一郎	顧問 男爵 松平恒雄	男爵 廣田弘毅	男爵 末次信正	男爵 賀屋興宜	男爵 杉山元	男爵 米山政元	男爵 鹽野一彦	男爵 木野幸一	男爵 有馬頼一	男爵 吉野信次	男爵 永井柳太郎	男爵 中島知久	男爵 南次郎	男爵 小松平	男爵 小松一	男爵 字根成
男爵 荒木貞夫	男爵 板垣征四郎	男爵 池田成彬	男爵 有田嘉八	男爵 近衛文相	男爵 櫻田幸雄	男爵 前田米藏	男爵 石渡莊太郎	男爵 廣瀨治通	男爵 小磯國昭	男爵 會長 近藤文相	男爵 副會長 佐藤文相	男爵 理事 佐藤誠之助	男爵 理事 佐藤誠之助	男爵 理事 佐藤誠之助	男爵 理事 佐藤誠之助	男爵 理事 佐藤誠之助
男爵 井坂英彦	男爵 石村豐太郎	男爵 磯村邦造	男爵 原新太郎	男爵 大橋新太郎	男爵 大野龍造	男爵 太田耕造	男爵 門野重九郎	男爵 館野重九郎	男爵 鶴見左吉	男爵 根津嘉一	男爵 南條金雄	男爵 村本健次郎	男爵 藤原健次郎	男爵 藤原健次郎	男爵 安宅謙吉	男爵 有吉忠一
男爵 青木謙太郎	男爵 明石照男	男爵 三好重道	男爵 白根松介	男爵 平根三郎	男爵 森廣藏	男爵 小倉正恒	男爵 小倉正恒	男爵 小倉正恒	男爵 小倉正恒	男爵 小倉正恒	男爵 小倉正恒	男爵 小倉正恒	男爵 小倉正恒	男爵 小倉正恒	男爵 小倉正恒	男爵 小倉正恒
男爵 常議員 伊東忠太	男爵 常議員 伊東忠太	男爵 常議員 伊東忠太	男爵 常議員 伊東忠太	男爵 常議員 伊東忠太	男爵 常議員 伊東忠太	男爵 常議員 伊東忠太	男爵 常議員 伊東忠太	男爵 常議員 伊東忠太	男爵 常議員 伊東忠太	男爵 常議員 伊東忠太	男爵 常議員 伊東忠太	男爵 常議員 伊東忠太	男爵 常議員 伊東忠太	男爵 常議員 伊東忠太	男爵 常議員 伊東忠太	男爵 常議員 伊東忠太

選任ノ件認可ス



男爵	三浦定則	白石元治郎	平田篤次郎	鈴木徳次郎
	三浦英七	白勢良作	平田健太郎	鈴木與平
	三浦新一郎	赤土正強	久田益太郎	鈴木幸登
	三宅清一郎	嶋永太郎	廣野規矩太郎	鈴木愛三
	三澤寛一	嶋津源藏	茂木七左衛門	鈴木三郎
	三村起一	嶋津需吉	兩角榮治	鈴木三郎
	水野湛次郎	嶋田彌久	望月軍四郎	鈴木忠彦
	水野憲吾	嶋田善治	望月軍四郎	鈴木忠彦
	宮川忠助	嶋田彌久	望月軍四郎	鈴木忠彦
	宮野省三	嶋田彌久	望月軍四郎	鈴木忠彦
	宮島傳兵衛	嶋田彌久	望月軍四郎	鈴木忠彦
	美馬儀一郎	嶋田彌久	望月軍四郎	鈴木忠彦
	斯波孝四郎	嶋田彌久	望月軍四郎	鈴木忠彦
	清水良策	嶋田彌久	望月軍四郎	鈴木忠彦
	清水釘吉	嶋田彌久	望月軍四郎	鈴木忠彦
	清水芳太郎	嶋田彌久	望月軍四郎	鈴木忠彦
	清水三郎	嶋田彌久	望月軍四郎	鈴木忠彦
	清水勇三郎	嶋田彌久	望月軍四郎	鈴木忠彦
	清水重夫	嶋田彌久	望月軍四郎	鈴木忠彦
	椎野信次	嶋田彌久	望月軍四郎	鈴木忠彦
	芝田徹心	嶋田彌久	望月軍四郎	鈴木忠彦
	芝田一雄	嶋田彌久	望月軍四郎	鈴木忠彦
	柴山鶴一	嶋田彌久	望月軍四郎	鈴木忠彦
	柴田徳策	嶋田彌久	望月軍四郎	鈴木忠彦
	鹽原又策	嶋田彌久	望月軍四郎	鈴木忠彦
	白石馨二郎	嶋田彌久	望月軍四郎	鈴木忠彦

附 録

○紀元二千六百年祝典評議委員會官制 (昭和十一年七月一日 勅令第三百三十七號)

第一條 紀元二千六百年祝典評議委員會ハ内閣總理大臣ノ
 監督ニ屬シ其ノ諮問ニ應ジテ紀元二千六百年ノ祝典及各
 種奉祝記念事業ニ關スル重要事項ヲ調査審議ス
 評議委員會ハ前項ノ事項ニ付關係各大臣ニ建議スルコト
 ヲ得
 第二條 評議委員會ハ委員長及委員ヲ以テ之ヲ組織ス
 委員長及委員ハ内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之
 ヲ命ズ
 第三條 委員長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
 委員長事故アルトキハ内閣總理大臣ノ指名スル委員其ノ
 職務ヲ代理ス
 第四條 評議委員會ニ幹事長、幹事及書記ヲ置ク
 幹事長ハ内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ズ
 幹事長及幹事ハ委員長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ整理ス
 書記ハ内閣ニ於テ之ヲ命ズ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事
 ス
 附 則
 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○紀元二千六百年奉祝記念事業ニ關スル件 (昭和十一年十一月九日、同十三年七月一日 紀元二千六百年祝典評議委員會議決)

紀元二千六百年奉祝記念事業ハ大體左記方針ニ依リ之ヲ實
 施スルヲ適當ト認ム
 第一 左ニ掲クル事業ヲ奉祝記念事業トシテ施行スルコト
 一、板原神宮境域並嶺傍山東北陵參道ノ擴張整備
 二、宮崎神宮境域ノ擴張整備
 三、神武天皇聖蹟ノ調査保存顯彰
 四、御陵參拜道路ノ改良
 五、日本萬國博覽會ノ開催

選 任 一 件 認 可 ス

第一目教化施設費

三 10000 100000 100000

1

110

六、國史館ノ建設

七、日本文化大觀ノ編纂出版

第二 前項ノ奉祝記念事業ノ中日本萬國博覽會以外ノ事業ハ紀元二千六百年奉祝會ニ於テ直接又ハ國、公共團體若ハ私設團體ニ委託シテ適宜之ヲ施行スルコト
日本萬國博覽會ノ事業ノ施行ニ付テハ別ニ之ヲ定ムルコト

第三 紀元二千六百年奉祝會ニ對シテハ國庫ヨリ相當ノ補助金ヲ交付シテ之ヲ助成スルト共ニ其ノ事務ノ執行ニ關シテハ政府ニ於テ特ニ指導監督ニ遺憾ナキヤウ措置スルコト
希望 決議
紀元二千六百年奉祝會ハ褒章條例ニ該當スル公益團體トシテ之ヲ取扱フコト

○紀元二千六百年奉祝會ノ監督及援助ニ關スル件(昭和十二年四月二十四日)

紀元二千六百年奉祝會ニ關シテハ其ノ會ノ重要性並特殊性ニ鑑ミ左記方針ニ依リ政府ニ於テ之ヲ監督及援助ヲ爲スヲ適當ト認ム
第一 紀元二千六百年奉祝會ノ監督ニ關シテハ特ニ其ノ業務執行ノ適正及迅速ヲ確保スル爲特別ノ措置ヲ爲スコト
第二 紀元二千六百年奉祝會ノ業務ノ執行並之ニ關聯スル各種ノ事項ニ關シテハ關係各省ニ於テ可及的便宜ヲ供與シ積極的ニ之ヲ援助スルコト

○紀元二千六百年奉祝會設立及監督規程(昭和十二年七月一日)

第一條 本令ニ於テ紀元二千六百年奉祝會ト稱スルハ紀元二千六百年奉祝會ノ設立者ハ設立許可申請書ヲ施行スルコトヲ主タル目的トスル財團法人ヲ謂フ
紀元二千六百年奉祝會ノ設立及監督ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル
第二條 紀元二千六百年奉祝會ノ設立者ハ設立許可申請書ニ寄附行爲並ニ資産ノ種類及總額ヲ具シ内閣總理大臣ニ提出スベシ
第三條 左ニ掲グル事項ニ付テハ内閣總理大臣ノ認可ヲ受クベシ
一 當該年度ノ事業狀況
二 當該年度ノ收入支出決算
三 當該年度末ノ財産目録
第六條 紀元二千六百年奉祝會ハ其ノ事務所ニ左ニ掲グル表簿ヲ備フベシ
一 寄附行爲所定ノ議決機關ノ決議錄
二 處務日誌
三 收入簿、支出簿及證書書類
四 資産負債及負債票帳
五 寄附票帳及寄附申込書
六 其ノ他必要ナル表簿
附 則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

- 一 事業計畫及收支豫算並其ノ變更
- 二 毎年度ノ收入支出豫算及其ノ變更
- 三 役員ノ選任
- 四 豫算外義務ノ負擔
- 五 權利ノ讓渡又ハ拋棄
- 六 歲計現金ヲ預入又ハ信託スル銀行又ハ信託會社
- 七 借入金但シ同一年度内ニ償還スルモノヲ除ク
- 八 殘餘財産ノ處分
- 九 寄附行爲施行ニ關スル細則及其ノ變更
- 第四條 民法第四十五條、第四十六條又ハ第四十八條ノ規定ニ依リ登記ヲ爲シタルトキハ其ノ事項ヲ過期ナク内閣總理大臣ニ届出ツベシ
- 第五條 紀元二千六百年奉祝會ハ事業年度終了後二月以内ニ左ニ掲グル事項ヲ内閣總理大臣ニ報告スベシ

○行政官廳ヲシテ委嘱ニ依リ紀元二千六百年奉祝會ノ事務ヲ施行セシムルノ件(昭和十二年十月十六日)

第一條 行政官廳ハ紀元二千六百年奉祝會ノ委嘱ニ依リ紀元二千六百年奉祝會ノ事務ヲ施行スルコトヲ得
第二條 行政官廳ハ必要ト認ムルトキハ紀元二千六百年奉祝會ヲシテ前條事務施行ノ費用ニ充ツベキ資金ヲ國庫ニ納付セシムルコトヲ得

選任ノ件認可ス

第一目教化施設費

540000 100000 480000

1

第九百一十條

三三

第三條 行政官廳第一條ノ規定ニ依リ紀元二千六百年奉祝會ニ屬スル支拂事務ヲ取扱フ場合ニ於テハ現金ノ前渡ヲ受ケタル官更現金取扱ノ例ニ準ジ主任ノ官吏ヲシテ其ノ

現金取扱ヲ爲サシムルコトヲ得
附 則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○紀元二千六百年奉祝會ニ關スル件

(昭和十三年五月二日 地方長官會議指示事項)

近ク昭和十五年ヲ以テ光輝アル紀元二千六百年ヲ迎フルニ當リ國民奉祝ノ至誠ヲ表シ此ノ曠古ノ盛時ヲ永遠ニ記念スル爲メ政府ニ於テハ曩ニ紀元二千六百年祝典準備委員會ヲ組織シ又之ニ引續キテ紀元二千六百年祝典評議委員會ヲ設置シ其ノ審議ニ俟テテ樞要ナル各種事業ノ計畫ヲ決スル所アリ財團法人紀元二千六百年奉祝會ハ官民協力舉國一致ノ精

神ニ則リ是等ノ國家的事業ヲ施行セントスルモノニシテ其ノ使命ノ特ニ重大ナルニ鑑ミ之ガ指導援助並ニ監督ニ關シテハ政府ニ於テ特別ノ措置ヲ講ジ遺漏ナキヲ期シツツアル次第ナルヲ以テ各位ニ於テモ宜シク此ノ趣旨ヲ體シ可及的便宜ヲ供與シテ積極的ニ之ヲ援助シ以テ其ノ目的ヲ達成セシムル上ニ遺憾ナキヲ期セラレタシ

○神武天皇聖蹟調査委員會官制

(昭和十三年十二月二十七日 勅令第七百八十四號)

第一條 神武天皇聖蹟調査委員會ハ文部大臣ノ監督ニ屬シ其ノ諮問ニ應ジテ神武天皇ノ聖蹟ニ關スル重要ノ事項ヲ調査審議ス
神武天皇聖蹟調査委員會ハ前項ノ事項ニ付文部大臣ニ建議スルコトヲ得
第二條 神武天皇聖蹟調査委員會ハ會長一人及委員二十五人以内ヲ以テ之ヲ組織ス

特別ノ事項ヲ調査審議スル爲メ必要アルトキハ臨時委員ヲ置クコトヲ得
第三條 會長、委員及臨時委員ハ文部大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ズ
第四條 會長ハ會務ヲ總理ス
會長事故アルトキハ文部大臣ノ指名スル委員其ノ職務ヲ代理ス

第五條 會長ハ會議ニ於テ意見ヲ陳述シ可否ノ數ニ加ハルコトヲ得
第六條 文部大臣ハ必要ニ依リ又ハ會長ノ請求アルトキハ文部省高等官其ノ他適當ト認ムル者ヲシテ會議ニ出席シ意見ヲ陳述セシムルコトヲ得
第七條 神武天皇聖蹟調査委員會ノ議事ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム
第八條 神武天皇聖蹟調査委員會ニ幹事ヲ置ク文部大臣ノ

奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ズ
幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス
第九條 神武天皇聖蹟調査委員會ニ書記ヲ置ク文部大臣之ヲ命ズ
書記ハ會長及幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス
附 則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○日本文化大觀編修會官制

(昭和十四年二月八日 勅令第二十九號)

第一條 日本文化大觀編修會ハ文部大臣ノ管理ニ屬シ紀元二千六百年奉祝會ノ委囑ニ依リ日本文化大觀ノ編修ヲ掌ル
第二條 日本文化大觀編修會ハ會長一人並ニ顧問及委員若干人ヲ以テ之ヲ組織ス
第三條 會長ハ教學局長官ヲ以テ之ニ充ツ
顧問及委員ハ文部大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ズ
第四條 會長ハ會務ヲ總理ス
會長事故アルトキハ會長ノ指名スル委員其ノ職務ヲ代理

ス
第五條 日本文化大觀編修會ニ幹事ヲ置ク文部大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ズ
幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス
第六條 日本文化大觀編修會ニ書記ヲ置ク文部大臣之ヲ命ズ
書記ハ會長及幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス
附 則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

三三

選任ノ件認可ス

第一目教化施設費	三 七 〇 〇 〇	一 〇 〇 〇 〇	一 〇 〇 〇 〇	一
第二目	紀元二千六百年			

○國史館造營委員會官制 (昭和十四年三月九日勅令第四十二號)

- 第一條 國史館造營委員會ハ文部大臣ノ監督ニ屬シ其ノ諮問ニ應ジテ國史館ノ造營ニ關スル重要ノ事項ヲ調査審議ス
- 第二條 國史館造營委員會ハ前項ノ事項ニ付文部大臣ニ建議スルコトヲ得
- 第三條 國史館造營委員會ハ會長一人及委員二十人以内ヲ以テ之ヲ組織ス
- 第四條 特別ノ事項ヲ調査審議スル爲必要アルトキハ臨時委員ヲ置クコトヲ得
- 第五條 會長ハ會議ニ於テ意見ヲ陳述シ可否ノ數ニ加ハルコトヲ得
- 第六條 文部大臣ハ必要ニ依リ又ハ會長ノ請求アルトキハ文部省高等官其ノ他適當ト認ムル者ヲシテ會議ニ出席シ意見ヲ陳述セシムルコトヲ得
- 第七條 國史館造營委員會ノ議事ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム
- 第八條 國史館造營委員會ニ幹事ヲ置ク文部大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ズ
- 第九條 國史館造營委員會ニ書記ヲ置ク文部大臣之ヲ命ズ書記ハ會長及幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス
- 第十條 國史館造營委員會ニ庶務ヲ整理ス
- 第十一條 國史館造營委員會ニ會計ヲ置ク文部大臣之ヲ命ズ會計ハ會長及幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス
- 第十二條 國史館造營委員會ニ庶務ヲ整理ス
- 第十三條 國史館造營委員會ニ會計ヲ置ク文部大臣之ヲ命ズ會計ハ會長及幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス
- 第十四條 國史館造營委員會ニ庶務ヲ整理ス
- 第十五條 國史館造營委員會ニ會計ヲ置ク文部大臣之ヲ命ズ會計ハ會長及幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス
- 第十六條 國史館造營委員會ニ庶務ヲ整理ス
- 第十七條 國史館造營委員會ニ會計ヲ置ク文部大臣之ヲ命ズ會計ハ會長及幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス
- 第十八條 國史館造營委員會ニ庶務ヲ整理ス
- 第十九條 國史館造營委員會ニ會計ヲ置ク文部大臣之ヲ命ズ會計ハ會長及幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス
- 第二十條 國史館造營委員會ニ庶務ヲ整理ス
- 第二十一條 國史館造營委員會ニ會計ヲ置ク文部大臣之ヲ命ズ會計ハ會長及幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス
- 第二十二條 國史館造營委員會ニ庶務ヲ整理ス
- 第二十三條 國史館造營委員會ニ會計ヲ置ク文部大臣之ヲ命ズ會計ハ會長及幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス
- 第二十四條 國史館造營委員會ニ庶務ヲ整理ス
- 第二十五條 國史館造營委員會ニ會計ヲ置ク文部大臣之ヲ命ズ會計ハ會長及幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス
- 第二十六條 國史館造營委員會ニ庶務ヲ整理ス
- 第二十七條 國史館造營委員會ニ會計ヲ置ク文部大臣之ヲ命ズ會計ハ會長及幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス
- 第二十八條 國史館造營委員會ニ庶務ヲ整理ス
- 第二十九條 國史館造營委員會ニ會計ヲ置ク文部大臣之ヲ命ズ會計ハ會長及幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス
- 第三十條 國史館造營委員會ニ庶務ヲ整理ス

附 則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十四年八月十五日印刷

紀元二千六百年奉祝會

東京市麴町區元千代田町一番地
電話丸の内(23)五八一〇五八八
五八〇四一五八〇五
銀座 東京特二六〇〇番
金口座

納 色 一



選任ノ件認可ス

第一目教化施設費	100000	100000	100000	1
第二目「昭和三十六年」	100000	100000	100000	1

一一 十五一十 十五一十二 十五一十二

了
 昭和三十六年奉祝會役員選任認可指令案
 昭和三十六年奉祝會長公爵近衛文麿
 官
 官

紀元二千六百年奉祝會役員選任認可指令案
 紀元二千六百年奉祝會長公爵近衛文麿



昭和十五年一月九日附第一五號申請役員
 選任ノ件認可ス

昭和十五年 月 日

内閣總理大臣

六

一五

昭和十五年一月九日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵近衛文麿

内閣總理大臣 阿部 信行 殿

役員選任ノ件認可申請

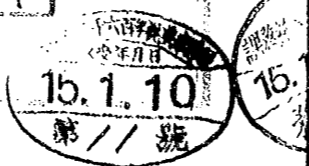
本會役員左記ノ通選任致度候條御認可相成度此段及申請候也

記

衆議院副議長

田 子 一 民

紀元二千六百年奉祝會副會長ヲ囑託ス



高知縣知事

石川縣町村長會長

東京商工會議所副會頭

宇治山田商工會議所會頭

廣島商工會議所會頭

大分商工會議所會頭

大分縣學務部長

長野縣會議長

長野縣會副議長

滋賀縣會議長

小山知一

菊知順一

山本留次

西田一雄

柳父昌一

淺尾新十郎

高橋一郎

内山竹一郎

北村甚兵衛

別所喜一郎

紀元二千六百年奉祝會評議員ヲ囑託ス

九 五八一 五一九 五一九

局長

書記官

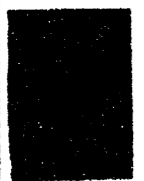
昭和十五年一月九日

内閣紀元二千六百年奉祝會事務局長

内閣官房總務課長宛



別紙、通官報彙報欄雜事項、掲載



方可然御取計相成度

◎紀元二千六百年奉祝會記事

一 紀元二千六百年奉祝會顧問ニ今般永田秀次郎及秋田清就任、旨同會長ヨリ報告アリ
夕リ

二 紀元二千六百年奉祝會昭和十五年度收入支出豫算左ノ通 紀元二千六百年奉祝會設

立及監督規程ヲ三條ニ依リ昨十四年十

二月二十八日セヲ認可セリ

(内閣)

昭和十五年度紀元二千六百年奉祝會收入支出豫算

收入

第一款	國庫補助金	一、〇〇〇、〇〇〇
第二項	國庫補助金	一、〇〇〇、〇〇〇
第二款	寄附金	五、〇〇〇、〇〇〇
第一項	寄附金	五、〇〇〇、〇〇〇
第三款	雜收入	七八、〇〇〇
第一項	雜收入	七八、〇〇〇
第四款	前年度繰越金	三、四八〇、〇〇〇
第一項	前年度繰越金	三、四八〇、〇〇〇
合計		九、五五八、〇〇〇

圓

支出

第一款 本部事務費

九〇、二五四

第一項 會議費

一、〇〇五

第二項 給與費

一七、四四九

第三項 旅費

二、五〇〇

第四項 事務所費

四、四〇〇

第五項 會員章費

二一、一〇〇

第六項 寄附募集費

四〇、八〇〇

第七項 雜費

三、〇〇〇

第二款 支部事務費

九二、〇〇〇

第一項 支部事務費

九二、〇〇〇

第三款 事業費

五、〇二七、三一五

第一項

檀原神宮境域並畝傍山
東北陵參道擴張整備費

一、四九五、〇〇〇

第二項

宮崎神宮境域擴張整備費

一三八、〇〇〇

第三項

神武天皇皇蹟調査保
存額彫費

二五〇、〇〇〇

第四項

御陵參拜道路改良費

三九六、〇〇〇

第五項

國史館建設費

一、〇四七、四三四

第六項

日本文化大觀編纂出版費

五五〇、八八一

第七項

教化事業費

四〇〇、〇〇〇

第八項

奉祝會費

七五〇、〇〇〇

第四款 豫備費

二〇〇、〇〇〇

第一項	豫備費	二〇〇、〇〇〇
第五款	次年度繰越金	四、一四八、四三一
第一項	次年度繰越金	四、一四八、四三一
合計		九、五五八、〇〇〇

二六 五十一十五 十五一十五 十五一十五

昭和十五年一月一日

局長

内閣官房總務課長宛

別紙、通官報彙報欄雜事項、掲載

第一項 豫備費	二〇〇、〇〇〇
第五款 次年度繰越金	四、一四八、四三一
第一項 次年度繰越金	四、一四八、四三一
合計	九、五五八、〇〇〇

二六 五十三 十五 十五 十五

局長

書記官

昭和十五年一月一日

局長



内閣官房總務課長宛

別紙、通官報彙報欄雜事項、掲載



方可然御取計相成度

(別紙各貳通添付ノ事)

◎紀元二千六百年奉祝會記事

一、紀元二千六百年奉祝會副會長ニ今般田子一民
就任ニ、理事根津嘉一郎死亡、旨同會長

ヨリ報告アリタリ

二、昭和十五年度紀元二千六百年奉祝會收入
支出追加豫算左ノ通、紀元二千六百年奉祝會

設立及監督規程第三條ニ依リ一月十一日

尤ヲ認可セリ 勿論

昭和十五年度紀元二千六百年奉祝會收入支出追加豫算

收入	
第一款 御下賜金	一、〇〇〇、〇〇〇
第一項 御下賜金	一、〇〇〇、〇〇〇
第三款 雜收入	一六、五〇〇
第一項 雜收入	一六、五〇〇
合計	一、〇一六、五〇〇
既決豫算	九、五五八、〇〇〇
收入總計	一〇、五七四、五〇〇

圖

新ニ「第一款 御下賜金」ノ科目ヲ設ケ「第一款 國庫補助金」
 ナ「第二款」ニ以下順次繰下グ

支 出

第五款 次年度繰越金	一、〇一六、五〇〇
第一項 次年度繰越金	一、〇一六、五〇〇
合 計	一、〇一六、五〇〇
既決豫算	九、五五八、〇〇〇
支出總計	一〇、五七四、五〇〇

紀元二千六百年奉祝會第一五號

昭和十五年一月十二日

紀元二千六百年奉祝會會長 公爵近衛文麿

內閣總理大臣 阿部 信行 殿

役員異動ノ件

本會役員左記ノ通異動有之候條此段及報告候

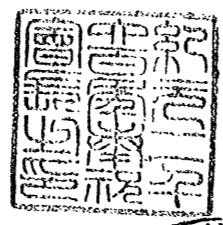
記

元高知縣知事

中 野 善 敦

元石川縣町村長會長

籠 次 右 衛 門



元宇治山田商工會議所會頭 北岡善之助

元廣島商工會議所會頭 森田福市

元大分商工會議所會頭 塚本秀雄

元大分縣學務部長 豐原遣也

元長野縣會議長 小野秀一

元長野縣會副議長 長田保之

紀元二千六百年奉祝會評議員囑託子解夕

昭和十五年一月四日死亡 理事 根津嘉一郎

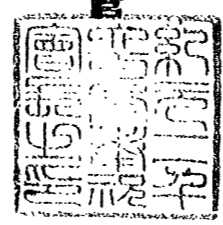
昭和十四年十二月四日死亡 評議員 横山定助

昭和十四年十一月廿四日死亡 同 田中久平

奉祝會 第五

昭和十五年一月十七日

紀元二千六百年奉祝會長 公府近衛文麿



内閣總理大臣 米内光政 殿

本會理事（副會長）左ノ通就任致候ニ付之方登記本日
完了致候條此段及御届候

記

昭和十五年一月十二日理事（副會長）ニ就任 田子一民

15.1.19
第 34 號

昭和十五年一月十九日 豫備費充用ノ件報告

宗下姓別別地別及種別

本會取集（昭會費）式、豫備費別ニ付立テ豫備費本月

内閣縣股大司 米 内 光 政 殿

昭和十五年一月十九日 豫備費充用ノ件報告

昭和十五年一月十九日

昭和十五年一月十九日

昭和十五年一月十九日

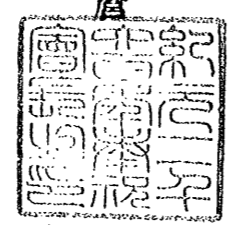
紀元二千六百年奉祝會長 公爵近衛文麿

内閣總理大臣 米 内 光 政 殿

豫備費充用ノ件報告

昭和十五年度本會收入支出豫算中第一款本部事務費第一項會議費ノ豫算額ハ左記理由ニ基キ不足ヲ生ジタルヲ以テ豫備費ヨリ之ヲ充用致候ニ付此段及報告候

記



款	項	當算額	初額	豫算殘額	要支出額	差引不足額	豫備費充用額
本部事務費	會議費	1,000	500	1	3,175	1,170	1,170
豫備費	豫備費	20,000	0	1	1	1	1,170

理由

昭和十五年一月十五日開催ノ役員總會ノ費用壹千八百七拾五圓ニテ豫算額壹千五圓ニ對シ八百七拾圓ノ不足ヲ生ジ尙今後開催アルベキ役職員會ノ經費トシテ參百圓ヲ豫定シ從テ壹千壹百七拾圓ヲ豫備費ヨリ充用セムトス

十五一十

五一十

十五一十

書記官



内翰案

拜啓

紀元二千六百年の新春を迎へ愈々御健

勝の段奉慶賀候

陳者 舊臘御話有之候 紀元節祭

参列者招待名簿不取敢別紙の通二部
送付致置候間可然御取計被成
下度尚紀元二千六百年奉祝會へ壹千
圓以上寄附者(有切金2以上)の追加名簿以近へ送付可致候
間御了知被下度候
先以右要用迄如斯御座候

昭和拾五年壹月十日

内閣紀元二千六百年祝典事務局

杉山書記官

官幣天社

檀原神宮

長尾禰宜宛

第二案
電報案

昭和拾五年壹月十日

内閣紀元二千六百三十九年祝典事務局

幣原首相
大社
長尾禰宜宛

招待名簿速達ニテ本日送付スル榎本

電報

三三九

田二ウネビ

三二〇ヤ一、五九

コウガ マチクワダ クラモナイル

ナイカクキゲ ンニセン六ヒヤオネンシユクテンジ

ムキヨクシマノモトナイカクゾク

ギゲ ンゼツサイニアンナイスベ キメイボ シギユウゴ ソウ

フネガ フカシハラナガシ



電報通則

付録

備考

NON

郵便局第九

省 信 局 第十四

大

拜復 新春を迎へ愈々御清邁の段奉慶賀候

陳者御問合の權原神宮紀元節祭参列者招待に關し奉祝會の有
功會員名簿送付方の件に付ては他の名簿と合冊本日同神宮長
尾崎宜宛速達便にて送付致置候に付御了承の上何卒宜敷御願
申上候

先は右御返事旁々御依頼迄如斯御座候 敬 具

昭和十五年一月十一日

内閣 榎 本 米 一

縣屬津田辰三殿

新妻の山原目出の御札
陳を豫め候

別の出願を候へば
及幣大社檀越印

寛政元年参り候
内務省より出候

有し其申渡書
有切書三〇〇紙を

山根侍りに
出候意に有し是後

寛政より
出候事と候

此書何れ
と申候

津田辰三殿

紀元二千六百年祝典評議委員會名簿

印ハ神宮作成ノ名簿ト重複

委員長

從二位勳一等 男爵 阪谷芳郎 小石川區原町一二六 大(33)2110

女員

内閣書記官長 遠藤藤柳耕造 柳町区本町三ノ一官舎 大(33)2110

法制局長官 藤崎俊樹 赤坂區長谷戸四九 大(33)2110

宮内次官 男爵 白根松介 牛込區市ヶ谷砂土原町三ノ一八 大(33)2110

外務次官 澤田廉三 赤坂區青山南町一ノ四八 山(33)1990

内務次官 大連茂雄 麹町區霞夕關一ノ二官舎 大(33)2110

大藏次官 大野龍太 麹町區九段三ノ四ノ三 大(33)2110

陸軍次官

阿南 惟 隆

麹町区永田町一ノ三〇官舎

松澤 三六

海軍次官

住山 本 徳 太郎

赤坂區靈南坂一七官舎

赤(8)二九〇

司法次官

岩村 通 世

杉並區荻窪二ノ一〇三

荻窪四一七

文部次官

大村 清 彦

板橋区板橋町三ノ九九官舎
世田谷區等々力町

田園調布
五九七九

農林次官

荷見 安

品川區西品川三ノ八六二

崎(8)〇二四〇

商工次官

村瀬 直 養

中野区千光寺前四
本郷區駒込林町一九六

駒込(8)〇三九

遞信次官

大和田 悌 二

麴町區永田町二ノ六七官舎

銀(8)〇〇〇三

鐵道次官

喜安 健次郎

品川區大井鹿島町三〇五一

森(8)〇〇三二

拓務次官

田中 武 雄

杉並區井荻町二ノ九六

荻窪(8)〇〇二

厚生次官

岡田 文 秀

荏原區中延町一〇五一

荏(8)四四八一

東京府知事

岡田 周 造

芝區芝公園一八ノ七官舎

芝(8)一六〇九

神奈川縣知事

大村 清 一

横濱市中區紅葉ヶ丘官舎

長者(8)一〇〇〇

奈良縣知事

三島 誠 也

奈良市登大路町官舎

奈良 八

宮崎縣知事

相川 勝 六

宮崎市南廣島通官舎

二二〇

實業院議員

侯爵 佐佐木 行 忠

赤坂區青山南町六ノ一〇八

青(8)七七〇五

同

子爵 青木 信 光

村上市錦尾町極楽寺砂子浜四
牛込區市ヶ谷河田町十九

牛(8)三〇〇五

同

男爵 千秋 季 隆

澁谷區原宿二ノ一七〇

青(8)一四〇一

衆議院議員

金光 庸 夫

澁谷區猿樂町三一

澁(8)〇〇一

同

増田 護 一

小石川區原町一二五

大(8)〇〇八九

同

岡田 忠 彦

麴町區永田町二ノ三一

銀(8)三二一〇

從三位勳二等

伍堂 卓 雄

牛込區喜久井町三六

牛(8)三二二四

正三位勳二等	大熊喜邦	麴町區下六番町四	九(83)一〇八
同	伊東忠太	本郷區駒込西片町一〇 二ノ八〇	小(85)一〇三〇
同	本多靜六	澁谷區櫻丘九五	澁(48)〇九三六
同	黑板勝美	澁谷區榮町二ノ六	澁(48)〇八六八
同	辻善之助	澁橋區戸塚町四ノ七八三	牛(84)一五七八
從三位勳二等	頼母木桂吉	淺草區東三筋町一三	淺(84)〇〇〇八
正四位勳二等	鶴見左吉雄	赤坂區青山高樹町一二ノ四	青(83)〇二九九
從四位勳二等	青木周三	橫濱市中區老松町市長公舎	長者(80)1010
從三位勳三等	香坂昌康	澁橋區西大久保一ノ四一一	四(85)一五三四
正四位勳三等	佐野利器	小石川區鷺籠町一六〇	大(83)一〇二六
同	丸山鶴吉	澁谷區大和田町九六	青(83)〇五一九

同 平沼亮三 橫濱市神奈川區澤渡五五 神奈川 三(10)四一

從七位勳四等 小倉正恒 澁橋區西大久保一ノ四一六 四(85)〇六三四

勳四等 福井甚三 下谷區上根岸八二 根(87)二三八〇

內閣紀元二千六百年祝典事務局長 歌田千勝 目黒區平町六四 荏(8)六七七六

幹事

內閣書記官 佐藤朝生 中野區千光前二四 中(38)二三四三

內閣紀元二千六百年祝典事務局書記官 武若時一郎 澁谷區代々木上原町三九六 澁(46)二七七〇

同 杉山俊郎 杉並區大宮前五ノ二十五 吉澤寺 一三三六

內閣情報部長 橫溝光暉 麴町區永田町一ノ三〇 銀(87)六六〇八

正三位勳二等	大熊喜邦	麴町區下六番町四	九〇〇一〇八
同	伊東忠太	本郷區駒込西片町一〇 さノ八〇	小〇〇一〇三〇
同	本多靜六	澁谷區櫻丘九五	澁(48)〇九三六
同	黑板勝美	澁谷區榮町二ノ六	澁(40)〇八六八
同	辻善之助	澁橋區戸塚町四ノ七八三	牛(34)一五七八
從三位勳二等	頼母木桂吉	淺草區東三筋町一三	淺(34)〇〇〇八
正四位勳二等	鶴見左吉雄	赤坂區青山高樹町一二ノ四	青(33)〇二九九
從四位勳二等	青木周三	橫濱市中區老松町市長公會	長者〇〇一〇
從三位勳三等	香坂昌康	澁橋區西大久保一ノ四一一	四〇〇一五二四
正四位勳三等	佐野利器	小石川區鴛籠町一六〇	大(31)〇二六六
同	丸山鶴吉	澁谷區大和田町九六	青(33)四三二九

勳三等	八木逸郎	牛込區市ヶ谷仲之町四一	牛(34)〇七〇二
同	平沼亮三	橫濱市神奈川區澤渡五五	神奈川 一〇四二
從七位勳四等	小倉正恒	澁橋區西大久保一ノ四一六	四(35)〇六三四
勳四等	福井甚三	下谷區上根岸八二	根(87)二三八〇
內閣紀元二千六百年祝典事務局長	歌田千勝	目黒區平町六四	荏(08)六七七六

內閣書記官	佐藤朝生	中野區千光前二四	中(38)二三四三
內閣紀元二千六百年祝典事務局書記官	武若時一郎	澁谷區代々木上原町三九六	澁(46)二七七〇
同	杉山俊郎	杉並區大宮前五ノ二十五 <small>杉並區大宮前五ノ二十五 吉澤寺 一三三六</small>	一三三六
內閣情報部長	橫溝光暉	麴町區永田町一ノ三〇	銀(57)六六〇八

官内事務官

大金 益次郎 麴町區紀尾井町三官舎

金田 才平 豊島區巢鴨六ノ一五三五 大(33)五七七五

諸陵頭

内務省神社局長

中野 與吉郎 麻布區材木町三三

内務省計費局長

松村 光磨 大森區田園調布三ノ一六九 田園調布 二七四七

大藏省主計局長

谷口 恒二 四谷區三光町八 四(35)六〇七〇

營繕管財局理事

松隈 秀雄 澁谷區千駄ヶ谷二ノ四五〇 青(33)三七〇七

文部書記官

關口 謙太 中野區道元町一 中(31)四四五〇
杉並區阿佐ヶ谷五ノ木三 荻窪一七九

鐵道省監督局長

鈴木 清秀 目黒區鷹番町一三三三 荏(08)三九四五

託

内閣理事官

佐野 小門太 麴町區永田町二ノ一官舎 銀(51)二二二一

内閣紀元二千六百
年祝典事務局書記官

(出征中)

松尾 金藏 神奈川縣茅ヶ崎東海岸上高砂下

官内事務官

矢島 正昭 豊島區長崎仲町一ノ二四 九八

落合長崎 二四三六

内務書記官

中村 四郎 四谷區舟町五六 四(35)八二三〇

考證官

阪本 廣太郎 目黒區柿木坂二八九 荏(08)六八六六

内務書記官

中山内 清造 妻田ヶ谷也野澤町一番八
中山島 清二 澁谷區代々木東ヶ谷下 四(35)五〇五二

内務技師

角南 隆 豊島區目白町三ノ三五四一 牛(34)四四七七

同

田阪 美徳 澁谷區原宿三ノ二一四

同

金子 源一郎 赤坂區青山南町六ノ四九 青(33)一六三四

同

春藤 眞三 中野區本町通五ノ一六 中(30)三八五七

同

町田 保 澁谷區代々木西原一〇〇八

鐵道書記官

山崎 秀輔 麴町區平河町一ノ三 九(33)三三〇

鐵道省事務官

清水 有 杉並區高圓寺ノ四八。 中(31)四九六七

宮内省事務

廿秋

一部

杉並區阿佐谷三丁目一

同

俣岡

豊

杉並區阿佐谷三丁目七九

鐵道技師

佐土原

勳

澁谷區豊分町三四

青岡二七五

同

山中

良樹

杉並區住吉町一五

荻窪四九五

記

内閣屬

石井

善藏

内閣官房總務課

南

田中

淺三

内閣紀元二千六百年祝典事務局

南

榎本

米一

同

宮内屬

佐野

惠作

宮内大臣官房總務課

内務屬

前田

康三

内務省神社局

文部屬

阿部

隆介

文部大臣官房文書課

商工屬

丹羽

三雄

商工省監理局商事課

内閣紀元二千六百年祝典事務局

内閣書記官

小野寺五一

内閣屬

田中淺三

同

榎本米一

同

中澤豊雄

同

守屋秋太郎

同

中島成雄

同

高橋勝司

賜

託

中澤

至

决

皇武二千六百平恭協會

書	園	園	園	園
備				
小	内	山	齋	大
山	藤	沢	藤	組
保	五	次	五	典
夫	郎	郎	次	一

秩父宮附

宮内事務官	別當
伯爵前田利男	今村信次郎

賀屋 興 宣 豐島區西巢鴨町四ノ一三 大(8)一〇一三

杉山 元 世田谷區北澤二ノ三一 世 四六二〇

米内 光 政 澁谷區竹下町二八 青(8)三九三一

鹽野 季 彦 中野區住吉町二〇 四(8)六〇〇〇

侯爵 木戸 幸 一 赤坂區新坂町六二 赤(8)三九三〇

伯爵 有馬 頼 幸 杉並區開根町七一 四(8)〇五八〇

書 野 信 次 澁谷區神山町五四 青(8)一〇二

○ 永井 柳 太 輔 澁谷區千駄ヶ谷三ノ五〇七 青(8)五七五一

中島 知久 平 牛込區市谷加賀町一ノ一一 牛(8)五二九二

南 次 郎 京城府倭城臺町官舎 本局一〇〇〇

小林 晴 造 墨北市文武町三丁目官舎

伯爵 松 平 頼 壽 豐島區駒込四ノ一五 大(8)五〇二一

小山 松 壽 荏原區中延町一〇五四 高(4)四五〇〇

宇垣 一 成 四谷區内藤町一ノ一 四(8)四二六三

男爵 荒 木 貞 夫 澁谷區幡ヶ谷本町一ノ六三 四(8)〇〇九七

板垣 征 四 郎 支那派遣軍總司令部

池田 成 彬 麻布區永坂町一 赤(8)〇二七五

伯爵 近 衛 文 麿 杉並區西田町一ノ七四三 四(8)〇三三三

櫻 内 幸 雄 芝區三田松阪町三四 高(4)二〇六五

前 田 米 藏 麻布區三河臺町二八 赤(8)〇一三三

石 渡 莊 太 郎 小石川區駕籠町一二五 大(8)〇九〇三

廣 瀬 久 忠 澁谷區綠町一六 青(8)七三三七

理事

井坂 孝 芝區高輪南町五三

高(4)〇一三〇

原 邦 造 品川區北品川三ノ三三五

高(4)〇五四八

大橋新太郎 麴町區三番町二二

九(3)〇四二一

門野重九郎 赤坂區新坂町五一

赤(3)三九四〇

田中 博 京都市左京區上高野東山五五

上(3)七〇〇一

鶴見左吉雄 赤坂區青山高樹町一二ノ四

青(3)〇三九六

根津嘉一 赤坂區青山南町六ノ一一五

青(3)六五九〇

南條金雄 赤坂區新坂町一四

赤(3)四〇〇〇

大達茂雄 澁谷區代々木山谷町一四七

四(3)七四七〇

大村清一 板橋區板橋町三ノ五九六

大(3)七一〇〇

大野龍太 麴町區九段三丁目四ノ三

九(3)一四三三

松本健次郎 麻布區本村町一三三

三(4)三三六五

藤原銀次郎 芝區白金今里町一二一

高(4)一五三八

櫻並充造 神戸市須磨區櫻木町一ノ二六

須(7)〇〇六五

遠藤柳作 麴町區永田町二ノ一官舎

銀(5)〇五〇九

安宅彌吉 大阪市東區今橋五ノ一四

本局一五〇九

有吉忠一 澁谷區代々木大山町二〇五〇

四(3)〇一三〇

青木鎌太郎 名古屋市東區富澤町一ノ一

東(4)三〇一〇

明石照男 小石川區茗荷谷町六六

大(3)五六七〇

岸 信介 中野區千光前一四

中(3)四〇三九

三好重道 牛込區市谷仲之町五七

牛(3)三八七七

監事

男爵 白根 松介	牛込區市谷砂土原町三ノ一八	牛(34)五〇八八
平生 夙三郎	小石川區小日向臺町二ノ一八	大(33)五五三三
森 廣藏	芝區高輪南町四六	高(44)二〇三
小倉 正恒	淀橋區西大久保一ノ四一六	四(35)〇六三四
男爵 大倉 喜七郎	總町區二番町七ノ七	九(33)〇二二五
結城 豊太郎	麻布區永坂町六一	赤(30)〇八二五

常議員

伊東 忠太	本郷區駒込西片町一〇三ノ八號	小(35)一〇五〇
伊藤 次郎左衛門	名古屋市西區茶屋町三ノ三	東(4)三八二六

井上 幾太郎	中野區小瀧町四四	四(35)一六九五
鑄谷 正輔	神戸市神戸區山本通四ノ一一一	苜(2)三一五〇
生駒 高常	世田谷區玉川與澤五九七	田園調布 三七五二
岩村 通世	杉並區荻窪二ノ一〇三	荻 四一七八
岩崎 清七	小石川區小日向臺町二ノ八	大(30)六三三一
板谷 宮吉	麹町區富士見町二ノ四	九(33)三〇四〇
磯谷 廉介	新京關東軍司令部	
稻畑 勝太郎	大阪市南區順慶町通二ノ五一	船(33)三六〇〇
今井 五介	澁谷區代々木初臺町六二七	四(35)一八八〇
池尾 芳藏	澁谷區下通五ノ一六	澁(30)二四〇八
石井 光雄	目黒區上目黒一ノ一一〇	澁(30)六八二八

子爵	大河内正敏	下谷區谷中清水町一	下(83)〇、四三七
大和	田梯二	麴町區永田町二ノ六七官舎	銀(57)〇〇〇三
豐田	利三郎	名古屋市東區白壁町二ノ五	東(4)〇、七八七
本多	靜六	濰谷區櫻丘九五	濰(4)〇、九三六
堀江	季雄	杉並區中通町三七	萩(三)二八五
寶來	市松	濰谷區代々木初臺町四六七	四(35)六二〇一
堀	啓次郎	大阪府豐能郡箕面村平尾六六〇	箕面(三)二
男爵	穂積重遠	牛込區拂方町九	牛(34)〇、四三三
荷見	安	品川區西品川三ノ八六二	崎(49)〇、二四〇
橋本	圭三郎	淀橋區西大久保二ノ三五三	四(35)二、一一〇
石橋	德次郎	久留米市篠山町一ノ五〇	久留米(三)二七三

大谷	登	品川區上大崎長者丸二七五	崎(49)一、五八三
大津	敏男	新京興安路一〇〇六	本局〇、五〇九
大野	綠一郎	京城府大和町官舎	高(44)三、七七一
大久保	利賢	濰谷區向山町一一	上(3)〇、二三八
大澤	德太郎	京都市中京區河原町三條上ル東入	東(4)〇、二三〇
大木	操	麴町區永田町官舎	銀(57)三、〇二七
大島	宇吉	名古屋市東區德川町二ノ二二	東(4)〇、二三〇
岡田	忠彦	麴町區永田町二ノ三一	銀(57)三、二一〇
岡田	文秀	荏原區中延町二、〇五一	荏(88)四、四八一
岡田	周造	芝區芝公園一八ノ七官舎	芝(43)三、九八〇九
岡谷	惣助	名古屋市中區姪子町五〇	南(6)〇、四五〇

岡本英太郎 大森區新井宿二ノ六六一三 森(6)七八九三
高(4)一〇一四

和田國次郎 芝區白金猿町六七 長府 八八一

伯爵 樺山愛輔 品川區五反田六ノ二二一五 高(4)六一五〇

川西清兵衛 神戸市須磨區東細澤町一五 須(7)〇八三八

川崎八右衛門 麻布區鳥居坂町二 赤(8)〇〇三一

片岡直方 兵庫縣川邊郡長尾村中山寺石田三五寶塚〇一二四

片岡安 京都市伏見區桃山松平筑前二〇 伏見〇三四三

唐澤俊樹 澁谷區長谷戸四九 澁(4)一、二〇三

吉岡彌生 牛込區下宮比町四 牛(34)〇三五五

田中都吉 澁谷區金王町一一 青(36)一六六九

田中武雄 牛込區矢來二八 牛(34)七三七三

田澤義彌 澁橋區百人町三ノ二八五 四(35)〇三四五

谷正之 小石川區水道町八 小(33)一九九〇

公爵 藤司信輔 目黒區上目黒三ノ一七三三 澁(46)三三四〇

高石眞五郎 大阪市北區五島大塚新開社内 武藏境

高橋順次郎 東京府北多摩郡保谷村保谷新田 〇〇七七

頼母木桂吉 淺草區東三筋町一三 淺(8)〇〇〇八

武部六藏 世田ヶ谷區北見町二ノ一三七 砧 〇四三七

津田信吾 兵庫縣武庫郡精道村芦屋平田三〇人 砧 二三四八

辻善之助 淀橋區戸塚町四ノ七八三 牛(34)一五七八

中井勵作 世田ヶ谷區成城町一〇八 砧 〇一七六

永田秀次郎 小石川區雜司ヶ谷町八三 牛(4)〇、二〇七

成瀬 達 麩町區三番町九番地六 九(3)〇、三四六

長岡半太郎 本郷區西片町一〇、一〇四〇 小(5)五、二一五

棟居俊一 豐原市官舎 豐原三、〇〇三

村田省藏 兵庫縣武庫郡住吉村字反高林一八七六ノ五 北(2)〇、一五二

上野精一 大阪市東區平野町一ノ五 本(4)〇、一四〇

野村徳七 大阪市東區備後町二ノ二二 本(4)〇、一四〇

子爵 野村益三 澁谷區東橫濱町一〇 本(4)〇、一四〇

野口 達 朝鮮咸鏡南道咸州郡興南邑湖南里一與南 五〇六 澁(5)〇、八六八

黑板勝美 澁谷區櫻丘七八 牛(3)〇、七〇二

八木逸郎 牛込區市谷仲之町四一 牛(3)〇、七〇二

八代則彦 兵庫縣武庫郡住吉村觀音林一、八七五 御影三、七〇六

山田 敏 福井縣坂井郡高椋村一本田 牛(4)二、七〇四

安川雄之助 小石川區關口臺町五五 牛(4)二、七〇四

保田次郎 臺北市蘭町二ノ七 臺北三、〇一八

丸山 鶴 澁谷區大和田九六 澁(5)〇、三二一

松井 茂 品川區大井鹿島町二ノ四一 森(4)八、六九〇

松原純一 京城府旭町二ノ一八 (社宅) 本町〇、二五五

松永安左エ門 淀橋區下落合一ノ三六七 大(3)〇、二九一

増田 義一 小石川區原町一二五 大(3)〇、〇八九

藤山愛一郎 芝區白金今里町一四 高(4)一、五四五

男爵 古河虎之助 牛込區若宮町三〇 牛(3)五、六〇三

福井 甚三 下谷區上根岸町八二 根岡三三八〇

福田 英助 目黒區上目黒三ノ一七六〇 濫田二六〇一

小林 一三 麩町區水田町二ノ二五 銀切五〇八五

小森 七郎 中野區水川町三 四〇〇、七〇〇

兒玉 謙次 麩町區九段二ノ二 九〇〇、四七四

香坂 昌康 澁橋區西大久保一ノ四一一 四〇〇、五二四

阿南 惟幾 麩町區水田町一ノ二〇官舎 銀切二五五六

有馬 良藏 澁谷區代々木大山一八 濫田一六七〇

青木 信光 神奈川縣鎌倉市柳屋町三ノ一 牛〇〇、〇〇五

青木 周三 横濱市中區老松町市長公舎 長者〇〇一〇

鮎川 義介 麩町區三番町六ノ一八 九〇〇、一五二

佐藤 應次郎 大連市東公園町滿鐵本社内

佐野 善作 東京府北多摩郡谷保村九三四三 國立 五六

三條 西儒子 豊島區高田本町一ノ三二〇 牛〇〇、五〇二

喜安 健次郎 品川區大井鹿島町三〇五一 森〇〇、一〇三三

北島 謙次郎 パラオ諸島コロール島長官官舎

三浦 武美 在滿洲國帝國大使館

三木 武吉 牛込區若松町一四 牛〇〇、二〇〇四

三島 誠也 奈良市登大路官舎 奈良 八

宮島 清次郎 芝區伊皿子町一〇 高〇〇、五〇五

清水 澄 澁谷區代々木大山町一〇六〇 四〇〇、二五七〇

正力 松太郎 芝區三田四國町二ノ一號 三〇〇、五三四

藤井 利譽 本郷區上宮前町一〇二

古野 伊之助 法衣僧 住赤坂町八八
庄司 乙吉 兵庫縣武庫郡住吉村反高林一、八七六 御影 三五三二

公爵 島津 忠重 品川區五反田六ノ二三四 高(四)〇、三七八

子爵 濑澤 敬三 芝區三田綱町一〇 三(四)〇、二九七

下村 宏 大森區田園調布三ノ二二ノ二 田園調布 〇〇

平沼 亮三 横濱市神奈川區澤渡 神奈川一〇四一

森 啓親 麴町區紀尾井町六 九(三)〇〇八五

森 岡二朗 臺北市文武町一丁目官舎 臺北三、〇〇七

男爵 森 轉市左衛門 芝區高輪南町三三 高(四)〇、六六六

瀬古 保次 麴町區永田町官舎 銀(四)三、〇六〇

岡屋 龍吉 小石川區茗荷谷町六二 大(四)五、八二〇

千石 興太郎 豊島區雜司ヶ谷町一ノ六二 牛(四)五、一六三

男爵 千秋 季隆 澁谷區原宿二ノ一七〇 青(四)二、四〇一

住山 德太郎 赤坂區雙南坂町一七官舎 赤(四)二、三九〇

評議員(略)

寄附金額	住 所	名 譽 會 員	氏 名
壹萬圓	大阪市東區道修町二ノ廿七	繼武田長兵衛商店 取締役社長	武田 長兵衛
壹萬圓	大阪市東區今橋五ノ一四	繼安宅商會 社長	安宅 彌吉
壹萬圓	大阪市西區阿波座三番町一六七	繼大阪貯蓄銀行	泉 吉次郎
壹萬圓	大阪市東區伏見町三ノ一八	繼大阪電氣軌道株式會社社長	種田 虎雄
壹萬五千圓	大阪市天王寺區上本町六ノ一	大阪電氣軌道株式會社專務 片岡直方	片岡 直方
壹萬五千圓	大阪市東區平野町五ノ一	大阪瓦斯株式會社專務 阪神急行電鐵株式會社	片岡 直方
壹萬貳千圓	大阪市北區角田町四一	阪神電氣鐵道株式會社社長 今西與三郎	今西 與三郎
壹萬貳千圓	大阪市北區梅田町	阪神電氣鐵道株式會社社長 今西與三郎	今西 與三郎

貳萬圓 大阪市東區今橋三ノ二一

三和銀行頭取

中根貞彦

壹萬圓 大阪市東區瓦町二ノ五五

山口合資會社社長

山口吉郎兵衛

壹萬圓 大阪市此花區今開町一ノ八〇

鐘淵紡績株式會社取締役社長

津田信吾

貳萬圓 神戸市林田區御崎町一丁目

壹萬圓 大阪市北區堂島中二ノ二五

內外綿株式會社專務

佐々木國藏

壹萬貳千圓 大阪市南區難波新地六

南海鐵道株式會社社長

寺田甚吉

壹萬圓 大阪市西區江ノ子島東ノ町二七

廣海商事株式會社社長

廣海二三郎

壹萬圓 大阪市此花區春日出町二七八ノ三

日本染料製造株式會社社長

稻畑勝太郎

壹萬圓 大阪市東區京橋三ノ七五

大林組社長

大林義雄

壹萬圓 大阪市浪速區水崎町四〇

中山太一

壹萬圓 大阪市東區今橋二ノ一七

鴻池合名會社代表社員

鴻池善右工門

貳拾五萬圓 大阪市東區北濱五ノ二二三

住友本社社長

住友吉左工門

貳萬圓 大阪市北區宗是町一

日本窒素肥料株式會社社長

野口遼

貳萬圓 大阪市西區立賣堀南通六丁目

大阪鋼材株式會社社長

岸本吉右工門

壹萬五千圓 大阪市浪速區船出町二ノ二二三

久保田鐵工所社長

久保田權七郎

參萬圓 大阪市北區宗是町一

大阪商船株式會社取締役社長

村田省藏

參萬圓 大阪市北區堂島濱通二ノ八

東洋紡績株式會社取締役社長

庄司乙吉

壹萬圓 大阪市東區久太郎町三丁目寺田ビルディング

岸和田紡績株式會社

成瀬

五萬圓 大阪市東區今橋四ノ七

日本生命保險株式會社取締役社長

阿部彦太郎

壹萬圓 大阪市北區堂島濱通二ノ七

阿部彦太郎

壹萬五千圓	大阪市東區安土町二丁目	伊藤忠商事株式會社取締役	伊藤 竹之助
貳萬圓	大阪市東區安土町二ノ三〇	大日本紡績株式會社取締役社長	小寺 源吾
五萬圓	大阪市東區備後町三丁目野村合名内	野村關係會社代表	野村 義太郎
壹萬五百圓	大阪市東區北濱一丁目	株式會社大阪株式取引所	柴山 鶴雄
壹萬圓	大阪市東區北久太郎町二丁目	黒川商店社長	黒川 福三郎
壹萬五千圓	大阪市南區長堀橋筋一ノ三	鐵大阪鐵工所取締役社長	六角 三郎
壹萬圓	大阪市浪速區久保吉町	新田帶革製造所	
壹萬圓	大阪市西淀川區高見町一ノ六四	ラサ工業株式會社取締役社長	小野 義夫
壹萬圓	大阪市大正區船町三	鐵中山製鋼所社長	中山 悅治
壹萬圓	岸和田市南町七三	寺田合名會社社長	寺田 菫吉
壹萬圓	大阪市北區堂島北町二〇	鐵藤田組社長	藤田 平太郎

特別有功會員

寄附金額	住 所	氏 名
五千圓	大阪市東區本町一ノ一五	藤井 善治郎
八千圓	大阪市北區梅ヶ枝町一六四	宇治川電氣株式會社
八千圓	大阪市北區宗是町一	日本電力株式會社社長 池尾 芳藏
五千圓	大阪市北區堂島上二ノ三六	鐵大阪毎日新聞社
六千圓	大阪市東區南本町二ノ四〇	鐵豐島商店社長 豐島 久七
六千圓	大阪市北區天神橋筋六ノ五	京阪電氣鐵道株式會社社長 有田 邦敬
五千圓	大阪市西成區粉濱本町四	谷口 豐三郎
六千圓	大阪市北區玉江町二ノ三	福島紡績株式會社社長 八代 祐太郎
五千圓	大阪市北區中之島二丁目江商ビル内	天滿織物株式會社

五千圓 大阪市南區壘屋町

阪口樓 阪口ゆき

六千圓 大阪市東區北久太郎町三丁目三七

岩田商事株式會社社長 岩田宗次郎

五千圓 大阪市東區道修町二丁目一

藤澤友吉商店取締役 藤澤友吉

五千圓 大阪市北區中之島三丁目三

藤竹中工務店代表者 竹中藤右衛門

五千圓 大阪市東區備後町二ノ四六

藤富永商店

六千圓 大阪市東區安土町二ノ五一

吳羽紡績株式會社社長 伊藤忠兵衛

五千圓 堺市安井町二ノ五〇

福助足袋株式會社社長 辻本英一

七千圓 大阪市東區高麗橋三ノ一

東洋綿花株式會社

七千圓 大阪市東區本町四ノ四六

藤伊藤萬商店取締役社長 伊藤萬助

五千圓 大阪市東區今橋三ノ五

日本レイヨン株式會社取締役社長 菊池文吾

七千圓 大阪市東區南本町一ノ一三

竹村綿業株式會社取締役 竹村信一

五千圓 大阪市西區江ノ子島東之町一五

右近商事株式會社取締役社長 右近權左衛門

七千圓 大阪市東區本町二ノ二八ノ一

丸丸紅商店事務取締役 古川鐵次郎

五千圓 大阪市東區道修町三ノ一二

藤野義商店取締役 藤野義三郎

八千圓 大阪市港區富島町七

藤尼崎汽船部代表社員 尼崎伊三郎

五千圓 大阪市北區中之島三ノ二

藤朝日新聞社取締役社長 上野精一

五千圓 大阪市東區道修町三ノ二一

藤田邊五兵衛商店代表 田邊五兵衛

五千圓 大阪市大正區新炭屋町七七

栗本鐵工所取締役社長 栗本勇之助

有功會員

壹千圓 大阪市西區立賣堀北通六ノ八

津田勝五郎商店取締役社長

津田勝五郎

壹千圓 大阪市天王寺區悲田院町一八

中橋武一

壹千圓 大阪市東區安土町四ノ一五

勳七等 中嶋弘

壹千圓 岸和田市北町八八

從七位勳六等 寺田元之助

壹千圓 大阪市大正區北泉尾町一ノ一〇

大井伊助

壹千圓 京都市伏見區桃山町

片岡安

壹千五百圓 大阪市西淀川區浦江北四ノ一〇

日本ペイント株式會社社長 小畑源之助

貳千圓 大阪市東區高麗橋二丁目

八代祐太郎

壹千圓 大阪市住吉區住吉町二五六

龜岡德太郎

壹千五百圓 大阪市住吉區濱口町四四三

阪堺電鐵株式會社社長 西田正俊

壹千圓 兵庫縣武庫郡住吉村畔倉

不破小一郎

參千圓 大阪市住吉區阿倍野筋一ノ一

大阪鐵道株式會社

壹千五百圓 大阪市西淀川區海老江中一ノ一二 大阪交通株式會社社長 坂本行輔

壹千圓 兵庫縣武庫郡住吉村牛神東 不破榮次郎

參千圓 大阪市天王寺區慈田院町九三 阪和電氣鐵道株式會社 稻畑二郎

壹千圓 大阪市南區順慶町通二ノ五一 藤丹平商會社長 森平兵衛

貳千圓 大阪市南區順慶町通三ノ三〇 津田信吾

壹千圓 兵庫縣武庫郡精道村苜屋平田四二 津田信吾

參千圓 大阪市南區心齋橋筋一ノ一二八 里見純吉

貳千五百圓 大阪市南區末吉橋通二ノ三 山陽中央水電株式會社社長 井上 周

壹千圓 大阪市西區北堀江御池通四ノ一六 鐵橋津貯蓄銀行頭取 岸本 五兵衛

貳千圓 大阪市南區順慶町通二ノ五一 鐵稻畑商店 稻畑 勝太郎

壹千圓 大阪市東區伏見町三ノ六 戶田 猶藏

壹千圓 大阪市東區平野町二ノ二五 殿村平右衛門

壹千圓 大阪市南區安堂寺橋通三ノ九 原田商事株式會社取締役社長 原田 龜太郎

壹千圓 大阪市西區薩摩堀東之町一五 關河合佐兵衛商店大阪支店社長 河合 佐兵衛

參千圓 大阪市東區北濱四ノ二六 關西信託株式會社社長 山口 謙四郎

壹千圓 大阪市東區今橋二丁目 關日本信託銀行專務 車谷 馬太郎

壹千圓 大阪市西區西道頓堀通四ノ一〇 藤町野商店 山口 謙四郎

壹千圓 兵庫縣武庫郡住吉村 庄司 乙吉

參千圓 兵庫縣武庫郡住吉村 阿部 幸次郎

壹千圓 大阪市西區立賣堀北通六ノ三六 關古島商店社長 古島 德司

壹千圓 大阪市東區川西町五六一 關大阪タツプ製作所社長 池村 才太郎

貳千圓 大阪市東區谷町二ノ七 關宇佐見商店社長 宇佐見 金次郎

貳千圓 大阪市西區立賣堀北通六ノ一一 關岩田兄弟商會社長 岩田 米次郎

參千圓 大阪市北區會橋崎上二丁目四八 關鐵道工業株式會社社長 常田 健次郎

貳千圓 大阪市東區北久太郎町四ノ五三 辻久商店社長 辻 信太郎
 壹千圓 大阪市西區阿波座下通一丁目 藤生 徳次郎
 參千圓 大阪市東區川區元町北通一丁目 藤井森製所社長 藤井 武兵衛
 貳千圓 大阪市港區市岡元町五丁目五 藤桃谷順天堂專務 桃谷 順一
 壹千圓 大阪市東區瓦町三丁目一 藤平松商店常務 平松 幾作
 貳千圓 大阪市北區中之島三丁目七 吉原製油株式會社社長 吉原 定次郎
 壹千圓 大阪市大正區福町二丁目三五ノ三六 松尾橋梁株式會社專務松尾 岩吉
 參千圓 大阪市東區北濱五丁目三一ノ一 鴻池信託株式會社專務前田 忠
 貳千圓 大阪市西區北通一丁目一 藤近江屋商會社員 田中 市藏
 貳千圓 大阪市東區安土町四丁目一九 藤祭原商店 祭原 邦太郎
 壹千圓 大阪市東區南久太郎町二丁目二〇 岩田 正一
 壹千五百圓 大阪市西區西長堀南通一丁目六 藤吉村商店 藤吉村商店
 壹千圓 大阪市西區立賣堀北通五丁目一四 藤千葉金三郎商店代表社員 千葉 金三郎

貳千圓 大阪市西區立賣堀南通一丁目七 藤長瀬商店社長 長瀬 傳太郎
 壹千圓 大阪市東區南久太郎町三丁目二八 藤西武商店 藤西武商店
 壹千圓 大阪市西區北堀江通五丁目 藤三木商店社長 三木 興吉郎
 壹千圓 大阪市東區北濱三丁目七 藤北澤商店 藤北澤商店
 壹千圓 大阪市西區出城通四丁目二 力ナエ石綿工業株式會社常務 藤 理一
 壹千圓 大阪市西區川口町一二 藤龜多商店社長 藤 龜多 藤平
 壹千圓 大阪市東區玉堀町 藤下仁丹株式會社社長 藤下 博
 壹千圓 大阪市東區淡路町三丁目二五 丸屋 七郎
 壹千圓 大阪市東區瓦町三丁目五 藤日本相互貯蓄銀行頭取 小西 新石工門
 壹千圓 大阪市北區宗是町一 岡田海運株式會社社長 岡田 信吉郎
 貳千圓 大阪市東區安土町二丁目三七 藤大同洋紙店社長 谷野 彌吉
 貳千圓 大阪市東區道修町三丁目二五 大日本製藥株式會社社長 藤野 勇
 壹千圓 尼崎市杭瀬三ノ坪一四 藤三和合金製作所 堀内 清

參千圓 大阪市西成區千本通一丁目二八 小野商會合名會社代表社員 小野 虎雄
 貳千圓 大阪市西區立賣洲南通四丁目一 關山本棉花商店社長 山本 健次良
 壹千圓 大阪市西成區柳通一丁目五〇 川端 半兵衛
 貳千圓 大阪市東區道修町三丁目一 鹽野香料株式會社代表取締役 鹽野 吉兵衛
 壹千圓 大阪市東區高橋一丁目 關山中商店代表 山中 吉太郎
 壹千圓 大阪市南區順慶町通一丁目二一 關山田藤商店代表取締役 山田 藤次郎
 參千圓 大阪市北區宗是町一大阪ビル 關田汽船株式會社社長 太田 丙子郎
 壹千圓 大阪市西區榎南通一丁目一六 關大阪電氣商會取締役 菅谷 元治
 貳千圓 大阪市住吉區相生通一ノ二四 小倉 正恒
 壹千圓 大阪市浪速區扇洲町二三 關大紀アルミニウム工業所代表社員 山本 義一
 壹千圓 大阪市東區北久賣寺町二ノ五〇 關川田豐七商店

貳千圓 大阪市此花區大開町四丁目 東洋鐵伸銅株式會社代表取締役 田邊 幸次郎
 壹千圓 大阪市西區新町通一ノ四 關取アルミニウム株式會社社長 關取 藤子治
 貳千五百圓 大阪市西區立賣洲北通四ノ二 關井村商店代表取締役 村岡 義雄
 貳千圓 大阪市東區南本町四ノ四二 關影久商店社長 影久 伊曉人
 壹千圓 大阪市南區安堂寺橋通一ノ三三 關井澤地金商店代表取締役 井澤 敏純
 壹千圓 大阪市此花區春日日出町五ノ三〇 關山中製鍊所代表社員 山中 直一
 壹千圓 大阪市南區東吉橋通二ノ一〇 關湯淺七左エ門商店大阪支店
 參千圓 大阪市東區北久太郎町二ノ三六 關岩田常商店社長 岩田 常右衛門
 貳千圓 大阪市西區立賣洲南通二ノ一三 關島田商店社長 島田 德太郎
 貳千五百圓 大阪市東區淀川區豐崎西通一ノ四 大阪機工株式會社
 壹千五百圓 大阪市西區土佐堀通二ノ一四一五 關關福商店代表取締役 古田 吉憲
 貳千圓 大阪市南區安堂寺橋通三ノ六 佐渡島 英壽

参千圓 大阪市東區唐物町二丁目 鐵宮崎商店代表取締役 宮崎 彌作

壹千五百圓 堺市戎島五丁目一四二ノ一 堺化學工業株式會社專務取締役 伊藤 一郎

参千圓 大阪市南區安堂寺橋通二ノ一四 佐渡島 伊兵衛

参千圓 大阪市天王寺區小宮町一 藤野 勝太郎

壹千圓 大阪市東區道修町三ノ二七 上野汽船合資會社 上野 政次郎

壹千圓 大阪市東區北久寶寺町一丁目四二 大阪合同株式會社取締役社長 井村 健次郎

壹千圓 兵庫縣武庫郡甲東村段上字庄上二五 川村 順

貳千圓 大阪市住吉區北加賀屋町三七五 名村汽船合資會社 望月 一丸

壹千圓 大阪市東區北濱三丁目二六 三商合資會社代表社員 望月 一丸

壹千圓 大阪市西區松島町二丁目三八 鐵西川商店

貳千圓 大阪府泉南郡貝塚町近木一〇二六 鐵帶谷商店取締役社長 帶谷 吉次郎

壹千圓 大阪市西區南堀江通六丁目 鐵河原桶行取締役社長 河原 利代藏

壹千圓 大阪市東區博勢町四丁目二七 鐵万年商店取締役社長 万年 九平

壹千圓 大阪市南區長堀筋一丁目一四 鐵福村商店代表社員 福村 治郎兵衛

壹千圓 大阪市北區堂島濱通四丁目一〇 鐵須賀商會取締役社長 須賀 藤五郎

貳千圓 大阪市南區末吉橋通二丁目八 鐵根合關商工株式會社專務取締役 藤 塚 貞 勝

壹千圓 大阪市南區安堂寺橋通二丁目 鐵日垣太市郎商店 日垣 太市郎

貳千圓 大阪市南區大寶寺町仲之町 鐵吉田定七商店代表取締役 吉田 定七

壹千圓 大阪市浪速區惠美須町三丁目 鐵竹島新三郎商店

壹千圓 大阪府中河內郡南華町字龜井 鐵矢倉アルミニウム製造所代表社員 矢倉 實吉

貳千圓 大阪市港區南安治川通三丁目一八 鐵若田商店

壹千圓 大阪市東區平野町二丁目三〇 鐵生駒商店取締役社長 生駒 權七

参千圓 大阪市天王寺區上本町九丁目一 鐵菊池恭三

壹千圓 兵庫縣武庫郡住吉村字牛神前三一 鐵小寺源吾

貳千圓 大阪府北河內郡枚方町 鐵田中太介

貳千圓 大阪市東區高麗橋一丁目一三

阪田商店取締役社長

田 善右門

參千圓 大阪市東區備後町四ノ四四

日本毛織紡績株式會社取締役社長
河 崎 助太郎

四千圓 大阪市西淀川區西島町九三

大阪製鋼株式會社

壹千圓 大阪市港區南境川町三ノ一八

鐵興小路シアリング工場專務取締役
奥小崎 民 藏

壹千圓 大阪市西淀川區大和田町一四五三

板本アルミニウム株式會社專務取締役
板 本 博

四千圓 大阪市南區安堂寺橋通一丁目一〇

山本汽船株式會社取締役社長
山 本 藤 助

壹千圓 大阪市港區南境川町二丁目二二

鐵木本シリジ多工場取締役
木 本 勇 二

壹千貳百圓 大阪市東淀川區宮原町四七二

鐵日本アルミニウム製造所專務取締役
鐵 重 楠

參千圓 大阪市北區堂島濱通二丁目一五

大光商船株式會社取締役社長
矢 吹 禎一郎

四千圓 大阪市港區南安治川通二丁目

山本商船株式會社社長
山 本 源 吉

壹千貳百圓 堺市綾之町四一ノ五

鐵淺香本店取締役社長
淺 香 久 平

壹千圓 大阪市東區道修町三ノ二七

東大汽船株式會社

參千五百圓 大阪市此花區北安治川通二ノ一一

鐵宗像商店取締役社長
宗 像 半之助

貳千圓 大阪市北區中之島二ノ五六

鐵小西商店取締役
小 西 喜三郎

壹千圓 大阪市東區淡路町四ノ一四・一五
番地合併地

鐵鷹岡商店
鷹 岡 覺之助

壹千圓 大阪市東區伏見町五丁目日本徴兵館

旭棉花商會
藤 田 龜太郎

壹千圓 大阪市南區鹽町通三丁目一七

鐵瀨尾彌商店取締役社長
瀨 尾 彌 助

壹千圓 大阪市東區本町三丁目

鐵伊吹商店大阪支店取締役
伊 吹 豐次郎

貳千圓 大阪市東區今橋三ノ三〇

日商株式會社常務取締役
永 井 幸太郎

貳千圓 大阪市東區南本町三丁目

鐵市田商店大阪支店專務取締役
市 田 彌三郎

壹千圓 大阪市西區南堀江通六丁目 磯島田商店取締役社長 島田 誠三郎

四千五百圓 大阪市北區中之島二ノ一〇 日本棉花株式會社取締役社長 南郷 三郎

貳千圓 大阪市北區中之島二ノ二五江商ビルディング内 昭和棉花株式會社取締役會長 杉本 信一

壹千圓 大阪市東區本町三ノ二二 合名會社須田德商店 須田 芳三

壹千圓 大阪市東區備後町三一八 山作商店 山崎 作次郎

貳千圓 大阪市東區北濱四ノ二六 日瑞貿易株式會社 日瑞貿易株式會社 野瀬 七郎平

四千五百圓 大阪市北區中之島二丁目 江商株式會社取締役會長 野瀬 七郎平

壹千圓 大阪市北區會根崎上二ノ四八共同ビルディング四階第四〇一―一二號 該樓井好一商店 該樓井好一商店

壹千圓 大阪市西區北堀江三番町一八 該伊藤棉行代表社員 伊藤 民五郎

四千五百圓 大阪市東區備後町二ノ三〇 磯田附商店取締役社長 田附 政次郎

壹千圓 大阪市東區北久太郎町二丁目 外村 與左衛門

壹千圓 大阪市東區高麗橋四ノ三九 信興棉花株式會社常務取締役 和田 眞之助

壹千圓 大阪市東區南本町三ノ七 磯河崎經吉商店取締役社長 河崎 經吉

貳千圓 大阪市東區南久太郎町二ノ一〇ノ一 磯八木商店取締役社長 杉 道助

貳千圓 大阪市南區鹽町通四丁目 磯尾喜商店 磯尾 喜一郎

四千五百圓 大阪市東區北濱四ノ四三 磯岩井商店取締役社長 岩井 雄二郎

壹千圓 大阪市北區中之島二ノ二五江商ビル内 日伯棉花株式會社取締役 原田 立之祐

壹千圓 大阪市東區本町三ノ二二 磯和井田商店 磯和井田商店

壹千五百圓 大阪市港區南安治川通三ノ一九 京阪元山株式會社大阪支店常務取締役 小林 松太郎

壹千圓 大阪市東區本町二ノ一六 磯丸爲商店取締役社長 南 德次郎

四千五百圓 大阪市東區備後町四丁目 山口商店取締役 山口三郎

貳千圓 大阪市東區南久太郎町二ノ一三 又一株式會社 阿部市太郎

壹千圓 大阪市東區南久寶寺町二ノ四三ノ一 謙杉本商店代表社員 杉本太次郎

壹千圓 大阪市東區南久寶寺町三ノ一〇 謙阿部慶商店 阿部慶之助

壹千圓 大阪市東區安土町一ノ四 謙大五商店代表社員 大川龜吉

壹千圓 大阪市東區安土町一ノ四 瀧幸洋行大阪支店 土井伊八

壹千圓 大阪市東區谷町三ノ七 謙福井彌助商店專務取締役 福井彌太郎

貳千圓 大阪市東區本町二ノ一 稻西合名會社 小泉重助

壹千圓 大阪市東區備後町三ノ一六 謙川内商店代表社員 田邊庸太

壹千圓 大阪市東區內平野町二丁目 謙三謙商店取締役社長 三謙久兵衛

貳千圓 大阪市東區北久太郎町二ノ二二 謙三謙商店取締役社長 三謙久兵衛

壹千圓 大阪市東區南本町三丁目 謙村田長商店代表社員 村田長兵衛

壹千圓 大阪市東區瓦町四ノ五 謙中村商店取締役社長 中村作次郎

壹千圓 大阪市東區本町三丁目二五 謙外市商店 安村常吉

壹千圓 大阪市東區本町一ノ二二 高宮政商店 高宮政太郎

四千五百圓 大阪市東區安土町四ノ五五 謙田村駒商店社長 田村駒次郎

壹千圓 大阪市東區南本町三ノ七 謙和田哲商店取締役 和田哲夫

壹千圓 大阪市東區本町一ノ一二 謙吉田鹿之助商店取締役 吉田鹿之助

壹千圓 大阪府豐能郡庄内村庄本 理研アルマイト工業株式會社專務 佐久間成一

貳千圓 大阪市北區中之島七丁目 謙芝本商店取締役會長 芝本秀三郎

壹千圓 大阪市西區靱北通一丁目 謙ヒシヒラ會取締役社長 平佐潔

貳千圓 大阪市東區伏見町五丁目 中央毛糸紡績株式會社 瀨尾 喜兵衛

參千圓 大阪市南區鹽町通四ノ二〇 株式會社廣瀨精一商店代表取締役 廣瀨 精一

壹千圓 大阪市西區薩摩堀東之町一三二七 株式會社廣瀨精一商店代表取締役 廣瀨 精一

壹千圓 大阪市東區北久寶寺町二 城野 清

壹千圓 大阪市東區豐後町三二 木村 貞造

壹千五百圓 大阪市東區北濱一ノ八 江口證券株式會社 江口 治郎

貳千貳百五十拾圓 大阪市東區高麗橋三ノ七 大阪商事株式會社取締役社長 村地 久治郎

貳千貳百五十拾圓 大阪市東區安土町二ノ六一 野村證券株式會社取締役社長 片岡 晉吉

壹千五百圓 大阪市東區今橋二ノ四〇 小川 奈良造

貳千貳百五十拾圓 大阪市東區北濱五ノ三〇 藤本ビロロカ株式會社取締役社長 松 葉 助

壹千圓 大阪市東區高麗橋二丁目 上田 要

貳千貳百五十拾圓 大阪市東區北濱二ノ四五 草川 求馬

貳千貳百五十拾圓 大阪市東區本町二ノ四〇 株式會社大阪屋商店取締役社長 兒山 破魔香

壹千圓 大阪市東區本町一丁目 齋青木商店取締役社長 青木 與吉

壹千圓 大阪市北區信保町一ノ三六 淺利 弘次郎

壹千圓 大阪市東區北久寶寺町三ノ二七 加納善七商店代表社員 加納 善吾

壹千圓 大阪市東區安土町三ノ二二 小杉 佐七郎

貳千圓 大阪市東區安土町二ノ一五 齋佐々木營業所 佐々木 八十八

壹千圓 大阪市北區若松町二八 磯尾崎商店社長 高田 克治

貳千圓 大阪市西區中開三ノ一二 大阪金屬工業株式會社取締役社長 山田 晃

壹千圓 大阪市西區江戸堀南通三ノ二 立野 良藏

壹千圓 大阪市南區豐町通二丁目

大東商店常務取締役 西松 吉太郎

壹千圓 大阪市西區靱北通二ノ三三

由良商會 由良 逸治

壹千圓 大阪市東區瓦町二丁目

松居商店取締役 松居 房治郎

壹千圓 大阪市北久壽寺町四丁目

嘉門 昭松

壹千圓 大阪市南區安堂寺橋通二ノ五

宮崎 定七郎

貳千圓 大阪市東區南本町二ノ二八

山發商店取締役社長 山本 發次郎

壹千圓 大阪市北區堀川町二九

安田秀吉商店

參千圓 大阪市東區今橋三ノ五

共同信託株式會社取締役社長

菊池 恭三

壹千圓 大阪市東區平野町一ノ三

清水商店

貳千圓 大阪市東區高麗橋五ノ一九

平松商店專務取締役 馬淵 政太郎

壹千圓 大阪市東區高麗橋三ノ一〇

芝川商店常務取締役 鹽田 興兵衛

壹千五百圓 大阪市西區京町堀通一ノ三〇

吉川商店取締役 吉川 豐助

壹千圓 兵庫縣武庫郡大庄村中濱新田字新堀南西ノ切一〇〇

日本亞鉛鐵鋼業株式會社社長 田中 德松

壹千圓 大阪市北區宗是町一

下村汽船株式會社專務取締役 下村 健一

壹千圓 大阪市北區堂島濱通四丁目

上松合資會社代表社員 上松 定

壹千圓 大阪市西區淀川區浦江上二ノ九二

金貨メリヤス株式會社取締役社長 古莊 健治郎

壹千圓 大阪市東區淀川區豐崎西通二ノ三

丸正メリヤス製造所代表社員 伊藤 正

壹千圓 大阪市北區萬歲町一

寺坂メリヤス株式會社取締役社長 寺坂 政治

參千五百圓 大阪市此花區大開町一ノ三九

榎本 角右衛門

貳千圓 大阪市西區成區堀松通一ノ一三

大和川土地合資會社代表社員 濱田 甚兵衛

壹千圓 大阪市西區淀川區海老江下三ノ四七

榎島田硝子製造所取締役社長 島田 一郎

貳千圓 大阪市東區住吉町五二 藤澤屋取締役社長 鳥井 信治郎

壹千圓 大阪市天王寺區茶臼山町一二三 山田 市治郎

貳千圓 大阪市東區備後町三ノ二九 富士洋紙店專務取締役 今村 金三

貳千六百圓 大阪市西區新町南通四ノ三四 森平汽船株式會社取締役社長 森 平藏

壹千圓 大阪市東區道修町二ノ四五 小川 香料店社長 小川 謙一

壹千圓 大阪市東區平野町二ノ一七 伊藤喜商店代表取締役 伊藤 喜十郎

壹千圓 大阪市北區會根崎新地三ノ五三ノ三 豐國火災保險株式會社取締役社長 大谷 順作

壹千圓 大阪市東區南濱町三ノ六 椿本チエイソ製作所 椿本 說三

貳千五百圓 大阪市北區堂島濱通二ノ二 大阪海上火災株式會社

參千圓 大阪市北區宗是町一 攝津商船株式會社
大阪ビル二三七號

壹千圓 大阪市東區北久太郎町 藤野 村 作 商店

參千圓 大阪市東區中川町四ノ六〇 光洋精工株式會社取締役社長 池田 善一郎

壹千圓 大阪市港區石田町二ノ三七 安治川亞鉛鐵工株式會社取締役社長 柳田 久治郎

貳千圓 大阪市港區七條通三ノ二五 帝國製紙株式會社取締役社長 島田 德太郎

壹千圓 大阪市北區會根崎新地三ノ五三ノ一 豐國火災保險株式會社取締役社長 大谷 順作

壹千圓 大阪市東區淀川區南濱町三ノ六 椿本チエイソ製作所 椿本 說三

壹千圓 大阪市西區西道頓堀二丁目 小倉商事株式會社取締役社長 小倉 捨次郎

貳千圓 大阪市西成區潮路通五ノ三 大阪鑄造所 木村鶴吉

貳千五百圓 大阪市西區幸町通二丁目 大家商事株式會社 大家七兵衛

壹千圓 大阪市西區新町南通四ノ一五 松本萬次郎

參千圓 大阪市西區西道頓堀通三ノ三二 天野利三郎

貳千圓 大阪市西區北堀江三番町四 合資會社丸加商店代表社員 村上喜三

壹千圓 兵庫縣武庫郡大庄村中濱新田字中 大阪製鋼株式會社取締役社長 北島安太郎

壹千圓 大阪市東區平野町一ノ五 上野精一

貳千圓 大阪市西區江戶堀北通一ノ二一 原商事株式會社社長 原萬一郎

貳千圓 大阪市住吉區帶塚山中一ノ五四 新田昌次

壹千圓 大阪市東區安土町三ノ一八 井上商事株式會社取締役社長 井上宗一

參千圓 大阪市東區高麗橋二丁目 三越大阪支店支店長 瀨長良直

貳千圓 大阪市浪速區荻原町一二三六 新田長三

貳千圓 大阪市西區江戶堀南通三ノ五 長谷川義郎

壹千五百圓 大阪市西區立賣堀北通二ノ三 山本東作

壹千圓 大阪市東淀川區長柄濱通一ノ五 日本橋梁株式會社專務取締役 武田富吉

壹千五百圓 大阪市北區堂島濱通一ノ一五ノ一 福徳生命保險株式會社取締役社長 川崎甲子男

參千圓 大阪市西區土佐堀通一ノ一 大同生命保險株式會社

壹千圓 大阪市此花區草開町 東京製鐵株式會社代表取締役 高崎達之助

壹千圓 大阪市北區宗是町一 東洋鋼鐵株式會社專務取締役 高崎 達之助

壹千圓 大阪市西區本田町通二丁目八〇 鐵牛田總行專務取締役 牛田 用之助

貳千五百圓 大阪市北區會根崎上二ノ四八 共同火災保險株式會社取締役社長 廣瀬 鐵太郎

貳千圓 大阪市東區平野町二ノ四 鐵北村商店代表社員 北村 傳次郎

壹千圓 大阪市西區西道頓堀二丁目 小倉商事株式會社取締役社長 小倉 捨次郎

參千圓 大阪市西區北堀江通四ノ二三 白洋汽船株式會社取締役社長 溝淵 辨助

壹千圓 大阪市港區九條南通一丁目 田所商事株式會社代表 田所 源七

壹千圓 大阪市港區北境川三ノ一九 阪口 定吉

壹千五百圓 大阪市南區鹽町通二ノ二八 日本砂糖貿易株式會社取締役社長 高津久右衛門

壹千圓 大阪市新町五ノ一一 鐵三宅敝介商店代表社員 三宅 敝介

貳千圓 東京市小石川區原町一二六 男爵 阪谷 芳郎

壹千圓 牛込區二十騎町二七 平尾 贊平

壹千圓 麻布區仲ノ町一六 牧野 元次郎

壹千圓 麹町區土手三番町三八 山口 誠太郎

壹千圓 日本橋區鹽町二ノ二 三共株式會社 鹽原 又策

壹千圓 大森區山王二丁目二六三六 龜田 侯吉

壹千圓 麹町區九段二ノ六 各務 幸一郎

五千圓 麹町區丸ノ内一ノ二 日本鋼管株式會社社長 白石 元治郎

壹千圓、芝區三田功運町一、白石元治郎

壹千圓、日本橋區吳服橋三ノ五、東京製鋼株式會社社長 赤松 龜一

壹千圓、本所區東兩國一ノ二、岡田 菊治郎

五千圓、芝區三田四國町二、日本鉛管製造所社長 男爵 郷 誠之助

壹萬貳千圓、麩町區丸ノ内一ノ一、澁澤同族株式會社社長 子爵 澁澤 敬三

壹萬圓、芝區高輪南町二七、公爵 毛利 元道

五千圓、澁谷區猿樂町三四、公爵 德川 圀順

參千圓、小石川第六天町五四、公爵 德川 慶光

五千圓、豐島區目白町四丁目四一、侯爵 德川 義親

壹千圓、東京市澁谷區原宿三丁目二六六、侯爵 池田 仲博

壹萬圓、品川區五反田六ノ二三四、公爵 島津 忠重

參拾萬圓、麩町區丸ノ内二ノ四、株式會社 三 菱 社

參拾萬圓、日本橋區室町二ノ一、三井合名會社社長 男爵 三井 高公

壹千圓、芝區白金三光町五二〇、侯爵 伊達 宗彰

貳萬圓、澁谷區代々木山谷町二〇八、侯爵 山内 豊貴

壹千圓、下谷區谷中清水町一、子爵 大河内 正敏

壹萬圓、豐島區駒込四ノ一五、伯爵 松平 頼壽

壹萬圓、澁谷區松壽町二六、侯爵 鍋島 直映

壹萬圓 東京市小石川區高田老松町七六

侯爵 細川 護立

壹千圓 四谷區尾張町七

男爵 佐藤 達次郎

壹千圓 牛込區市夕谷仲之町四一

八木 逸郎

貳萬圓 日本橋區本石町一ノ六

橫濱正金銀行

參千圓 京橋區木挽町八ノ二ノ二

株式會社 十五銀行

貳萬圓 總町區丸ノ内三ノ四

日本石油株式會社

五萬圓 小石川區小石川町一

日本發達株式會社

五萬圓 芝區田村町一ノ一ノ二

東京電燈株式會社

貳千圓 本所區業平町一ノ二

大日本機械工業株式會社

壹千圓 東京市牛込區矢來町一

伯爵 酒井 忠博

貳千圓 蒲田區谷町四丁目一六三二 大華工具株式會社

壹萬圓 日本橋區通一丁目一 第一百銀行

貳千圓 總町區丸ノ内三ノ二 東洋藥煙株式會社

參千圓 日本橋區本町二ノ九 小西新兵衛商店

參千圓 芝區宮本町三四 不動貯金銀行

壹萬圓 日本橋區通二ノ一大同生命館日本百貨店組合

壹萬圓 目黒區駒場町八六一 侯爵 前田 利爲

五千圓 足立區千住條町一六ノ一 日本皮革株式會社

貳萬圓 東京市京橋區京橋二ノ二ノ一 千代田生命保險相互會社社長 今井利喜三郎

壹千圓 浦田區南六郷二ノ三五 特殊製鋼株式會社

總町區丸ノ内二ノ二ノ一 日魯漁業株式會社

貳萬圓 太平洋漁業株式會社

北海道小樽市北濱町三ノ六 北海製鐵倉庫株式會社

壹千圓 小石川區林町九二 從四位 伯爵 德川宗敬

參萬圓 總町區丸ノ内一ノ六 東邦電力株式會社社長 松永安左衛門

貳萬圓 總町區丸ノ内一ノ一 第一銀行頭取 明石照男

五千圓 日本橋區本町一ノ一六 日本橋本商店取締役會長 本定一郎

壹千圓 東京市小石川區久堅町百八 日本書齋株式會社取締役社長 大橋光吉

壹千圓 總町區一番町三二 男爵 山本達雄

壹萬圓 東橋區銀座西三ノ三 第一徵兵保險株式會社取締役社長 太田新吉

參千圓 總町區大手町二ノ二 日清生命保險會社取締役社長 吉田秀人

壹千圓 芝區高輪南町六〇 正四位 侯爵 池田宣政

壹萬五千圓 京橋區銀座四ノ三ノ二 大日本電力株式會社

壹千圓 北海道合同電氣株式會社

壹萬圓 澁谷區千駄ヶ谷一ノ三三〇 公爵 德川家達

五萬圓 赤坂區青山南町六ノ二二五 根津合名會社代表社員 根津嘉一郎

參萬圓、
富國徵兵相互會社社長
根津嘉一郎

壹萬圓、
東武鐵道株式會社社長
根津嘉一郎

五千圓、
東京地下鐵道株式會社社長
根津嘉一郎

貳千圓、
太平生命保險株式會社社長
根津嘉一郎

壹千圓、
澁谷區南平台三八
小林中

壹千圓、
淀橋區西大久保二ノ二八七
河西豊太郎

拾萬圓、
澁町區丸ノ内二ノ二〇
日本製鐵株式會社社長
中松眞郷

壹萬五千圓、
赤坂區青山南町六ノ六一
望月軍四郎

壹千圓、
澁谷區代々木本町七八八
井上篤四郎

五千圓、
東京市京橋區銀座三ノ三ノ四
日本理化工業株式會社取締役社長
子爵高橋是賢

貳千圓、
豊島區西巢鴨三ノ九五六
王子電氣軌道株式會社取締役社長
本間利雄

參萬圓、
澁町區丸ノ内一ノ六一
東京瓦斯株式會社

貳萬圓、
日本橋區兜町一ノ六
東京株式取引所取引員組合

壹萬圓、
澁町區丸ノ内二ノ六
旭硝子株式會社取締役社長
大野政吉

壹千圓、
澁谷區鉢山町一〇
公爵岩倉具榮

壹千圓、
日本橋區吳服橋二ノ三
澁守谷商會事務取締役
守谷正毅

貳千圓、
品川區東大崎二ノ三四九
合名會社宇都宮製作所代表
宇都宮徳太郎

壹千圓、
麻布區永坂町六一
結城豊太郎

貳千圓、
品川區大井餘ヶ森町二四八〇
男爵赤松範一

貳千圓 東京市日本橋區龜町三ノ三三二 豐昭和銀行頭取 大塚 伸次郎

貳千圓 澁谷區向山町一 大久保利賢

貳千圓 大森區新井宿二ノ一七二 山口 佐助

貳千圓 大森區山王一ノ二六三六 龜田 鏡吉

壹千圓 日本橋區大傳馬町二ノ二二 堀 越 勘 治

壹萬圓 龜町區丸ノ内二ノ二〇ノ一 日本通運株式會社社長 國 澤 新兵衛

壹萬圓 龜町區有樂町一ノ三三三 愛國生命保險會社取締役社長 原 邦 造

五萬圓 日本橋區堀留町二ノ三 藤市田商店代表社員 市 田 彌三郎

四萬圓 日本橋區本石町二ノ二 日 本 銀 行

壹千圓 東京市墨田區上馬場八ノ六六五 田 中 松 彦

七千圓 芝區白金今里町一四 藤 山 愛一郎

貳千圓 江戸川區平井四ノ二〇三四 島 山 隆 平

貳千圓 荒川區南千住町一ノ七五 福 岡 秀 而

參千圓 赤坂區青山南町六ノ一一六 菊 本 貞次郎

參千圓 小石川區關口臺町五五 從六位 安 川 雄之助

壹千圓 日本橋區箱崎町三ノ六 荒 木 榮次郎

壹萬圓 京橋區銀座四ノ三ノ一 高砂企業株式會社社長 原 邦 造

壹千圓 日本橋區通二ノ二 正八位 藤原少尉 柳 田 諒 三

壹千圓 澁谷區鉢山二四 高 水 能 雄

壹千圓 赤坂區青山高樹町一二 勳四等 岩 田 宙 道

壹千圓 品川區五反田五ノ六〇 齋 藤 茂一郎

壹千圓	東京市澁谷區代々木初臺町六三三ノ三	齋藤恒一
壹千圓	中野區昭和田二ノ三一	小西安次郎
壹千圓	麻布區材木町五九	伊丹二郎
五千圓	品川區大井南濱川町一八六五	小林久吉商店
壹千圓	半込區加賀町二ノ三三	小林正代
參千圓	日本橋區大傳馬町三ノ八	村上正輔
壹千圓	葛飾區銀座西五ノ五	峯島合資會社代理社員 峯島茂兵衛
貳千圓	日本橋區本町四ノ一四	五十嵐竹次郎
貳千圓	芝區御風子町五二	曾田政治
壹千圓	大森區新井宿二ノ一七四二	相馬半治
壹千圓	下谷區板本二ノ一六	増田源次郎
貳千圓	日本橋區室町二ノ八	秋元源彌
壹千圓	赤坂區水川町五一	高津伊兵衛
		小西長治郎

壹千圓	東京市東橋區京橋二ノ一	岡田吉次郎
壹千圓	麻布區本村町二二五	正七位 松田貞治郎
壹千圓	麻布區材木町三六	正六位勳四等 內藤久寛
壹千圓	東橋區新川二ノ六	細山太七
五千圓	麹町區飯田町一ノ二五ノ一	小野耕一
壹千圓	大塚區久ヶ原町九二〇	菅野弘
壹千圓	麹町區丸ノ内二ノ二	日本車輛製造株式會社 東京支店內 三瓶勇佐
壹千圓	牛込區納戸町三七	從七位 船田一雄
壹千圓	墨谷區向山町一〇	山室宗文
壹千五百圓	麻布區霞町三	從七位勳五等 藤田四郎
壹千圓	日本橋區吳服橋三ノ五	角榮一
壹千圓	中野區千代田町四六	從七位勳六等 有嶋健助

壹千圓	東京市豊島區西巢鴨二ノ二五七〇	正七位	三好重道
壹千圓	牛込區市ヶ谷仲ノ町五七	三浦嘉一	明石照男
壹千圓	麻布區本村區二二五	白石同族合資會社代表社員	由石元次郎
貳千圓	小石川區若葉町六六	守谷定吉	從六位
貳千圓	芝區三田功進町一	牧野元次郎	豐年製油株式會社 取締役社長 杉山金太郎
壹千圓	神田區富山町二	松永安左衛門	
壹千圓	麻布區仲ノ町一六		
壹千圓	麹町區丸ノ内二ノ六		
五千圓	澁橋區下落會一ノ三六七		

壹千圓	愛知縣名古屋市西區御幸一町通四ノ九	瀧	信四郎
壹千圓	福岡縣久留米市櫛原町七〇	石橋	正二郎
壹千圓	岡山縣淺口郡金光町	金光	攝胤
壹千圓	新潟縣北蒲原郡金塚村大字金塚	白勢	正衛
壹千圓	兵庫縣武庫郡住吉村池床一五三 六ノ三	伊藤	萬治郎
叁千圓	神戸市林田明和通二ノ一	阪東鋼帶鐵鋼株式會社社長 榎並	充造

貳千圓 京都府何應郡綾部町字青野六二番戸

那是製糸株式會社取締役社長 波多野 林 一

壹萬圓 京都市上京區新町通今出川上ル 東入近衛殿表町一五九ノ一

日本電池株式會社取締役社長 島津源 藏

壹千圓 京都市東洞院通高辻上ル

齋藤 儀助

壹千圓 京都市左京區吉田下阿邊町

京都織物株式會社常務取締役 突戸 二郎

壹千圓 京都府乙訓郡向日町大字寺戸小學 條理式一八

鑄井 上 電 機 製 作 所

參千圓 神戸市林田區菅原通五ノ二

内外護謨合資會社代表社員 榎 並 充 造

五三一

五



内翰案

拜啓 紀元節の祭典を前に何か

御繁忙の御事少奉存候

陳者参列者招待名簿追加の分別紙

の通に有之候間延引致し洵に恐縮の
次第には候得共何卒宜敷御願申
上候

先以右御依頼迄如斯御座候

敬具

昭和拾五年壹月 日

内閣紀元二千六百年祝典事務局

杉山書記官

大官幣
社檀原神宮
長尾彌宜宛

紀元二千六百年奉祝會へ金壹千圓（有功會員）
以上寄附者追加ノ分

一四三

内
閣

以上各團各派員入會
第五十二人自平谷縣會入會者予賜(自出會員)

- 壹千圓 東京市芝區三田綱町九 侯爵 蜂須賀 正代
- 參千圓 本郷區向岡彌生町三 淺野 長之
- 壹千圓 澁谷區千駄谷一ノ五六三 侯爵 松平 康昌
- 壹千圓 芝區三田小山二七 從四位勳四等 男爵 伊藤 文吉
- 壹千圓 本郷區西片町一〇 正四位 伯爵 阿部 正直
- 壹千圓 牛込區納戸町二六 斯波 孝四郎
- 壹萬圓 實町二ノ一ノ一 蘇清水組取締役社長 清水 釘吉
- 參千圓 麻布區北日夕線町四六 馬 越 恭一
- 五萬圓 麹町區丸ノ内二ノ二〇ノ一 日本郵船株式會社

壹千圓、品川區上大崎四ノ二七五

大谷登

壹千五百圓、岡山縣倉敷市新川町一〇〇三

大原孫三郎

壹千圓、淺口郡金光町

金光園開

壹千圓、兒島郡日比町

藤玉造船所代表者 編飼宗平

壹千圓、倉敷市元町四九七ノ四

倉敷紡績株式會社代表者 神柳吉

壹千圓、北海道小樽市色内町六ノ二九

板谷宮吉

壹千五百圓、夕張郡夕張町字鹿ノ谷

北海道炭礦汽船株式會社夕張支店長 取締古谷金一郎

壹萬圓、廣島市小町

廣島電氣株式會社

四千圓、市紙屋町

株式會社 藝備銀行

參千圓、市千田町三丁目

廣島瓦斯電軌株式會社

壹千五百圓 廣島縣安藝郡府中町

東洋工業株式會社

壹千圓 廣島市千田町

帝國人造絹糸株式會社

壹千圓 全

第二帝國人造絹糸株式會社

壹千圓 廣島市銀山町

廣島株式取引所

壹千圓 廣島市宇品町

錦華人絹株式會社

壹千圓 研屋町

株式會社立石商店

壹千圓 宇品町

廣島臨港土地株式會社

參千圓 仁保町

日本製鋼所廣島製作所

壹千圓 安藝郡府中町

麒麟麥酒株式會社廣島工場

壹千圓 廣島市佐伯郡小方村

新興人絹株式會社大竹工場

壹千圓 安佐郡中原村

瀨良商工株式會社

壹千圓 尾道市樂屋町

橫濱帆布株式會社尾道工場

參千圓 御調郡土生町

株式會社大阪鐵工所

壹千圓 廣島市上流川町

松田重次郎

壹千圓 京橋町

島本幸助

壹千五百圓 吳市中通一丁目

松本勝太郎

壹千圓 岩方通一丁目

增岡登作

壹千圓 胡町

澤原俊雄

壹千五百圓 吳市宮原通八丁目

水野甚次郎

壹千圓 本通一丁目

水野超倫

壹千圓 本通一四丁目

三宅清兵衛

壹千圓 福山市鍛冶屋町

安部和助

壹千圓 深津町

藤井與一右衛門

壹千圓 西町

備後藍耕株式會社

壹千五百圓 廣島縣御調郡同島東村

同島船渠株式會社

壹千圓 廣島市元字品町

株式會社 宇品造船所

壹千圓 京都市中京區東洞院御池上

熊谷直之

五千圓 福岡市下新川端町一八

株式會社十七銀行頭取 安田善五郎

壹萬圓 福岡縣嘉穂郡幸袋町大字幸袋三〇伊藤合名會社社長 伊藤傳右衛門

五千圓 小倉市京町三五〇ノ二

九州電氣軌道株式會社社長 村上巧兒

壹萬圓 福岡市飯塚寺町一二

中島鐵業株式會社社長 中島德松

壹萬圓 門司市西本町

出光佐三

貳萬五千圓 下關市宇唐戸町第二番

貝島炭礦株式會社社長 貝島太市

壹萬圓 福岡縣筑那郡珂村大字麥野二五四段 渡邊鐵工所社長

渡邊福雄

壹萬圓 福岡市大字庄三五

九州水力電氣株式會社社長 木村平右衛門

壹千圓 小倉市鍛冶町一〇八 磯内次郎兵衛

壹萬圓 飯塚市立岩一九〇〇 株式會社麻生商店社長 麻生 太賀吉

五千圓 福岡縣田川郡後藤寺町大字弓削 明二八〇三 藤業セメント鐵道株式會社社長 藤生 太賀吉

貳萬五千圓 戶畑市戶畑二〇四 明治鐵業株式會社外五會社代表 松本 幹一郎

貳萬圓 久留米市洗町一 日本ゴム株式會社ブリジントンタ イヤ株式會社社長 石橋 正二郎

五千圓 久留米市兩替町三一 大藏 守治

壹萬圓 直方市直方一〇七一 野上東亞鐵業所社長 野上 辰之助

壹萬圓 福岡縣嘉穂郡大隈町大字牛隈 久恒製藥株式會社社長 久恒 貞雄

五千圓 福岡縣粕屋郡香椎村濱男六八二ノ地多興鐵道汽船株式會社社長 岸田 恒太郎

壹萬圓 小倉市許斐町一 小倉製鋼株式會社社長 末兼 要

貳千圓 小倉市後崎四五八 東洋陶器株式會社社長 西木 三郎

壹萬圓 福岡市天神町五五 荒津商店 荒津 長七

壹千八百拾四圓 德島縣德島市 德島市代表者市長 工藤 隆治

壹萬圓 京都電燈株式會社社長 田中 博

壹千圓 京都市室町通二條南入 矢代 仁兵衛

壹千圓 京都市烏丸通三條上ル 大庭 清治

壹千圓 京都ステーションホテル社長 竹上 勝次郎

壹千圓 京都市五辻通大宮西入

細井 恒次郎

壹千圓 京都市四條通堺町東入

土橋 嘉兵衛

壹千圓 京都市綾小路通東洞院西入

白崎 榮次郎

壹千圓 京都市大宮通今出川上

山田 茂助

壹千圓 京都市六角通室町西美濃利商店

井上 利助

壹千圓 京都市下京區新屋敷場屋町三三

中川 徳右衛門

壹千圓 京都市商工會議所會頭

田中 博

貳千圓 京都市室町通四條下

安藤 榮藏

貳千圓 京都市大宮通上立賣上ル

長谷川 市藏

壹千圓 京都市鋪小路烏丸東入

瀧野 徳右衛門

貳千圓 山形縣酒田市本町

本間 光正

壹千參拾八圓 群馬縣桐生市長

關口 義麿二

壹千六百八圓 群馬縣高崎市長

久保田 宗太郎

五千圓 神戸市神戸區伊藤町一一九

總兼 松商店

壹千圓 武庫郡住吉村字畔倉一〇七三

永和 合資會社

貳千圓 兵庫縣川邊郡伊丹町

磯伊丹 製絨所

五千圓 神戸市灘合區鴨濱町二ノ九二

設桑 原商店

貳萬圓 神戸市神戸區京町八〇

磯岡 崎本店

壹萬圓 武庫郡御影町御影字上東七九七

嘉納 合名會社

壹萬圓 西宮市石在町一五

八馬汽船株式會社

五千圓 神戸市神戸區海岸通二ノ二六

東和汽船株式會社

壹千圓 姫路市材木町三五

今井 茂次

壹萬圓 姫路市北條口一一〇

牛尾 健治

參千圓 堺市遊里小野町一ノ二五

大和川染工所取締役社長 柳原 豊三郎

壹千圓 大阪市東區道修町二ノ二一

丸善藥店取締役社長 柳原 三郎

壹千圓 西區川口町三五

岡田組取締役社長 岡田 勢一

壹千圓 東區南本町四ノ二四

吉比商店取締役社長 吉比 爲之助

五千圓 北區中之島二ノ二五

帝國人造絹糸株式會社取締役社長 久村 清太

壹千圓 北區中之島七ノ九

池田商事株式會社取締役 池田 保

壹萬貳千圓 府下北河内郡門真

松下電氣產業株式會社社長 松下 幸之助

壹千圓 大阪市浪速區元町五ノ三六七

覺道次良左衛門

壹萬圓 住吉區住吉町三三

合資會社太田 製油場

貳千圓 大阪市西區土佐堀通二丁目 山文石油株式會社

貳千五百圓 東區本町一丁目 藤井善治郎

參千圓 南區日本橋筋三丁目 株式會社 松坂 巖

壹千圓 東成區中濱町三五八 山口英一

壹千圓 朝鮮京城府南大門通三ノ一〇 朝鮮銀行總發 松原純一

壹千圓 木浦府大和町 麻生定男

壹千圓 全羅南道高興郡高興面玉下里 金相亨

參萬圓 樺太廣豐原市樺太廳內 紀元二千六百年樺太奉祝會會長樺太一

貳千圓 南洋群島バラオ 南洋拓殖株式會社社長 男爵 深尾隆太郎

貳千圓 南洋群島サイパン 南洋興發株式會社社長 松江春次

壹千圓 南洋群島バラオ 南洋貿易株式會社社長 郷 隆

壹千圓 朝鮮京城府本町二丁目 朝鮮平商會

貳萬五千圓 臺灣臺南市大正町二ノ二三 日本糖業聯合會臺灣支部代表 永井清次

壹千圓 高雄州東港郡萬丹庄新庄子二九六 張山鍾

豊 十 四 高 嶽 院 東 漸 滯 萬 計 出 海 舟 廿 二 武 六

加 萬 計 十 四 參 拜 奉 南 市 大 五 卅 二 八 二 三

加 十 四 加 萬 計 十 四 參 拜 奉 南 市 大 五 卅 二 八 二 三

加 十 四 加 萬 計 十 四 參 拜 奉 南 市 大 五 卅 二 八 二 三

加 十 四 加 萬 計 十 四 參 拜 奉 南 市 大 五 卅 二 八 二 三

加 十 四 加 萬 計 十 四 參 拜 奉 南 市 大 五 卅 二 八 二 三

加 十 四 加 萬 計 十 四 參 拜 奉 南 市 大 五 卅 二 八 二 三

加 十 四 加 萬 計 十 四 參 拜 奉 南 市 大 五 卅 二 八 二 三

加 十 四 加 萬 計 十 四 參 拜 奉 南 市 大 五 卅 二 八 二 三

加 十 四 加 萬 計 十 四 參 拜 奉 南 市 大 五 卅 二 八 二 三

加 十 四 加 萬 計 十 四 參 拜 奉 南 市 大 五 卅 二 八 二 三

加 十 四 加 萬 計 十 四 參 拜 奉 南 市 大 五 卅 二 八 二 三

日本佛業聯合會參拜支滯升奏
本 共 山 齋 夫 鏡

加 十 四 加 萬 計 十 四 參 拜 奉 南 市 大 五 卅 二 八 二 三

加 十 四 加 萬 計 十 四 參 拜 奉 南 市 大 五 卅 二 八 二 三

加 十 四 加 萬 計 十 四 參 拜 奉 南 市 大 五 卅 二 八 二 三

加 十 四 加 萬 計 十 四 參 拜 奉 南 市 大 五 卅 二 八 二 三

加 十 四 加 萬 計 十 四 參 拜 奉 南 市 大 五 卅 二 八 二 三

加 十 四 加 萬 計 十 四 參 拜 奉 南 市 大 五 卅 二 八 二 三

加 十 四 加 萬 計 十 四 參 拜 奉 南 市 大 五 卅 二 八 二 三

加 十 四 加 萬 計 十 四 參 拜 奉 南 市 大 五 卅 二 八 二 三

加 十 四 加 萬 計 十 四 參 拜 奉 南 市 大 五 卅 二 八 二 三

加 十 四 加 萬 計 十 四 參 拜 奉 南 市 大 五 卅 二 八 二 三

加 十 四 加 萬 計 十 四 參 拜 奉 南 市 大 五 卅 二 八 二 三

拜啓 紀元節の祭典を前に何かと御繁忙の御事と奉存候
陳者参列者招待名簿追加の分別紙の通に有之候間延引致し洵に
恐縮の次第には候得共何卒宜敷御願申上候
先は右御依頼迄如斯御座候
敬 具

昭和十五年一月二十二日

内閣紀元二千六百年祝典事務局

杉 山 書 記 官

官幣大社 橿原神宮

長 尾 彌 宜 殿

五三一

五三一

書記官

内翰案

拜啓 陳者昨日紀元節祭典参列者

追加名簿送付致置候処本日愛知縣

より別紙の者に付報告有之候間乍御



迷惑何卒宜敷御願申上候
先者右御依頼迄如斯御座候

敬具

昭和拾五年壹月 日

内閣紀元二千六百年祝典事務局
杉山書記官

大官幣
社檀原神宮
長尾彌宜宛

紀元二千六百年奉祝會へ金壹千圓（有功會員）
以上寄附者追加ノ分ニ

壹萬圓	熱田區池内町	合資會社鈴木石炭商店代表社員 鈴木 樹次郎
壹萬圓	東區白壁町	豐田 利三郎
壹萬圓	熱田區七本松町	名古屋鐵道株式會社社長 藍川 清成
壹萬圓	中區蛸子町	岡谷 惣助
壹萬圓	熱田區御器所町	東邦瓦斯株式會社社長 都留 信郎
壹萬圓	西區下長者町	合資會社遠山商店代表社員 遠山 靜一
壹萬圓	西區島田町	聯山一商店社長 豐島 半七
壹萬圓	中區南大津通	聯松坂屋社長 伊藤次郎左衛門
壹萬圓	名古屋市熱田區千年船方	愛知時計電機株式會社社長 青木 謙太郎

...

壹萬圓 昭和區東郊通り 岡本工業株式會社 岡本松造

五千圓 港區龍宮町 大同製鋼株式會社社長 下出義雄

五千圓 西區木挽町 鈴木一郎

五千圓 昭和區川名山町 神野金之助

參千圓 西區辻町日進 大隈鐵工所社長 大隈榮一

參千圓 東區白壁町 近藤洋二

參千圓 西區御幸本町通 瀧兵商店社長 瀧兵右衛門

貳千圓 東區宮町 服部商店社長 三輪常次郎

貳千圓 西區堀詰町 關戶殖産合名會社代表社員 關戶有彦

貳千圓 名古屋市東區葵町 富田重助

同 外新川町 昭和重工業株式會社豐田式織機株式會社代表社員 兼松熙

同 熱田區熱田東町 日本車輛製造株式會社社長 三瓶勇佐

同 西區御幸本町通 瀧定合名會社代表社員 瀧定助

同 中區鐵砲町 中村合資會社代表社員 中村貫之助

同 中區岩井通り ワシノ製機株式會社社長 鷺野卯八

壹千圓 西區木挽町 加藤商會社長 加藤勝太郎

壹千圓 熱田區熱田新田二三 帝國鑿岩製作所社長 伊藤金太郎

京都府知事 山本 正一

昭和二十六年六月二十三日

訓令 第五号 一八二二号

京都府知事 山本 正一

府令 第五号

京都府知事 山本 正一

五一五

五一五



内翰案

拜啓時下愈々御清祥の段奉慶賀

陳者紀元節祭典参列資格者として更に候

別紙の者是非御加被成下度洵に恐縮

仁以存候得共何卒宜敷御願申上候

先以右御依頼迄如斯御座候

敬具

昭和拾五年壹月五日

内閣紀元三十一日金祝典事務局

榎本米一

大官幣
社幣
檀原神宮
長尾福宜宛

壹千圓 東京市赤坂區福吉町一

侯爵 黒田長禮

壹千圓 東京市赤坂區副都立吉田一

岩手縣 黒田 貞

紀念券 三二號

昭和十五年一月二十三日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

内閣總理大臣 米内光政 殿

地方副支部長囑託ノ件

本日本會副支部長左記ノ通囑託致候ニ付此段及報告候

記

岩手縣總務部長

小田光伴

紀元二千六百年奉祝會岩手縣副支部長ヲ囑託ス

山口縣總務部長

加藤初夫

15.1.25 第41號

山口縣學務部長

廣岡謙二

紀元二千六百年奉祝會山口縣副支部長ヲ囑託ス

奉祝會券 八四號

昭和十五年一月二十三日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵近衛文麿



内閣總理大臣 米内光政 殿

地方支部長囑託竝ニ解囑ノ件

本日本會地方支部長左記ノ通囑託竝ニ解囑致候ニ付此段及報告候

記

山梨縣知事

安岡正光

紀元二千六百年奉祝會山梨縣支部長ヲ囑託ス

石川縣知事

土居章平

15.1.25 第43號

紀元二千六百年奉祝會石川縣支部長ヲ囑託ス

元石川縣知事 成田一郎

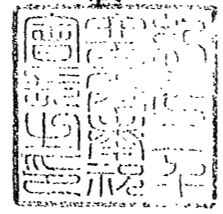
紀元二千六百年奉祝會石川縣支部長ノ囑託ヲ解ク

二九

八五

昭和十五年一月二十三日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵近衛文麿



内閣總理大臣 米内光政 殿

職員囑託竝ニ解囑ノ件

本日附本會職員左ノ通囑託竝ニ解囑致候ニ付此段及報告候

記

山 中 信 一

紀元二千六百年奉祝會書記ノ囑託ヲ解ク

15.1.25 第44號

山中信一

紀元二千六百年奉祝會會務ヲ囑託ス

平井平治

紀元二千六百年奉祝會書記ヲ囑託ス

内閣總理大臣

第六〇號

昭和十五年一月十九日

紀元二千六百年奉祝會會長 公爵 近衛文麿

内閣總理大臣 米内光政 殿

地方支部長囑託竝ニ解囑ノ件

本日本會地方支部長左記ノ通囑託竝ニ解囑致候ニ付此段及報告候
記

高知縣知事

小山知一

紀元二千六百年奉祝會高知縣支部長ヲ囑託ス



元高知縣知事

中野善教

紀元二千六百年奉祝會高知縣支部長ノ囑託ヲ解ク

内閣總理大臣
奉祝會第六一號

昭和十五年一月十九日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵近衛文麿

供覽 内閣總理大臣 米内光政 殿

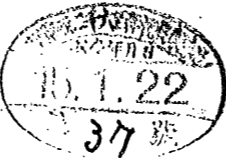
職員採用ノ件

本日本會職員左ノ通採用致候ニ付此段及報告候

記

向井長民

紀元二千六百年奉祝會事務ヲ囑託ス



紀元二千六百年奉祝會理事囑託ヲ解ク

向 玉 貞 貞

本日本會職員式、並斜田遊舞ニ付此對又贈答謝

職員 澤田 八 骨

内閣總理大臣 米 内 光 政 殿

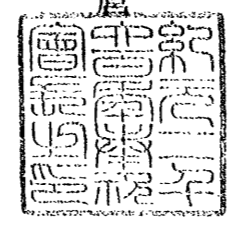
紀元二千六百年奉祝會社長 公爵 近 衛 文 麿

昭和十五年一月二十五日

紀元二千六百年奉祝會 八九號

昭和十五年一月二十五日

紀元二千六百年奉祝會社長 公爵 近 衛 文 麿



内閣總理大臣 米 内 光 政 殿

本會役員左ノ通解囑相成候條此段及報告候

記

紀元二千六百年奉祝會理事囑託ヲ解ク

藤 原 銀 次 郎

貴族院議員

伯 爵 兒

玉

秀

雄

紀元二千六百年奉祝會評議員囑託ヲ解ク



紀元二千六百十年奉願會職員調任書

前 原 正 次 郎

紀元二千六百十年奉願會職員調任書

後 原 正 次 郎

出

本會對日式、並願會職員調任書

內閣縣廳大臣 米 內 光 政 理

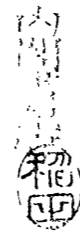
紀元二千六百十年奉願會社 公 爵 武 藏 文 相

即 曆 十 五 年 一 月 二 十 五 日



四二 五三一 五 十五一 三二七

了



紀元二千六百十年奉願會職員選任認可指令案

紀元二千六百十年奉願會長公爵近衛文磨

昭和十五年一月二十三日附第八三號申請

役員選任，件認可

昭和十五年

月

日

内閣總理大臣

二七

紀念第八三

昭和十五年一月二十三日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵近衛文麿

内閣總理大臣 米内光政 殿

役員選任ノ件認可申請

本會役員左記ノ通選任致度候條御認可相成度此段及申請候也

記

文 部 次 官

赤 間 信 義

紀元二千六百年奉祝會理事ヲ囑託ス

15.1.25
第42號



司法次官

三宅正太郎

紀元二千六百年奉祝會常議員ヲ囑託ス

警視總監

安倍源基

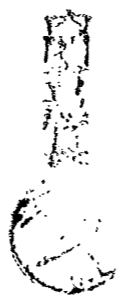
山梨縣知事

安岡正光

紀元二千六百年奉祝會評議員ヲ囑託ス

三八 十五一三三

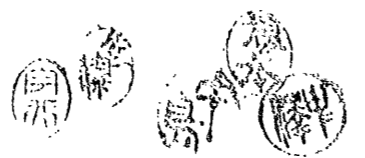
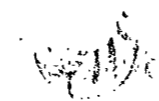
了



會計課長

書記官

書記官



紀元二千六百年奉祝會長ヨリ別紙昭和十

四年十二月分收入支出計算書提出越ニ

付査閲セシ處異狀無之

右供高覽

内閣府
第三四号
紀元二千六百年奉祝會
第七九号

昭和十五年一月二十三日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵近衛文麿

内閣總理大臣 米内光政 殿



紀元二千六百年奉祝會
15.1.24
第38號

收入支出計算書提出ノ件

昭和十四年十二月分收入支出計算書別紙ノ通及提出候也

收支一覽表

昭和 年 月 分

收		入		支		出		現在高
前月迄累計	本 月 分	計	前月迄累計	本 月 分	計	計		

(Handwritten numerical entries in the table above)

備考

現在高内譯

銀行預金總額	振替貯金	國債證券	現	金	合	計
--------	------	------	---	---	---	---

備考
 1 銀行預金總額ノ明細下記ノ通り
 2 國債證券ハ...

銀行預金明細

銀 行 名	定 期	通 知	特 別 當 座	當 座	計
三 井 銀 行					
三 菱 銀 行					
安 田 銀 行					
住 友 銀 行					
第 一 銀 行					
橫濱正金銀行東京支店					
朝鮮銀行東京支店					
臺灣銀行東京支店					
第 百 銀 行					
三 和 銀 行					

計 (Handwritten total for the table above)

收支一覽表

昭和 年 月 分

收		入		支		出		現在高
前月迄累計	本月分	計	前月迄累計	本月分	計	計	計	計

備考

現在高内譯

銀行預金總額	振替貯金	國債證券	現金	合計
--------	------	------	----	----

備考

- 1 銀行預金總額ノ明細下記ノ通り
- 2 國債證券ハ

銀行預金明細

銀行名	定期	通知	特別當座	當座	計
三井銀行					
三菱銀行					
安田銀行					
住友銀行					
第一銀行					
橫濱正金銀行東京支店					
朝鮮銀行東京支店					
臺灣銀行東京支店					
第百銀行					
三和銀行					

計

支出計算書

昭和 年 月 分

科 目	豫 算 額	支 出 額			豫 算 残 額	備 考
		前月迄累計	本 月 分	計		
事務費	17,000.00	15,243.10	13,211.30	2,500.73	1,139.27	
会議費	1,000.00	0	412.00	412.00	113.00	
給與費	1,000.00	0	412.00	412.00	763.00	
給付金	1,000.00	1,500.00	2,291.00	2,115.11	12,239.99	
給付金	1,000.00	1,500.00	3,000.00	2,435.11	1,711.11	
給付金	2,000.00	0	0	0	2,000.00	
給付金	1,000.00	0	0	0	1,000.00	
給付金	3,000.00	2,000.00	2,074.00	1,924.00	1,219.00	
給付金	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	0	
給付金	2,000.00	4,117.90	4,227.00	4,445.00	1,455.00	
給付金	1,000.00	4,117.90	4,227.00	4,445.00	1,455.00	
給付金	4,400.00	1,975.90	2,322.10	1,937.90	2,462.22	
給付金	500.00	1,066.70	100.00	1,076.70	372.32	
給付金	1,500.00	2,245.50	497.00	2,227.50	719.75	
給付金	1,200.00	4,137.40	3,046.00	4,449.00	435.30	
給付金	1,200.00	1,724.00	1,507.50	1,331.50	311.75	
給付金	1,000.00	2,307.40	1,462.00	1,979.11	517.79	
給付金	1,200.00	2,307.40	1,462.20	1,979.11	517.79	
給付金	2,000.00	1,241.11	7.70	1,241.11	1,758.89	
給付金	2,000.00	1,241.11	7.70	1,241.11	1,758.89	
給付金	1,000.00	2,443.30	423.10	2,443.30	1,000.00	
給付金	1,000.00	2,443.30	423.10	411.71	1,635.11	
給付金	1,000.00	2,443.30	423.10	2,443.30	1,000.00	

三ノ
祝會第一一九號

昭和十五年一月二十九日

紀元二千六百年奉祝會長 公傳近衛文麿

内閣總理大臣 米内光政 殿



本會理事左ノ通展動有之候ニ付之カ登記本日完了致候
條此段及御届候

記

昭和十五年一月二十四日理事解囑 藤原銀次郎

昭和十五年一月二十四日 野津總務

東京 大 湘

進出對照圖

本會所奉式、係野津總務、廿五日發呈本日宗了、

内閣庶務大司 米 内 洋 効 効

昭和十五年一月二十六日 奉野津總務會社 公野 進 野 文 總

昭和十五年一月 一日

六四 五二一

五二一

局長

書記

昭和十五年二月一日

局長

内閣官房總務課長宛

別紙、通官報彙報欄雜事、項、掲

載方可然御取計相成度候



(別紙ニ通添付)

◎紀元二千六百年奉祝會記事

紀元二千六百年奉祝會副總裁、顧問及理事
今般左、通異動アリタル旨同會長ヨリ報告
アリタリ(内閣)

副總裁

不 就任

米内光政

只 退任

阿部信行

内閣

二 顧問

不 就 任

阿 部 信 行

伯 爵 兒 玉 秀 雄

木 村 尚 達

松 浦 鎮 次 郎

島 田 俊 雄

藤 原 銀 次 郎

三 理事

不 就 任

米 内 光 政

吉 田 茂

松 野 鶴 平

勝 正 憲

不 就 任

赤 間 信 義

不 就 任

遠 藤 柳 作

大村清一

藤原銀次郎

昭和三十七年

八三號

昭和十五年一月二十七日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵近衛文麿

內閣總理大臣 米內光政 殿

役員解囑ノ件

本會役員左記ノ通解囑相成候條此段及報告候

記

元內閣書記官長

元文部次官

遠藤柳作

大村清一

紀元二千六百年奉祝會理事囑託ヲ解ク

15.1.30
第54號

元法制局長官

唐澤俊樹

元司法次官

岩村通世

紀元二千六百年奉祝會常議員囑託ヲ解ク

元警視總監

池田清

元石川縣知事

成田一郎

紀元二千六百年奉祝會評議員囑託ヲ解ク

内閣經第39号

第一二〇號

昭和十五年一月三十一日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵近衛文麿



内閣總理大臣 米内光政 殿

左ノ本會理事異動本日登記完了致候條此段及御届候

記

昭和十五年一月二十七日理事ニ就任 赤間信義

同日理事退任 遠藤柳作

同日理事退任 大村清一

15.2.-1
62

内閣總理大臣
米内光政
第七十七號

昭和十五年二月一日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵近衛文麿

内閣總理大臣 米内光政 殿

副總裁、顧問異動ノ件

一月二十四日附總裁ヨリ左記ノ通本會副總裁顧問御囑託竝ニ御解囑
相成候ニ付此段及報告候也

記

内閣總理大臣

米内光政

15.2. -
67

紀元二千六百年奉祝會副總裁ヲ囑託ス

元内閣總理大臣

阿部信行

紀元二千六百年奉祝會副總裁囑託ヲ解ク

米内光政

紀元二千六百年奉祝會顧問囑託ヲ解ク

阿部信行

紀元二千六百年奉祝會顧問ヲ囑託ス

田中
七十八

昭和十五年二月一日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿



内閣總理大臣 米内光政 殿

顧問囑託ニ關スル件

一月二十五日附總裁ヨリ左記ノ通本會顧問御囑託相成候條此段及
報告候

記

内務大臣

伯爵 兒玉秀雄

15.2.1
第66

厚生大臣	鐵道大臣	遞信大臣	商工大臣	農林大臣	文部大臣	司法大臣
吉田茂	松野平	勝正憲	藤原銀次郎	島田俊雄	松浦鎮次郎	木村尚達

紀元二千六百年奉祝會顧問ヲ囑託ス

内閣總理大臣 米内光政 殿

一六〇

昭和十五年二月七日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

内閣總理大臣 米内光政 殿

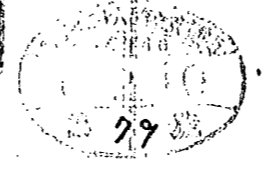
職員囑託ノ件

本會職員左ノ通囑託致候ニ付此段及報告候

記

新屋茂樹

紀元二千六百年奉祝會會務ヲ囑託ス



四
五
一

一
六
一

昭和十五年二月七日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

內閣總理大臣 米內光政 殿

職員囑託ノ件

本會職員左ノ通囑託致候ニ付此段及報告候

記

營繕管財局技師

下元連
萩一郎

1926
2.10
第78



營繕管財局技師

保

岡

豐

營繕管財局事務官

清

水

齊

紀元二千六百年奉祝會會務ヲ囑託ス

營繕管財局技師

敷

山

敏

紀元二千六百年奉祝會書記ヲ囑託ス



昭和十五年二月九日第一七一號申請役員選任ノ件認可ス

紀元二千六百年奉祝會會長公爵近衛文麿

紀元二千六百年奉祝會役員選任認可指令案

了

八一

十五二五

去二十日

十五二五



書記官



昭和十五年二月十四日

内閣總理大臣

内閣
第五五號

一七一

昭和十五年二月九日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

内閣總理大臣 米内光政 殿

役員選任ノ件認可申請

本會役員左ノ通選任致度候條御認可相成度此段及申請候也

記

神奈川縣會議長	高橋長治
茨城縣會議長	鈴木剛次郎
茨城縣農會副會長	大内竹之助
栃木縣總務部長	鈴木省吾

15. 2. 12
第 8 / 號

15. 2.
記務

栃木縣會議長	野澤近太郎
足利織物同業組合	殿岡利助
山梨縣會議長	白須規矩治
福島縣會議長	小松茂藤治
貴族院議員(島根)	田邊長右衛門
下松市長	弘中傳人
小野田セメント製造株式會社社長	狩野宗三
東見初炭鐵株式會社社長	國吉信義
宇部窒素工業株式會社社長	渡邊剛二
山口縣貿易會社社長	林平四郎
山口縣教育會會長貴族院議員	内田重成
貴族院議員(山口)	秋田三一
山口縣會議長	田原清助

紀元二千六百年奉祝會評議員ヲ囑託ス

祝
一
五

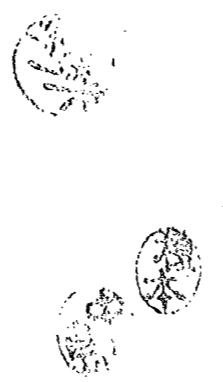
十七 五十二 十五 十五 十五

紀元二千六百年奉祝會役員選任認可檢査案

紀元二千六百年奉祝會會長公爵近衛文麿

昭和十五年二月八日附第ニ〇號申請役員選

任ノ件認可ス



栃木縣會議長	野澤近太郎
足利織物同業組合	殿岡利助
山梨縣會議長	白須規矩治
福島縣會議長	小松茂藤治
貴族院議員(島根)	田邊長右衛門
下松市長	弘中傳人
小野田セメント製造株式會社社長	狩野宗三
東見初炭鑛株式會社社長	岡吉信義
宇部窒素工業株式會社社長	渡邊剛二
山口縣貿易會社社長	林平四郎
山口縣教育會會長貴族院議員	内田重成
貴族院議員(山口)	秋田三一
山口縣會議長	田原清助

紀元二千六百年奉祝會評議員ヲ囑託ス

祝
一
五
二
三

ナ
ナ
五
二
三

十五
二
十五

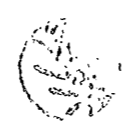
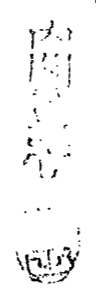
十五
二
十五

紀元二千六百年奉祝會役員選任認可指反案

紀元二千六百年奉祝會會長公爵近衛文麿

昭和十五年二月八日附第ニ〇號申請役員選

任ノ件認可ス



昭和十五年二月十四日

内閣總理大臣

内閣總理大臣
米内光政

昭和十五年二月八日

紀元二千六百年奉祝會長

公爵 近衛文麿

内閣總理大臣 米内光政 殿

役員選任ノ件認可申請

本會役員左記ノ通選任致度候條御認可相成度此段及申請候也
記

長崎縣町村長會長	木下義介
水戸商工會議所會頭	龜山甚
静岡縣會議長	鈴木六郎
山梨縣町村長會長	長坂丈左衛門

15.2.10
第 77

石川縣會議長

金澤商工會議所會頭

鳥取縣會議長

鳥取市長

鳥取縣町村長會長

岡山縣會議長

岡山商工會議所會頭

倉敷商工會議所會頭

廣島市長

防府市長

宇部市長

愛媛縣町村長會長

宮崎縣町村長會長

紀元二千六百年奉祝會評議員ヲ囑託ス

吉國文吉

石黒傳六

黒田藤重

井上光美

木下靜造

大野正夫

榮谷藤十郎

森田尙二

藤田若水

浮田茂太郎

伊藤勸助

原眞十郎

山下兼三

六一号

紀元奉祝會第一五〇號

昭和十五年二月十三日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

供覽

内閣總理大臣 米内光政 殿

地方副支部長囑託ノ件

本日本會副支部長左記ノ通囑託致候ニ付此段及報告候

記

東京府總務部長

宮村才一郎

神奈川縣總務部長

久保田峻

紀元二千六百年奉祝會(東京府神奈川縣)副支部長ヲ囑託ス

15.2.15 83

明治二十六年正月奉祝會書記ノ知照ニ付

中 署 費 謝

本日附本會職員ノ通囑託致候ニ付此段及報告候

書留細細ノ件

内閣總理大臣 米 内 光 政 殿

明治二十六年正月奉祝會書記 公 爵 近 衛 文 麿

昭和十五年二月十三日

奉祝會第一八五號

昭和十五年二月十三日

紀元二千六百年奉祝會長 公 爵 近 衛 文 麿

櫻 覽

内閣總理大臣 米 内 光 政 殿

局長

職員囑託ノ件

本日附本會職員左ノ通囑託致候ニ付此段及報告候

記

中 島 皋 善

紀元二千六百年奉祝會書記ヲ囑託ス

15. 2. 15
PJ

昭和十五年六月廿三日

中 部 署

請

本日開本會職員式、取調詰責類ニ付出對及報告類

無日調詰責ノ旨

内閣縣取入引 才 内 部 員 列

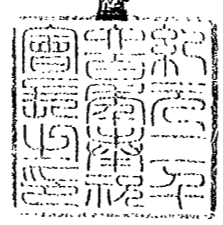
昭和十五年六月廿三日

昭和十五年六月廿三日

内閣縣取入引 才 内 部 員 列

昭和十五年二月十四日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵近衛文麿



内閣總理大臣 米 内 光 政 殿

書記官

評議員異動ノ件

本會評議員左記ノ通解囑相成候條死亡ノ分ヲ併セ此段及報告候

記

元長崎縣町村長會長 岩 井 敬 太 郎

元水戸商工會議所會頭 江 幡 新

元静岡縣會議長 加 藤 七 郎



元山梨縣町村長會長
元石川縣會議長
元金澤商工會議所會頭
元鳥取縣會議長
元鳥取市長
元鳥取縣町村長會長
元岡山縣會議長
元岡山商工會議所會頭
元宮崎縣町村長會長

榎田司朗
谷内星七郎
中島德太郎
景山圭一
楠城嘉一
坂本順藏
土屋源市
山上岩二
津田茂

紀元二千六百年奉祝會評議員囑託手解ク

昭和十四年十月十一日 死亡 評議員 石井熊夫

同 十一月二十日 死亡 同 日野松太郎

紀元二千六百年奉祝會評議員囑託手解ク

昭和十四年十月十一日 死亡 評議員 石井熊夫

同 十一月二十日 死亡 同 日野松太郎

奉祝會 第一一八號

昭和十五年二月二十日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

內閣總理大臣 米內光政 殿

收入支出計算書提出ノ件

昭和十五年度昭和十五年一月分收入支出計算書別紙ノ通及提出候也



15.2.22
97

10.2.22
第96

收		入		支		出		現在高
前月迄累計	本月分	計	前月迄累計	本月分	計	前月迄累計	本月分	計
3,196,402.09	1,264,264.02	4,460,666.11	0	156,140.73	156,140.73	4,304,525.38		

備考

現在高内譯

銀行預金總額	振替貯金	國債證券	現金	合計
4,257,536.26	43,000.99	1,903.00	35.13	4,304,525.38

備考

- 1 銀行預金總額ノ明細下記ノ通り
- 2 國債證券ハ

銀行預金明細

銀行名	定期	通知	特別當座	當座	計
三井銀行	800,000.00		2,713.71		802,713.71
三菱銀行	300,000.00		18,223.67		318,223.67
安田銀行	500,000.00		37,408.24		537,408.24
住友銀行	720,000.00		25,574.67		745,574.67
第一銀行	500,000.00	232,000.00	57,142.85	4,654.50	793,797.35
橫濱正金銀行東京支店	70,000.00		31,403.75		101,403.75
朝鮮銀行東京支店	70,000.00		16,020.00		86,020.00
臺灣銀行東京支店	70,000.00		686.06		70,686.06
第一百銀行	220,000.00		31,207.18		251,207.18
三和銀行	370,000.00		16,872.24		386,872.24
野村銀行	150,000.00		7,627.32		157,627.32

計 3,970,000.00 232,000.00 252,991.76 4,654.50 4,257,536.26

收入計算書

昭和 / 年 / 月分

10.2.22
第96号

科 目	豫 算 額	收 入 額		豫算残額	備 考
		前月迄累計	本 月 分		
	四	四	四	四	
第一款 御下賜金	1,000,000.00	0	1,000,000.00	1,000,000.00	0
御下賜金	1,000,000.00	0	1,000,000.00	1,000,000.00	0
御下賜金	1,000,000.00	0	1,000,000.00	1,000,000.00	0
御下賜金	1,000,000.00	0	0	1,000,000.00	
御下賜金	1,000,000.00	0	0	1,000,000.00	
御下賜金	1,000,000.00	0	0	1,000,000.00	
第二款 附金	5,000,000.00	0	262,702.84	262,702.84	4,737,297.16
附金	5,000,000.00	0	262,702.84	262,702.84	4,737,297.16
附金	5,000,000.00	0	262,702.84	262,702.84	4,737,297.16
第三款 推 入	14,500.00	0	1,561.18	1,561.18	12,938.82
推 入	14,500.00	0	1,561.18	1,561.18	12,938.82
第四款 金 利 子	94,500.00	0	900.00	900.00	93,600.00
金 利 子	94,500.00	0	661.18	661.18	93,838.82
第五款 年度繰越金	3,494,000.00	0	3,114,420.07	3,114,420.07	279,579.93
年度繰越金	3,494,000.00	0	3,114,420.07	3,114,420.07	279,579.93
年度繰越金	3,494,000.00	0	3,114,420.07	3,114,420.07	279,579.93
計	10,574,500.00	0	4,441,111.11	4,441,111.11	6,133,388.89

支出計算書

昭和 〇 年 〇 月 〇 分

19.2.22
第 76 號

(1)

科 目	預 算 額	支 出 額		預 算 残 額	備 考
		前月迄累計	本 月 分		
第一款 本部事務費	91,424.00	0	2,142.04	2,142.04	93,681.96
第一項 第一日 會議費	2,175.00	0	1,375.00	1,375.00	300.00
第二項 第一日 給與費	17,449.00	0	2,396.77	2,396.77	17,209.33
第三項 第一日 給與費	10,224.00	0	140.00	140.00	10,054.00
第四項 第一日 給與費	2,400.00	0	87.67	87.67	2,330.33
第五項 第一日 給與費	1,260.00	0	0	0	1,260.00
第六項 第一日 給與費	562.00	0	0	0	562.00
第七項 第一日 給與費	3,000.00	0	0	0	3,000.00
第八項 第一日 給與費	100.00	0	0	0	100.00
第九項 第一日 給與費	2,500.00	0	0	0	2,500.00
第十項 第一日 給與費	2,500.00	0	0	0	2,500.00
第十一項 第一日 給與費	4,400.00	0	37.82	37.82	4,312.18
第十二項 第一日 給與費	500.00	0	300.00	300.00	497.00
第十三項 第一日 給與費	1,500.00	0	17.20	17.20	1,482.80
第十四項 第一日 給與費	1,200.00	0	45.62	45.62	1,154.38
第十五項 第一日 給與費	1,200.00	0	22.00	22.00	1,178.00
第十六項 第一日 給與費	21,100.00	0	0	0	21,100.00
第十七項 第一日 給與費	18,450.00	0	0	0	18,450.00
第十八項 第一日 給與費	2,650.00	0	0	0	2,650.00
第十九項 第一日 給與費	40,800.00	0	335.51	335.51	40,464.49
第二十項 第一日 給與費	40,800.00	0	335.51	335.51	40,464.49
第二十一項 第一日 給與費	3,000.00	0	204.04	204.04	2,795.96
第二十二項 第一日 給與費	3,000.00	0	204.04	204.04	2,795.96
第二十三項 第一日 給與費	92,000.00	0	4,484.44	4,484.44	87,515.56
第二十四項 第一日 給與費	92,000.00	0	4,484.44	4,484.44	87,515.56
第二十五項 第一日 給與費	92,000.00	0	4,484.44	4,484.44	87,515.56



支出計算書

昭和 年 月 分

(2)

10.2.22
第 76 號

科 目	豫 算 額	支 出 額			豫 算 残 額	備 考
		前月迄累計	本 月 分	計		
第三款						
第一項 官費	5,027,315.00	0	148,914.25	148,914.25	4,878,400.75	
第一目 官費	1,495,000.00	0	100,000.00	100,000.00	1,395,000.00	
第二目 官費	1,495,000.00	0	100,000.00	100,000.00	1,395,000.00	
第二項 官費	138,000.00	0	0	0	138,000.00	
第三項 官費	138,000.00	0	0	0	138,000.00	
第四項 官費	250,000.00	0	1,326.00	1,326.00	248,674.00	
第五項 官費	250,000.00	0	1,326.00	1,326.00	248,674.00	
第六項 官費	396,000.00	0	40,650.00	40,650.00	355,350.00	
第七項 官費	396,000.00	0	40,650.00	40,650.00	355,350.00	
第八項 官費	1,047,434.00	0	1,113.00	1,113.00	1,046,321.00	
第九項 官費	1,047,434.00	0	1,113.00	1,113.00	1,046,321.00	
第十項 官費	550,881.00	0	0	0	550,881.00	
第十一項 官費	550,881.00	0	0	0	550,881.00	
第十二項 官費	400,000.00	0	5,825.25	5,825.25	394,174.75	
第十三項 官費	370,000.00	0	2,760.58	2,760.58	367,239.42	
第十四項 官費	30,000.00	0	3,064.67	3,064.67	26,935.33	
第十五項 官費	750,000.00	0	0	0	750,000.00	
第十六項 官費	750,000.00	0	0	0	750,000.00	
第十七項 官費	198,830.00	0	0	0	198,830.00	
第十八項 官費	198,830.00	0	0	0	198,830.00	豫算外減 1,113.00
第十九項 官費	198,830.00	0	0	0	198,830.00	
第二十項 官費	5,164,931.00	0	0	0	5,164,931.00	
第二十一項 官費	5,164,931.00	0	0	0	5,164,931.00	
第二十二項 官費	5,164,931.00	0	0	0	5,164,931.00	
計	10,574,500.00	0	156,140.73	156,140.73	10,418,359.27	

昭和十五年二月二十日

昭和十五年二月二十日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛 文 麿



内閣總理大臣 米 内 光 政 殿

收入支出計算書提出ノ件

昭和十四年度昭和十五年一月分收入支出計算書別紙ノ通及提出候也

寄附



15.2.22
第 96 號

收 入		支 出		現在高
前月迄累計	本 月 分	前月迄累計	本 月 分	
〃	〃	〃	〃	〃
2,374,215.44	0	2,374,215.44	2,374,215.44	2,374,215.44

備 考

現在高内訳

(昭和25年12月31日現在)

銀行預金總額	振替貯金	國債證券	現 金	合 計
3,179,795.24	31,054.1	1,453.00	46.00	3,229,748.35

備 考

- 1 銀行預金總額ノ明細下記ノ通り
- 2 國債證券ハ五分利付券額2,000円也

銀 行 預 金 明 細

銀 行 名	定 期	通 知	特 別 當 座	當 座	計
三 井 銀 行	350,000.00	0	302,713.41	0	652,713.41
三 菱 銀 行	150,000.00	0	10,723.64	0	160,723.64
安 田 銀 行	300,000.00	0	37,407.29	0	337,407.29
住 友 銀 行	570,000.00	0	23,277.56	0	593,277.56
第 一 銀 行	250,000.00	164,000.00	13,722.67	5,714.15	423,726.82
横濱正金銀行東京支店	70,000.00	0	36,600.47	0	106,600.47
朝鮮銀行東京支店	70,000.00	0	15,020.00	0	85,020.00
臺灣銀行東京支店	70,000.00	0	1,160.00	0	71,160.00
第 百 銀 行	70,000.00	0	31,207.17	0	101,207.17
三 和 銀 行	370,000.00	0	16,342.24	0	386,342.24
野 村 銀 行	150,000.00	0	4,127.32	0	154,127.32

計 2,470,000.00 164,000.00 524,971.19 5,714.15 3,179,795.24

備考: 昭和25年12月31日現在、中央郵政貯蓄部 33,577,160円

10.2.21
家 94

收入計算書

昭和 / 年度
昭和 / 年 / 月分

10.2.21
家 79

生

科 目	豫 算 額	收 入 額			豫 算 残 額	備 考
		前月迄累計	本 月 分	計		
第一款 國庫補助金	1,250,000.00	250,000.00	0	250,000.00	1,000,000.00	
第一項 國庫補助金	1,250,000.00	250,000.00	0	250,000.00	1,000,000.00	
第一目 國庫補助金	1,250,000.00	250,000.00	0	250,000.00	1,000,000.00	
第二款 附 金	4,000,000.00	1,999,042.73	0	1,999,042.73	2,000,957.27	
第一項 附 金	4,000,000.00	1,999,042.73	0	1,999,042.73	2,000,957.27	
第一目 寄 附 金	4,000,000.00	1,999,042.73	0	1,999,042.73	2,000,957.27	
第三款 雜 收入	38,110.00	119,093.17	0	119,093.17	307,731.7	
第一項 雜 收入	38,110.00	119,093.17	0	119,093.17	307,731.7	
第一目 預 金 利 子	33,000.00	107,029.57	0	107,029.57	140,275.7	
第二目 雜 入	5,110.00	12,063.60	0	12,063.60	67.0	
第四款 前年度繰越金	2,300,946.00	2,952,702.56	0	2,952,702.56	651,756.56	
第一項 前年度繰越金	2,300,946.00	2,952,702.56	0	2,952,702.56	651,756.56	
第一目 前年度繰越金	2,300,946.00	2,952,702.56	0	2,952,702.56	651,756.56	
計	7,589,056.00	5,320,838.46	0	5,320,838.46	2,268,217.54	

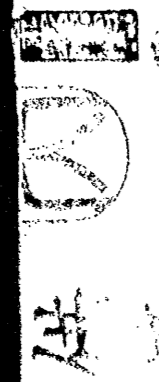
支出計算書

昭和十五年 / 月分
昭和十五年 / 月分

(11)

科目	豫算額	支出		額	豫算残額	備考
		前月迄累計	本月分			
	圓	圓	圓	圓	圓	
第一級事務費	42,214.00	22,554.93	6,461.9	22,210.90	17,993.10	
第一級事務費	1,005.00	412.0	0	412.0	763.0	
第一級事務費	1,005.00	412.0	0	412.0	763.0	
第一級事務費	17,449.00	5,116.21	0	5,116.21	12,332.79	
第一級事務費	2,445.00	2,933.1	0	2,933.1	6,211.19	
第一級事務費	2,400.00	0	0	0	2,400.00	
第一級事務費	1,260.00	0	0	0	1,260.00	
第一級事務費	564.00	0	0	0	564.00	
第一級事務費	3,000.00	1,702.40	0	1,702.40	1,297.60	
第一級事務費	470.00	480.00	0	470.00	0	
第一級事務費	2,500.00	804.45	0	804.45	1,695.55	
第一級事務費	2,500.00	804.45	0	804.45	1,695.55	
第一級事務費	4,400.00	1,937.78	199.70	2,137.48	2,262.52	
第一級事務費	500.00	107.68	0	107.68	392.32	
第一級事務費	1,500.00	532.25	98.50	630.75	869.25	
第一級事務費	1,200.00	464.70	0	464.70	735.30	
第一級事務費	1,200.00	833.15	101.20	934.35	265.65	
第一級事務費	19,350.00	19,293.11	56.00	19,349.11	500.89	
第一級事務費	19,350.00	19,293.11	56.00	19,349.11	500.89	
第一級事務費	2,000.00	1,341.98	390.47	1,762.45	237.55	
第一級事務費	2,000.00	1,341.98	390.47	1,762.45	237.55	
第一級事務費	100,000.00	3,666.89	0	3,666.89	76,333.11	
第一級事務費	100,000.00	3,666.89	0	3,666.89	76,333.11	
第一級事務費	100,000.00	3,666.89	0	3,666.89	76,333.11	

10.2.21
家 94



出

支出計算書

昭和 年 月 分

(2)

10.2.21
第 94 号

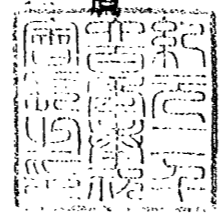
科 目	豫 算 額	支 出 額		豫 算 残 額	備 考
		前月迄累計	本 月 分		
	四	四	四	四	
第三款 業 費	3,971,000.00	2,057,627.09	32,931.49	2,090,558.58	1,379,441.42
第一項 山形県立博物館費	2,150,000.00	1,702,154.84	0	1,702,154.84	447,845.16
第二項 山形県立博物館費	2,150,000.00	1,702,154.84	0	1,702,154.84	447,845.16
第一目 山形県立博物館費	180,000.00	76,865.70	0	76,865.70	103,134.30
第二目 山形県立博物館費	180,000.00	76,865.70	0	76,865.70	103,134.30
第三目 山形県立博物館費	100,000.00	36,206.00	0	36,206.00	63,794.00
第四目 山形県立博物館費	100,000.00	36,206.00	0	36,206.00	63,794.00
第五目 山形県立博物館費	498,000.00	138,528.21	30,000.00	168,528.21	329,471.79
第六目 山形県立博物館費	498,000.00	138,528.21	30,000.00	168,528.21	329,471.79
第七目 山形県立博物館費	743,000.00	5,513.14	0	5,513.14	737,486.86
第八目 山形県立博物館費	743,000.00	5,513.14	0	5,513.14	737,486.86
第九目 山形県立博物館費	186,000.00	55,150.00	0	55,150.00	130,850.00
第十目 山形県立博物館費	186,000.00	55,150.00	0	55,150.00	130,850.00
第十一目 山形県立博物館費	124,000.00	44,209.20	2,931.49	47,140.69	76,859.31
第十二目 山形県立博物館費	100,000.00	25,744.88	2,908.04	28,652.92	71,347.08
第十三目 山形県立博物館費	24,000.00	18,464.32	234.5	18,487.77	5,512.23
第十四目 山形県立博物館費	45,150.00	0	0	0	45,150.00
第十五目 山形県立博物館費	45,150.00	0	0	0	45,150.00
第十六目 山形県立博物館費	45,150.00	0	0	0	45,150.00
第十七目 山形県立博物館費	3,415,702.00	0	0	0	3,415,702.00
第十八目 山形県立博物館費	3,415,702.00	0	0	0	3,415,702.00
第十九目 山形県立博物館費	3,415,702.00	0	0	0	3,415,702.00
計	7,589,056.00	2,090,857.71	33,577.66	2,124,435.37	5,464,619.63

住

二〇九番

昭和十五年二月二十日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿



内閣總理大臣 米内光政 殿

供覽

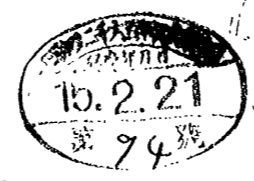
職員囑託ノ件

本日左ノ通囑託致候ニ付此段及報告候

記

紀元二千六百年奉祝會會務ヲ囑託ス

坂上時治



昭和十五年三月六日奉勅會海大藏省

本日及ハ紙類三覽理ニ付並ニ取替書封

録目録並ニ書

内閣總理大臣 米 内 政 殿

昭和十五年三月六日奉勅會海大藏省 公印 取替書封

昭和十五年三月二十日

内閣經第八七号

三。四。海

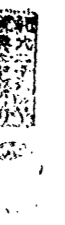
昭和十五年二月二十八日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近 衛 文 麿

内閣總理大臣 米 内 政 殿

職員囑託竝ニ解囑ノ件

本日附本會職員左ノ通囑託竝ニ解囑致候ニ付此段及報告候



記

阿 部 隆 介

阿 部 隆 介

紀元二千六百年奉祝會書記ノ囑託ヲ解ク

15.3.1 第120號

紀元二千六百年奉祝會會務ヲ囑託ス

鈴木榮

紀元二千六百年奉祝會書記ヲ囑託ス

内閣總理大臣

二三五

昭和十五年二月二十八日

紀元二千六百年奉祝會會長 公爵 近衛文麿



15.2.29
第117

内閣總理大臣 米内光政 殿

局長 書記官

職員囑託竝ニ解囑ノ件

本日左ノ通本會幹事囑託竝ニ解囑相成候條此段及報告候
記

内閣情報部長 熊谷憲一

紀元二千六百年奉祝會幹事ヲ囑託ス

元内閣情報部長 横溝光暉

紀元二千六百年奉祝會 幹事ノ囑託ヲ解ク

内閣總理大臣 米内光政 殿

紀元二千六百年奉祝會長 公爵近衛文麿

昭和十五年二月二十八日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵近衛文麿

内閣總理大臣 米内光政 殿

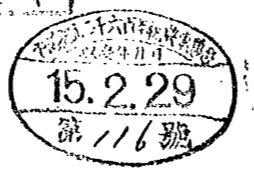
地方支部長囑託竝ニ解囑ノ件

本日本會地方支部長左記ノ通囑託竝ニ解囑致候ニ付此段及報告候

記

岡山縣知事 横 溝 光 暉

紀元二千六百年奉祝會岡山縣支部長ヲ囑託ス



Faint vertical text on the reverse side of the document, likely bleed-through from the other side.

元岡山縣知事 熊谷憲一
紀元二千六百年奉祝會岡山縣支部長ノ囑託ヲ解ク

内閣經第八号

二一六號

昭和十五年二月二十八日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

内閣總理大臣 米内光政 殿

書記官 職員囑託ノ件

本會職員左ノ通囑託致候ニ付此段及報告候

記

男爵	男爵			
野村利吉	吉川重國	武井守成	小倉庫次	三浦義男



15.3.1
第121號

紀元二千六百年奉祝會會務ヲ囑託ス
 池田秀吉
 鈴木鎮雄

山本成雄
 田端恒信
 望月倉作
 鈴木増太郎
 木村喜間太
 藤田文藏

紀元二千六百年奉祝會書記ヲ囑託ス

内閣總理大臣 米内光政 殿

奉祝會第二九〇號

昭和十五年三月十六日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

内閣總理大臣 米内光政 殿

職員退職ノ件

本日附本會職員左記ノ通退職致候ニ付此段及報告候

記

内藤 正明

願ニ依リ紀元二千六百年奉祝會書記ヲ免ス

142

昭和十五年三月二十六日奉准

内閣

本日閣下會辦員等、職務履歷等三件、其効力辨別

辦理表、件

内閣懸掛大印、内、表、効、効

昭和十五年三月二十六日奉准

昭和十五年三月二十六日

一三〇

五三十一

十四三十九

了



紀元二千六百年奉祝會役員選任認可指令案

紀元二千六百年奉祝會長公壽近衛文磨

昭和十五年三月四日附第二五二號申請役

員選任、件認可



昭和十五年三月十四日

内閣總理大臣

内閣經第九三號

奉祝會第二五二號

昭和十五年三月四日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵近衛文麿

内閣總理大臣 米内光政 殿

役員選任ノ件認可申請

本會役員左ノ通選任致度候條御認可相成度此段及申請候也

記

企畫院次長

植村 甲午郎

紀元二千六百年奉祝會常議員ヲ囑託ス

15.3.6 第130號

15.3 第130號

岡山縣知事

横溝光暉

館山市長

石崎常夫

坂出商工會議所會頭

久米金九郎

紀元二千六百年奉祝會評議員ヲ囑託ス

内閣總理大臣

米内光政

昭和十五年三月十四日

紀元二千六百年奉祝會會長 公爵 近衛文麿

供覽

内閣總理大臣 米内光政 殿

役員異動ノ件

本會役員左記ノ通解囑相成候條死亡ノ分ヲ併セ此段及報告候

記

元企畫院次長

武部六藏

元關東軍參謀長

磯谷廉介

紀元二千六百年奉祝會常議員囑託ヲ解ク

15.3.14

元岡山縣知事

熊谷憲一

元岡山市長

時實秋穂

元坂出商工會議所會頭

綾喜七

紀元二千六百年奉祝會評議員囑託ヲ解ク

昭和十五年二月十九日死亡 常議員 賴母 木桂吉

同日死亡 評議員 望月 軍四郎

同日死亡 同 木村匡

同日死亡 同男爵 藤田平太郎

第二四三號

昭和十五年三月十二日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿



15.3.29
第147

供覽

内閣總理大臣 米内光政 殿

局長

書記官

職員囑託ノ件

本會職員左ノ通囑託致候ニ付此段及報告候

記

(宮内省大膳寮厨司長)

秋山徳藏

紀元二千六百年奉祝會會務ヲ囑託ス

昭和二十六年三月三十一日

(宮内省大藏省御用)

山 縣 池

品

本會職員、庶務員、會計員、庶務員、庶務員

御用御用、御用

内閣府御用、内閣府御用

昭和二十六年三月三十一日

昭和二十六年三月三十一日

一四六

五三三

五三三

了

御用

御用

會計課長 佐藤

御用 御用 御用

紀元二千六百年奉祝會長ヨリ別紙昭和十五年

年二月分收入支出計算書提出越候ニ

付査閱セシ處異狀無之

右供高覽

二九六號

昭和十五年三月十九日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛 文麿

內閣總理大臣 米 內 光 政 殿

收入支出計算書提出ノ件

昭和十五年二月分收入支出計算書別紙ノ通及提出候也

15.3.20
第126號

收入計算書

昭和 / 年 之 月 分

科 目	豫 算 額	收 入 額			豫 算 残 額	備 考
		前月迄累計	本 月 分	計		
第一款 御下賜金	1,000,000.00	1,000,000.00	0	1,000,000.00	0	
第一項 御下賜金	1,000,000.00	1,000,000.00	0	1,000,000.00	0	
第一目 御下賜金	1,000,000.00	1,000,000.00	0	1,000,000.00	0	
第二款 國庫補助金	2,000,000.00	0	0	0	1,000,000.00	
第二項 國庫補助金	1,000,000.00	0	0	0	1,000,000.00	
第二目 國庫補助金	1,000,000.00	0	0	0	1,000,000.00	
第三款 寄附金	5,000,000.00	262,702.84	409,189.83	671,892.67	4,328,107.33	
第三項 寄附金	5,000,000.00	262,702.84	409,189.83	671,892.67	4,328,107.33	
第三目 寄附金	5,000,000.00	262,702.84	409,189.83	671,892.67	4,328,107.33	
第四款 雑収入	94,500.00	1,561.18	10,957.33	12,518.51	81,981.49	
第四項 雑収入	94,500.00	1,561.18	10,957.33	12,518.51	81,981.49	
第四目 金利子	84,500.00	900.00	0	900.00	83,600.00	
第五款 雑入	10,000.00	661.18	10,957.33	11,618.51	1,618.51	
第五項 前年度繰越金	3,480,000.00	3,196,402.09	0	3,196,402.09	283,597.91	
第五目 前年度繰越金	3,480,000.00	3,196,402.09	0	3,196,402.09	283,597.91	
第五目 前年度繰越金	3,480,000.00	3,196,402.09	0	3,196,402.09	283,597.91	
計	10,574,500.00	4,460,666.11	420,147.16	4,880,813.27	5,693,686.73	

支出計算書

昭和 〇〇 年 〇 月 分

科 目	豫 算 額	支 出 額			豫 算 残 額	備 考
		前月迄累計	本 月 分	計		
第一項 事務費	91,424.00	29,420.4	2,075.52	4,317.56	76,606.44	
第一項 第一日 會議費	2,175.00	1,875.00	0	1,875.00	300.00	
第一項 第二日 會議費	2,175.00	1,875.00	0	1,875.00	300.00	
第一項 第三日 與費	17,449.00	239.67	495.00	734.67	16,714.33	
第一項 第四日 給	10,224.00	170.00	170.00	340.00	9,884.00	
第一項 第五日 託給	2,400.00	69.67	180.00	249.67	2,150.33	
第一項 第六日 員給	1,260.00	0	0	0	1,260.00	
第一項 第七日 人料	564.00	0	0	0	564.00	
第一項 第八日 當與	3,000.00	0	145.00	145.00	2,855.00	
第一項 第九日 費	100	0	0	0	100	
第一項 第十日 費	2,500.00	0	539.97	539.97	1,960.03	
第一項 第十一日 費	2,500.00	0	539.97	539.97	1,960.03	
第一項 第十二日 事務費	4,400.00	87.82	465.96	553.77	3,846.22	
第一項 第十三日 品費	500.00	3.00	138.79	141.79	358.21	
第一項 第十四日 印刷費	1,500.00	17.20	162.82	180.02	1,319.98	
第一項 第十五日 消耗品費	1,200.00	45.62	4.60	50.22	1,149.78	
第一項 第十六日 通信費	1,200.00	22.00	159.75	181.75	1,018.25	
第一項 第十七日 印章費	21,100.00	0	0	0	21,100.00	
第一項 第十八日 著作費	18,450.00	0	0	0	18,450.00	
第一項 第十九日 送詣費	2,650.00	0	0	0	2,650.00	
第一項 第二十日 建築費	40,800.00	335.51	341.87	677.38	40,122.62	
第一項 第二十一日 附屬建築費	40,800.00	335.51	341.87	677.38	40,122.62	
第一項 第二十二日 費	3,000.00	204.04	232.72	436.76	2,563.24	
第一項 第二十三日 費	3,000.00	204.04	232.72	436.76	2,563.24	
第一項 第二十四日 事務費	92,000.00	4,484.44	3,393.65	7,878.09	84,121.91	
第一項 第二十五日 事務費	92,000.00	4,484.44	3,393.65	7,878.09	84,121.91	
第一項 第二十六日 事務費	92,000.00	4,484.44	3,393.65	7,878.09	84,121.91	

支出計算書

昭和 年 月 分

科 目	豫 算 額	支 出		豫 算 残 額	備 考
		前月迄累計	本 月 分		
第一項 第一目	5,024,315.00	147,914.35	76,245.27	225,259.54	4,802,055.46
第一項 第一目 第一節	1,495,000.00	100,000.00	5,050.00	105,050.00	1,379,950.00
第一項 第一目 第二節	1,495,000.00	100,000.00	5,050.00	105,050.00	1,379,950.00
第一項 第二目	137,000.00	0	52,655.00	52,655.00	84,345.00
第一項 第二目 第一節	137,000.00	0	52,655.00	52,655.00	84,345.00
第一項 第三目	250,000.00	1,326.00	1,552.00	2,878.00	247,122.00
第一項 第三目 第一節	250,000.00	1,326.00	1,552.00	2,878.00	247,122.00
第一項 第四目	396,000.00	40,650.00	818.8	40,711.77	355,288.12
第一項 第四目 第一節	396,000.00	40,650.00	1,188	40,711.77	355,288.12
第一項 第五目	1,047,434.00	1,113.00	0	1,113.00	1,046,321.00
第一項 第五目 第一節	1,047,434.00	1,113.00	0	1,113.00	1,046,321.00
第一項 第六目	550,771.00	0	0	0	550,771.00
第一項 第六目 第一節	550,771.00	0	0	0	550,771.00
第一項 第七目	400,000.00	5,725.25	17,026.41	22,751.66	377,248.34
第一項 第七目 第一節	390,000.00	2,960.57	15,066.45	17,747.03	362,252.97
第一項 第七目 第二節	30,000.00	3,064.67	1,939.96	5,004.63	24,995.37
第一項 第八目	750,000.00	0	0	0	750,000.00
第一項 第八目 第一節	750,000.00	0	0	0	750,000.00
第一項 第九目	198,830.00	0	0	0	198,830.00
第一項 第九目 第一節	198,830.00	0	0	0	198,830.00
第一項 第十目	198,830.00	0	0	0	198,830.00
第一項 第十目 第一節	198,830.00	0	0	0	198,830.00
第一項 第十一目	5,164,931.00	0	0	0	5,164,931.00
第一項 第十一目 第一節	5,164,931.00	0	0	0	5,164,931.00
第一項 第十一目 第二節	5,164,931.00	0	0	0	5,164,931.00
計	10,674,500.00	166,140.23	81,814.46	237,954.19	10,336,545.71

三八一

昭和十五年三月二十九日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵近衛文麿

内閣總理大臣 米内光政 殿

供覽

局長

書記官

職員囑託ノ件

本會職員左ノ通囑託致候條此段及報告候

記

文部技師
文部技手

増田八郎
大江宏

紀元二千六百年奉祝會會務ヲ囑託ス

160

昭和三十六年六月半奉贈會費...

大正 田 八 瀬

本會總目式、並細算費對照表...

職員細算ノ冊

内閣縣費大目 米 内 並 函 廻

昭和三十六年六月半奉贈會費...

昭和三十五年三月二十日

昭和三十五年三月二十九日



紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛 文麿

内閣總理大臣 米 内 光 政 殿

供覽

豫算流用ノ件報告

本會昭和十五年度收入支出豫算中第一款本部事務費、第二項給與費ニ於テ左記ノ通支拂ヲ要シ候ニ付彼此流用ノ上支出致候條此段及報告候

款	項	目	記	豫算殘額	要支出額	費目流用増減額
本部事務費	給與費	俸給	賞與	九七七一五九	二〇〇〇〇	一九九〇〇
				一〇〇〇	一〇〇〇〇	一九九〇〇

15.4.1 第162

計算証明規程第八十條及昭和十三年四月二十日附
普第一五號通牒ニ基キ左記書類紀元ニ千六百
年奉祝會長ヨリ提出越候ニ付此段及送付候

記

昭和十四年度收支計算書

同

事業計画書

同

事業成績書

昭和十四年度末現在財産目録

計算證明規程抄
大正十一年三月十七日
會計検査院達 第一號

第八十條 政府ヨリ補助金又ハ特約保證ヲ受クル團體及諸營造並
法律勅令ニ依リ特ニ會計検査院ノ検査ニ屬セラレタルモノハ第
十八號書式ニ依リ毎年度收支計算書ヲ調製シ證據書類ヲ添ヘ公
共團體ニ在リテハ出納閉鎖期經過後一箇月其ノ他ニ在リテハ決
算期經過後三箇月限之ヲ提出スヘシ但シ會社ニ在リテハ會計檢
査院ノ承認ヲ經商法第九十條ニ依ル書類ヲ以テ計算書ニ代用
スルコトヲ得

内
閣

昭和十三年四月二十日
會計検査院長 岡 今朝雄 印
内閣總理大臣 公爵 近 衛 文 麿 殿

普第一五號

昭和十三年四月二十日

會計検査院長 岡 今朝雄 印

内閣總理大臣 公爵 近 衛 文 麿 殿

財團法人紀元二千六百年奉祝會ニ對シ事業費補助金ヲ交付セラレ候ニ就テハ計算證明規程第八十條ニ依リ同會ヲシテ昭和十二年度以降收支計算書（様式ハ同規程第十八號關東州地方費ノ分ニ準ス）調製提出セシメラレ度尙右收支計算書ニハ左記書類ヲ添附セシメラレ度此段及通牒候也

左記

一各年度ニ於ケル事業計畫書、事業成績書及年度末現在財産目録

内 閣

昭和十三年四月二十七日

昭和十三年四月二十七日

内閣書記官長 風見章 閣

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 徳川家達 殿

收支計算書ヲ會計検査院へ提出方ノ件
標記ノ件別紙寫ノ通會計検査院長ヨリ通牒有之候間御了知ノ上之カ
進行ニ遺憾ナキヲ期セラレ度尙右書類ハ當廳ヲ經由スルコトトシ各
二通ヲ提出相成様致度依命此段及通達候也

内閣

1215.7.25 明治

内閣書記官長

三〇九

昭和十五年三月二十日

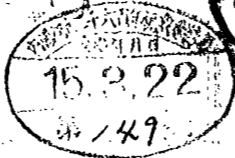
紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛 文 麿

内閣書記官長 石渡 莊太郎 殿

收支計算書ヲ會計検査院へ提出方ノ件

昭和十三年四月二十七日付内閣紀元二千六百年祝典事務局庶第一
四四號ヲ以テ御回達相成候標記ノ件ニ關シ左記書類調製（各二通）
提出致候也

記



一、昭和十四年度收支計算書

一、同 年度事業計畫書

一、同 年度事業成績書

一、同 年度末現在財産目錄

提 出 書 類

摘要	調定済額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	差引額	備考
國庫補助金						
國庫補助金						
國庫補助金	1,250,000.00	250,000.00	0	0	1,000,000.00	
計	1,250,000.00	250,000.00	0	0	1,000,000.00	
寄附金						
寄附金						
寄附金	4,000,000.00	1,999,042.73	0	0	2,000,957.27	
計	4,000,000.00	1,999,042.73	0	0	2,000,957.27	
雑収入						
雑収入						
預金利息	33,000.00	107,029.57	0	0	△ 74,029.57	
雑	5,110.00	12,063.60	0	0	△ 6,953.60	
計	38,110.00	119,093.17	0	0	△ 80,983.17	
前年度繰越金						
前年度繰越金						
前年度繰越金	2,300,946.00	2,952,702.66	0	0	△ 651,756.66	
計	2,300,946.00	2,952,702.66	0	0	△ 651,756.66	
総計	7,589,056.00	5,320,838.46	0	0	2,268,217.54	

附記 国庫補助金等交付金
 国庫補助金等交付金

摘要	算		額計	支出額	翌年度繰越額	差引額	備考
	本年度分	前年度繰越額					
本部事務費							
會議費	1,000.00	0	1,000.00	412.00	0	963.80	
印刷費	1,000.00	0	1,000.00	412.00	0	963.80	
信託費	10,224.00	0	10,224.00	2,933.11	0	7,290.19	常規・流用減額 4,774
旅費	2,400.00	0	2,400.00	0	0	2,400.00	
備用金	1,260.00	0	1,260.00	0	0	1,260.00	
人手費	8,640.00	0	8,640.00	0	0	8,640.00	
手費	3,000.00	0	3,000.00	1,702.40	0	1,297.60	本給の費用増額 4,774
計	17,449.00	0	17,449.00	5,116.21	0	12,332.79	
旅費							
旅費	2,500.00	0	2,500.00	204.45	0	1,690.55	
計	2,500.00	0	2,500.00	204.45	0	1,690.55	
事務所費							
備品費	500.00	0	500.00	107.18	0	392.32	
電費及印刷費	1,500.00	0	1,500.00	631.95	0	868.25	
消耗品費	1,200.00	0	1,200.00	424.90	0	775.30	
通信費	1,200.00	0	1,200.00	934.35	0	265.65	
計	4,400.00	0	4,400.00	2,137.48	0	2,262.52	
寄附募集費							
寄附募集費	15,000.00	0	15,000.00	19,349.11	0	4,349.11	増減の費用増額 4,850円
計	15,000.00	0	15,000.00	19,349.11	0	4,349.11	
雑費							
雑費	2,000.00	0	2,000.00	1,062.45	0	237.55	
計	2,000.00	0	2,000.00	1,062.45	0	237.55	
支部事務費							
支部事務費	100,000.00	0	100,000.00	3,166.89	0	96,333.11	
計	100,000.00	0	100,000.00	3,166.89	0	96,333.11	
事業費							
事業費	2,150,000.00	0	2,150,000.00	1,702,184.84	0	447,845.16	
計	2,150,000.00	0	2,150,000.00	1,702,184.84	0	447,845.16	
臨時費	180,000.00	0	180,000.00	76,865.90	0	103,134.30	
計	180,000.00	0	180,000.00	76,865.90	0	103,134.30	
特別天災救済費	100,000.00	0	100,000.00	36,206.00	0	63,794.00	
計	100,000.00	0	100,000.00	36,206.00	0	63,794.00	
影響を有する経費	498,000.00	0	498,000.00	168,628.21	0	329,471.79	
計	498,000.00	0	498,000.00	168,628.21	0	329,471.79	
次年度繰越	3,070,354.00	0	3,070,354.00	2,016,632.64	0	1,053,721.46	

備 考	差引額	翌年度繰越額	支出額	算 額		備 考				
				本年度分	前年度繰越額					
				3,070,384.00	0	3,070,384.00	2,016,632.44	0	1,153,751.46	
前年度繰越				743,000.00	0	743,000.00	6,513.14	0	737,486.86	
国史館施設費				743,000.00	0	743,000.00	6,513.14	0	737,486.86	
計				186,000.00	0	186,000.00	56,150.00	0	130,850.00	
本宮 木宮 日宮				186,000.00	0	186,000.00	56,150.00	0	130,850.00	
文化 大田 大田 大田				186,000.00	0	186,000.00	56,150.00	0	130,850.00	
計				100,000.00	0	100,000.00	28,682.92	0	71,317.08	
教化事業費				24,000.00	0	24,000.00	18,287.22	0	6,712.78	
教化施設費				124,000.00	0	124,000.00	47,140.69	0	76,859.31	
計				50,000.00	0	50,000.00	0	0	50,000.00	2,860.00
豫備費				50,000.00	0	50,000.00	0	0	50,000.00	
豫備費				3,415,702.00	0	3,415,702.00	3,196,202.69	0	219,499.91	
次年度繰越高				3,415,702.00	0	3,415,702.00	3,196,202.69	0	219,499.91	
次年度繰越高				3,415,702.00	0	3,415,702.00	3,196,202.69	0	219,499.91	
計				2,689,660.00	0	2,689,660.00	6,329,838.46	0	2,268,276.44	
総計										

昭和十四年度事業計畫書

本會ハ紀元二千六百年ヲ奉祝記念スル爲事業費總額凡ソ一千萬圓内
五百萬圓ハ國庫ヨリノ補助ニ依リ殘額五百萬圓ハ國民ノ寄附ニ俟ツ
コトトシ紀元二千六百年祝典評議委員會ノ審議ニ基ク紀元二千六百
年奉祝記念諸事業ヲ施行スル目的ヲ以テ設立セラレタルモノニシテ
本年度事業計畫次ノ如シ

一、權原神宮境域並畝傍山東北陵參道ノ擴張整備

本事業ハ權原神宮境域並畝傍山東北陵陵域ノ擴張整備ヲ爲スト共
ニ神宮附屬諸建物ヲ整備シ且附近各種交通施設ノ改善ヲ圖ラント

スルモノニシテ經費約四百萬圓ヲ豫定ス
内、櫻原神宮附屬建物整備及境域造苑工事ニ就テハ四ヶ年繼續事業
トシテ經費百三十五萬圓ヲ以テ内務省ニ委嘱シ（昭和十二年十二
月十四日）

櫻原神宮境域及畝傍山東北陵陵域ノ擴張ニ就テハ經費約百四十萬
圓、參拜道路ノ築造ニ就テハ經費約四十萬圓ヲ以テ奈良縣ニ委
嘱シ（昭和十三年四月二日）右工事ニ伴フ大阪電氣軌道並大阪鐵
道ノ移設ニ要スル用地買収ニ就テモ經費約五萬圓ヲ以テ奈良縣ニ
委嘱セリ（昭和十三年四月十八日）

又整備地城内ヲ貫流スル河川ノ一部ニシテ御料地内ニ在ル區間ノ
改修ハ經費約四萬圓ヲ以テ宮内省ニ之者工事施行ヲ委嘱シ（昭和
十三年十月三日）

前記大阪電氣軌道並大阪鐵道線路移設ニ要スル工事費ニ就テハ大
阪電氣軌道株式會社ニ四十二萬圓、大阪鐵道株式會社ニ八萬圓ヲ
何レモ本會ヨリ直接補償スルコトトシ之ガ契約ヲ兩社ト締結セリ
（昭和十三年六月一日・同年十月二十五日）
本年度ニ於テハ孰モ前年度ニ引續キ當該工事施行ノ工程ヲ考慮シ
事業費二百十五萬圓ヲ計上ス

二、宮崎神宮境域ノ擴張整備

本事業ハ宮崎神宮ノ境域ヲ擴張シ土產玉置ヲ風ヲ外國ヲ整備スル

ト共ニ神宮附屬ノ復古館ヲ修繕改築シテ之ガ充備ヲ期スルモノニ
シテ紀元二千六百年祝典評議委員會ハ昭和十三年七月一日紀元二
千六百年奉祝紀念事業通知トシテ本件ヲ議決シタルニ依リ之ガ充
備整備ニ就テハ三ヶ年繼續事業トシテ經費三十六萬圓ヲ以テ宮崎
縣ニ委嘱セルモノナルガ(昭和十三年八月十三日)本年度ニ於テ
ハ新ニ擴張シタル一萬一千坪ノ進築及玉垣、土壁ノ築造等ノ工事
並ニ復古館改築工事ノ工程ヲ考慮シ事業費十八萬圓ヲ計上ス

三、神武天皇御陵ノ調査保存願事

本事業ハ神武天皇ノ御陵ヲ調査シ適當ナル保存願事ノ施設ヲ期セ
ントスルモノユシテ經費約三十萬圓ヲ豫定シ内閣府ノ調査ハ文部

省ニ之ヲ委嘱セリ(昭和十三年六月二十二日)本年度ニ於テハ昨
年度ニ引續キ之ガ調査ニ要スル經費十萬圓ヲ計上ス

四、御陵參拜道路ノ改良

本事業ハ歴代天皇ノ御陵ニ至ル道路中ニハ近代交通ニ適セサルモ
ノアリ仍テ之ヲ改良シ參拜ニ便ナラシメントスルモノニシテ^{之ガ}經費
約六十三萬圓ヲ豫定ス本年度ニ於テハ先ヅ成案ヲ得タル京都府下
一陵、奈良縣下二十八陵及京都市内十三陵ニ通ズル道路ノ改良事
業ヲ京都府、奈良縣及京都市ニ夫々委嘱シ二ヶ年繼續事業トシ之
ガ完成ヲ期シ事業費四十九萬八千圓ヲ計上ス

五、國史館ノ建設

本事業ハ我が尊貴ナル國體ノ精華ト我が光輝アル國史ノ成跡トヲ
認識セシムル爲神祇皇室關係ヲ中心ニ國史ニ關スル各種ノ資料實
物ヲ陳列スルノ外附屬講堂等ヲ設備シ以テ國民精神ノ作興ト國史
教育ノ振興ニ資スベキ建築物ヲ建造セントスルモノニシテ當初經
費約三百萬圓ヲ豫定シ文部省ニ之ヲ委囑セルトコロナルモ（昭和
十三年四月五日）計畫當初ニ比シ物價騰貴ニ因リ又施設内容ハ國
民精神ノ振作更張ヲ圖ルヲ以テ目的トナスト共ニ眞ニ後世ニ誇ル
ニ足ル一大建築物タラシムルノ要アリ仍テ經費約六百萬圓ニ増額
ヲ豫定セラル從ツテ建築樣式施設内容等ニ付テハ更ニ考究スル
ノ要アリ又時局ノ影響ニ依リ工事着手ノ時期ニ付テモ亦慎重ナル

考慮ヲ要スルアリ旁々精準備完了セル場合ハ直ニ之ガ本工事ニ着
手シ得ルノ態勢ヲ持スルコト、シ本年度ニ於テハ事業費七十四萬
三千圓ヲ計上ス

六、日本文化大觀ノ編集出版

本事業ハ肇國創業以來生成發展シ來レル日本文化ノ精髓ヲ、日、
英、佛、獨ノ各國語ニ依リ輯録シ廣ク中外ニ頒布セントスルモノ
ニシテ經費凡ソ六十五萬圓ヲ豫定シ三ヶ年繼續事業トシ文部省ニ
委囑セリ（昭和十三年七月一日）本年度ニ於テハ昨年度ニ引續キ
之ヲ編輯ニ要スル經費トシテ十八萬六千圓ヲ計上ス

七、教化施設

雜誌「紀元二千六百年」ノ出版ノ外紀元二千六百年ノ意義ヲ闡明
 シ國民精神ノ作興ヲ旨トシ本年度ニ於ケル講演會、展覽會、「紀元
 二千六百年奉祝歌」ノ歌詞及歌曲ノ懸賞募集等各種教化施設ノ實
 施ヲ期シ之ガ經費十二萬四千圓ヲ計上ス
 以上ノ事業ニ要スル經費ノ財源ハ前年度繰越金ノ外本年度ニ於テ國
 庫補助金百二十五萬圓ノ下付ヲ受クルト共ニ寄附金四百萬圓ヲ募集
 スルコトトシ之ガ經費ノ支辨ニ充當セントスルモノナリ

昭和十四年度紀元二千六百年奉祝會收入支出豫算

收入

第一款 國庫補助金	一、二五〇、〇〇〇
第一項 國庫補助金	一、二五〇、〇〇〇
第二款 寄附金	四、〇〇〇、〇〇〇
第一項 寄附金	四、〇〇〇、〇〇〇
第三款 雜收入	三八、一一〇、〇〇
第一項 雜收入	三八、一一〇、〇〇
第四款 前年度繰越金	二、三〇〇、九四六、〇〇
第一項 前年度繰越金	二、三〇〇、九四六、〇〇
合計	七、五八九、〇五六、〇〇

支出

第一款 本部事務費

四三、三五四、〇〇

第一項 會議費

一、〇〇五、〇〇

第二項 給與費

一七、四四九、〇〇

第三項 旅費

二、五〇〇、〇〇

第四項 事務所費

四、四〇〇、〇〇

第五項 寄附募集費

一五、〇〇〇、〇〇

第六項 雜費

二、〇〇〇、〇〇

第二款 支部事務費

一〇〇、〇〇〇、〇〇

第一項 支部事務費

一〇〇、〇〇〇、〇〇

第三款 專業費

三、九八一、〇〇〇、〇〇

第一項 權原神宮境域並欽傍山東北陵參道擴張整備費

二、一五〇、〇〇〇、〇〇

第二項 宮崎神宮境域擴張整備費

一八〇、〇〇〇、〇〇

第三項 神武天皇聖蹟調査保存顯彰費

一〇〇、〇〇〇、〇〇

第四項 御陵參拜道路改良費

四九八、〇〇〇、〇〇

第五項 國史館建設費

七四三、〇〇〇、〇〇

第六項 日本文化大觀編纂出版費

一八六、〇〇〇、〇〇

第七項 教化專業費

一二四、〇〇〇、〇〇

第四款 豫備費

五〇、〇〇〇、〇〇

第一項 豫備費

五〇、〇〇〇、〇〇

第五款 次年度繰越金

三、四一五、七〇二、〇〇

第一項 次年度繰越金
合計

三、四一五、七〇二、〇〇
七、五八九、〇五六、〇〇

昭和十四年度紀元二千六百華奉祝會收入支出豫算説明書

收入	科	項	目	豫算額		比較		備考
				本年度	前年度	増	減	
第一項 雜收入	第一項 雜收入	第一項 雜收入	第一目 雜收入	五、一〇〇	四、〇〇〇	四、七〇〇	〇	本項收入 支取額 三、〇〇〇、〇〇〇月
			第二目 預金利息	三、〇〇〇	四、五〇〇	〇	一、五〇〇	
			第三目 寄附金	三、八〇〇	四、五〇〇	〇	七、三〇〇	
第二項 寄附金	第二項 寄附金	第二項 寄附金	第一目 寄附金	四、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	〇	本項收入 支取額 一、〇〇〇、〇〇〇月
			第二目 寄附金	四、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	〇	
			第三目 寄附金	四、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	〇	
第三項 補助金	第三項 補助金	第三項 補助金	第一目 補助金	二、五〇〇	三、五〇〇	〇	一、〇〇〇	本項收入 支取額 一、〇〇〇、〇〇〇月
			第二目 補助金	二、五〇〇	三、五〇〇	〇	一、〇〇〇	
			第三目 補助金	二、五〇〇	三、五〇〇	〇	一、〇〇〇	
第四項 補助金	第四項 補助金	第四項 補助金	第一目 補助金	二、五〇〇	三、五〇〇	〇	一、〇〇〇	本項收入 支取額 一、〇〇〇、〇〇〇月
			第二目 補助金	二、五〇〇	三、五〇〇	〇	一、〇〇〇	
			第三目 補助金	二、五〇〇	三、五〇〇	〇	一、〇〇〇	

昭和十四年六月三十日現在
並其上代算入

十三年度一百二十五萬圓本年度二十五萬圓合計四百萬圓ノ下付ヲ受ケ
タリ

寄附金ニ就テハ本年度ニ於テ東京、大阪、京都、神奈川、愛知及兵
庫ノ六大都市管轄ノ府縣並福岡縣ハ本會直接扱ニテ他ハ各支部扱ニ
依リ極力勸誘ニ努メタル結果本年度豫算四百萬圓ニ對シ申込總額昭
和十四年十二月末日現在ニ於テ三百六十三萬三千三百二圓七十三錢
拂込額一百九十九萬九千四十二圓七十三錢ニシテ十二年度以降ノ寄
附金累計ハ申込額三百七十一萬九千六百六十六圓十七錢拂込額二百
八萬一千八十六圓十七錢トナレリ此ノ外ニ預金利子其ノ他雜收入金
十一萬九千九十三圓十七錢アリ之ニ前年度繰越剩餘金二百九十五萬
二千七百二圓五十六錢ヲ加ヘテ總計五百三十二萬八千三百三十八圓四

六錢ノ收入トナリ之ニ對シ事業費、事務費合セテ二百十二萬四千四
百三十六圓三十七錢ノ支出ヲ見タルヲ以テ結局三百十九萬六千四百
二圓九錢ヲ次年度ニ繰越スニ至レリ

第三 事業

本會ノ事業進捗ノ概要ヲ示セバ次ノ如シ

(一) 檜原神宮境域並畝傍山東北隈參道ノ擴張整備

(1) 總額四百萬圓ヲ以テ計畫セル掲題整備費ノ内神宮附屬建物整備
及造苑工事ニ就テハ昭和十二年勅令第五百九十六號ノ規定ニ基
キ經費百三十五萬圓ヲ以テ昭和十二年十二月十四日之ヲ内務省
ニ委囑シ四ヶ年繼續事業トシテ施行ヲ進メタリ神宮附屬諸建物、
ノ修改築工事ハ殆ンド竣功ヲ見尙造苑工事ニ付テモ著シク進捗

シ國民敬神ノ發露タル獻木ハ既ニ壹萬本ヲ算シ參道造苑ノ土木
工事モ極メテ順調ナル進捗ヲ示セリ

(ロ) 橿原神宮境域及畝傍山東北陵陵域ノ擴張並參拜道路ノ築造ニ關
スル事務一部ハ昭和十三年四月二日之ヲ奈良縣ニ委囑シタリ經
費約百八十萬圓内境域並陵域ノ擴張ニ伴フ土地約十萬坪ノ買收
其ノ他ニ約百四十萬圓、參拜道路ノ築造ニ要スル經費四十萬圓
トシテ右諸工事ハ昭和十五年迄ニ完成ノ豫定ヲ以テ繼續事業ト
シテ進メ、用地買收及家屋物件ノ移轉ハ完了シ參拜道路築造ニ
付テモ著シク進捗ヲ見尙土木工事ノ著シキ進捗ヲ見タルハ多數
ノ勞働奉仕アルニ因ル猶此ノ外經費約五萬圓ヲ以テ大阪電氣軌
道並大阪鐵道ノ移設ニ要スル用地買收方ヲ同月十八日奈良縣ニ

委囑シ夫々買収了シタリ

(ハ) 右整備ニ伴ヒ御料地内ヲ貫通スル河川ノ改修ヲ必要トスルニ至
リ昭和十三年十月三日其ノ工事施行ヲ經費概算四萬圓ヲ以テ宮
内省ニ委囑セル處迄ニ完成シタリ

(ニ) 大阪電氣軌道並大阪鐵道ノ移設ニ要スル用地買收ニ就テハ先ニ
述ブル所アリシガ右移設ニ要スル工事費ニ就テハ本會ヨリ直接
補償スルコトトシ昭和十三年六月一日大阪電氣軌道株式會社ニ
金四十二萬圓、同年十月二十五日大阪鐵道株式會社ニ金八萬圓
ヲ補償スル契約ヲ締結シ大阪電氣軌道ニアリテハ既ニ移設ヲ完
了セルモ大阪鐵道ニ付テハ目下工事施行中ナリ

□ 宮崎神宮境域ノ擴張整備

紀元二千六百年祝典評議委員會ハ昭和十三年七月一日紀元二千六百年奉祝記念事業追加トシテ宮崎神宮境域擴張整備ノ件ヲ議決シタルニヨリ本會ニ於テハ金三十六萬圓ヲ以テ昭和十五年度迄ノ繼續事業トシテ施行スルコトトシ昭和十三年八月十三日宮崎縣ニ委囑シタリ即チ神宮境域ト參道ノ擴張整備ニ金二十一萬圓、徵古館ノ改築ニ金十五萬圓ヲ支出スルコトトシ事業着々進捗中ナリ尙地元宮崎縣下ヲ始メ各方面ヨリ熱心ナル獻木ハ既ニ壹萬餘本ニ達セリ

三 神武天皇聖蹟ノ調査保存顯彰

神武天皇ノ聖蹟ヲ調査シ適當ナル保存顯彰ノ施設ヲ講ゼントスルモノニシテ經費約三十萬圓ヲ豫定ス先ヅ調査ニ關スル事務ヲ昭和十二年勅令第五百九十六號ノ規定ニ基キ昭和十三年六月二十二

日文部省ニ委囑シタリ石經費ハ凡ソ十萬圓トシ 調査ノ結果ニ基キ本會ニ於テ順次保存顯彰ヲ實行ニ移サントスルモノニシテ目下同省ニ於テハ委員會ヲ設置シ慎重調査ヲ進メツツアリ

四 御陵參拜道路ノ改良

歷代天皇ノ御陵ニ至ル道路中ニハ近代交通ニ適セザルモノアリ依テ之ヲ改良シ參拜ニ便ナラシメントスルモノニシテ之ガ經費トシテ約六十三萬圓ヲ豫定ス京都府下一陵、奈良縣下二十七陵京都市内十三陵ニ通ズル道路ニ就テハ夫々成案ヲ得タルヲ以テ昭和十四年三月二十二日京都府、奈良縣及京都市ニ對シ事業委囑ヲナシ夫々事業進捗ヲ示シ居レリ

五 國史館ノ建設

皇室ヲ中心ニ生成發展シ來レル國史ノ成跡ニ關スル各種ノ資料實物ヲ展示シ國民精神ノ振作更張ニ資セントスルモノニシテ昭和十二年勅令第五百九十六號ノ規定ニ基キ昭和十三年四月五日經費約三百萬圓昭和十七年ニ至ル五箇年繼續事業トシテ其ノ施設ヲ文部省ニ委囑シタリ同省ニ於テハ委員會ヲ設置シ建築様式内容施設等ニ付調査考究ヲ進メツツアリ

本事業ニ付テハ計畫當初ニ比シ物價騰貴ニ因ル設計上ノ困難アリ猶一面紀元二千六百年奉祝記念トシテ眞ニ後世ニ誇ルニ足ル一大建築物タラシムルノ要アリ而モ設計完了ニ至ラズ時局ノ關係上之ガ工事着手ノ時機ニ付テハ慎重ナル考慮ヲ拂フノ要アリテ本年度計上ノ豫算七十四萬三千圓ニ對シ五千五百十三圓餘ノ支出ヲナセ

ルニ止マリタリ

内日本文化大觀ノ編纂出版

日本文化ノ精髓ヲ日、英、佛、獨ノ各國語ニ輯録シ廣ク内外ニ頒布セントスルモノニシテ昭和十二年勅令第五百九十六號ノ規定ニ基キ昭和十三年七月一日文部省ニ委囑シタリ經費凡ソ六十五萬圓、昭和十五年度ニ至ル繼續事業トシ本年度十八萬六千圓ヲ計上シタリ同省ニ於テ慎重ニ調査研究ノ結果略々脱稿ヲ見ルニ至レリ

七 教化施設

紀元二千六百年ノ意義ヲ闡明シ國民精神作興ヲ目的トシ本會ハ各種教化施設ヲ計畫實施來レルモ本年度ニ於テハ月刊雜誌「紀元二千六百年」ハ七月「宮中の御祭典と御儀式號」十二月「神社號」

等ノ臨時増刊ヲ刊行シ各方面ニ多大ノ反響ヲ喚起セリ
二月十一日東京市日比谷公會堂ニ於ケル「紀元節奉祝會」、四月
三日日比谷公會堂ニ於ケル「天業恢弘奉讚の會」五月十六日大阪
中央公會堂ニ於ケル「皇陵尊崇の會」等ノ講演會ヲ開催シ尙「肇
國精神の發揚紀元二千六百年奉讚展覽會」ヲ東京、大阪、京都、
名古屋等各地ニ於テ主催シ何レモ極メテ盛會裡ニ終始セリ其ノ他
八月二十日ニハ「紀元二千六百年奉祝國民歌」ノ歌詞ヲ更ニ十月
十五日ニハ當選シタル同歌詞ノ歌曲ヲ一般ヨリ懸賞募集シ十二月
之ガ當選歌曲ノ發表演奏會ヲ東京及大阪ニ於テ開催シタリ、然テ
之等教化施設ニ要シタル經費ハ四萬七千四百四十圓餘ヲ支出セリ

第四 結 語

之ヲ要スルニ本會ノ記念事業ハ其ノ種類廣範圍ニ涉リ前々年度即チ
創立第一年ニ於テ事業實施準備ノ大綱ヲ定メ昨年度ヨリ愈々實行ニ
移リ橿原神宮境域並畝傍山東北陵參道ノ擴張整備ハ内務省、奈良縣
宮内省ニ、宮崎神宮境域ノ擴張整備ハ宮崎縣ニ、神武天皇聖蹟ノ調
査ト國史館建設及日本文化大觀編纂出版ハ文部省御陵參拜道路ハ京
都府奈良縣及京都市ニ天々委囑ヲ了レリ橿原神宮境域並畝傍山東北
陵參道擴張整備事業ノ如キハ時恰モ時局ニ際會シテ國民精神ノ昂揚
ニ因ル勞働奉仕ノ盛行ヲ見著シキ進行ヲ示シタルモ一面國史館建設
ノ如ク資材ノ關係上自然豫定計畫ノ變更ヲ免カレザルニ至リ又寄附
金募集ニ就テハ時局ノ關係上豫定ノ收入ヲ擧グルニ至ラザリキ

昭和十四年度紀元二千六百年奉祝會收入支出決算

收入

第一款 國庫補助金	二五〇、〇〇〇、〇〇
第一項 國庫補助金	二五〇、〇〇〇、〇〇
第二款 寄附金	一、九九九、〇四二、七三
第一項 寄附金	一、九九九、〇四二、七三
第三款 雜收入	一一九、〇九三、一七
第一項 雜收入	一一九、〇九三、一七
第四款 前年度繰越金	二、九五二、七〇二、五六
第一項 前年度繰越金	二、九五二、七〇二、五六
合計	五、三二〇、八三八、四六

圓

支出

第一款 本部事務費 二九、二一〇、九〇

第一項 會議費 四一、二〇

第二項 給與費 五、一一六、二一

第三項 旅費 八〇四、四五

第四項 事務所費 二、一三七、四八

第五項 寄附募集費 一九、三四九、一一

第六項 雜費 一、七六二、四五

第二款 支部事務費 三、六六六、八九

第一項 支部事務費 三、六六六、八九

第三款 事業費 二、〇九一、五五八、五八

第一項 榎原神宮境域並畝傍山東北陵參道擴張整備費 一、七〇二、一五四、八四

第二項 宮崎神宮境域擴張整備費 七六、八六五、七〇

第三項 神武天皇聖蹟調查保存顯彰費 三六、二〇六、〇〇

第四項 御陵參拜道路改良費 一六八、五二八、二一

第五項 國史館建設費 五、五一三、一四

第六項 日本文化大觀編纂出版費 五五、一五〇、〇〇

第七項 教化事業費 四七、一四〇、六九

第四款 豫備費 〇

第一項 豫備費 〇

第五款 次年度繰越金 三、一九六、四〇二、〇九

第一項 次年度繰越金 三、一九六、四〇二、〇九

合計 五、三二〇、八三八、四六

昭和十四年度紀元二千六百年奉祝會收入支出決算說明

科	目	算額	決算額	増比	取	備考
收入	第一款國庫補助金	1,150,000.00	1,150,000.00		1,000,000.00	
	第一項國庫補助金	1,150,000.00	1,150,000.00		1,000,000.00	
	第二款寄附金	4,000,000.00	3,999,042.37		3,000,933.37	
	第一項寄附金	4,000,000.00	3,999,042.37		3,000,933.37	
	第三款雜收入	381,100.00	1,100,933.37	819,833.37		
	第一項雜收入	381,100.00	1,100,933.37	819,833.37		
	第一目預金利子	3,300,000.00	1,070,933.37	740,933.37		
	第二目雜入	311,000.00	1,330,000.00	1,020,000.00		

第四款前 總年度	第一項前 總年度	第一目前 總年度	合計
三三〇〇九四六〇〇	三三〇〇九四六〇〇	三三〇〇九四六〇〇	三三八六〇三六〇〇
三九三三三〇二五六	三九三三三〇二五六	三九三三三〇二五六	三三三〇八三八四六
六三二七五六三六	六三二七五六三六	六三二七五六三六	〇
			三二六八二一七三四

支出

科目	預算額	決算額	増比	減較	備考
第一款本部事務費	四三三五四	二九二一〇九〇		一三二四三二〇	
第一項會議費	一〇〇五	四一三〇		九六三八〇	
第一目會議費	一〇〇五	四一三〇		九六三八〇	
第二項給與費	一七四四九	五一一六三一		一二三三二七九	賞與へ流用減額 四七九圓
第一目俸給	一〇二二四	三九三三八一		七二九〇二九	
第二目囑託給	二四〇〇	〇		二四〇〇〇	
第三目雇員給	一三六〇	〇		一三六〇〇	
第四目備人料	五六四	〇		五六四〇〇	
第五目手當	三〇〇〇	一七〇三四		一三九七六	
第六目賞與	一	四八〇〇		一三九七六	俸給ヨリ流用増額 四七九圓
第三項旅費	一五〇〇	八〇四四五	四七九〇〇	一六九五五	

第一目旅費	二五〇〇	八〇四四五	一六九五五五
第四項事務所費	四四〇〇	二一三七四八	三二六二五二
第一目備品費	五〇〇	一〇七六八	三九二三二
第二目圖書及印刷費	一五〇〇	六三〇七五	八六九二五
第三目消耗品費	一、一〇〇	四六四七〇	七三三三〇
第四目通信運搬費	一、一〇〇	九三四三五	二六三六五
第五項寄附募集費	一、五〇〇	一九三四九一	四三四九一
第一目寄附募集費	一、五〇〇	一九三四九一	四三四九一
第六項雜費	二、〇〇〇	一七六二四五	二三七五五
第一目雜費	二、〇〇〇	一七六二四五	二三七五五
第二款支部事務費	一〇、〇〇〇	三六六六八九	九六三三三一
第一項支部事務費	一〇、〇〇〇	三六六六八九	九六三三三一
第一目支部事務費	一〇、〇〇〇	三六六六八九	九六三三三一
豫備費ヨリ充用 増額四八五〇圓			

第三款事業費	三九八、〇〇〇	二〇九、一五八五八	一、八八九、四四一、四二
第一項 榎原神宮境 東並畝傍山 擴張整備費	二一五、〇〇〇	一、七〇、一五三、八三	四四七、八四一、一六
第一目 東並畝傍山 擴張整備費	二一五、〇〇〇	一、七〇、一五三、八三	四四七、八四一、一六
第二項 宮崎神宮境 擴張整備費	一八〇、〇〇〇	七六、八六五、七〇	一〇三、一三四、三〇
第一目 宮崎神宮境 擴張整備費	一八〇、〇〇〇	七六、八六五、七〇	一〇三、一三四、三〇
第三項 神武天皇聖蹟 調查保存費	一〇〇、〇〇〇	三六、三〇六、〇〇	六三、七九四、〇〇
第一目 神武天皇聖蹟 調查保存費	一〇〇、〇〇〇	三六、三〇六、〇〇	六三、七九四、〇〇

第四項 御陵參拜道改良費	四九八〇〇〇	一六八五二八三一	三二四四七一七九
第一目 御陵改良費	四九八〇〇〇	一六八五二八三一	三二四四七一七九
第五項 國史館	七四三〇〇〇	五五二二三四	七三三〇四八六六
第一目 國史館	七四三〇〇〇	五五二二三四	七三三〇四八六六
第六項 日本文化大觀編纂出版費	一八六〇〇〇	五五一五〇〇〇	一三〇八五〇〇〇
第一目 日本文化大觀編纂出版費	一八六〇〇〇	五五一五〇〇〇	一三〇八五〇〇〇
第七項 教化事業費	一二四〇〇〇	四七二四〇〇〇	七六八五九五一
第一目 教化施設費	一〇〇〇〇〇	二八六五二〇〇	七六三四七〇八
第二目 發行費	二四〇〇〇	一八四八七〇〇	一五二二二二三

第四款 豫備費	五〇〇〇〇	〇	五〇〇〇〇〇〇
第一項 豫備費	五〇〇〇〇	〇	五〇〇〇〇〇〇
第五款 年度繰越金	三四一五七〇二	三一九六四〇三〇九	二一九二九九九一
第一項 年度繰越金	三四一五七〇二	三一九六四〇三〇九	二一九二九九九一
第六款 年度繰越金	三四一五七〇二	三一九六四〇三〇九	二一九二九九九一
第一項 年度繰越金	三四一五七〇二	三一九六四〇三〇九	二一九二九九九一
合計	七五八九〇五六	五三三〇八三八四六	六二六八一七五四

寄附券集費二充
用減額五〇圓

財產目錄

昭和十四年十二月三十一日現在

種類	金額	備考
國債	一、九五三〇〇	ろ號三分半利付額面二千圓 三井、三菱、安田、住友、第一、 橫濱正金、朝鮮、臺灣、第百、三 和、野村以上十一銀行
銀行預金	三、一八九、八九五三四	
振替貯金	三八〇、八五四一	
現金	四六〇〇	
合計	三、二二九、九七七五	

橫濱正金銀行 東京支店	40000	00	0	40000	0	0	100000
朝鮮銀行東京支店	40000	00	0	10000	0	0	20000
台灣銀行東京支店	40000	00	0	0	0	0	40000
第一銀行	40000	00	0	0	0	0	10000
三和銀行東京支店	40000	00	0	0	0	0	40000
野村銀行	100000	00	0	0	0	0	100000
計	1000000	00	10000	0	10000	0	1000000

一五〇 五三三 五五 四五 五

了

會計課長 佐藤

紀元二千六百年奉祝會長ヨリ紀元二千六百年

奉祝會設立及監督規程第五條ニ依リ昭和十四

年度事業狀況並收入支出決算及同年度

末現在財產目錄別紙ノ通報告有之候ニ付

供高覽候

三一一號

昭和十五年三月二十日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

内閣總理大臣 米内光政 殿

紀元二千六百年奉祝會設立及監督規程第五條

第...號ノ規定ニ依ル書類提出ノ件

標記ノ件ニ關シ左記書類提出致候也

記

- 一、昭和十四年度事業狀況
- 一、同年度收入支出決算
- 一、昭和十四年十二月末日現在財産目錄

15.3.23
第150號

昭和十四年度事業報告

第一 序 論

本會ハ紀元二千六百年ノ奉祝記念事業トシテ(一)松原神宮境域並畝傍山東北陵參道ノ擴張整備(二)宮崎神宮境域ノ擴張整備(三)那武天皇聖蹟ノ調査保存顯彰(四)御陵參拜道路ノ改良(五)國史館ノ建設(六)日本文化大觀ノ編纂出版等ヲ施行シ以テ國民精神ノ昂揚ヲ圖リ國體尊崇ノ實ヲ舉ゲントスルモノナリ

第二 財 務

本會ハ國庫補助金五百萬圓ト民間ノ寄附金八百萬圓トヲ以テ事業資金トセントスルモノナルガ補助金ハ昭和十二年度二百五十萬圓昭和

昭和十四年度事業概況

第一 序 論

本會ハ紀元二千六百年ノ奉祝記念事業トシテ
 (一) 松原神宮領域並歌傍
 山東北陵參道ノ擴張整備 (二) 宮崎神宮領域ノ擴張整備 (三) 萬武天皇聖蹟
 ノ調査保存顯彰 (四) 御陵參拜道路ノ改良 (五) 國史館ノ建設 (六) 日本文化大
 觀ノ編纂出版等ヲ施行シ以テ國民精神ノ昂揚ヲ圖リ國體尊崇ノ實ヲ
 擧ゲントスルモノナリ

第二 財 務

本會ハ國庫補助金五百萬圓ト民間ノ寄附金八百萬圓トヲ以テ事業資
 金トセントスルモノナルガ補助金ハ昭和十二年度二百五十萬圓昭和

十三年度一百二十五萬圓本年度二十五萬圓合計四百萬圓ノ下付ヲ受ケ
タリ

寄附金ニ就テハ本年度ニ於テ東京、大阪、京都、神奈川、愛知及兵
庫ノ六大都市管轄ノ府縣並福岡縣ハ本會直接扱ニテ他ハ各支部扱ニ
依リ極力勸誘ニ努メタル結果本年度豫算四百萬圓ニ對シ申込總額昭
和十四年十二月末日現在ニ於テ三百六十三萬三千三百二圓七十三錢
拂込額一百九十九萬九千四十二圓七十三錢ニシテ十二年度以降ノ寄
附金累計ハ申込額三百七十一萬九千六百六十六圓十七錢拂込額二百
八萬一千八十六圓十七錢トナレリ此ノ外ニ預金利子其ノ他雜收入金
十一萬九千九十三圓十七錢アリ之ニ前年度繰越剩餘金二百九十五萬
二千七百二圓五十六錢ヲ加ヘテ總計五百三十二萬八千三百三十八圓四十

六錢ノ收入トナリ之ニ對シ事業費、事務費合セテ二百十二萬四千四
百三十六圓三十七錢ノ支出ヲ見タルヲ以テ結局三百十九萬六千四百
二圓九錢ヲ次年度ニ繰越スニ至レリ

第三 事業

本會ノ事業進捗ノ概要ヲ示セバ次ノ如シ

(一) 橿原神宮境域並畝傍山東北陵參道ノ擴張整備

(1) 總額四百萬圓ヲ以テ訂蓋セル掲題整備費ノ内神宮附屬建物整備
及造苑工事ニ就テハ昭和十二年勅令第五百九十六號ノ規定ニ基
キ經費百三十五萬圓ヲ以テ昭和十二年十二月十四日之ヲ内務省
ニ委囑シ四ケ年繼續事業トシテ施行ヲ進メタリ神宮附屬諸建物
ノ修改築工事ハ殆ンド竣功ヲ見尙造苑工事ニ付テモ著シク進捗

シ國民敬神ノ發露タル獻木ハ既ニ壹萬本ヲ算シ參道造苑ノ土木
工事モ極メテ順調ナル進捗ヲ示セリ

(ロ) 橿原神宮境域及畝傍山東北陵陵域ノ擴張並參拜道路ノ築造ニ關
スル事務一部ハ昭和十三年四月二日之ヲ奈良縣ニ委囑シタリ經
費約百八十萬圓内境域並陵域ノ擴張ニ伴フ土地約十萬坪ノ買收
其ノ他ニ約百四十萬圓、參拜道路ノ築造ニ要スル經費四十萬圓
トシテ右諸工事ハ昭和十五年迄ニ完成ノ豫定ヲ以テ繼續事業ト
シテ進メ、用地買收及家屋物件ノ移轉ハ完了シ參拜道路築造ニ
付テモ著シク進捗ヲ見尙土木工事ノ著シキ進捗ヲ見タルハ多數
ノ勞働奉仕アルニ因ル猶此ノ外經費約五萬圓ヲ以テ大阪電氣軌
道並大阪鐵道ノ移設ニ要スル用地買收方ヲ同月十八日奈良縣ニ

委囑シ夫々買収了シタリ

(ハ) 右整備ニ伴ヒ御料地内ヲ貫通スル河川ノ改修ヲ必要トスルニ至
リ昭和十三年十月三日其ノ工事施行ヲ經費概算四萬圓ヲ以テ宮
内省ニ委囑セル處迄ニ完成シタリ

(ニ) 大阪電氣軌道並大阪鐵道ノ移設ニ要スル用地買收ニ就テハ先ニ
述ブル所アリシガ右移設ニ要スル工事費ニ就テハ本會ヨリ直接
補償スルコトトシ昭和十三年六月一日大阪電氣軌道株式會社ニ
金四十二萬圓、同年十月二十五日大阪鐵道株式會社ニ金八萬圓
ヲ補償スル契約ヲ締結シ大阪電氣軌道ニアリテハ既ニ移設ヲ完
了セルモ大阪鐵道ニ付テハ目下工事施行中ナリ

(三) 宮崎神宮境域ノ擴張整備

紀元二千六百年祝典評議委員會ハ昭和十三年七月一日紀元二千六百年奉祝記念事業追加トシテ宮崎神宮境域擴張整備ノ件ヲ議決シタルニヨリ本會ニ於テハ金三十六萬圓ヲ以テ昭和十五年度迄ノ繼續事業トシテ施行スルコトトシ昭和十三年八月十三日宮崎縣ニ委嘱シタリ即チ神宮境域ト參道ノ擴張整備ニ金二十一萬圓、徵古館ノ改築ニ金十五萬圓ヲ支出スルコトトシ事業着々進捗中ナリ尙地元宮崎縣下ヲ始メ各方面ヨリ熱心ナル獻木ハ既ニ壹萬餘本ニ達セリ

三 神武天皇聖蹟ノ調査保存顯彰

神武天皇ノ聖蹟ヲ調査シ適當ナル保存顯彰ノ施設ヲ講ゼントスルモノニシテ經費約三十萬圓ヲ豫定ス先ヅ調査ニ因スル事務ヲ昭和十二年勅令第五百九十六號ノ規定ニ基キ昭和十三年六月二十二

日文部省ニ委嘱シタリ石經費ハ凡ソ十萬圓トシ 調査ノ結果ニ基キ本會ニ於テ順次保存顯彰ヲ實行ニ移サントスルモノニシテ目下同省ニ於テハ委員會ヲ設置シ慎重調査ヲ進メツツアリ

四 御陵參拜道路ノ改良

歷代天皇ノ御陵ニ至ル道路中ニハ近代交通ニ適セザルモノアリ依テ之ヲ改良シ參拜ニ使ナラシメントスルモノニシテ之ガ經費トシテ約六十三萬圓ヲ豫定ス京都府下一陵、奈良縣下二十七陵京都市内十三陵ニ通ズル道路ニ就テハ夫々成案ヲ得タルヲ以テ昭和十四年三月二十二日京都府、奈良縣及京都市ニ對シ事業委嘱ヲナシ夫々事業進捗ヲ示シ居レリ

五 國史館ノ建設

皇室ヲ中心ニ生成發展シ來レル國史ノ成跡ニ關スル各種ノ資料實物ヲ展示シ國民精神ノ振作更張ニ資セントスルモノニシテ昭和十二年勅令第五百九十六號ノ規定ニ基キ昭和十三年四月五日經費約三百萬圓昭和十七年ニ至ル五箇年繼續事業トシテ其ノ施設ヲ文部省ニ委囑シタリ同省ニ於テハ委員會ヲ設置シ建築様式内容施設等ニ付調査考究ヲ進メツツアリ

本事業ニ付テハ計畫當初ニ比シ物價騰貴ニ因ル設計上ノ困難アリ猶一面紀元二千六百年奉祝記念トシテ眞ニ後世ニ誇ルニ足ル一大建築物タラシムルノ要アリ而モ設計完了ニ至ラズ時局ノ關係上之ガ工事着手ノ時機ニ付テハ慎重ナル考慮ヲ拂フノ要アリテ本年度計上ノ豫算七十四萬三千圓ニ對シ五千五百十三圓餘ノ支出ヲナセ

ルニ止リタリ

内日本文化大觀ノ編纂出版

日本文化ノ精髓ヲ日、英、佛、獨ノ各國語ニ輯録シ廣ク内外ニ頒布セントスルモノニシテ昭和十二年勅令第五百九十六號ノ規定ニ基キ昭和十三年七月一日文部省ニ委囑シタリ經費凡ソ六十五萬圓、昭和十五年度ニ至ル繼續事業トシ本年度十八萬六千圓ヲ計上シタリ同省ニ於テ慎重ニ調査研究ノ結果略々脱稿ヲ見ルニ至レリ

(七) 教化施設

紀元二千六百年ノ意義ヲ闡明シ國民精神作興ヲ目的トシ本會ハ各種教化施設ヲ計畫實施來レルモ本年度ニ於テハ月刊雜誌「紀元二千六百年」ハ七月「宮中の御祭典と御儀式號」十二月「神社號」

等ノ臨時増刊ヲ刊行シ各方面ニ多大ノ反響ヲ喚起セリ
二月十一日東京市日比谷公會堂ニ於ケル「紀元節奉祝會」、四月
三日日比谷公會堂ニ於ケル「天業恢弘奉讚の會」五月十六日大阪
中央公會堂ニ於ケル「皇陵尊崇の會」等ノ講演會ヲ開催シ尙「肇
國精神の發揚紀元二千六百年奉讚展覽會」ヲ東京、大阪、京都、
名古屋等各地ニ於テ主催シ何レモ極メテ盛會裡ニ終始セリ其ノ他
八月二十日ニハ「紀元二千六百年奉祝國民歌」ノ歌詞ヲ更ニ十月
十五日ニハ當選シタル同歌詞ノ歌曲ヲ一般ヨリ懸賞募集シ十二月
之ガ當選歌曲ノ發表演奏會ヲ東京及大阪ニ於テ開催シタリ、然テ
之等教化施設ニ要シタル經費ハ四萬七千四百四十圓餘ヲ支出セリ

第四 結 語

之ヲ要スルニ本會ノ記念事業ハ其ノ種類廣範圍ニ涉リ前々年度即チ
創立第一年ニ於テ事業實施準備ノ大綱ヲ定メ昨年度ヨリ愈々實行ニ
移リ橿原神宮境域並畝傍山東北陵參道ノ擴張整備ハ内務省、奈良縣
宮内省ニ、宮崎神宮境域ノ擴張整備ハ宮崎縣ニ、神武天皇聖蹟ノ調
査ト國史館建設及日本文化大觀編纂出版ハ文部省御陵參拜道路ハ京
都府奈良縣及京都市ニ天々委囑ヲ了レリ橿原神宮境域並畝傍山東北
陵參道擴張整備事業ノ如キハ時恰モ時局ニ際會シテ國民精神ノ昂揚
ニ因ル勞働奉仕ノ盛行ヲ見著シキ進行ヲ示シタルモ一面國史館建設
ノ如ク資材ノ關係上自然豫定計畫ノ變更ヲ免カレザルニ至リ又寄附
金募集ニ就テハ時局ノ關係上豫定ノ收入ヲ擧グルニ至ラザリキ

昭和十四年度紀元二千六百年奉祝會收入支出決算

收

入

第一款 國庫補助金	二五〇、〇〇〇、〇〇〇
第一項 國庫補助金	二五〇、〇〇〇、〇〇〇
第二款 寄附金	一、九九九、〇四二、七三
第一項 寄附金	一、九九九、〇四二、七三
第三款 雜收入	一一九、〇九三、一七
第一項 雜收入	一一九、〇九三、一七
第四款 前年度繰越金	二、九五二、七〇二、五六
第一項 前年度繰越金	二、九五二、七〇二、五六
合計	五、三二〇、八三八、四六

圓

支

出

第一款 本部事務費

二九、二一〇、九〇

第一項 會議費

四一、二〇

第二項 給與費

五、一一六、二一

第三項 旅費

八〇四、四五

第四項 事務所費

二、一三七、四八

第五項 寄附募集費

一九、三四九、一一

第六項 雜費

一、七六二、四五

第二款 支部事務費

三、六六六、八九

第一項 支部事務費

三、六六六、八九

第三款 事業費

二、〇九一、五五八、五八

第一項 榎原神宮境域並欽傍山
東北陵參道擴張整備費

一、七〇二、一五四、八四

第二項 宮崎神宮境域擴張整備費

七六、八六五、七〇

第三項 神武天皇聖蹟調査保存顯彰費

三六、二〇六、〇〇

第四項 御陵參拜道路改良費

一六八、五二八、二一

第五項 國史館建設費

五、五一三、一四

第六項 日本文化大觀編纂出版費

五五、一五〇、〇〇

第七項 教化事業費

四七、一四〇、六九

第四款 豫備費

〇

第一項 豫備費

〇

第五款 次年度繰越金

三、一九六、四〇二、〇九

第一項 次年度繰越金

三、一九六、四〇二、〇九

合計

五、三二〇、八三八、四六

收入

昭和十四年度紀元二千六百年奉祝會收入支出決算說明

科	目	豫算額	決算額	増比	備考
科	第一款國庫補助金	1,150,000.00	1,330,000.00		1,000,000.00
	第一項國庫補助金	1,150,000.00	1,330,000.00		1,000,000.00
	第一目國庫補助金	1,150,000.00	1,330,000.00		1,000,000.00
	第二款寄附金	4,000,000.00	4,999,000.00		4,000,000.00
	第一項寄附金	4,000,000.00	4,999,000.00		4,000,000.00
	第一目寄附金	4,000,000.00	4,999,000.00		4,000,000.00
	第三款雜收入	381,100.00	1,100,937.00		3,000,937.00
	第一項雜收入	381,100.00	1,100,937.00		3,000,937.00
	第一目預金利子	381,100.00	1,100,937.00		3,000,937.00
	第二目雜收入	381,100.00	1,100,937.00		3,000,937.00

第四款前 總年度	第一項前 總年度	第一目前 總年度	合計
三三〇九四六〇〇	三三〇九四六〇〇	三三〇九四六〇〇	三三〇九四六〇〇
三九三三七〇三三六	三九三三七〇三三六	三九三三七〇三三六	三九三三七〇三三六
六三二七三六三六	六三二七三六三六	六三二七三六三六	六三二七三六三六
〇	〇	〇	〇
三二六八二一七三四			三二六八二一七三四

支出

科目	豫算額	決算額	増比	減額	備考
第一款本部事務費	四三三五四	三九二一〇九〇		一三二四三〇	
第一項會議費	一〇〇五	一〇〇五		九六三八〇	
第一目會議費	一〇〇五	一〇〇五		九六三八〇	
第二項給與費	一七四四九	三二一六三一		一三三三二七九	
第一目俸給	一〇二二四	三九三三六一		九二九〇二九	賞與へ流用減額 四七九圓
第二目囑託給	二四〇〇	〇		二四〇〇〇	
第三目雇員給	一三六〇	〇		一三六〇〇	
第四目備人料	五六四	〇		五六四〇〇	
第五目手当	三〇〇〇	一七〇三四〇		一三九七六〇	
第六目賞與	一	四八〇〇〇			俸給ヨリ流用増額 四七九圓
第三項旅費	二五〇〇	八〇四四五		六六九五五五	

第一目旅費	二五〇〇	八〇四四五	一六九五五五
第四項事務所費	四四〇〇	二一三七四八	二二六二五二
第一目備品費	五〇〇	一〇七六八	三九二三二
第二目圖書及印刷費	一五〇〇	六三〇七五	八六九三五
第三目消耗品費	一、二〇〇	四六四七〇	七三五三〇
第四目通信運搬費	一、一〇〇	九三四三五	二六三六五
第五項寄附募集費	一、五〇〇〇	一九三四九一一	四三四九一一
第一目寄附募集費	一、五〇〇〇	一九三四九一一	四三四九一一
第六項雜費	二、〇〇〇	一七六二四五	二三七五五
第一目雜費	二、〇〇〇	一七六二四五	二三七五五
第二款支部事務費	一〇〇,〇〇〇	三六六六八九	九六三三三一
第一項支部事務費	一〇〇,〇〇〇	三六六六八九	九六三三三一
第一目支部事務費	一〇〇,〇〇〇	三六六六八九	九六三三三一
豫備費ヨリ充用 増額四八五〇圓			

第三款事業費	三九八、〇〇〇	二〇九、一五八五八	一八八、九四四一四二
第一項 榑原神宮境 東並畝傍山 擴張整備費	二一五、〇〇〇	一七〇、一五四八四	四四、七八四五一六
第一目 榑原神宮境 東並畝傍山 擴張整備費	二一五、〇〇〇	一七〇、一五四八四	四四、七八四五一六
第二項 宮崎神宮境 擴張整備費	一八〇、〇〇〇	七六、八六五七〇	一〇三、一三四三〇
第一目 宮崎神宮境 擴張整備費	一八〇、〇〇〇	七六、八六五七〇	一〇三、一三四三〇
第三項 神武天皇聖 顯調查保存費	一〇〇、〇〇〇	三六、二〇六〇〇	六三、七九四〇〇
第一目 神武天皇聖 顯調查保存費	一〇〇、〇〇〇	三六、二〇六〇〇	六三、七九四〇〇

第四項 御陵參拜道 路改良費	第一目 御陵參拜道 路改良費	四九八〇〇〇	一六八五二八三一	三三九四七二七九
第五項 國史館 建設費	第一目 國史館 建設費	七四三〇〇〇	一六八五二八三一	三三九四七二七九
第六項 日本文化大 觀編纂出版費	第一目 日本文化大 觀編纂出版費	一八六〇〇〇	五五一三二四	七三九四八六八六
第七項 進化事業費	第一目 進化事業費	一八六〇〇〇	五五一三二四	七三九四八六八六
第二目 行費	二四〇〇〇	一八四八七七	五五一三二四	七三九四八六八六

第四款 豫備費	第一項 豫備費	五〇〇〇〇	〇	五〇〇〇〇〇
第五款 繰越年度	第一項 繰越年度	三四一五七〇二	三一九六四〇三〇九	二一九二九九九一
合 計		七五八九〇五六	五三二〇八三八四六	三二六八二一七五四

寄附券集費二充
用減額費五〇圓

財產目錄

昭和十四年十二月末日現在

種類	金額	備考
國債	一九五三〇〇	乃號三分半利付額面二千圓
銀行預金	三一八九八九五三四	三井、三菱、安田、住友、第一、橫濱正金
振替貯金	三八〇八五四一	朝鮮、臺灣、第百、三和、野村以上十一銀行
現金	四六〇〇	
合計	三、二二九、九七九、七五	

三、八〇、〇〇

昭和十五年四月三十日

紀元二千六百年奉祝會會長 公爵近衛文麿



供覽

內閣總理大臣 米內光政 殿

局長

書記官

職員採用ノ件

本日附本會職員左ノ通採用致候條此段及報告候

記

相原桂次

紀元二千六百年奉祝會書記ヲ命ス

月七拾五圓

15. 札
768

日本奉祝會

紀元二千六百年奉祝會書記ヲ命ス

田 淵 壽 次

記

本日榎本會卿員次ノ能斜田壽次勳出對及辭書刻

謝詞斜田ノ辭

内閣總理大臣 米 内 光 政 殿

紀元二千六百年奉祝會社長 公爵 近 衛 文 麿

昭和十五年四月廿一日

奉祝會第 三九一 號

昭和十五年四月六日

紀元二千六百年奉祝會社長 公爵 近 衛 文 麿

供 覽

内閣總理大臣 米 内 光 政 殿

局 長

書記官

職員採用ノ件

本日本會職員左ノ通採用致候ニ付此段及報告候

記

宮 崎 ヒ ロ

紀元二千六百年奉祝會書記ヲ命ス

紀元二千六百年奉祝會事務手囑託ス

宮 澤 三 郎

本日奉祝會事務手囑託ス

職員異動ノ件

内閣總理大臣 米 内 光 政 殿

紀元二千六百年奉祝會事務手囑託ス

昭和十五年四月九日

昭和十五年四月九日

昭和十五年四月九日

紀元二千六百年奉祝會長 公 爵 近 衛 文 麿

内閣總理大臣 米 内 光 政 殿

職員異動ノ件

本日附奉祝會職員左ノ通發令相成候ニ付此段及報告候

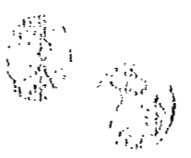
記

平 井 平 治 氏

平 井 平 治 氏

紀元二千六百年奉祝會事務手囑託ス

15.4.10 1944



紀元二千六百年奉祝會事務ヲ囑託ス

記

本日附本會職員左ノ通囑託致候ニ付此段及報告候

職員囑託ノ件

内閣總理大臣 米内光政 殿

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

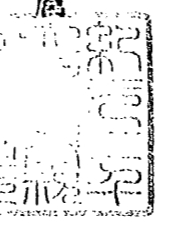
昭和十五年四月九日

奉祝會第四。六號

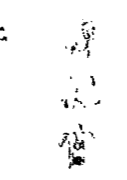
紀元二千六百年奉祝會事務ヲ囑託ス

古河末虎氏

内閣總理大臣 米内光政 殿



15.4.10
第176



職員囑託ノ件

本日附本會職員左ノ通囑託致候ニ付此段及報告候

記

紀元二千六百年奉祝會事務ヲ囑託ス

古河末虎氏

明治二十六年奉祝會書

古 岡 末 泉 九

本日附本會職員左ノ通囑託致候ニ付此段及報告候

御目録至入骨

内閣總理大臣 米 内 光 政 殿

明治二十六年奉祝會長 公 爵 近 衛 文 麿

昭和十五年四月九日

奉祝會 第四〇七號

紀元二千六百年奉祝會長 公 爵 近 衛 文 麿

供 電

内閣總理大臣 米 内 光 政 殿

局 長

職員囑託ノ件

本日附本會職員左ノ通囑託致候ニ付此段及報告候

記

佐 佐 木 謙 次 郎 氏

紀元二千六百年奉祝會書記ヲ囑託ス

15.4.10 第177號

昭和十五年六月廿五日奉詔會書局長御筆入

法務省 法律局 法律部 法律課

品

本日閣本會御筆入、御筆並進封、林田野真等皆刻

御筆御筆入等

内閣總理大臣 米内光政 親

昭和十五年六月廿五日奉詔會書局長 公爵 近衛文麿

昭和十五年四月十日

奉詔會書局長

奉詔會書局長 第一〇號

昭和十五年四月十日

紀元二千六百年奉詔會書局長 公爵 近衛文麿

供覽

内閣總理大臣 米内光政 殿

局長

書記官

幹事囑託ノ件

本日左記ノ通本會幹事囑託相成候ニ付此段及報告候

記

法制局參事官

森山 銳 一

紀元二千六百年奉詔會書局長御筆ヲ囑託ス



紀元二千六百年奉祝會事務ヲ囑託ス

精 山 魚

本日奉命ノ前本會事務建設並世與知ニ付世與又謝書列

管世知准ノ并

内閣總理大臣 米 内 光 政 殿

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近 衛 文 麿

昭和十五年四月十日

紀元奉祝會 第三八九號

昭和十五年四月十五日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近 衛 文 麿

内閣總理大臣 米 内 光 政 殿

職員囑託ノ件

本會職員左ノ通囑託致候ニ付此段及報告候

記

(文部書記官)

青 戸 精 一

紀元二千六百年奉祝會會務ヲ囑託ス

15.4.1 第187

紀元二千六百年奉祝會

紀元二千六百年奉祝會

紀元二千六百年奉祝會

紀元二千六百年奉祝會

紀元二千六百年奉祝會

紀元二千六百年奉祝會



一八三 五四十二 十 日 十七 五 日 十八

書記官



了



紀元二千六百年奉祝會會員章程
制定認可指令安示

紀元二千六百年奉祝會會長公爵近衛文麿



昭和十五年四月十日附芳四一四號申請

紀元二千六百年奉祝會會員章程制定

件認可ス

昭和十五年四月十七日

内閣總理大臣

奉
命
一
四
號

昭和十五年四月十日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵近衛文麿

内閣總理大臣 米内光政 殿

紀元二千六百年奉祝會會員章程規程制定ノ件

標記規程別紙ノ通制定致度候條御認可相成度此段及申請候

紀元二千六百年奉祝會
昭和十五年四月十日
15.4.12
第183號

無庸賦課限額ノ賦課或延滞懸滞等項下賦課額出廻及申補宛
明治二十六年半奉詔會會員章賦課附家ノ件

内閣縣野大目 米 内 光 畑 畑

明治二十六年半奉詔會會員 公 務 法 務 文 部

明治二十五年四月十日

紀元二千六百年奉詔會會員章規程

第一條 會員章ハ左ノ五種トス

- 一 名譽會員章
 - 二 特別有功會員章
 - 三 有功會員章
 - 四 特別會員章
 - 五 通常會員章
- 會員章ノ圖式左ノ如シ
- 名譽會員章

乾漆、黒色、八稜鏡形、徑三・一厘トス

表面ニハ中央ニ金鶏様ノ圖ヲ置キ輪廓ハ金線トス

裏面ニハ紀元二千六百年奉祝會名譽會員章ノ文字ヲ識シ幅三・七

厘ノ紫色絹リボンヲ附ス

特別有功會員章

乾漆、黒色、八稜鏡形、徑三・一厘トス

表面ニハ中央ニ金鶏様ノ圖ヲ置キ輪廓ハ金線トス

裏面ニハ紀元二千六百年奉祝會特別有功會員章ノ文字ヲ識シ幅

三・七厘ノ緋色絹リボンヲ附ス

有功會員章

乾漆、黒色、八稜鏡形、徑三・一厘トス

表面ニハ中央ニ金鶏様ノ圖ヲ置キ輪廓ハ金線トス

裏面ニハ紀元二千六百年奉祝會有功會員章ノ文字ヲ識シ幅三・七

厘ノ青色絹リボンヲ附ス

特別會員章

乾漆、黒色、八稜鏡形、徑三・一厘トス

表面ニハ中央ニ金鶏様ノ圖ヲ置キ輪廓ハ銀線トス

裏面ニハ紀元二千六百年奉祝會特別會員章ノ文字ヲ識シ幅三・七

厘ノ綠色絹リボンヲ附ス

通常會員章

合成樹脂、黒色、八稜鏡形、徑三・一厘トス

表面ニハ中央ニ金鷄様ノ圖ヲ置キ輪廓ハ銀線トス
裏面ニハ紀元二千六百年奉祝會通常會員章ノ文字ヲ識ス

第二條 會員章ハ總裁之ヲ贈與ス

會員章ニハ證狀ヲ添附ス

第三條 會員章ハ他人ニ貸與シ又ハ讓渡スルコトヲ得ズ

第四條 會員資格ノ變更ニ依リ新會員章ノ交付ヲ受ケタルトキハ舊

會員章ハ之ヲ返納スルモノトス

第五條 會員章ヲ毀損シ又ハ亡失シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ再交

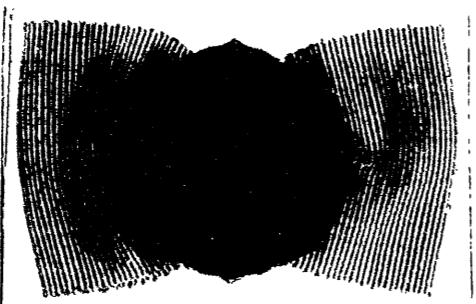
付ヲ請求スルコトヲ得

再交付ニ要スル費用ハ請求者ノ負擔トス

會員章ノ圖

一名譽會員章

表

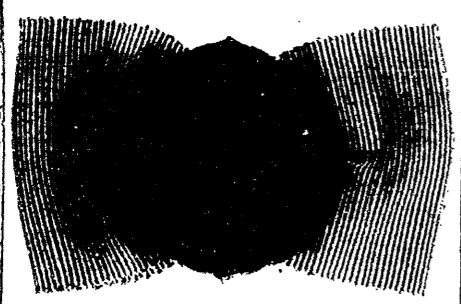


裏

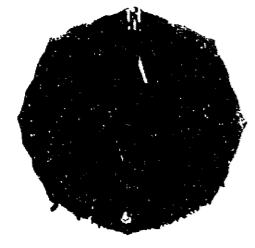


二特別有功會員章

表



裏



再交付ニ要スル費用ハ請求ノ員願ハス

會員章ノ圖

一名 普通會員章

丸

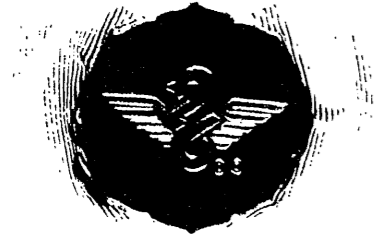


史



二 特別有功會員章

丸



史



三有功會員章

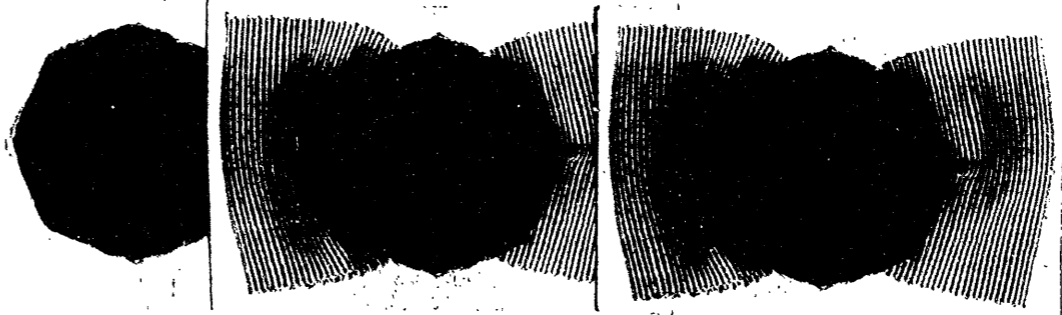
表

四特別會員章

表

五通常會員章

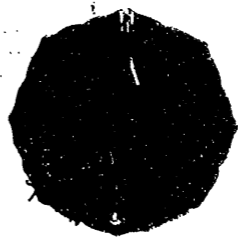
表



裏



裏



裏



證狀

紀元二千六百年奉祝會ノ事業ヲ興賛シ會資ヲ補助セラル

氏

仍テ本會規程ニ照シ

名譽會員
特別有功會員
有功會員
特別會員
通常會員

ニ列シ

名譽會員章
特別有功會員章
有功會員章
特別會員章
通常會員章

ヲ贈與ス

昭和 年 月 日

紀元二千六百年奉祝會總裁大勳位雍仁親王 剛
紀元二千六百年奉祝會長從二位勳一等公爵近衛文麿 剛

正有印會員章

表

西特別會同章

裏

五通常會同章

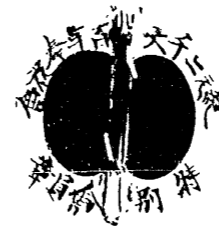
表



裏

裏

裏



此章本會規程
 通時有別
 會別功
 員會會
 員員員
 二列シ
 通時有別
 會別功
 員會會
 員員員
 章章章
 一
 二
 三

此章本會規程
 通時有別
 會別功
 員會會
 員員員
 二列シ
 通時有別
 會別功
 員會會
 員員員
 章章章
 一
 二
 三

内閣
一九二

奉祝會
第四七七號

昭和十五年四月二十日

紀元二千六百年奉祝會會長 公爵 近衛文



供覽

内閣總理大臣 米内光政 殿

職員囑託竝ニ解囑ノ件

本日左ノ通本會幹事囑託相成候條此段及報告候

記

内務省神社局長

飯沼一省

紀元二千六百年奉祝會幹事ヲ囑託ス



Vertical text on the right page, including a large seal impression and several lines of text.

Vertical text on the right page, including a large seal impression and several lines of text.

Vertical text on the right side of the page, likely a list of names or titles, partially obscured by a large seal.

Vertical text in the middle of the page, possibly a title or a specific name, also partially obscured by a seal.

Vertical text on the left side of the page, likely a list of names or titles.

一九二〇年

奉祝會 第四七七 號

昭和十五年四月二十日

紀元二千六百年奉祝會會長 公爵 近衛文麿

供覽

内閣總理大臣 米内光政 殿

職員囑託竝ニ解囑ノ件

本日左ノ通本會幹事囑託相成候條此段及報告候

記

内務省神社局長

飯沼一省

紀元二千六百年奉祝會幹事ヲ囑託ス



元内務省神社局長

中野與吉郎

紀元二千六百年奉祝會幹事ノ囑託ヲ解ク

奉祝會 第四七九號

昭和十五年四月二十日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵近衛文麿

内閣總理大臣 米内光政 殿

職員囑託ノ件

本日附本會職員左ノ通囑託致候條此段及報告候

記

跡部 兼 喜

紀元二千六百年奉祝會書記ヲ囑託ス

15.4.23
第205號

紀元奉祝會 第四七八號

昭和十五年四月二十日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

供覽

內閣總理大臣 米内光政 殿

局

書記官

地方支部長囑託並解囑ノ件

本日本會地方支部長左記ノ通囑託並解囑致候ニ付此段及報告候
記

京都府知事
神奈川縣知事
長崎縣知事
新潟縣知事

川西實三
松村光磨
平敏孝
安井誠一郎



15.4.23
第202号

紀元二千六百年奉祝會支部長ヲ囑託ス

栃木縣知事	山縣三郎
奈良縣知事	宮村才一郎
三重縣知事	中野與吉郎
愛知縣知事	兒玉九一
滋賀縣知事	近藤壤太郎
宮城縣知事	林信夫
岩手縣知事	山内義文
島根縣知事	江邊清夫
香川縣知事	永安百治
福岡縣知事	本間精
佐賀縣知事	眞崎長年
熊本縣知事	雪澤千代治

紀元二千六百年奉祝會支部長ノ囑託ヲ解ク

元京都府知事	赤松小寅
元神奈川縣知事	飯沼一省
元新潟縣知事	君島清吉
元栃木縣知事	足立收
元愛知縣知事	田中廣太郎
元宮城縣知事	清水良策
元香川縣知事	藤岡長敏
元島根縣知事	森部隆
元佐賀縣知事	加藤於菀丸
元奈良縣知事	三島誠也
元三重縣知事	小河正儀
元熊本縣知事	近藤駿介

收 入 支 出 現在高
 前月迄累計 本月分 計 前月迄累計 本月分 計

4,711,528.56 22,442.66 4,733,971.22 2,397,557.17 40,415.66 2,437,972.83 4,774,436.41

備考

現在高内訳

銀行預金總額 振替貯金 國債證券 現金 合計

4,711,528.56 22,442.66 2,453.00 10.19 4,736,436.41

備考

- 1 銀行預金總額ノ明細下記ノ通り
- 2 國債證券ハ三分半利付新債5,000円

銀行預金明細

銀行名	定期	通知	特別	當座	當座	計
三井銀行	700,000.00	0	22,712.71	0	0	722,712.71
三菱銀行	300,000.00	0	31,423.67	0	0	331,423.67
安田銀行	500,000.00	0	31,504.40	0	0	531,504.40
住友銀行	720,000.00	0	31,271.76	0	0	751,271.76
第一銀行	500,000.00	511,000.00	156,377.16	6,667.66	0	1,174,046.72
横濱正金銀行東京支店	70,000.00	0	52,011.10	0	0	122,011.10
朝鮮銀行東京支店	70,000.00	0	16,020.00	0	0	86,020.00
臺灣銀行東京支店	70,000.00	0	107,747.27	0	0	177,747.27
第百銀行	220,000.00	0	31,207.17	0	0	251,207.17
三和銀行	370,000.00	0	16,742.24	0	0	386,742.24
貯蓄銀行	150,000.00	0	11,523.27	0	0	161,523.27

計 3,770,000.00 511,000.00 522,706.70 6,667.66 4,770,374.36

收入計算書

昭和 / 年 3 月分

科 目	豫 算 額	收 入 額			豫 算 残 額	備 考
		前月迄累計	本 月 分	計		
第一項 下賜金	1,000,000.00	1,000,000.00	0	1,000,000.00	0	
第一目 下賜金	1,000,000.00	1,000,000.00	0	1,000,000.00	0	
第一目 下賜金	1,000,000.00	1,000,000.00	0	1,000,000.00	0	
第一目 國庫補助金	1,000,000.00	0	0	0	1,000,000.00	
第一目 國庫補助金	1,000,000.00	0	0	0	1,000,000.00	
第一目 御下賜金	1,000,000.00	0	0	0	1,000,000.00	
第一目 附金	5,000,000.00	671,892.67	220,823.06	892,715.73	4,107,284.27	
第一目 附金	5,000,000.00	671,892.67	220,823.06	892,715.73	4,107,284.27	
第一目 附金	5,000,000.00	671,892.67	220,823.06	892,715.73	4,107,284.27	
第一項 雑収入	94,500.00	12,518.51	17,896.83	30,415.34	64,084.66	
第一目 雑収入	94,500.00	12,518.51	17,896.83	30,415.34	64,084.66	
第二目 預金利息	84,500.00	900.00	15,783.49	16,683.49	67,816.51	
第一目 雑収入	10,000.00	11,618.51	2,113.34	13,731.85	3,268.15	
前年度繰越金	3,480,000.00	3,196,402.09	0	3,196,402.09	283,597.91	
前年度繰越金	3,480,000.00	3,196,402.09	0	3,196,402.09	283,597.91	
前年度繰越金	3,480,000.00	3,196,402.09	0	3,196,402.09	283,597.91	
計	10,574,500.00	4,880,813.27	238,719.89	5,119,533.16	5,454,966.84	

支出計算書

昭和15年 2 月分

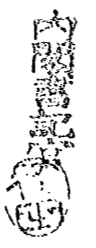
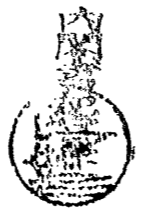
(1)

科 目	豫 算 額	支 出		額 計	豫算残額	備 考
		前月迄累計	本 月 分			
第一項 本部事務費	91,424.00	43,175.6	3,431.66	8,299.22	83,124.78	
第一目 會議費	2,175.00	1,875.00	0	1,875.00	300.00	
第二目 會議費	2,175.00	1,875.00	0	1,875.00	300.00	
第三目 給與費	17,449.00	734.67	8,799.91	1,534.58	15,914.42	
第一目 給與費	10,275.00	340.00	1,724.1	5,124.1	9,512.59	貸與流用減額 1,199.4
第二目 職員給料	2,400.00	249.67	180.00	429.67	1,970.33	
第三目 職員給料	1,260.00	0	0	0	1,260.00	
第四目 職員給料	564.00	0	0	0	564.00	
第五目 職員給料	3,000.00	145.00	247.50	392.50	2,607.50	
第六目 職員給料	200.00	0	200.00	200.00	0	貸與流用減額 1,199.4
第七目 旅費	2,500.00	539.97	2,199.5	829.92	1,670.08	
第一目 旅費	2,500.00	539.97	2,199.5	829.92	1,670.08	
第二目 事務用品費	4,400.00	553.78	1,200.49	764.27	3,645.73	
第一目 備品費	500.00	141.79	94.0	151.19	348.81	
第二目 圖書及印刷費	1,500.00	180.02	0	180.02	1,319.98	
第三目 消耗品費	1,200.00	50.22	86.64	136.86	1,063.14	
第四目 通信搬費	1,200.00	181.75	104.45	286.20	913.70	
第五目 印章費	21,100.00	0	0	0	21,100.00	
第一目 印章作成費	18,450.00	0	0	0	18,450.00	
第二目 送諸費	2,650.00	0	0	0	2,650.00	
第六目 附屬費	40,800.00	6,773.8	12,545.3	1,931.91	38,868.09	
第一目 附屬費	40,700.00	6,773.8	12,545.3	1,931.91	38,868.09	
第七目 雜費	3,000.00	436.76	936.78	1,373.54	1,626.46	
第一目 雜費	3,000.00	436.76	936.78	1,373.54	1,626.46	
第二項 支那事務費	92,000.00	7,878.09	2,056.27	9,934.36	82,065.64	
第一目 支那事務費	92,000.00	7,878.09	2,056.27	9,934.36	82,065.64	
第二目 支那事務費	92,000.00	7,878.09	2,056.27	9,934.36	82,065.64	

510

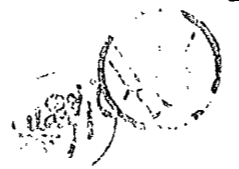
二。田 十五 四五 五 五 一 一

了



紀元二千六百年奉祝會役員選任認可指令案

書記官



紀元二千六百年奉祝會役員選任認可指令案

紀元二千六百年奉祝會長公爵近衛文麿

昭和十五年四月二十日附芳四七六號申請役員



選任一件認可又

昭和十五年五月一日

内閣總理大臣

（五）

奉祝會 第四七六號

昭和十五年四月二十日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

内閣總理大臣 米内光政 殿



15.4.23
第204

役員選任ノ件認可申請

本會役員左記ノ通選任致度候條御認可相成度此段及申請候也
記

厚生次官	兒玉政介
樺太廳長官	小幡河正儀
南洋廳長官	近藤駿介
奈良縣知事	宮村才一
宮崎縣知事	長谷川透

東京市長代理助役

紀元二千六百年奉祝會常議員ヲ囑託ス

神奈川縣知事

新潟縣知事

栃木縣知事

三重縣知事

滋賀縣知事

宮城縣知事

島根縣知事

香川縣知事

福岡縣知事

佐賀縣知事

大分縣經濟部長

栃木市長

大久保 留次郎

松村 光磨

安井 誠一郎

山縣 三郎

中野 與吉郎

近藤 壤太郎

林 信夫

江邊 清夫

永安 百治

本間 精

眞崎 長年

和田 貞臣

長谷川 調七

松本市長

紀元二千六百年奉祝會評議員ヲ囑託ス

百瀬 渡

昭和三十六年六月廿六日附申請紀元二千六百年奉祝會

百 庫 號

一八九

五四十九

五五三

〃

〃

内閣總理大臣



内閣書記官



會計課長 佐藤

内閣書記官 和四

書記官



櫻木



財團法人紀元二千六百年奉祝會ニ對シ補助金

下付ノ件

紀元二千六百年奉祝會會長公爵近衛文麿

昭和十五年四月十六日附申請紀元二千六百年奉祝



會事業費補助トシテ總額金五百萬圓ノ内

昭和十五年度分トシテ金壹百萬圓ヲ下付ス

但シ左記ノ通心得ベシ

昭和十五年五月三日

内閣總理大臣

記

一補助金ハ分割交付スルモノトス

二補助金ハ之ヲ其ノ會ノ事務費ニ使用スルヲ得ズ

三會務及工事等ニ関シテハ隨時内閣ニ於テ検査ヲ

行ヒ報告ヲ徴シ又ハ指示ヲ爲スコトアルベシ

四補助ノ條件又ハ内閣ノ指示命令ニ違ヒタルトキ、

事業ヲ中止シタルトキ又ハ會務若ハ工事等ノ施

行其、當ヲ得サルモノアリト認ムルトキハ補助金、
全部又ハ一部ヲ返還セシムルコトアルベシ

第二案

昭和十五年八月三日

内閣書記官長

紀元二千六百年奉祝會長宛



國庫補助金下付指令書送付、件

昭和十五年四月十六日附申請相成候紀元二千六百
年奉祝會事業費補助金下付方、件本日別
紙、通指令相成候條御了知、上請書提出相成
度

參照

一金五百萬圓

國庫補助金總額

右中交付済金額及年度左如シ

金貳百五十萬圓

昭和十二年度

金百貳拾五萬圓

昭和十三年度

金貳拾五萬圓

昭和十四年度

總額
奉祝會
第四四五號

補助金下付申請書

一金壹百萬圓也

但補助金總額五百萬圓也ノ内昭和十五年度ニ屬スル分

右金額御下付被成下度別紙理由書竝ニ參考書類相添へ此段申請候也

昭和十五年四月十六日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵近衛文麿



内閣總理大臣 米内光政 殿



補助金下付申請理由書

本會ハ紀元二千六百年奉祝記念事業トシテ(一)橿原神宮境域並畝傍山
東北陵參道ノ擴張整備(二)宮崎神宮境域ノ擴張整備(三)神武天皇聖蹟ノ
調査保存顯彰(四)御陵參拜道路ノ改良(五)國史館ノ建設(六)日本文化大觀
ノ編纂出版等ノ事業ヲ施行スル目的ヲ以テ昭和十二年四月二十四日
設立セラレ次テ同年七月七日組織ヲ改メテ財團法人ト成リタルモノ
ニシテ是等事業ノ實施ニ要スル經費約一千三百萬圓ハ官民協同舉國
一致ノ精神ニ則リ五百萬圓ハ國庫ヨリノ補助ヲ仰ギ他ノ八百萬圓ハ
全國民ノ寄附ニ依リ支辨セントスルモノニ御座候
政府ハ本會ノ事業助成ノ爲國庫補助金總額五百萬圓ノ内昭和十二年

度ニ貳百五拾萬圓、昭和十三年度ニ百貳拾五萬圓、昭和十四年度ニ
貳拾五萬圓ヲ下付セラレタルモ引續キ奉祝記念事業ヲ實施スル爲必
要ニ付昭和十五年度ニ屬スル分金壹百萬圓也御下付被成下度茲ニ申
請ニ及ヒタル次第ニ御座候

参 考 書 類

- 一 昭和十五年度紀元二千六百年奉祝會收入支出豫算
- 一 昭和十五年度紀元二千六百年奉祝會收入支出追加豫算
- 一 財産目錄 昭和十五年三月末日現在
- 一 昭和十四年度事業狀況
- 一 昭和十四年度紀元二千六百年奉祝會收入支出決算
- 一 昭和十四年度紀元二千六百年奉祝會 自昭和十二年度 至昭和十七年度 收支年度割表
- 一 紀元二千六百年奉祝會事業計畫要綱
- 一 紀元二千六百年奉祝會審附行爲及同施行規則
- 一 紀元二千六百年奉祝會役員名簿

一 昭示二千六百半奉願會費員冷辭
 二 昭示二千六百半奉願會費員冷辭
 三 昭示二千六百半奉願會費員冷辭
 四 昭示二千六百半奉願會費員冷辭
 五 昭示二千六百半奉願會費員冷辭
 六 昭示二千六百半奉願會費員冷辭
 七 昭示二千六百半奉願會費員冷辭
 八 昭示二千六百半奉願會費員冷辭
 九 昭示二千六百半奉願會費員冷辭
 十 昭示二千六百半奉願會費員冷辭
 十一 昭示二千六百半奉願會費員冷辭
 十二 昭示二千六百半奉願會費員冷辭
 十三 昭示二千六百半奉願會費員冷辭
 十四 昭示二千六百半奉願會費員冷辭
 十五 昭示二千六百半奉願會費員冷辭
 十六 昭示二千六百半奉願會費員冷辭
 十七 昭示二千六百半奉願會費員冷辭
 十八 昭示二千六百半奉願會費員冷辭
 十九 昭示二千六百半奉願會費員冷辭
 二十 昭示二千六百半奉願會費員冷辭

參 考 書 籍

昭和十五年度紀元二千六百年奉祝會收入支出豫算

收 入

第一款 國庫補助金	一、〇〇〇、〇〇〇
第一項 國庫補助金	一、〇〇〇、〇〇〇
第二款 寄附金	五、〇〇〇、〇〇〇
第一項 寄附金	五、〇〇〇、〇〇〇
第三款 雜收入	七、八〇〇、〇〇〇
第一項 雜收入	七、八〇〇、〇〇〇
第四款 前年度繰越金	三、四八〇、〇〇〇
第一項 前年度繰越金	三、四八〇、〇〇〇
合 計	九、五五八、〇〇〇

圓

支出

第一款 本部事務費	九〇、二五四
第一項 會議費	一、〇〇五
第二項 給與費	一七、四四九
第三項 旅費	二、五〇〇
第四項 事務所費	四、四〇〇
第五項 會員章費	二一、一〇〇
第六項 寄附募集費	四〇、八〇〇
第七項 雜費	三、〇〇〇
第二款 支部事務費	九二、〇〇〇
第一項 支部事務費	九二、〇〇〇

第三款 事業費

五、〇二七、三一五

第一項 權原神宮境域並畝傍山 東北陵參道擴張整備費	一、四九五、〇〇〇
第二項 宮崎神宮境域擴張整備費	一三八、〇〇〇
第三項 神武天皇聖蹟調查保 存顯彰費	二五〇、〇〇〇
第四項 御陵參拜道路改良費	三九六、〇〇〇
第五項 國史館建設費	一、〇四七、四三四
第六項 日本文化大觀編纂出版費	五五〇、八八一
第七項 教化事業費	四〇〇、〇〇〇
第八項 奉祝會費	七五〇、〇〇〇
第四款 豫備費	二〇〇、〇〇〇

圓

第一項 豫備費 二〇〇、〇〇〇
 第五款 次年度繰越金 四、一四八、四三一
 第一項 次年度繰越金 四、一四八、四三一
 合計 九、五五八、〇〇〇

昭和十五年度紀元二千六百年奉祝會收入支出豫算說明書

科 款 項 目	豫算額		增 比	減 較	備 考
	本年度	前年度			
第一款 國庫補助金	1,000,000	1,150,000	1	150,000	
第一項 國庫補助金	1,000,000	1,150,000	1	150,000	
第二款 寄附金	500,000	500,000			
第一項 寄附金	500,000	500,000			
第三款 雜收入	78,000	38,110	328.20		本部撥出 9,558,000圓

科目	本年	前年	增	減	備考
第一項雜收入	七八〇〇〇	五八一〇〇	五九八〇〇		
第一目預金利子	六八〇〇〇	五〇〇〇〇	五〇〇〇〇		
第二目雜收入	一〇〇〇〇	五二一〇〇	四八九〇		「紀元二千六百年」 掲載廣告料並賣上代 其他
第四款前年度繰越金	五四八〇〇〇〇	五〇〇〇九四六	一七九〇五四		
第一項前年度繰越金	五四八〇〇〇〇	五〇〇〇九四六	一七九〇五四		
第一目前年度繰越金	五四八〇〇〇〇	五〇〇〇九四六	一七九〇五四		
合計	九五五八〇〇〇	五五八八九〇五六	一九六八九四四		

支出

科目	本年	前年	增	減	備考
第一款本部事務費	九〇二三四	四二三五四	四七九〇〇		
第一項會議費	一〇〇五	一〇〇五			
第一目會議費	一〇〇五	一〇〇五			理事會、委員會、 常議員會諸費
第二項給與費	一七四四九	一七四四九			
第一目俸給	一〇三三四	一〇三三四			主事年二、一六〇圓 二人、四三三〇圓 書記月八三三圓、六 五九〇四圓
第二目囑託給	二四〇〇	二四〇〇			囑託員月一〇〇圓 二人
第三目雇員給	一五六〇	一五六〇			雇員月三五圓三人

第四目備人料	五六四	五六四	給仕月一五圓一人 一八〇圓 小使月三二圓一人 三八四圓
第五目手當	三〇〇〇	三〇〇〇	職員其ノ他ニ對ス ル手當
第六目賞與	—	—	
第三項旅費	二五〇〇	二五〇〇	役職員旅費
第一目旅費	二五〇〇	二五〇〇	
第四項事務所費	四四〇〇	四四〇〇	
第一目備品費	五〇〇	五〇〇	
第二目印刷書費及	一五〇〇	一五〇〇	
第三目消耗品費	一〇〇〇	一〇〇〇	

第四目通信運搬費	一〇〇〇	一〇〇〇	
第五項會員章費	二一〇〇	二一〇〇	
第一目會成員章	一八四五〇	一八四五〇	
第二目發送諸費	二六五〇	二六五〇	
第六項寄附募集費	四〇八〇〇	一五〇〇〇	二五八〇〇
第一目寄附募集費	四〇八〇〇	一五〇〇〇	二五八〇〇
第七項雜費	三〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇
第一目雜費	三〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇
第二款支部事務費	九二〇〇〇	一〇〇〇〇〇	八〇〇〇
第一項支部事務費	九二〇〇〇	一〇〇〇〇〇	八〇〇〇

舟車馬傭人料賄料
其他

第一目 支部事務費	九〇〇〇	一〇〇〇〇	一	八〇〇〇
第三款事 業 費	五〇二七三二五	五九八〇〇〇	一〇四六三一五	一
第一項 櫛原神宮境 東並畝傍山 張整備費	一四九五〇〇〇	二一五〇〇〇〇	一	六五五〇〇〇
第一目 櫛原神宮境 東並畝傍山 擴張整備費	一四九五〇〇〇	二一五〇〇〇〇	一	六五五〇〇〇
第二項 宮崎神宮境 擴張整備費	一三八〇〇〇	一八〇〇〇〇	一	四三〇〇〇
第一目 宮崎神宮境 擴張整備費	一三八〇〇〇	一八〇〇〇〇	一	四三〇〇〇
第三項 神武天皇聖 蹟調査保存 費	二五〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇	一五〇〇〇〇	一

第一目 神武天皇聖 蹟調査保存 費	二五〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇	一五〇〇〇〇	一
第四項 神武天皇聖 蹟調査保存 費	三九六〇〇〇	四九八〇〇〇	一	一〇二〇〇〇
第一目 神武天皇聖 蹟調査保存 費	三九六〇〇〇	四九八〇〇〇	一	一〇二〇〇〇
第五項 國史館 建設費	一〇四七四三四	七四三〇〇〇	三〇四四三四	一
第一目 國史館 建設費	一〇四七四三四	七四三〇〇〇	三〇四四三四	一
第六項 日本文化大 觀編纂出版 費	五五〇八八一	一八六〇〇〇	三六四八八一	一
第一目 日本文化大 觀編纂出版 費	五五〇八八一	一八六〇〇〇	三六四八八一	一
第七項 教化事業費	四〇〇〇〇〇	一四四〇〇〇	二七六〇〇〇	一

第一目教化施設費	三七〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇	一、七〇〇〇〇	
第二目「紀元二千六百年」 發行費	三〇〇〇〇	一、〇〇〇〇	六〇〇〇	
第八項奉祝會費	七五〇〇〇	—	七五〇〇〇	
第一目奉祝會費	七五〇〇〇	—	七五〇〇〇	
第四款豫備費	一〇〇〇〇〇	五〇〇〇〇	一、五〇〇〇〇	
第一項豫備費	一〇〇〇〇〇	五〇〇〇〇	一、五〇〇〇〇	
第一目豫備費	一〇〇〇〇〇	五〇〇〇〇	一、五〇〇〇〇	
第五款繰越年度	四一四八四三一	四四一、五七〇二	七三三、七二九	
第一項繰越年度	四一四八四三一	四四一、五七〇二	七三三、七二九	
第一目繰越年度	四一四八四三一	四四一、五七〇二	七三三、七二九	
合計	六、五五八、〇〇〇	七、五八九、〇五六	一、九六八、九四四	

昭和十五年度紀元二千六百年奉祝會收入支出追加豫算

收入	
第一款 御下賜金	一、〇〇〇、〇〇〇
第一項 御下賜金	一、〇〇〇、〇〇〇
第三款 雜收入	一六、五〇〇
第一項 雜收入	一六、五〇〇
合計	一、〇一六、五〇〇
既決豫算	九、五五八、〇〇〇
收入總計	一〇、五七四、五〇〇

圓

新ニ「第一款 御下賜金」ノ科目ヲ設ケ「第一款 國庫補助金」
 ヲ「第二款」ニ以下順次繰下グ

支 出

第五款 次年度繰越金	一、〇一六、五〇〇
第一項 次年度繰越金	一、〇一六、五〇〇
合 計	一、〇一六、五〇〇
既決豫算	九、五五八、〇〇〇
支出總計	一〇、五七四、五〇〇

昭和十五年度紀元二千六百年奉祝會收入支出追加豫算説明書

科 目	款 項 目	入		備 考
		本年度追加 豫算高	本年度既決 豫算高	
第一款 御下賜金		1000000	1	1000000
第一項 御下賜金		1000000	1	1000000
第一目 御下賜金		1000000	1	1000000
第三款 雜收入		16500	78000	94500
第一項 雜收入		16500	78000	94500
第一目 預金利子		16500	68000	84500
合 計		1016500	958000	1057500

支出

科 款 項 目	本年 度 追 加 豫 算 高	本年 度 既 決 豫 算 高	計	備 考
第五款 次年度繰越金	101,650.00	101,650.00	101,650.00	
第一項 次年度繰越金	101,650.00	101,650.00	101,650.00	
第一目 次年度繰越金	101,650.00	101,650.00	101,650.00	
合 計	101,650.00	101,650.00	101,650.00	

財 産 目 録

昭和十五年三月末日現在

種 類	金 額	備 考
國 債	2,455,500	乃論三分率利付額面二千五百圓
銀行預金	4,816,525.56	三井、三菱、安田、住友、第一、橫濱正金、 朝鮮、臺灣、第百、三和、野村、以上十一銀行
振替貯金	2,244,266	
現 金	151.9	
合 計	4,816,525.61	

銀行預金明細書

昭和十五年三月末日現在

銀行名	定期	通知	特別當座	當座	計
三井銀行	八〇〇〇〇〇〇〇	—	二八七一三七一	—	八二八七一三七一
三菱銀行	三〇〇〇〇〇〇〇	—	三八四八三六九	—	三三八四八三六九
安田銀行	五〇〇〇〇〇〇〇	—	三八五〇四四〇	—	五三八五〇四四〇
住友銀行	七二〇〇〇〇〇〇	—	三二二九一八六	—	七五二二九一八六
第一銀行	五〇〇〇〇〇〇〇	五二一〇〇〇〇〇	一五六三七八一六	六六六八六六六	一七四〇四六八三
橫濱正金銀行東京支店	七〇〇〇〇〇〇〇	—	五三〇一一一〇	—	一三三〇一一一〇
朝鮮銀行東京支店	七〇〇〇〇〇〇〇	—	一六〇三〇〇〇	—	八六〇三〇〇〇
臺灣銀行東京支店	七〇〇〇〇〇〇〇	—	一〇七八四九三九	—	一七七八四九三九
第一百銀行	二二〇〇〇〇〇〇〇	—	三二二〇九一八	—	二五二二〇九一八
三和銀行	五七〇〇〇〇〇〇〇	—	一六八七三三四	—	三八六八七三三四

野村銀行
合計

15000000	1	15000000	15285690	666866	16652327
377000000	51000000	52885690	666866	481652556	

昭和十四年度事業報告
狀況

第一 序 説

本會ハ紀元二千六百年ノ奉祝記念事業トシテ(一)橿原神宮境域並畝傍山東北陵參道ノ擴張整備(二)宮崎神宮境域ノ擴張整備(三)神武天皇聖蹟ノ調査保存顯彰(四)御陵參拜道路ノ改良(五)國史館ノ建設(六)日本文化大觀ノ編纂出版等ヲ施行シ以テ國民精神ノ昂揚ヲ圖リ國體尊崇ノ實ヲ擧ゲントスルモノナリ

第二 財 務

本會ハ國庫補助金五百萬圓ト民間ノ寄附金八百萬圓トヲ以テ事業資金トセントスルモノナルガ補助金ハ昭和十二年度二百五十萬圓昭和

十三年度一百二十五萬圓本年度二十五萬圓合計四百萬圓ノ下付ヲ受ケ
タリ

寄附金ニ就テハ本年度ニ於テ東京、大阪、京都、神奈川、愛知及兵
庫ノ六大都市管轄ノ府縣並福岡縣ハ本會直接扱ニテ他ハ各支部扱ニ
依リ極力勸誘ニ努メタル結果本年度豫算四百萬圓ニ對シ申込總額昭
和十四年十二月末日現在ニ於テ三百六十三萬三千三百二圓七十三錢
拂込額一百九十九萬九千四十二圓七十三錢ニシテ十二年度以降ノ寄
附金累計ハ申込額三百七十一萬九千六百六十六圓十七錢拂込額二百
八萬一千八十六圓十七錢トナレリ此ノ外ニ預金利子其ノ他雜收入金
十一萬九千九十三圓十七錢アリ之ニ前年度繰越剩餘金二百九十五萬
二千七百二圓五十六錢ヲ加ヘテ總計五百三十二萬八千三百三十八圓四十

六錢ノ收入トナリ之ニ對シ事業費、事務費合セテ二百十二萬四千四
百三十六圓三十七錢ノ支出ヲ見タルヲ以テ結局三百十九萬六千四百
二圓九錢ヲ次年度ニ繰越スニ至レリ

第三 事業

本會ノ事業進捗ノ概要ヲ示セバ次ノ如シ

(一) 檜原神宮境域並畝傍山東北陵參道ノ擴張整備

(1) 總額四百萬圓ヲ以テ計畫セル揚題整備費ノ内神宮附屬建物整備
及造苑工事ニ就テハ昭和十二年勅令第五百九十六號ノ規定ニ基
キ經費百三十五萬圓ヲ以テ昭和十二年十二月十四日之ヲ内務省
ニ委囑シ四ヶ年繼續事業トシテ施行ヲ進メタリ神宮附屬諸建物
ノ修改築工事ハ殆ンド竣功ヲ見尙造苑工事ニ付テモ著シク進捗

シ國民敬神ノ發露タル獻木ハ既ニ壹萬本ヲ算シ參道造苑ノ土木
工事モ極メテ順調ナル進捗ヲ示セリ

(ロ) 橿原神宮境域及畝傍山東北陵陵域ノ擴張並參拜道路ノ築造ニ關
スル事務一部ハ昭和十三年四月二日之ヲ奈良縣ニ委囑シタリ經
費約百八十萬圓内境域並陵域ノ擴張ニ伴フ土地約十萬坪ノ買收
其ノ他ニ約百四十萬圓、參拜道路ノ築造ニ要スル經費四十萬圓
トシテ右諸工事ハ昭和十五年迄ニ完成ノ豫定ヲ以テ繼續事業ト
シテ遂メ、用地買收及家屋物件ノ移轉ハ完了シ參拜道路築造ニ
付テモ著シク進捗ヲ見尙土木工事ノ著シキ進捗ヲ見タルハ多數
ノ勞働奉仕アルニ因ル猶此ノ外經費約五萬圓ヲ以テ大阪電氣軌
道並大阪鐵道ノ移設ニ要スル用地買收方ヲ同月十八日奈良縣ニ

委囑シ夫々買收ヲ了シタリ

(ハ) 右整備ニ伴ヒ御料地内ヲ貫通スル河川ノ改修ヲ必要トスルニ至
リ昭和十三年十月三日其ノ工事施行ヲ經費概算四萬圓ヲ以テ宮
内省ニ委囑セル處迄ニ完成シタリ

(ニ) 大阪電氣軌道並大阪鐵道ノ移設ニ要スル用地買收ニ就テハ先ニ
進ブル所アリシガ右移設ニ要スル工事費ニ就テハ本會ヨリ直接
補償スルコトトシ昭和十三年六月一日大阪電氣軌道株式會社ニ
金四十二萬圓、同年十月二十五日大阪鐵道株式會社ニ金八萬圓
ヲ補償スル契約ヲ締結シ大阪電氣軌道ニアリテハ既ニ移設ヲ完
了セルモ大阪鐵道ニ付テハ目下工事施行中ナリ

□ 宮崎神宮境域ノ擴張整備

紀元二千六百年祝典評議委員會ハ昭和十三年七月一日紀元二千六百年奉祝記念事業追加トシテ宮崎神宮境域擴張整備ノ件ヲ議決シタルニヨリ本會ニ於テハ金三十六萬圓ヲ以テ昭和十五年度迄ノ繼續事業トシテ施行スルコトトシ昭和十三年八月十三日宮崎縣ニ委嘱シタリ即チ神宮境域ト參道ノ擴張整備ニ金二十一萬圓、徵古館ノ改築ニ金十五萬圓ヲ支出スルコトトシ事業着々進捗中ナリ尙地元宮崎縣下ヲ始メ各方面ヨリ熱心ナル獻木ハ既ニ壹萬餘本ニ達セリ

三 神武天皇聖蹟ノ調査保存顯彰

神武天皇ノ聖蹟ヲ調査シ適當ナル保存顯彰ノ施設ヲ講ゼントスルモノニシテ經費約三十萬圓ヲ豫定ス先ヅ調査ニ關スル事務ヲ昭和十二年勅令第五百九十六號ノ規定ニ基キ昭和十三年六月二十二

日文部省ニ委嘱シタリ石經費ハ凡ソ十萬圓トシ調査ノ結果ニ基キ本會ニ於テ順次保存顯彰ヲ實行ニ移サントスルモノニシテ目下同省ニ於テハ委員會ヲ設置シ慎重調査ヲ進メツツアリ

四 御陵參拜道路ノ改良

歷代天皇ノ御陵ニ至ル道路中ニハ近代交通ニ適セザルモノアリ依テ之ヲ改良シ參拜ニ便ナラシメントスルモノニシテ之ガ經費トシテ約六十三萬圓ヲ豫定ス京都府下一陵、奈良縣下二十七陵京都市内十三陵ニ通ズル道路ニ就テハ夫々成案ヲ得タルヲ以テ昭和十四年三月二十二日京都府、奈良縣及京都市ニ對シ事業委嘱ヲナシ夫々事業進捗ヲ示シ居レリ

五 國史館ノ建設

皇室ヲ中心ニ生成發展シ來レル國史ノ成跡ニ關スル各種ノ資料實物ヲ展示シ國民精神ノ振作更張ニ資セントスルモノニシテ昭和十二年勅令第五百九十六號ノ規定ニ基キ昭和十三年四月五日經費約三百萬圓昭和十七年ニ至ル五箇年繼續事業トシテ其ノ施設ヲ文部省ニ委囑シタリ同省ニ於テハ委員會ヲ設置シ建築様式内容施設等ニ付調査考究ヲ進メツツアリ

本事業ニ付テハ計畫當初ニ比シ物價騰貴ニ因ル設計上ノ困難アリ猶一面紀元二千六百年奉祝記念トシテ眞ニ後世ニ誇ルニ足ル一大建築物タラシムルノ要アリ而モ設計完了ニ至ラズ時局ノ關係上之ガ工事着手ノ時機ニ付テハ慎重ナル考慮ヲ拂フノ要アリテ本年度計上ノ豫算七十四萬三千圓ニ對シ五千五百十三圓餘ノ支出ヲナセ

ルニ止マリタリ

内 日本文化大觀ノ編纂出版

日本文化ノ精髓ヲ日、英、佛、獨ノ各國語ニ輯録シ廣ク内外ニ頒布セントスルモノニシテ昭和十二年勅令第五百九十六號ノ規定ニ基キ昭和十三年七月一日文部省ニ委囑シタリ經費凡ソ六十五萬圓、昭和十五年度ニ至ル繼續事業トシ本年度十八萬六千圓ヲ計上シタリ同省ニ於テ慎重ニ調査研究ノ結果略々脱稿ヲ見ルニ至レリ

(七) 教化施設

紀元二千六百年ノ意義ヲ闡明シ國民精神作興ヲ目的トシ本會ハ各種教化施設ヲ計畫實施來レルモ本年度ニ於テ八月刊雜誌「紀元二千六百年」ハ七月「宮中の御祭典と御儀式號」十二月「神社號」

等ノ臨時増刊ヲ刊行シ各方面ニ多大ノ反響ヲ喚起セリ
二月十一日東京市日比谷公會堂ニ於ケル「紀元節奉祝會」、四月
三日日比谷公會堂ニ於ケル「天業恢弘奉讚の會」五月十六日大阪
中央公會堂ニ於ケル「皇陵尊崇の會」等ノ講演會ヲ開催シ尙「肇
國精神の發揚紀元二千六百年奉讚展覽會」ヲ東京、大阪、京都、
名古屋等各地ニ於テ主催シ何レモ極メテ盛會裡ニ終始セリ其ノ他
八月二十日ニハ「紀元二千六百年奉祝國民歌」ノ歌詞ヲ更ニ十月
十五日ニハ當選シタル同歌詞ノ歌曲ヲ一般ヨリ懸賞募集シ十二月
之ガ當選歌曲ノ發表演奏會ヲ東京及大阪ニ於テ開催シタリ、然テ
之等教化施設ニ要シタル經費ハ四萬七千四百四十圓餘ヲ支出セリ

第四 結 語

之ヲ要スルニ本會ノ記念事業ハ其ノ種類廣範圍ニ涉リ前々年度即チ
創立第一年ニ於テ事業實施準備ノ大綱ヲ定メ昨年度ヨリ愈々實行ニ
移リ橿原神宮境域並畝傍山東北陵參道ノ擴張整備ハ内務省、奈良縣
宮内省ニ、宮崎神宮境域ノ擴張整備ハ宮崎縣ニ、神武天皇聖蹟ノ調
査ト國史館建設及日本文化大觀編纂出版ハ文部省御陵參拜道路ハ京
都府奈良縣及京都市ニ天々委囑ヲ了レリ橿原神宮境域並畝傍山東北
陵參道擴張整備事業ノ如キハ時恰モ時局ニ際會シテ國民精神ノ昂揚
ニ因ル勞働奉仕ノ盛行ヲ見著シキ進行ヲ示シタルモ一面國史館建設
ノ如ク資材ノ關係上自然豫定計畫ノ變更ヲ免カレザルニ至リ又寄附
金募集ニ就テハ時局ノ關係上豫定ノ收入ヲ擧グルニ至ラザリキ

昭和十四年度紀元二千六百年奉祝會收入支出決算

收入

第一款 國庫補助金	二五〇、〇〇〇、〇〇
第一項 國庫補助金	二五〇、〇〇〇、〇〇
第二款 寄附金	一、九九九、〇四二、七三
第一項 寄附金	一、九九九、〇四二、七三
第三款 雜收入	一一九、〇九三、一七
第一項 雜收入	一一九、〇九三、一七
第四款 前年度繰越金	二、九五二、七〇二、五六
第一項 前年度繰越金	二、九五二、七〇二、五六
合計	五、三二〇、八三八、四六

支出

第一款 本部事務費	二九、二一〇、九〇
第一項 會議費	四一、二〇
第二項 給與費	五、一一六、二一
第三項 旅費	八〇四、四五
第四項 事務所費	二、一三七、四八
第五項 寄附募集費	一九、三四九、一一
第六項 雜費	一、七六二、四五
第二款 支部事務費	三、六六六、八九
第一項 支部事務費	三、六六六、八九
第二項 事務費	二、〇九一、五五八、五八
第三項 雜費	一、七〇二、一五四、八四
第四項 檀原神宮境域並畝傍山 東北陸參道道張整備費	一、七〇二、一五四、八四
第五項 宮崎神宮境域張整備費	七六、八六五、七〇

圖

第三項 神武天皇聖蹟調查費	三六、二〇六、〇〇
第四項 御陵參拜道路改良費	一六八、五二八、二一
第五項 國史館建設費	五、五一三、一四
第六項 日本文化大綱編纂出版費	五五、一五〇、〇〇
第七項 教化事業費	四七、一四〇、六九
第四款 豫備費	〇
第一項 豫備費	〇
第五款 次年度繰越金	三、一九六、四〇二、〇九
第一項 次年度繰越金	三、一九六、四〇二、〇九
合計	五、三二〇、八三八、四六

昭和十四年度紀元二千六百年奉祝會收入支出決算說明

科	目	豫算額	決算額	増比	決算	備考
收入	第一款 國庫補助金	1,250,000.00	1,300,000.00		1,000,000.00	
	第一項 國庫補助金	1,250,000.00	1,300,000.00		1,000,000.00	
	第一目 國庫補助金	1,250,000.00	1,300,000.00		1,000,000.00	
	第二款 附金	4,000,000.00	4,990,000.00		3,000,950.00	
	第一項 附金	4,000,000.00	4,990,000.00		3,000,950.00	
	第一目 附金	4,000,000.00	4,990,000.00		3,000,950.00	
	第三款 收入	3,811,000.00	1,190,930.00		3,000,950.00	
	第一項 收入	3,811,000.00	1,190,930.00		3,000,950.00	
	第一目 預金利息	3,300,000.00	1,040,290.00			
	第二目 雜入	511,000.00	150,640.00			

第四款前 繰入金度	第一項前 繰入金度	第一目前 繰入金度	合計	前 年度	
				前 年度	前 年度
三三〇〇九四六〇〇	三三〇〇九四六〇〇	三三〇〇九四六〇〇	三三八六〇三六〇〇	三九三二七〇二二六	六三一七五五五六
三三〇〇九四六〇〇	三三〇〇九四六〇〇	三三〇〇九四六〇〇	三三三〇八三八四六	三九三二七〇二二六	六三一七五五五六
				三九三二七〇二二六	六三一七五五五六
				三三三〇八三八四六	六三一七五五五六
				〇	六三一七五五五六
				三二六八二一七三四	

支出

科目	目	豫算額	決算額	増比		備考
				増	減	
第一款本部事務費	第一項會議費	四三三五四	二九二一〇九〇	四	一三一四三〇	
	第一目會議費	一〇〇五	四一三〇		九六三八〇	
	第二項給與費	一七四四九	五一一六三一		一三三三二七九	
	第一目俸給	一〇二二四	三九三三八一		七二九〇二九	賞與へ流用額 四七九圓
	第二目嘱託給	二四〇〇	〇		二四〇〇〇	
	第三目雇員給	一三六〇	〇		一三六〇〇	
	第四目傭人料	五六四	〇		五六四〇〇	
	第五目手当	三〇〇〇	一七〇二四〇		一三九七六〇	
	第六目賞與	一	四八〇〇〇		一三九七六〇	
	第三項旅費	二五〇〇	八〇四四五		一六九五五五	俸給ヨリ流用額 四七九圓
					四七九〇〇	

第一目旅費	二五〇〇	八〇四四五	一六九五五
第四項事務所費	四四〇〇	二一三七四八	二二六二五二
第一目備品費	五〇〇	一〇七六八	三九二三二
第二目圖書及印刷費	一五〇〇	六三〇七五	八六九三五
第三目消耗品費	一、二〇〇	四六四七〇	七三三三〇
第四目通信運搬費	一、二〇〇	九三四三五	二六五六五
第五項寄附募集費	一、五〇〇〇	一九三四九二一	四三四九二一
第一目寄附募集費	一、五〇〇〇	一九三四九二一	四三四九二一
第六項雜費	二、〇〇〇	一七六二四五	二三七五五
第一目雜費	二、〇〇〇	一七六二四五	二三七五五
第二款支部事務費	一〇、〇〇〇	三六六六八九	九六三三三一
第一項支部事務費	一〇、〇〇〇	三六六六八九	九六三三三一
第一目支部事務費	一〇、〇〇〇	三六六六八九	九六三三三一
豫備費ヨリ充用 増額四八五〇圓			

第三款事業費	三九八、〇〇〇	三〇九、一五八五八	一八八九四四二
第一項 樞原神宮境 城並欽傍山 東北陵參道 擴張整備費	二一五、〇〇〇	一七〇、三一五四四	四四七、八四五一六
第一目 樞原神宮境 城並欽傍山 擴張整備費	二一五、〇〇〇	一七〇、三一五四四	四四七、八四五一六
第二項 宮崎神宮境 擴張整備費	一八〇、〇〇〇	七六、八六五四〇	一〇三、一三四三〇
第一目 宮崎神宮境 擴張整備費	一八〇、〇〇〇	七六、八六五四〇	一〇三、一三四三〇
第三項 神武天皇聖 蹟調査保存 費	一〇〇、〇〇〇	三六、三〇六〇〇	六三、七九四〇〇
第一目 神武天皇聖 蹟調査保存 費	一〇〇、〇〇〇	三六、三〇六〇〇	六三、七九四〇〇

第四項 御陵參拜道 路改良費	四九八〇〇〇	一六八五二八三	三二九四七一七九
第一目 御陵參拜道 路改良費	四九八〇〇〇	一六八五二八三	三二九四七一七九
第五項 國史館 建設費	七四三〇〇〇	五五一三二四	七三七四八六八六
第一目 國史館 建設費	七四三〇〇〇	五五一三二四	七三七四八六八六
第六項 日本文化大 觀編纂出版 費	一八六〇〇〇	五五一五〇〇〇	一三〇八五〇〇〇
第一目 日本文化大 觀編纂出版 費	一八六〇〇〇	五五一五〇〇〇	一三〇八五〇〇〇
第七項 教化事業費	一三〇〇〇〇	四七一四〇〇〇	七六八五九三一
第一目 教化施設費	一〇〇〇〇〇	二八六五二五	七六三四七〇八
第二目 發行費	二四〇〇〇	一八四八七五	五五一一二二三

第四款 備費	五〇〇〇〇	〇	五〇〇〇〇〇
第一項 備費	五〇〇〇〇	〇	五〇〇〇〇〇
第一目 備費	五〇〇〇〇	〇	五〇〇〇〇〇
第五款 年度 繰入金	三四一五七〇二	三一九六四〇三〇九	二一九二九九九一
第一項 年度 繰入金	三四一五七〇二	三一九六四〇三〇九	二一九二九九九一
第一目 年度 繰入金	三四一五七〇二	三一九六四〇三〇九	二一九二九九九一
合 計	七五八九〇五六	五三二〇八三八四六	二二六八二一七五四

寄附券集費ニ充
用減額五〇圓

財產目錄

昭和十四年十二月末日現在

種類	金額	備考
國債	一、九五三〇〇	ろ號三分半利付額面二千圓 三井、三菱、安田、住友、第一、橫濱正金 朝鮮、臺灣、第百、三和、野村以上十一銀行
銀行預金	三、一八九八九五三四	
振替貯金	三八〇八五四一	
現金	四六〇〇	
合計	三、二二九、九七九、七五五	

紀元二千六百年奉祝會 自昭和十二年度 至昭和十七年度 收支年度割表

區分	金額	決算額		
		自昭和十二年度 至昭和十四年度	昭和十五年度	昭和十六年度
收入				
御下賜金	1,000,000	0	1,000,000	0
補助金	5,000,000	4,000,000	1,000,000	0
寄附金	8,000,000	3,081,086	5,000,000	918,914
本部募集	6,500,000	1,975,198	4,000,000	529,802
支部募集	1,500,000	1,108,888	1,000,000	389,112
雜收入	329,239	224,181	78,000	2,000
計	14,329,239	6,305,267	7,078,000	938,914
繰越金	1,245,228	0	5,196,402	4,864,833
合計	26,784,467	6,305,267	12,274,402	5,803,747
				昭和十七年度
				440,505

區分	金額	決算額		
		昭和十五年度	昭和十六年度	昭和十七年度
支出				
本部事務費	二五八八九六	七〇七三四	九〇二五四	四八四五四
支部事務費	九五六六七	三六六七	九三〇〇〇	〇
事業費	一〇四三九五九	三〇三五一五九	三〇三五一五	一三〇七三〇〇
豫備費	五五三七七六	〇	一〇〇〇〇〇	五〇〇〇〇
創立事務費	三〇五	三〇五	〇	〇
計	一四三二九五九	一〇八八六五	五四〇九五六九	一四〇七五五四
繰越金	一四四五九二八	五一九六四〇二	四八六四八三三	〇
合計	二六七八八四六七	六三〇五二六七	一〇二七四〇〇二	一四〇七五五四

紀元二千六百年奉祝會事業費年度割概算

區分	金額	決算額		
		昭和十五年度	昭和十六年度	昭和十七年度
總額	一四九七五三七	一〇三五一五九	五二二七三一五	一三五七三〇〇
榎原神宮境域並 欽傍山東北陵參 道擴張整備費	四〇〇七五七七	五五一一五七七	一四九五〇〇〇	〇
宮崎神宮境域擴 張整備備費	五八〇〇〇〇	一六六二六六	一三八〇〇〇	五五七三四
神武天皇聖蹟調 査保存顯彰費	三〇〇〇〇〇	四三三四三	三三〇〇〇〇	六六五七
御陵參道蹟改良 費	五六六九八六	一七〇九八六	三九六〇〇〇	〇
國史館建設費	五〇〇〇〇〇〇	九六八六	一〇四四四三四	八七四〇五九
日本文化大觀編 纂出版費	一〇〇〇〇〇〇	七八二六九	五五〇八八一	三七〇八五〇

豫備費	計	教化事業費	奉祝會費
五五七、七六六	一〇四、五九五	四、五〇三	七、五〇〇
〇	五〇、四一五	五、〇三三	〇
一〇〇、〇〇〇	五〇、一五五	五〇、〇〇〇	七、五〇〇
五〇、〇〇〇	一三〇、三〇〇	〇	〇
五二八、七六六	一〇六、八二一	〇	〇

紀元二千六百年奉祝會事業計畫要綱

本會ハ紀元二千六百年ヲ奉祝スル爲、事業費總額約金壹千萬圓ヲ以テ、紀元二千六百年祝典評議委員會ノ審議ニ基キ左記記念事業及其ノ他ノ事業ヲ施行セントスルモノニシテ執レモ昭和十七年迄ニ完成ノ豫定ナリ

第一 櫛原神宮境域並畝傍山東北陵參道ノ擴張整備

櫛原神宮ハ其ノ社殿ノ各所ニ亘リ修築ヲ要スル廢抄カラズ、加フルニ近時該境域及畝傍山東北陵附近ヲ俗化スル傾向アリテ神聖ノ保持竝風致ノ保存上憂慮スベキ状態ニ在ルヲ以テ目下政府ニ於テ施行中ノ櫛原神宮改善整備事業ト相俟ツテ適當ナル改良施設ヲ

行ヒ、之ガ完備ヲ期セムトス

第二 宮崎神宮境域ノ擴張整備

宮崎神宮ノ境域ヲ擴張シ土壘、玉垣ヲ以テ外圍ヲ整備スルト共ニ神宮附屬ノ微古館ヲ移轉改築シテ之ガ完備ヲ期セントス

第三 神武天皇皇蹟ノ調査保存顯彰

神武天皇皇蹟及關係史蹟傳説地ヲ調査シ、標識、説明標、揭示板指導標ノ建設、皇蹟地ノ整備等適當ナル保存顯彰ノ施設ヲ講ジ以テ創業ノ偉績ヲ顯示シ國民精神ノ作興ニ資セムトス

第四 御陵參拜道路ノ改良

近時歷代御陵ノ巡拜者頗ニ多キヲ加ヘツツアルモ、是等御陵ニ通ズル道路ニシテ、現在甚シク狹隘、保守全カラズ交通不便ノモノ

尠カラズ、仍テ之ヲ近代交通ニ適スル如ク改修シ、參拜ニ便シ以テ聖徳ヲ追慕シ奉リ皇運ノ扶翼ニ精勵努力スルノ念ヲ振起セシムル上ニ遺憾ナカラシメントス

第五 國史館ノ建設

我カ尊貴ナル國體ノ精華ト我カ光輝アル國史ノ成跡トヲ認識セシメン爲メ、地上地下合シテ三階建鐵骨鐵筋コンクリートノ建築物ヲ建造シ、神祇皇室關係ヲ中心ニ國史ニ關スル各種資料、寶物ヲ陳列シ、附屬講堂等ヲ設備シ以テ國民精神ノ作興ト國史教育ノ振興ニ資セムトス

第六 日本文化大觀ノ編纂出版

肇國創業以來生成發展シ來レル日本文化ノ精髓ヲ中外ニ顯揚シ民族文化ノ振起發揚ニ資スル目的ヲ以テ、日、英、佛、獨等ノ各語ヲ以テ編纂シ世界ニ頒布セントス

第七 其ノ他ノ記念事業

以上ニ掲ゲタル以外、紀元二千六百年祝典評議委員會ニ於テ適當ト認ムル事業ヲ行ヒ國民精神ヲ作興シ、紀元二千六百年奉祝ノ意義ヲ囑化セムトス

紀元二千六百年奉祝會寄附行爲

第一章 名稱

第一條 本會ハ紀元二千六百年奉祝會ト稱ス

第二章 目的及事業

第二條 本會ハ紀元二千六百年ヲ奉祝記念スル爲左ノ事業ヲ行フヲ以テ目的トス

- 一 紀元二千六百年祝典評議委員會ノ審議ヲ經タル奉祝記念事業
- 二 其ノ他本會ニ於テ適當ト認ムル事業

前項ノ事業ハ必要ニ應ジ國、公共團體又ハ私設團體ニ委託シテ之ヲ施行スルコトヲ得

第三章 事務所

第三條 本會ハ事務所ヲ東京市麴町區元千代田町壹番地ニ置ク
本會ハ必要ニ應ジ地方ニ支部ヲ置クコトヲ得

第四章 資産及會計

第四條 本會ノ資産ハ左ノ各號ヨリ成ル

- 一 本會設立ノ際ニ於ケル資産
- 二 會員及贊助員ノ繰出金
- 三 政府ノ補助金
- 四 其ノ他ノ收入

第五條 本會ノ資産ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ管理ス

一 郵便官署又ハ確實ナル銀行ニ預入スルコト

二 確實ナル信託會社ニ信託スルコト

三 國債證券又ハ確實ナル有價證券ヲ買入ルルコト

第六條 本會ノ豫算ハ毎年度常議員會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム但シ緊急ノ必要アル場合ニ於テハ會長ニ於テ之ヲ專決スルコトヲ得
本會ノ決算ハ常議員會ノ認定ヲ經ルモノトス

第七條 本會ノ會計年度ハ毎年一月一日ニ始マリ同年十二月三十一日ニ終ル

第五章 會員及贊助員

第八條 本會ノ事業ヲ翼賛スル者ハ之ヲ會員又ハ贊助員トス
會員及贊助員ノ區別、會員ノ種類並ニ會員及贊助員ノ待遇方法ハ

別ニ之ヲ定ム

第六章 總裁、副總裁及顧問

第九條 本會ニ總裁及副總裁ヲ置ク

總裁ニハ皇族ヲ奉戴ス

副總裁ハ總裁之ヲ囑託ス

副總裁ハ總裁ヲ輔翼ス

第十條 本會ニ顧問ヲ置クコトヲ得

顧問ハ總裁之ヲ囑託ス

顧問ハ總裁ノ諮詢ニ應ズ

第七章 役員及職員

第十一條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長

副會長 若干人

理事 若干人

監事 若干人

常議員 若干人

評議員 若干人

第十二條 會長及副會長ハ總裁之ヲ囑託ス

會長ハ本會ヲ代表シ一切ノ會務ヲ統理ス

會長ハ會議ヲ招集シ其ノ議長ト爲ル

副會長ハ會長ヲ輔佐シ會長事故アルトキハ會長ノ指名スル副會長

其ノ職務ヲ代理ス

第十三條 理事及監事ハ會長ノ推薦ニ依リ總裁之ヲ囑託ス
會長及副會長ノ職ニ在ル者ハ理事トス

理事ハ常議員會ノ議決其ノ他ノ會務ヲ執行ス
監事ハ本會ノ資産ノ狀況及會務ノ執行ヲ監査ス

第十四條 常議員及評議員ハ會長ノ推薦ニ依リ總裁之ヲ囑託ス
第十五條 本會ニ左ノ職員ヲ置ク

幹事長

幹事 若干人

主事 若干人

書記 若干人

第十六條 幹事長及幹事ハ會長ノ推薦ニ依リ總裁之ヲ囑託ス

幹事長及幹事ハ會長ノ命ヲ承ケ會務ヲ掌理ス

第十七條 主事及書記ハ會長之ヲ命ジ又ハ囑託ス

主事及書記ハ上職ノ命ヲ受ケ庶務ニ從事ス

第十八條 本會ハ事務ノ都合ニ依リ調査委員、囑託及雇員ヲ置クコトヲ得

第八章 會議

第十九條 本會ニ常議員會及評議員會ヲ置ク

第二十條 常議員會ハ常議員ヲ以テ之ヲ組織シ重要ナル會務ヲ審議ス

評議員會ハ評議員ヲ以テ之ヲ組織シ會長ノ諮問ニ應ズ

第二十一條 常議員會及評議員會ノ議事ハ出席者ノ過半數ヲ以テ之

第十三條 理事及監事ハ會長ノ推薦ニ依リ總裁之ヲ囑託ス

會長及副會長ノ職ニ在ル者ハ理事トス

理事ハ常議員會ノ議決其ノ他ノ會務ヲ執行ス

監事ハ本會ノ資産ノ狀況及會務ノ執行ヲ監査ス

第十四條 常議員及評議員ハ會長ノ推薦ニ依リ總裁之ヲ囑託ス

第十五條 本會ニ左ノ職員ヲ置ク

幹事長

幹事 若干人

主事 若干人

書記 若干人

第十六條 幹事長及幹事ハ會長ノ推薦ニ依リ總裁之ヲ囑託ス

幹事長及幹事ハ會長ノ命ヲ承ケ會務ヲ掌理ス

第十七條 主事及書記ハ會長之ヲ命ジ又ハ囑託ス

主事及書記ハ上職ノ命ヲ受ケ庶務ニ従事ス

第十八條 本會ハ事務ノ都合ニ依リ調査委員、囑託及雇員ヲ置クコ

トヲ得

第八章 會議

第十九條 本會ニ常議員會及評議員會ヲ置ク

第二十條 常議員會ハ常議員ヲ以テ之ヲ組織シ重要ナル會務ヲ審議

ス

評議員會ハ評議員ヲ以テ之ヲ組織シ會長ノ諮問ニ應ズ

第二十一條 常議員會及評議員會ノ議事ハ出席者ノ過半數ヲ以テ之

ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第九章 附則

第二十二條 本寄附行爲ハ常議員會ノ議決ヲ經主務官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ變更スルコトヲ得ズ

第三十三條 本會解散ノ際ニ於ケル資産ノ處分方法ハ常議員會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第二十四條 本寄附行爲ニ定ムルモノノ外必要ナル規程ハ會長之ヲ定ム

第二十五條 第九條、第十二條乃至第十四條及第十六條ノ規定ニ依リ總裁ヨリ副總裁及會長以下ノ役職員ノ囑託アル迄ハ副總裁ニハ内閣總理大臣ノ職ニ在ル者ヲ推戴シ會長以下ノ役職員ハ副總裁之

ヲ囑託スルモノトス

紀元二千六百年奉祝會寄附行爲施行規則

第一章 總則

第一節 會員及贊助員

第一條 本會ノ會員ハ左ノ五種トス

- 一 名譽會員 金壹萬圓以上ノ寄附者
- 二 特別有功會員 金五千圓以上ノ寄附者
- 三 有功會員 金千圓以上ノ寄附者
- 四 特別會員 金貳百圓以上ノ寄附者
- 五 通常會員 金拾圓以上ノ寄附者

第二條 金拾圓未滿ノ寄附者ハ贊助員トス

第三條 物件ノ寄附者ハ前二條ニ準ジ會員又ハ贊助員トス

第四條 本會ニ特ニ功勞アル者ハ常議員會ノ議決ヲ經テ會員ニ列スルコトヲ得

第五條 會員ニハ各所定ノ會員章ヲ贈與ス

第六條 會員及贊助員ノ待遇方法ハ別ニ之ヲ定ム

第二節 專決事項

第七條 左ノ會務ハ會長之ヲ專決スルコトヲ得

- 一 主事、書記、囑託ノ進退、賞罰其ノ他身分ニ關スル事項
- 二 役職員ノ賞與、手當等ノ支給ニ關スル事項
- 三 役職員ノ出張命令等ニ關スル事項
- 四 一廉三千圓未滿ノ物件ノ賣買其ノ他ノ契約ニ關スル事項
- 五 其ノ他本會ノ常務ニ屬スル事項

第八條 左ノ會務ハ幹事長之ヲ專決スルコトヲ得

- 一 雇員及傭人ノ進退、賞罰其ノ他身分ニ關スル事項
- 二 現金ノ出納及有價證券ノ保管ニ關スル事項
- 三 文書ノ收受、發送、編纂及保存ニ關スル事項
- 四 一廉五百圓未滿ノ物件ノ賣買其ノ他ノ契約ニ關スル事項
- 五 輕易ナル文書ノ照會、回答等ニ關スル事項
- 六 其ノ他輕易ナル事項

第二章 處務規程

第九條 本會ニ到達スル文書ハ其ノ件名、番號、差出入等ヲ文書處理簿ニ記載スベシ

親展文書ヲ接受シタルトキハ親展文書受付簿ニ記載シ其ノ授受ヲ明

ニスベシ

現金又ハ有價證券ヲ接受シタルトキハ現金及有價證券受付簿ニ記載シ其ノ授受ヲ明ニスベシ

第十條 發送ヲ要スル文書ニハ發送ノ年月日及番號ヲ附シ淨書、校合シ、鈴印ノ上發送ノ手續ヲ爲スベシ

文書ハ送致簿ニ記入シ受領印ヲ受クベシ

郵便ニテ發送ヲ爲ス場合ハ郵便物發送簿ニ記載スベシ

第十一條 本會ヨリ發スル文書ハ會長名ヲ用フルヲ例トシ事件ノ種類及輕重ニ從ヒ總裁名又ハ會名ヲ以テス

第十二條 處理濟ノ文書ハ之ヲ整理ノ上目次ヲ附シ編纂保存スベシ但シ相當ノ時期ヲ經過シ保存ノ必要ナキニ至リタルモノハ經何ノ上之

第二十一條 緊急ノ必要アル場合ニ於テ會長豫算ノ追加又ハ更正等ヲ

專決シタルトキハ次ノ常議員會ニ報告スルモノトス

第二十二條 毎年度ノ決算書ハ翌年二月十五日迄ニ調製シ常議員會ニ提出スルモノトス

前項ノ決算書ハ監事ノ監査ヲ經ベシ

第二十三條 本會ニ左ノ帳簿ヲ備ヘ現金ノ出納又ハ有價證券ノ受拂等

ヲ登記スベシ

一 收入簿

二 支出簿

三 資産臺帳

四 負債臺帳

五 現金出納簿

六 物品出納簿

七 寄附臺帳

第四章 給與規程

第二十四條 職員其ノ他ノ俸給、手當及給料ハ内閣部内ノ文官、嘱託
雇員及傭人ノ俸給、手當及給料支給ノ例ニ依リ之ヲ支給ス

第二十五條 役職員其ノ他ノ旅費ハ別表ノ定ムル所ニ依リ之ヲ支給ス
會長必要アリト認ムルトキハ前項ノ旅費額ノ範圍内ニ於テ月額旅費
又ハ日額旅費ヲ支給スルコトヲ得

第二十六條 居殘勤務ヲ爲シ午後八時以後ニ至リタルトキハ賄料ヲ支
給スルコトヲ得

第二十一條 緊急ノ必要アル場合ニ於テ會長豫算ノ追加又ハ更正等ヲ
專決シタルトキハ次ノ常議員會ニ報告スルモノトス

第二十二條 毎年度ノ決算書ハ翌年二月十五日迄ニ調製シ常議員會ニ
提出スルモノトス

前項ノ決算書ハ監事ノ監査ヲ經ベシ

第二十三條 本會ニ左ノ帳簿ヲ備ヘ現金ノ出納又ハ有價證券ノ受拂等
ヲ管理スベシ

一 收入簿

二 支出簿

三 資産臺帳

四 負債臺帳

五 現金出納簿

六 物品出納簿

七 寄附臺帳

第四章 給與規程

第二十四條 職員其ノ他ノ俸給、手當及給料ハ内閣部内ノ文官、嘱託
雇員及傭人ノ俸給、手當及給料支給ノ例ニ依リ之ヲ支給ス

第二十五條 役職員其ノ他ノ旅費ハ別表ノ定ムル所ニ依リ之ヲ支給ス
會長必要アリト認ムルトキハ前項ノ旅費額ノ範圍内ニ於テ月額旅費
又ハ日額旅費ヲ支給スルコトヲ得

第二十六條 居殘勤務ヲ爲シ午後八時以後ニ至リタルトキハ賄料ヲ支
給スルコトヲ得

第二十七條 職員ノ退職死亡ノ場合ニ於ケル退職給與金、死亡給與金
及一時扶助料ハ文官ノ一時恩給、死亡賜金及一時扶助料ノ例ニ依リ
之ヲ支給ス

第五章 服務規程

第二十八條 職員ハ忠實勤勉ヲ旨トシ本會諸規程ニ從ヒ各々其ノ職務
ヲ盡スベシ

第二十九條 本會ノ執務時間及職員ノ休暇、服忌等ニ付テハ官廳ノ例
ニ依ル

第三十條 瘧氣缺勤七日以上ニ及ブトキハ醫師ノ診斷書ヲ添へ届出ツ
ベシ

(別表)

旅 費 額

區 分	會 長、副 會 長	理 事、監 事	幹 事、幹 事 長、幹 事 員	主 事	書 記	雇 員	日 常 一 日 二 付		宿 泊 料 一 夜 二 付	
							甲 地 方	乙 地 方	甲 地 方	乙 地 方
鐵 道 貨	一 等 貨	一 等 貨	一 等 貨	一 等 貨	一 等 貨	一 等 貨	一 圓 五 十 錢	一 圓 五 十 錢	一 圓 五 十 錢	一 圓 五 十 錢
鐵 道 貨	二 等 貨	二 等 貨	二 等 貨	二 等 貨	二 等 貨	二 等 貨	一 圓 三 十 五 錢	一 圓 三 十 五 錢	一 圓 三 十 五 錢	一 圓 三 十 五 錢
鐵 道 貨	三 等 貨	三 等 貨	三 等 貨	三 等 貨	三 等 貨	三 等 貨	一 圓 二 十 錢	一 圓 二 十 錢	一 圓 二 十 錢	一 圓 二 十 錢
船 貨	一 等 貨	一 等 貨	一 等 貨	一 等 貨	一 等 貨	一 等 貨	十 圓	八 圓 五 十 錢	十 圓	十 圓
船 貨	二 等 貨	二 等 貨	二 等 貨	二 等 貨	二 等 貨	二 等 貨	八 圓	七 圓	八 圓	十 圓
船 貨	三 等 貨	三 等 貨	三 等 貨	三 等 貨	三 等 貨	三 等 貨	六 圓	五 圓	七 圓	十 圓
車 馬 賃	一 日 三 十 五 錢	一 日 三 十 五 錢	一 日 三 十 五 錢	一 日 三 十 五 錢	一 日 三 十 五 錢	一 日 三 十 五 錢	五 圓	四 圓	五 圓	七 圓
車 馬 賃	一 圓 五 十 錢	一 圓 五 十 錢	一 圓 五 十 錢	一 圓 五 十 錢	一 圓 五 十 錢	一 圓 五 十 錢	三 圓	二 圓 五 十 錢	三 圓	四 圓
車 馬 賃	一 圓 五 十 錢	一 圓 五 十 錢	一 圓 五 十 錢	一 圓 五 十 錢	一 圓 五 十 錢	一 圓 五 十 錢	二 圓	一 圓 八 十 錢	二 圓	三 圓
車 馬 賃	六 十 錢	六 十 錢	六 十 錢	六 十 錢	六 十 錢	六 十 錢	二 圓	一 圓 八 十 錢	二 圓	三 圓

備考

- 一 調査委員、囑託及傭人ノ旅費額ニ付テハ本表ノ例ニ依リ會長之ヲ定ム
- 二 本表ニ定ムルモノノ外旅費ノ支給ニ關シテハ内閣旅費規則及大藏省所管旅費支給規則ヲ準用ス

異動表

(昭和十五年三月二十五日)

副總裁 (新任)		顧問		會長		副會長		理事		常議員		評議員									
米内光政	平沼騏一郎	小原直	青木一男	畑俊六	吉田善吾	宮城長五郎	河原田隼吉	佐原卓雄	野村吉三郎	金光庸夫	酒井忠正	永田秀次郎	秋田清	徳川家達	阿部信行	兒玉秀雄	木村尙雄	松浦鐵次郎	島田俊雄		
藤原銀次郎	勝野鶴平	吉田茂	近衛文麿	田子一民	大達茂雄	岸信介	赤間信義	住山徳太郎	堀江季雄	谷正章	阿南惟幾	三浦武美	山田武敏	古野伊之助	藤井利譽	三宅正太郎	植村甲午郎				
長谷川透	相川勝六	荒木義夫	橋本清吉	伊達徳次郎	當間重剛	小沼敬三郎	新海榮治	一ノ瀬平治	諸石兵藏	大野政吉	麻生太賀吉	相野田彌平	織田彌智	見坊田雄	清水登吉	藤阪寅次郎	五十嵐爲太郎	浦田芳吉	古屋徳兵衛	坪井勲吉	
大寺元一	宮下泰平	市瀬三吉	鈴木有吉	鈴木重吉	渡邊重吉	小田重吉	小田重吉	山田重吉	菊田重吉	山田重吉	柳田重吉	淺尾重吉	高橋重吉	内山重吉	北村重吉	安所重吉	安所重吉	木下重吉	鈴木重吉	鈴木重吉	鈴木重吉

備考

總裁 秩父宮雍仁親王殿下

役員名簿 (昭和十四年八月十日現在)

伯爵	伯侯爵	男爵	副總裁
宇小松小南中永吉有木鹽米杉賀末廣松	垣山平林島井野馬戸野内山屋次田平	一松頼次久太郎次幸一彦政元宜正毅雄	平沼驥一郎

理事	副會長	會長	公幹	男爵
金輝佐阪德小田廣石前櫻近八有池板荒	光誠之助夫	光誠之助夫	昭通忠	昭通忠

有安復伍藤松村南根鶴館田門太大大原磯石井	吉宅並堂原本湖津嘉見左哲中野重九郎造太郎	忠彌充卓次郎養雄	一吉造雄
----------------------	----------------------	----------	------

常議員	男爵	男爵	男爵
板岩岩岩生鑄井伊結大森小平白三明青	谷崎村永駒谷上幾太郎	宮清通裕高正太郎	吉七世吉常輔

久横石田秋内林渡國狩弘田小白殿野鈴大鈴高山原藤森榮大木井黒石吉	米崎原田田邊吉野中邊松須岡澤木橋下眞田田谷野下上田黒國	九光常清三重四剛信宗傳長右衛門治治助郎吾助郎治三郎水二郎夫造美重六吉
---------------------------------	-----------------------------	------------------------------------

常議員	理事	副會長	會長	公幹	男爵	副總裁 (退任)
澤大相黒村山岩太石館大藤根村磯伍金德近米阿平	田村川崎上本永田黒村原津瀬村堂光庸夫	藤清勝定恭五十六裕耕英一造彦二	藤原銀次郎	藤原銀次郎	藤原銀次郎	藤原銀次郎

評議員	伯爵
藤中上小山橋青松中岡齋中金橋大萱本原中横野磯武頼唐岩永加酒山	野松池田原田井野田木島城本森場間富安金文廉六桂樹世郎松正隆

男爵	伯爵
藤木望綾時熊日石津山土坂楠景中谷楨加江岩成池兒田横長小豊探森北	川村軍春秋憲太郎岩源頼嘉圭太星司七太

四四五

昭和十五年五月十四日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文 麿

内閣書記官長 石渡 莊 太郎 殿

國庫補助金下付指令請書提出ノ件

紀元二千六百年奉祝會事業費補助金下付指令ニ對シ請書別紙ノ通提出

致候

15.5.15
189

皇

紀

元

二

千

六

百

年

祝

典

事

務

局

指

令

庶

第

一

八

九

號

紀

元

二

千

六

百

年

祝

典

事

務

局

指

令

庶

第

一

八

九

號

紀

元

二

千

六

百

年

祝

典

事

務

局

指

令

庶

第

一

八

九

號

紀

元

二

千

六

百

年

祝

典

事

務

局

指

令

庶

第

一

八

九

號

紀

元

二

千

六

百

年

祝

典

事

務

局

指

令

庶

第

一

八

九

號

紀

元

二

千

六

百

年

祝

典

事

務

局

指

令

庶

第

一

八

九

號

紀

元

二

千

六

百

年

祝

典

事

務

局

指

令

庶

第

一

八

九

號

紀

元

二

千

六

百

年

祝

典

事

務

局

指

令

庶

第

一

八

九

號

紀

元

二

千

六

百

年

祝

典

事

務

局

指

令

庶

第

一

八

九

號

紀

元

二

千

六

百

年

祝

典

事

務

局

指

令

庶

第

一

八

九

號

紀

元

二

千

六

百

年

祝

典

事

務

局

指

令

庶

第

一

八

九

號

紀

元

二

千

六

百

年

祝

典

事

務

局

指

令

庶

第

一

八

九

號

紀

元

二

千

六

百

年

祝

典

事

務

局

指

令

庶

第

一

八

九

號

紀

元

二

千

六

百

年

祝

典

事

務

局

指

令

庶

第

一

八

九

號

紀

元

二

千

六

百

年

祝

典

事

務

局

指

令

庶

第

一

八

九

號

紀

元

二

千

六

百

年

祝

典

事

務

局

指

令

庶

第

一

八

九

號

紀

元

二

千

六

百

年

祝

典

事

務

局

指

令

庶

第

一

八

九

號

紀

元

二

千

六

百

年

祝

典

事

務

局

指

- 一 補助金ハ分割交付スルモノトス
- 二 補助金ハ之ヲ其ノ會ノ事務費ニ使用スルヲ得ズ
- 三 會務及工事等ニ關シテハ隨時内閣ニ於テ検査ヲ行ヒ報告ヲ徵シ又ハ指示ヲ爲スコトアルベシ
- 四 補助ノ條件又ハ内閣ノ指示命令ニ違ヒタルトキ、事業ヲ中止シタルトキ又ハ會務若ハ工事等ノ施行其ノ當ヲ得ザルモノアリト認ムルトキハ補助金ノ全部又ハ一部ヲ返還セシムルコトアルベシ

右御請致候也

昭和十五年五月十四日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

内閣總理大臣 米 内 光 政 殿

奉送合第五一四號

昭和十五年五月一日

紀元二千六百年奉祝會長 公傳 近衛文 磨

供覽

內閣總理大臣 米 內 光 政 殿

局長

職員囑託ノ件

本日附本會職員左ノ通囑託致候ニ付此段及報告候

中 村 一 誠

紀元二千六百年奉祝會書記ヲ囑託ス

15.5.-3

15.5 發

昭和十五年五月二日

中 林

本日開本會委員式、催請諸君是、付用對以書到

職員謝禮、并

内閣總理大臣 米 内 次 郎

昭和十五年五月二日

昭和十五年五月二日

昭和十五年五月二日

昭和十五年五月二日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

内閣總理大臣 米 内 光 政 殿

職員囑託ノ件

本會職員左ノ通囑託致候ニ付此段及報告候
記

(各通) (營繕管財局事務官) 萩 原 榮 一
(營繕管財局技師) 伊 部 貞 吉

紀元二千六百年奉祝會事務ヲ囑託ス

15.5.-3
第 316 號

15.5.15

内閣總理大臣 米内光政 殿

奉 命 四七一號

昭和十五年五月一日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛 文麿

内閣總理大臣 米内光政 殿

地方副支部長 囑託ノ件

本日本會副支部長左記ノ通囑託致候ニ付此段及報告候

記

長野縣總務部長

長野縣學務部長

水

久

谷

尾

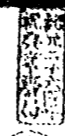
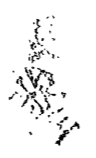
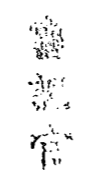
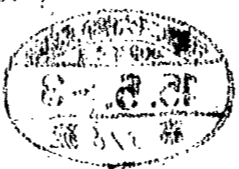
秀

啓

雄

一

紀元二千六百年奉祝會長 長野縣副支部長ヲ囑託ス



紀元二千六百年奉祝會東京府副支部長ヲ囑託ス

中 村 四 郎

本日本會副支部長左記ノ通囑託致候ニ付此段及報告候

東京府總務部長

内閣總理大臣 米 内 光 政

紀元二千六百年奉祝會長 公 爵 近 衛 文 麿

昭和十五年五月一日

奉祝會第四八七號

昭和十五年五月一日

紀元二千六百年奉祝會長 公 爵 近 衛 文 麿

内閣總理大臣 米 内 光 政

地方副支部長囑託ノ件

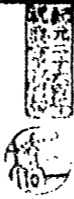
本日本會副支部長左記ノ通囑託致候ニ付此段及報告候

記

東京府總務部長

中 村 四 郎

紀元二千六百年奉祝會東京府副支部長ヲ囑託ス



日本奉祝會東京本部支部長 堀田 中 林 四 郎

謹

本日奉祝會副支部長 堀田 中 林 四 郎 謹啓

並代副支部長 堀田 中 林 四 郎

内閣總理大臣 米 内 光 政 殿

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近 衛 文 麿

昭和十五年五月一日

奉祝會 四九六號

昭和十五年五月一日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近 衛 文 麿

供覽 内閣總理大臣 米 内 光 政 殿

局長

書記官

地方副支部長 堀田 中 林 四 郎

本日本會副支部長左記ノ通囑託致候ニ付此段及報告候

記

山形縣總務部長

田 中 進

紀元二千六百年奉祝會山形縣副支部長ヲ囑託ス

15.5.-3 314號

15.5.-3 314號

昭和十五年五月一日

田中

本日本會職員及諸君等之...

此式臨支諸君...

內閣總理大臣...

昭和十五年五月一日

昭和十五年五月一日

紀元二千六百年奉祝會

奉祝會第 四七六 號

昭和十五年 五月 一日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

內閣總理大臣 米 內 光 政 殿

役員異動ノ件

本會役員左記ノ通解囑相成候條死亡ノ分ヲ併セ此段及報告候

元厚生次官

元樺太廳長官

元南洋廳長官

元奈良縣知事

紀元二千六百年奉祝會常議員囑託ヲ解ク

岡 田 文 秀

棟 居 俊 一

北 島 謙 次 郎

三 島 誠 也

15.5 - 3

15.5 翁

15.5

元京都府知事
 元神奈川縣知事
 元新潟縣知事
 元枋木縣知事
 元三重縣知事
 元愛知縣知事
 元宮城縣知事
 元島根縣知事
 元香川縣知事
 元佐賀縣知事
 元大分縣經濟部長
 元熊本縣知事
 宮崎縣知事

赤松小寅
 飯沼一省
 君島清吉
 足立清收
 小河正儀
 田中廣太郎
 清水良策
 森部隆策
 藤岡長敏
 加藤於菟丸
 織田智丸
 近藤駿介
 長谷川透

元三條市長

栗山英資

紀元二千六百年奉祝會評議員囑託ヲ解ク

昭和十五年三月二十三日死亡 評議員 毛塚源藏
 同 三十日死亡 同 男爵古河虎之助
 同 四月十八日死亡 同 子爵渡邊千冬

紀元二千六百年奉祝會富山縣副支部長ヲ囑託ス

紀元奉祝會 第五四六號

昭和十五年五月二十二日



紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

内閣總理大臣 米内光政 殿

局長 長谷川

書記官

役員異動ノ件

本會役員左記ノ通解囑相成候補死亡ノ分ヲ併セ此段及報告候

記

元富山市長

山崎定義

元立命館大學學長事務取扱

織田萬



(別紙貳通添付ノ事)

◎紀元二千六百年奉祝會記事

紀元二千六百年奉祝會事業助成ノ爲其ノ事業

費補助トシテ國庫補助金昭和十五年分金

壹百萬圓ヲ下附スル旨五月三日指令セリ

(内閣)

昭和十五年五月十六日

内閣總理大臣

經 四一五號

紀元二千六百年奉祝會評議員左ノ通選任致度候條御認可相成度此段及申請候也

昭和十五年五月十六日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

内閣總理大臣 米内光政 殿

役員選任ノ件認可申請

本會評議員左ノ通選任致度候條御認可相成度此段及申請候也

記

鎌倉市長

清川來吉

富山市長

森川勇

立命館大學學長

田中昌太郎

神宮皇學館大學長

山田孝雄

紀元二千六百年奉祝會評議員ヲ囑託ス



昭和十五年六月五日奉 皇 命

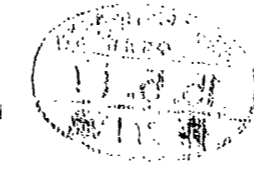
内閣府 庶務課 庶務課長 官 印

奉 命 官 官 印

昭和十五年六月五日

内閣府 庶務課 庶務課長 官 印

昭和十五年六月五日



三五八 五五三三

書記官



内閣府 庶務課 庶務課長 官 印

紀元二千六百年奉祝會 長ヨリ 別紙昭和十五年

度四月分收入支出計算書提出ニ付 查

閱セシ處異狀無之

右供高覽

内閣經第四二五

紀元二千六百年奉祝會
奉祝會
六〇四號

昭和十五年五月二十一日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

内閣總理大臣 米内光政 殿

收入支出計算書提出ノ件

昭和十五年四月分收入支出計算書別紙ノ通及提出候也

15.5.23
第358號



収 入 一 覧 表

昭和 / 年 // 月 分

收 入		支 出		現 在 高
前月迄累計	本 月 分	前月迄累計	本 月 分	
〃	〃	〃	〃	〃
17,000.00	11,134.36	27,096.75	30,116.65	5,670.15

備 考

現 在 高 内 譯

銀行預金總額	振替貯金	國債證券	現 金	合 計
〃	〃	〃	〃	〃
5,651,741.51	15,872.15	2,403.00	56.62	5,670,153.28

備 考

- 1 銀行預金總額 / 別帳下記 / 通
- 2 國債證券 / 半年利付 / 額面 2,400,000.00

銀 行 預 金 明 細

銀 行 名	定 期	通 知	特 別 當 座	當 座	計
三 井 銀 行	〃	〃	〃	〃	〃
三 菱 銀 行	〃	〃	〃	〃	〃
安 田 銀 行	〃	〃	〃	〃	〃
住 友 銀 行	〃	〃	〃	〃	〃
第 一 銀 行	〃	〃	〃	〃	〃
橫濱正金銀行東京支店	〃	〃	〃	〃	〃
朝鮮銀行東京支店	〃	〃	〃	〃	〃
臺灣銀行東京支店	〃	〃	〃	〃	〃
第 百 銀 行	〃	〃	〃	〃	〃
三 和 銀 行	〃	〃	〃	〃	〃
野 村 銀 行	〃	〃	〃	〃	〃
計	3,720,000.00	1,140,000.00	574,103.41	17,638.10	5,651,741.51

收入計算書

昭和 / 年 月 分

科 目	豫 算 額	収 入 額		豫 算 残 額	備 考
		前月迄累計	本 月 分		
第一級 下賜金	1,000,000.00	1,000,000.00	0	1,000,000.00	0
第一項 下賜金	1,000,000.00	1,000,000.00	0	1,000,000.00	0
第一目 下賜金	1,000,000.00	1,000,000.00	0	1,000,000.00	0
第二級 國庫補助金	1,000,000.00	0	0	1,000,000.00	
第一項 國庫補助金	1,000,000.00	0	0	1,000,000.00	
第一目 國庫補助金	1,000,000.00	0	0	1,000,000.00	
第三級 附金	5,000,000.00	5,271,715.73	1,131,963.34	2,024,676.07	2,976,320.93
第一項 附金	5,000,000.00	5,271,715.73	1,131,963.34	2,024,676.07	2,976,320.93
第一目 附金	5,000,000.00	5,271,715.73	1,131,963.34	2,024,676.07	2,976,320.93
第四級 收入	94,500.00	30,415.34	2,570.08	33,285.42	61,214.58
第一項 雜收入	94,500.00	30,415.34	2,570.08	33,285.42	61,214.58
第一目 預金利子	94,500.00	16,483.49	1,711.59	18,395.08	66,104.92
第二目 雜收入	10,000.00	13,731.85	1,158.49	14,890.34	4,890.34
第五級 前年度繰越金	3,480,000.00	3,196,402.09	0	3,196,402.09	283,597.91
第一項 前年度繰越金	3,480,000.00	3,196,402.09	0	3,196,402.09	283,597.91
第一目 前年度繰越金	3,480,000.00	3,196,402.09	0	3,196,402.09	283,597.91
計	10,574,500.00	6,119,533.16	1,134,533.42	6,254,066.58	2,320,433.42

本

支出計算書

昭和 15 年 4 月分

科 目	豫算額	支 出 額		豫算残額	備 考
		前月迄累計	本 月 分		
第一級 事業費	5,275,160.00	2,975,831.17	3,271,251.18	2,303,328.65	
第一級 第一目 第一項	1,475,000.00	1,151,247.00	2,517,133.55	1,117,767.45	
第一級 第一目 第二項	1,475,000.00	1,151,247.00	2,517,133.55	1,117,767.45	
第一級 第一目 第三項	1,000,000.00	526,550.00	0.00	473,450.00	
第一級 第一目 第四項	1,000,000.00	526,550.00	0.00	473,450.00	
第一級 第一目 第五項	250,000.00	772,100.00	10,295,950.00	10,150,000.00	
第一級 第一目 第六項	250,000.00	772,100.00	10,295,950.00	10,150,000.00	
第一級 第一目 第七項	396,000.00	41,761.55	0.00	354,238.45	
第一級 第一目 第八項	396,000.00	41,761.55	0.00	354,238.45	
第一級 第一目 第九項	1,047,434.00	1,113.00	12,725.37	1,033,616.63	
第一級 第一目 第十項	1,047,434.00	1,113.00	12,725.37	1,033,616.63	
第一級 第一目 第十一項	500,000.00	12,000.00	0.00	488,000.00	
第一級 第一目 第十二項	500,000.00	12,000.00	0.00	488,000.00	
第一級 第一目 第十三項	400,000.00	2,325.28	2,325.28	397,674.72	
第一級 第一目 第十四項	371,000.00	18,000.45	1,264.50	352,735.05	
第一級 第一目 第十五項	50,000.00	6,111.51	1,072.78	42,815.71	
第一級 第一目 第十六項	75,000.00	0.00	2,776.00	72,224.00	
第一級 第一目 第十七項	75,000.00	0.00	2,776.00	72,224.00	
第一級 第一目 第十八項	171,830.00	0.00	0.00	171,830.00	
第一級 第一目 第十九項	171,830.00	0.00	0.00	171,830.00	
第一級 第一目 第二十項	171,830.00	0.00	0.00	171,830.00	
第一級 第一目 第二十一項	516,473.00	0.00	0.00	516,473.00	
第一級 第一目 第二十二項	516,473.00	0.00	0.00	516,473.00	
第一級 第一目 第二十三項	516,473.00	0.00	0.00	516,473.00	
計	10,574,500.00	2,975,831.17	3,271,251.18	2,303,328.65	

内閣總務局 四五一号

第六七九番

昭和十五年六月四日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛 文麿

内閣總理大臣 米内 光政 殿

地方副支部長囑託ノ件

本日本會副支部長左記ノ通囑託致候ニ付此段及報告候

記

静岡縣總務部長

長 船 克 巳

紀元二千六百年奉祝會静岡縣副支部長ヲ囑託ス

廣島縣總務部長

後 藤 耕 造

紀元二千六百年奉祝會廣島縣副支部長ヲ囑託ス

15.6.-6
第 407 號

15.6.14
調査課

主計局
15.6.13
第11號

自決堂
15.6.13.
第406號

大藏大臣了

次

官

主計局長

文書課長

調査課長

豫算課長

三九九

五六七

一五二一〇

文書

囑、件認可指令案

神武天皇聖蹟顯彰施設ニ関スル事務委

神武天皇聖蹟顯彰施設ニ関スル事務委員
第一號
昭和十八年六月十三日
主計局
文書課
長
官
次
官
主計局長
豫算課長

調査課
豫算課
文書課
主計局
大藏大臣

昭和十八年六月十三日

紀元二千六百年奉祝會長公爵近衛文麿

昭和十五年六月四日附第六七四號申請神武

天皇聖蹟顯彰施設ニ關スル事務委囑ノ件

認可ス

昭和十五年六月十八日

内閣總理大臣

内閣總理大臣

第六七四號

昭和十五年六月四日

紀元二千六百年奉祝會長公爵近衛文麿

内閣總理大臣 米内光政 殿

神武天皇聖蹟顯彰施設ニ關スル事務
委囑ノ件認可申請

本會施行ニ係ル紀元二千六百年奉祝記念事業タル神武天皇聖蹟ノ關
查保存顯彰ノ中施設ニ關スル事務ヲ左記條件ニ依リ大阪府知事、和
歌山縣知事及奈良縣知事ニ夫々委囑致度候條御認可相成度此段及申
請候也

記

15.6.-6
第399號

- 一 顕彰施設ヲ要スル箇所及之カ經費ハ別紙ノ通トス
- 二 顕彰施設ノ方法ニ付テハ個々ノ箇所ニ付夫々本會提出ノ設計圖書及仕様書ニ依ルコト
- 三 施設ニ關スル事務ハ凡ソ昭和十五年十月末迄ニ完了スルコト
- 四 豫算ハ豫メ本會ト協議ノ上之ヲ決定スルコト
- 五 前號ノ經費ハ事業ノ進捗ニ伴ヒ本會ヨリ大阪府、和歌山縣及奈良縣ニ夫々納付スルコト
- 六 前各號ノ外事務施行ニ關スル取扱手續ハ別紙ノ通トスルコト

大阪府

(一) 顕彰施設スベキ聖蹟地

一 神武天皇聖蹟難波之碕

一 所在地

大阪府大阪市

一 地點地域

凡ソ東區ノ上町臺地ノ北端ヨリ北區ノ天滿附近ニ互ル地域

一 保存顕彰施設ノ實施箇所

大阪府大阪市北區大工町府社天滿宮附近

一 保存顕彰施設ノ内容

顕彰碑（土質ノ花崗岩）ノ建設

一 顕彰碑ノ記載文辭

(裏面)

神武天皇聖蹟難波之碕顯彰碑

(裏面)

神武天皇戊午年二月舟師ヲ帥キテ東シ難波之碕ニ至リ給ヘ
リ其ノ碕奔潮ノ急ナルニ會ハセラレシニ因リ浪速ノ名ヲ得
後難波トナレリ聖蹟ハ此ノ地附近ナルベシ

二 神武天皇聖蹟難波推考地

一 所在地

大阪府中河内郡孔舎衛村

一 地點地域

孔舎衛村ノ山麓地帯

一 保存顯彰施設ノ實施箇所

大阪府中河内郡孔舎衛村大字日下字西貝畑附近

一 保存顯彰施設ノ内容

顯彰碑(良質ノ花崗岩)及石橋ノ建設

一 顯彰碑ノ記載文辭

(表面)

神武天皇聖蹟難波顯彰碑

(裏面)

神武天皇戊午三月皇軍ヲ率キテ青雲白肩之津ニ至リ給ヒ翌
四月孔會衛坂ニ戰ハセラレ其ノ津ニ還リテ盾ヲ植テテ雄略
遊バサレシニ因リ地名ヲ盾津ト改メタリ聖蹟ハ此ノ地附近
ナリト推セラル

三 神武天皇聖蹟孔會衛坂傳説地

一 所在地

大阪府中河内郡孔會衛村

二 地點地域

孔會衛村大字目下ノ山麓地帯ヨリ草香山ノ北部ヲ越ユル坂
路ノ邊

三 保存顯彰施設ノ實施箇所

大阪府中河内郡孔會衛村大字菅根寺宇燒山

四 保存顯彰施設ノ内容

顯彰碑（良質ノ花崗岩）及石欄ノ建設

五 顯彰碑ノ記載文辭

（表而）

神武天皇聖蹟孔會衛坂顯彰碑

(裏面)

神武天皇戊午年四月皇軍ヲ率キ勝鬪山ヲ險ニテ中洲ニ入ラ
ントレ給ヒ孔舍衛坂ニ長髓彦ノ軍ト御會戰遊ハサレタリ
隨ハ此ノ坂路ノ邊ナリト傳ヘラル

四 神武天皇皇蹟雄水門傳説地

一、所在地

大阪府泉南郡樟井村、雄信郷村

一、地點地域

樟井村大字樟井ノ西部ヨリ雄信郷村大字男里字天神及其ノ
附近ニ互ル地域

一、保存顯彰施設ノ實施箇所

大阪府泉南郡雄信郷村大字男里字天神ノ濱ノ宮附近

一、保存顯彰施設ノ内容

顯彰碑(良置ノ花崗岩)及石柵ノ建設

一、顯彰碑ノ記載文辭

(裏面)

神武天皇皇蹟雄水門顯彰碑

(裏面)

神武天皇戊午年五月皇軍ヲ率キテ茅渟山城水門ニ至リ給ヘ
リ時ニ皇兄五瀬命矢瘡ノ痛甚シク劍ヲ撫シテ雄諧遊バサレ
シニ因リ時人其ノ盛ヲ雄水門ト稱セリ樂蹟ハ此ノ地附近ナ
リト傳ヘラル

(二) 經費凡金四萬圓

和歌山縣

(一) 顯彰施設スベキ聖蹟地

一 神武天皇聖蹟男水門傳説地

一 所在地

和歌山縣和歌山市

一 地點地域

小野町及其ノ附近ノ地

一 保存顯彰施設ノ實施箇所

和歌山縣和歌山市小野町二丁目水門神社社境内

一 保存顯彰施設ノ内容

顯彰碑(良質ノ花崗岩)ノ建設

一 顯彰碑ノ記載文辭

(表面)

神武天皇聖蹟男水門顯彰碑

(裏面)

神武天皇血沼海ヨリ廻リテ紀國ノ男水門ニ至リ給ヘリ時
ニ皇兄軍瀬命賤奴ガ手ヲ負ヒテヤ死ナント宜ヒ男建シテ
堯ジ給ヒシニ因リ男水門ノ名ヲ得タリ聖蹟ハ此ノ地附近
ナリト傳ヘラル

□ 經費凡金壹萬圓

奈良縣

(一) 顯彰施設スベキ聖蹟地

一 神武天皇聖蹟菟田高倉山傳説地

一 所在地

奈良縣宇陀郡政始村、神戸村

一 地點地域

政始村大字守道及神戸村大字大東ニ跨ル高倉山ノ山頂

一 保存顯彰施設ノ實施箇所

奈良縣宇陀郡政始村大字守道ニ屬スル高倉山ノ山頂

一 保存顯彰施設ノ内容

顯彰碑(良價ノ花崗岩)及石柵ノ築設

一 顯彰碑ノ記載文辭

(表面)

神武天皇聖蹟菟田高倉山顯彰碑

(裏面)

神武天皇戊午年九月菟田高倉山ノ蹟ニ登リ給ヒテ域中ノ
虜軍ノ形勢ヲ瞻望シ給ヘリ聖蹟ハ此ノ地ナリト傳ヘラル

(一) 經費凡金壹萬圓

神武天皇聖蹟顯彰施設事務施行ニ關スル取扱手續

第一

縣府ハ事業ニ着手シタルトキ及之ガ竣工シタルトキハ速ニ
其ノ箇所毎ニ着手又ハ竣功ノ日ヲ紀元二千六百年奉祝會ニ報告ス
ルコト

第二

縣府ハ事業ガ本年度内(昭和十五年十二月三十一日)ニ竣
功セザルトキハ次年度經費概算ヲ本年九月三十日迄ニ紀元二千六
百年奉祝會ニ提出スルコト

第三

縣府ハ當該年度支出精算書ヲ年度經過後速ニ紀元二千六百
年奉祝會ニ提出スルコト

第四

經費ノ納付ニ關シテハ左ノ通トスルコト
一 縣府ハ各年度ノ經費ニ付キ豫メ月別支拂豫定額ヲ概定シ紀
元二千六百年奉祝會ニ通知スルコト

二

縣府ハ支拂見込額ヲ前月末迄ニ紀元二千六百年奉祝會ニ通

知シ之ガ資金ノ納付ヲ受クルコト但シ一時ニ多額ノ支拂ヲ爲ス場
合ニ於テハ其ノ都度納付ヲ受クルコト

第五 縣府ハ毎月收入支出計算書ニ證憑書類ヲ添ヘ次月上旬迄ニ

紀元二千六百年奉祝會ニ提出スルコト

第六 縣府ハ左ニ掲グル場合於テハ事前ニ紀元二千六百年奉祝

會ニ協議スルコト

一 豫算各科目ノ金額ヲ彼此流用スルトキ

二 給與ニ關スル規程ヲ制定スルトキ

三 價格五百圓以上ノ物品ヲ購入スルトキ

四 賞與又ハ手當ヲ給與スルトキ

五 殘餘物件ノ處分ヲ爲ストキ

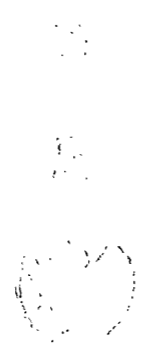
第七 前各號ニ掲グルモノノ外重要ナル事項ニ付テハ紀元二千六百年

奉祝會ニ協議スルコト

四四一

五六三

十五六一



高橋

昭和十五年六月一日

局長

各地方長官 宛

紀元二千六百年奉祝會紋章・関スル件

紀元二千六百年奉祝會ニ於テハ御承知ノ如ク政府
決定ノ紀元二千六百年奉祝記念事業ノ施行ヲ擔當シ
及國民教化ノ諸事業ニ盡力致居候處今般別添
圖ヲ同會紋章トシテ廣ク用紙、器具其他ノ物
品ニ使用シ一般ニ於テ濫用スルヲ防キ度趣ニ
有之候ニ付テハ御諒承ノ上可然御配意相

煩度此段及御依頼候

尚本件ニ関シテハ特許局ニ於テモ已ニ諒承致居
候モ、有之申添候

圖添附

六七三 號

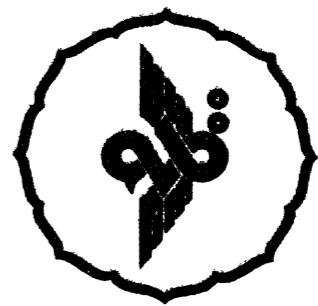
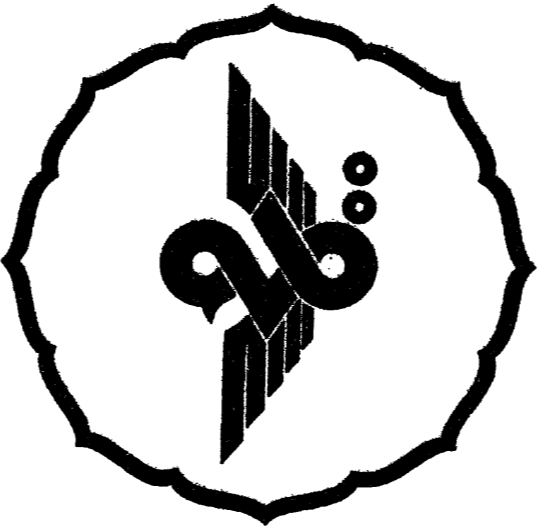
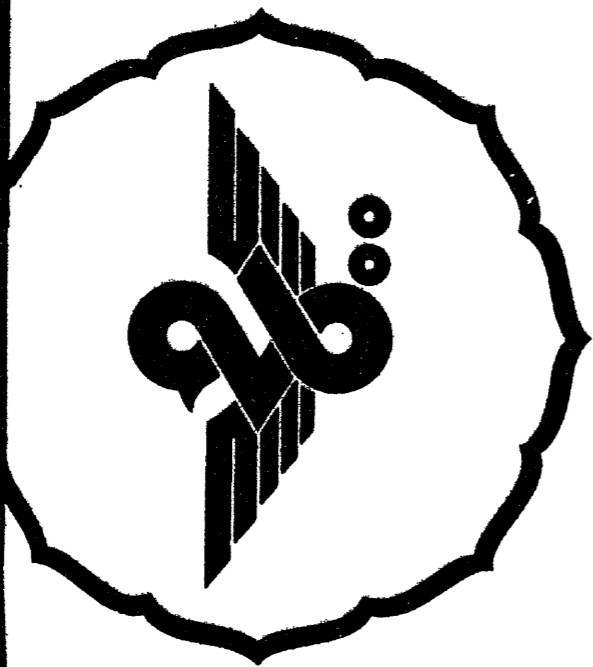
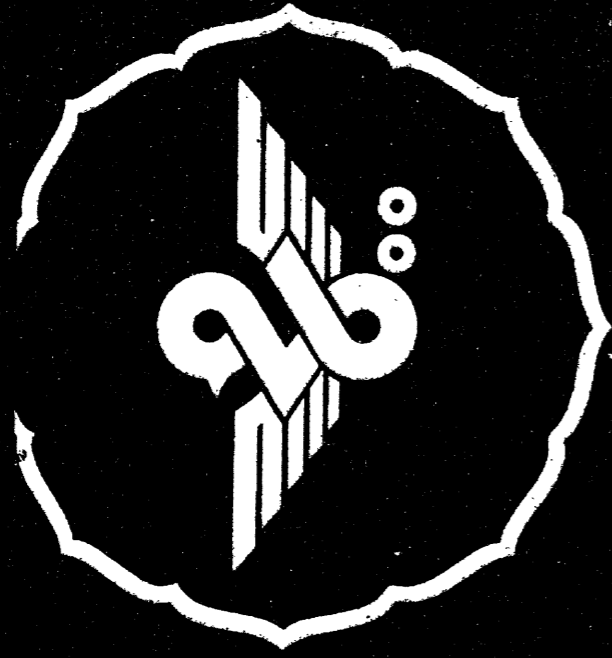
昭和十五年六月四日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛 文麿

內閣總理大臣 米內 光政 殿

本會紋章別圖ノ通相定メ候條此段及報告候

15.6.-6
第 400 號



日知月之出也
其一年之
也

四〇〇

五六一

五六二

局長

局長

昭和十五年六月二十一日

局長



内閣官房總務課長宛

別紙、通官報彙報欄雜事、項二掲載方

可然御取許相成度候



(別紙貳通添付)

◎ 紀元二千六百年奉祝會記事

今般同會ヲ表示スル紋章左ノ通定メタリ

(内閣)

(圖添付)

奉祝會第六六七號

昭和十五年六月四日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

內閣總理大臣 米 內 光 政 殿

局長

職員囑託ノ件

本日左記ノ通本會幹事囑託相成候ニ付此段及報告候也
記

兼任內閣紀元二千六百年祝典事務局書記官

渡邊男二郎

紀元二千六百年奉祝會幹事ヲ囑託ス



昭和十五年六月廿六日奉
皇太后陛下
御覽

御覽
二
浪

本日奉
皇太后陛下
御覽

御覽
二
浪

内閣總理大臣 米 内 光 政 殿

昭和十五年六月廿六日
奉
皇太后陛下
御覽

昭和十五年六月廿六日

内閣總理大臣 米 内 光 政 殿

奉
皇太后陛下
御覽
第六四一號

昭和十五年五月三十日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文 麿



内閣總理大臣 米 内 光 政 殿

職員囑託竝ニ解囑ノ件

本日左ノ通本會職員囑託竝ニ解囑相成候條此段及報告候

記

營繕管財局理事

入 江 昂

紀元二千六百年奉祝會幹事ヲ囑託ス

元營繕管財局理事

松 隈 秀 雄

15. 6. -3
號

紀元二千六百年奉祝會幹事囑託ヲ解ク

大藏大臣官房會計課長

山住克巳

紀元二千六百年奉祝會會務ヲ囑託ス

元大藏大臣官房會計課長

永井 勻

紀元二千六百年奉祝會會務囑託ヲ解ク

四七三

五七三

五七六



紀元二千六百年奉祝會長ヨリ別紙、通来ル

七月十日舉行、神武天皇聖蹟顯彰施設

工事起工祭ニ總理大臣、臨場方申請有

之候ニ付テハ代理官トシテ左記ノ者派遣相成

可然哉相伺候

記

内閣紀元二千六百年祝典事務局長 歌田千勝

七六一號

昭和十五年六月二十五日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛 文麿

内閣總理大臣 米 内 光 政 殿



來ル七月十日午前十時三十分ヨリ大阪市北區大工町府社天滿宮境内
ニ於テ神武天皇聖蹟顯彰施設工事起工祭ヲ別紙次第ニ依リ舉行致候
ニ付テハ貴官若ハ代理官御臨場賜度此段及申請候

（是ヨリ先手水ノ儀アリ）

昭和十五年七月十日

神武天皇聖蹟顯彰施設工事起工祭祭式案

日時 昭和十五年七月十日（水曜日）午前十時三十分

場所 大阪市北區大工町 府社天滿宮境内

午前十時三十分マデニ参列員祭場所定ノ座ニ著ク

午前十時五十分ヨリ齋主以下關係諸員参進開始

（是ヨリ先手水ノ儀アリ）

午前十一時マデニ齋主以下關係諸員祭場所定ノ座ニ著ク

次 修 成

次 齋主降神ヲ奉仕ス背撥

此間一同馨折

次 神饌ヲ供ス

此間奏樂

次 齋主祝詞ヲ奏ス

此間一同馨折

次 歛入ノ式ヲ行フ

次 齋主玉串ヲ奉リテ拜禮

副齋主以下列拜

次 紀元二千六百年奉祝會長玉串ヲ奉リテ拜禮



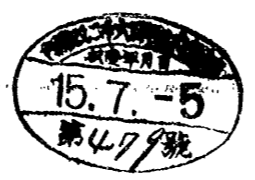
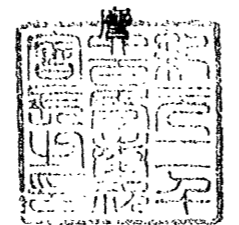
- 次 内閣總理大臣玉串ヲ奉リテ拜禮
- 次 宮内大臣玉串ヲ奉リテ拜禮
- 次 内務大臣玉串ヲ奉リテ拜禮
- 次 文部大臣玉串ヲ奉リテ拜禮
- 次 神武天皇聖蹟調査委員會會長玉串ヲ奉リテ拜禮
- 次 大阪府知事玉串ヲ奉リテ拜禮
- 次 奈良縣知事玉串ヲ奉リテ拜禮
- 次 岡山縣知事玉串ヲ奉リテ拜禮
- 次 廣島縣知事玉串ヲ奉リテ拜禮
- 次 和歌山縣知事玉串ヲ奉リテ拜禮
- 次 福岡縣知事玉串ヲ奉リテ拜禮
- 次 參列員總代玉串ヲ奉リテ拜禮
- 次 神饌ヲ撤ス
- 次 齋主昇神ヲ奉仕ス
- 次 各 還 出

參列員一同自座列拜
此 間 奏 樂
此 間 一 同 聲 折

紀元二千六百年奉祝會
第八〇八號

昭和十五年七月三日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文



内閣總理大臣 米 内 光 政 殿

職員採用ノ件

本日本會職員左ノ通採用致候ニ付此段及報告候

記

雨 宮 收 兵

紀元二千六百年奉祝會主事ヲ命ス

紀元二千六百年奉祝會注事ノ命ス

雨宮 功 吳

浦

本日本會郷員込ノ懸射用遊樂ニ付出遊又辨告刻

郷員射用ノ件

内閣總理大臣 米 内 光 政 殿

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛 文 麿

昭和十五年甲子月三日

奉祝會 第六七一號

昭和十五年六月二十五日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛 文 麿

内閣總理大臣 米 内 光 政 殿

供覽

地方副支部長囑託ノ件

本日本會副支部長左記ノ通囑託致候條此段及報告候

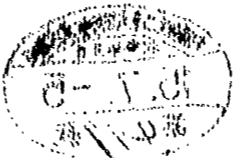
記

- 三重縣總務部長 阿 部 邦 一
- 同 經濟部長 西 岡 廣 吉
- 同 警察部長 今 井 久

紀元二千六百年奉祝會三重縣副支部長ヲ囑託ス



15. 6. 第 45



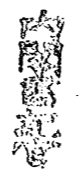
昭和十五年六月二十七日附第七七七號申請役員
 選任ノ件認可ス
 昭和十五年六月二十七日
 近衛文磨
 紀元二千六百年奉祝會役員選任認可指令案
 紀元二千六百年奉祝會會長公爵近衛文磨
 昭和十五年六月二十七日
 近衛文磨

四六二

五六三

五七三

昭和十五年七月五日



選任ノ件認可ス

昭和十五年六月二十七日附第七七七號申請役員

紀元二千六百年奉祝會會長公爵近衛文磨

紀元二千六百年奉祝會役員選任認可指令案

昭和十五年六月三日

内閣總理大臣

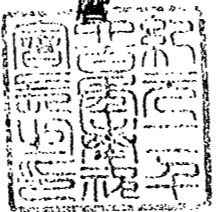
内閣總理大臣

奉
紀元
奉祝
會
七
七
七

昭和十五年六月二十七日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文

内閣總理大臣 米内光政 殿



役員選任ノ件認可申請

本會役員左ノ通選任致度候條御認可相成度此段及申請候也

記

東京商工會議所副會頭

山本留次
根津藤太郎

紀元二千六百年奉祝會常議員ヲ囑託ス

紀元二千六百年奉祝會評議員ヲ囑託ス

- 静岡縣總務部長
- 三重縣會議長
- 市川市長
- 沼津市長
- 桐生市長
- 布施市長
- 川内市長
- 廣島商工會議所會頭
- 東北帝國大學總長
- 東京美術學校長
- 長船克巳
- 田村裕
- 稻内清二
- 名取榮一
- 荻野欽司
- 鳥羽源四郎
- 寺田市正
- 勝盛達之助
- 熊谷岱藏
- 澤田源一

八二九

昭和十五年七月六日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

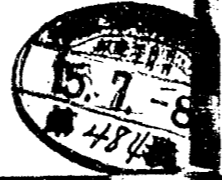


内閣總理大臣 米内光政 殿

局長

收入支出計算書提出ノ件

昭和十五年五月分收入支出計算書別紙ノ通り及提出候也

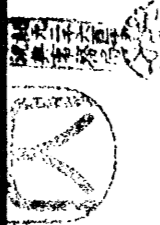


收入計算書

昭和 11 年 〇 月 分

15.7.21
第 194 号

科 目	豫 算 額	收 入		豫算残額	備 考
		前月迄累計	本 月 分		
	円	円	円	円	
第一款					
御下賜金	1,000,000.00	1,000,000.00	0	1,000,000.00	
第一項					
御下賜金	1,000,000.00	1,000,000.00	0	1,000,000.00	
第二項					
御下賜金	1,000,000.00	1,000,000.00	0	1,000,000.00	
第二款					
國庫補助金	1,000,000.00	0	250,000.00	750,000.00	
第一項					
國庫補助金	1,000,000.00	0	250,000.00	750,000.00	
第二項					
國庫補助金	1,000,000.00	0	250,000.00	750,000.00	
第三款					
寄附金	5,000,000.00	2,224,679.07	448,524.5	2,472,703.52	2,527,268.48
第一項					
寄附金	5,000,000.00	2,224,679.07	448,524.5	2,472,703.52	2,527,268.48
第二項					
寄附金	5,000,000.00	2,224,679.07	448,524.5	2,472,703.52	2,527,268.48
第四款					
雑収入	94,500.00	33,255.42	34,432.69	67,718.11	26,781.89
第一項					
雑収入	94,500.00	33,255.42	34,432.69	67,718.11	26,781.89
第二項					
預金利息	84,500.00	18,395.28	26,946.91	45,341.99	39,158.01
第三項					
雑収入	10,000.00	14,890.34	2,485.78	22,376.12	12,376.12
第五款					
前年度繰越金	3,480,000.00	3,196,402.09	0	3,196,402.09	283,597.91
第一項					
前年度繰越金	3,480,000.00	3,196,402.09	0	3,196,402.09	283,597.91
第二項					
前年度繰越金	3,480,000.00	3,196,402.09	0	3,196,402.09	283,597.91
計	10,574,500.00	6,254,366.58	732,485.14	6,986,851.72	3,587,648.28



出納

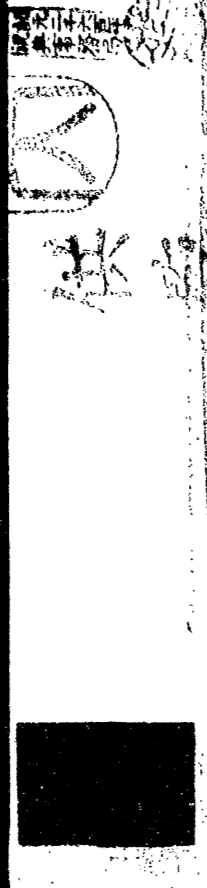


支出計算書

昭和 / 年 月 分

昭和 / 年 月 分

科目	豫算額	支出額		豫算残額	備考
		前月迄累計	本月分		
本一 部 事務費	7,424.00	12,667.40	2,915.61	15,583.01	7,539.99
本一 部 会議費	2,175.00	1,905.00	0	1,905.00	270.00
本二 部 会議費	2,175.00	1,905.00	0	1,905.00	270.00
本一 部 給与費	17,449.00	2,116.05	577.50	2,713.55	14,735.42
本二 部 給与費	10,025.00	771.41	275.00	1,046.41	8,978.59
本三 部 旅費	2,401.00	609.67	180.00	789.67	1,611.33
本四 部 旅費	1,260.00	0	0	0	1,260.00
本五 部 旅費	564.00	0	0	0	564.00
本六 部 旅費	3,000.00	135.00	142.50	677.50	2,322.50
本七 部 旅費	200.00	200.00	0	200.00	0
本八 部 旅費	2,500.00	1,526.35	182.05	1,708.40	791.60
本九 部 旅費	2,500.00	1,526.35	182.05	1,708.40	791.60
本一〇 部 旅費	4,400.00	578.79	315.52	1,194.31	3,205.69
本一一 部 旅費	500.00	160.14	24.37	184.51	315.49
本一二 部 旅費	1,500.00	217.17	0	217.17	1,282.83
本一三 部 旅費	1,200.00	185.18	196.30	381.48	818.52
本一四 部 旅費	1,200.00	316.30	94.85	411.15	788.85
本一五 部 旅費	21,100.00	0	110.00	110.00	20,990.00
本一六 部 旅費	10,450.00	0	110.00	110.00	10,340.00
本一七 部 旅費	2,650.00	0	0	0	2,650.00
本一八 部 旅費	40,800.00	4,684.92	1,120.91	5,805.83	34,994.17
本一九 部 旅費	40,800.00	4,684.92	1,120.91	5,805.83	34,994.17
本二〇 部 旅費	3,000.00	1,557.26	589.60	2,146.86	853.14
本二一 部 旅費	3,000.00	1,557.26	589.60	2,146.86	853.14
本二二 部 旅費	72,000.00	24,553.55	22,729.26	47,282.81	24,717.19
本二三 部 旅費	72,000.00	24,553.55	22,729.26	47,282.81	24,717.19
本二四 部 旅費	72,000.00	24,553.55	22,729.26	47,282.81	24,717.19

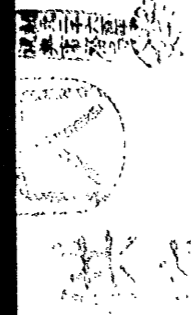


支出計算書

昭和 15 年 5 月 分

15. 7. 1. 3
第 14 号

科 目	豫 算 額	支 出		額	豫 算 残 額	備 考
		前月迄累計	本 月 分			
	四	四	四	四	四	
第三款 業 費	5,270,150.00	5,469,135.55	130,460.87	6,77,452.22	4,247,562.78	
第一項 糧食増産費	1,475,000.00	2,77,230.55	25,539.95	402,570.53	1,092,129.47	
第一目 糧食増産費	1,475,000.00	2,77,230.55	25,539.95	402,570.53	1,092,129.47	
第一項 糧食増産費	1,000,000.00	2,665.00	40,500.00	93,245.00	44,755.00	
第一目 糧食増産費	1,000,000.00	2,665.00	40,500.00	93,245.00	44,755.00	
第二項 神武天皇聖蹟 調査保存費	250,000.00	18,196.98	30.75	18,227.73	231,772.27	
第一目 神武天皇聖蹟 調査保存費	250,000.00	18,196.98	30.75	18,227.73	231,772.27	
第四項 所屬各埠道路改良費	296,000.00	41,761.88	5,000.00	91,761.88	304,238.12	
第一目 所屬各埠道路改良費	296,000.00	41,761.88	5,000.00	91,761.88	304,238.12	
第五項 國史館建設費	1,047,434.00	13,848.37	168.93	14,017.30	1,033,416.70	
第一目 國史館建設費	1,047,434.00	13,848.37	168.93	14,017.30	1,033,416.70	
第六項 国史館編纂出版費	550,581.00	12,000.00	0	12,000.00	538,581.00	
第一目 国史館編纂出版費	550,581.00	12,000.00	0	12,000.00	538,581.00	
第七項 教化事業費	400,000.00	28,702.57	11,500.12	40,202.69	359,797.31	
第一目 教化施設費	270,000.00	21,228.98	9,637.61	30,866.59	339,133.41	
第二目 紀念式百年祭行費	130,000.00	7,473.59	1,862.51	9,336.10	20,663.90	
第八項 奉 祝 會 費	750,000.00	2,796.00	2,331.09	5,127.09	744,872.91	
第一目 奉 祝 會 費	750,000.00	2,796.00	2,331.09	5,127.09	744,872.91	
第四款 豫 備 費	198,530.00	0	0	0	198,530.00	
第一項 豫 備 費	198,530.00	0	0	0	198,530.00	
第一目 豫 備 費	198,530.00	0	0	0	198,530.00	
第五款 次 年 度 繰 越 金	5,164,931.00	0	0	0	5,164,931.00	
第一項 次 年 度 繰 越 金	5,164,931.00	0	0	0	5,164,931.00	
第一目 次 年 度 繰 越 金	5,164,931.00	0	0	0	5,164,931.00	
計	10,774,500.00	10,842,210.30	156,157.74	740,219.04	9,554,180.96	



奉祝會 第七六六號

昭和十五年七月六日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿



内閣總理大臣 米内光政 殿

供覽 局長

書記官

職員囑託ノ件

本日附本會職員左ノ通囑託致候ニ付此段及報告候

記

(内務技師)

田 阪 美 徳

紀元二千六百年奉祝會會務ヲ囑託ス

15.7.-8
第185號

昭和二十六年六月廿五日奉勅會審會審書

(内閣寄附)

川 野 實 郎

品

本日閣本會郵員込ハ能細活覽録ニ付並録又婚書録

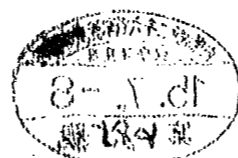
郵員細活ノ件

内閣懸掛大引 米 内 光 輝 勳

昭和二十六年六月廿五日奉勅會審會審書

昭和二十五年七月廿六日

ノ六六

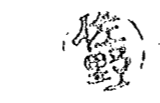
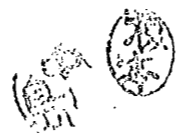
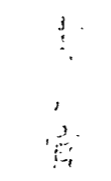


四六九

十五七十九

昭和拾五年七月廿参日

昭和拾五年七月廿参日



昭和十五年七月二十三日

局長



内閣官房會計課長宛

紀元二千六百年奉祝會計検査ニ関スル件

七月三日附會送芳四七六號、ヲ移牒ニ係ル標記ノ

件ニ関シ検査官ニ提出スル左記調書一部別

紙ノ通及送付候

記

- 一、昭和十四年度 事業計畫書及事業成績書
- 一、同 年度 收入豫算書及收支決算書
- 一、同 年度末現在財産目録
- 一、事業施行状況調書

昭和十四年度事業計畫書

本會ハ紀元二千六百年ヲ奉祝記念スル爲事業費總額凡ソ一千萬圓内
 五百萬圓ハ國庫ヨリノ補助ニ依リ殘額五百萬圓ハ國民ノ寄附ニ俟ツ
 コトトシ紀元二千六百年祝典評議委員會ノ審議ニ基ク紀元二千六百
 年奉祝記念諸事業ヲ施行スル目的ヲ以テ設立セラレタルモノニシテ
 本年度事業計畫次ノ如シ

- 一、極原神宮境域並畝傍山東北陵參道ノ擴張整備
- 本事業ハ極原神宮境域並畝傍山東北陵陵域ノ擴張整備ヲ爲スト共
- ニ神宮附屬諸建築物ヲ整備シ且附近各種交通施設ノ改善ヲ圖ラント

スルモノニシテ経費約四百萬圓ヲ豫定ス
内、櫻原神宮附屬建物整備及墳墓造苑工事ニ就テハ四ヶ年繼續事業
トシテ経費百三十五萬圓ヲ以テ内務省ニ委嘱シ（昭和十二年十二
月十四日）

櫻原神宮墳墓及畝傍山東北陵院墳ノ擴張ニ就テハ経費約百四十萬
圓、參拜道路ノ築造ニ就テハ経費約四十萬圓ヲ以テ奈良縣ニ委嘱
シ（昭和十三年四月二日） 右工事ニ伴フ大阪電氣軌道並大阪鐵
道ノ移設ニ要スル用地買収ニ就テモ経費約五萬圓ヲ以テ奈良縣ニ
委嘱セリ（昭和十三年四月十八日）

又整備地域内ヲ貫流スル河川ノ一部ニシテ御料地内ニ在ル區間ノ
改修ハ経費約四萬圓ヲ以テ宮内省ニ之ガ工事施行ヲ委嘱シ（昭和
十三年十月三日）

前記大阪電氣軌道並大阪鐵道線路移設ニ要スル工事費ニ就テハ大
阪電氣軌道株式會社ニ四十二萬圓、大阪鐵道株式會社ニ八萬圓ヲ
何レモ本會ヨリ直接補償スルコトトシ之ガ契約ヲ兩社ト締結セリ
（昭和十三年六月一日・同年十月二十五日）
本年度ニ於テハ孰モ前年度ニ引續キ當該工事施行ノ工程ヲ考慮シ
事業費二百十五萬圓ヲ計上ス

二、宮崎神宮墳墓ノ擴張整備

本事業ハ宮崎神宮ノ墳墓ヲ擴張シ土庫玉置ヲ以テ外國ヲ整備スル

ト共ニ神宮附屬ノ徴古館ヲ移轉改築シテ之ガ完備ヲ期スルモノニシテ紀元二千六百年祝典評議委員會ハ昭和十三年七月一日紀元二千六百年奉祝記念事業追加トシテ本件ヲ議決シタルニ依リ之ガ續費整備ニ就テハ三ヶ年繼續事業トシテ經費三十六萬圓ヲ以テ宮崎縣ニ委嘱セルモノナルガ（昭和十三年八月十三日）本年度ニ於テハ新ニ擴張シタル一萬一千坪ノ苑地及玉垣、土壘ノ築造等ノ工事並徴古館改築工事ノ工程ヲ考慮シ事業費十八萬圓ヲ計上ス

三、神武天皇陵ノ調査保存顯彰

本事業ハ神武天皇ノ墓蹟ヲ調査シ適當ナル保存顯彰ノ施設ヲ講ゼントスルモノニシテ經費約三十萬圓ヲ豫定シ内墓蹟ノ調査ハ文部

省ニ之ヲ委嘱セリ（昭和十三年六月二十二日）本年度ニ於テハ昨年度ニ引續キ之ガ調査ニ要スル經費十萬圓ヲ計上ス

四、御陵參拜道路ノ改良

本事業ハ歷代天皇ノ御陵ニ至ル道路中ニハ近代交通ニ適セサルモノアリ仍テ之ヲ改良シ參拜ニ便ナラシメントスルモノニシテ之ガ經費約六十三萬圓ヲ豫定ス本年度ニ於テハ先ヅ成案ヲ得タル京都府下一院、奈良縣下二十八院及京都市内十三院ニ至ル道路ノ改良事業ヲ京都市、奈良縣及京都市ニ夫々委嘱シ二ヶ年繼續事業トシ之ガ完成ヲ期シ事業費四十九萬八千圓ヲ計上ス

五、國史館ノ建設

本事業ハ我が尊貴ナル國體ノ精華ト我が光輝アル國史ノ成跡トヲ
認識セシムル爲神座皇宮關係ヲ中心ニ國史ニ關スル各種ノ資料實
物ヲ陳列スルノ外附屬講堂等ヲ設備シ以テ國民精神ノ作興ト國史
教育ノ振興ニ資スベキ建築物ヲ建築セントスルモノニシテ當初經
費約三百萬圓ヲ豫定シ文部省ニ之ヲ委囑セルトコロナルモ（昭和
十三年四月五日）計畫當初ニ比シ物價騰貴ニ因リ又施設内容ハ國
民精神ノ振作更張ヲ圖ルヲ以テ目的トナスト共ニ眞ニ後世ニ誇ル
ニ足ル一大建築物タラシムルノ要アリ仍テ經費約六百萬圓ニ増額
ヲ豫定セラル從ツテ建築様式施設内容等ニ付テハ更ニ考究スルノ
要アリ又時局ノ影響ニ依リ工事着手ノ時期ニ付テモ亦慎重ナル考

慮ヲ要スルアリ尙ト請準備完了セル場合ハ直ニ之ガ本工事ニ着手
シ得ルノ康勢ヲ持スルコト、シ本年度ニ於テハ事業費七十四萬三
千圓ヲ計上ス

六、日本文化大觀ノ編纂出版

本事業ハ帝國創業以來生成發展シ來レル日本文化ノ精髓ヲ、日、
英、佛、獨ノ各國語ニ依リ輯録シ度々中外ニ頒布セントスルモノ
ニシテ經費凡ソ六十五萬圓ヲ豫定シ三ヶ年繼續事業トシ文部省ニ
委囑セリ（昭和十三年七月一日）本年度ニ於テハ昨年度ニ引續キ
之ガ編輯ニ要スル經費トシテ十八萬六千圓ヲ計上ス

七、教化施設

雜誌「紀元二千六百年」ノ出版ノ外紀元二千六百年ノ意義ヲ闡明
シ國民精神ノ作興ヲ旨トシ本年度ニ於ケル講演會、展覽會、「紀元
二千六百年奉祝歌」ノ歌詞及歌曲ノ懸賞募集等各種教化施設ノ實
施ヲ期シ之ガ經費十二萬四千圓ヲ計上ス
以上ノ事業ニ要スル經費ノ財源ハ前年度繰越金ノ外本年度ニ於テ國
庫補助金百二十五萬圓ノ下付ヲ受クルト共ニ寄附金四百萬圓ヲ募集
スルコトトシ之ガ經費ノ支辨ニ充當セントスルモノナリ

昭和十四年度事業成績書

第一 序 説

本會ハ紀元二千六百年ノ奉祝記念事業トシテ(一)橿原神宮境域並該
傍山東北段參道ノ擴張整備(二)宮崎神宮境域ノ擴張整備(三)神武天皇
遺蹟ノ調査保存(四)國史館ノ建設(五)日本
文化大綱ノ編纂出版等ヲ施行シ以テ國民精神ノ昂揚ヲ圖リ國體尊
嚴ノ實ヲ舉ゲントスルモノナリ

第二 財 務

本會ハ國庫補助金五百萬圓ト民間ノ寄附金八百萬圓トヲ以テ事業

資金トセントスルモノナルガ補助金ハ昭和十二年度二百五十萬圓
昭和十三年度壹百二十五萬圓年度二百五十萬圓會計四百萬圓ノ下付
ヲ受ケタリ

寄附金ニ就テハ本年度ニ於テ東京、大阪、京都、神奈川、愛知及
兵庫ノ六大都市管轄ノ府縣並臨國縣ハ本會直接扱ニテ他ハ各支部
扱ニ依リ極力勸誘ニ努メタル結果本年度豫算四百萬圓ニ對シ申込
總額昭和十四年十二月末日現在ニ於テ三百六十三萬三千三百二圓
七十三錢拂込額壹百九十九萬九千四十二圓七十三錢ニシテ十二年
度以降ノ寄附金累計ハ申込額三百七十一萬九千六百六十六圓十七
錢拂込額二百八萬一千八十六圓十七錢トナレリ此ノ外ニ預金利子

其ノ他雜收入金十一萬九千九十三圓十七錢アリ之ニ前年度繰越額
餘金二百九十五萬二千七百二圓五十六錢ヲ加ヘテ總計五百三十二
萬八百三十八圓四十六錢ノ收入トナリ之ニ對シ事業費、事務費合
セテ二百二十二萬四千四百三十六圓三十七圓ノ支出ヲ見タルヲ以テ
結局三百十九萬六千四百二圓九錢ヲ次年度ニ繰越スニ至レリ

第三 事業

本會ノ事業進捗ノ概要ヲ示セバ次ノ如シ

(一) 櫻原神宮城址並臥傍山東北麓參道ノ擴張整備

(二) 總額四百萬圓ヲ以テ計畫セル揚題整備費ノ内神宮附屬建物整
備及造苑工事ニ就テハ昭和十二年勅令第五百九十六號ノ規定

直接補償スルコトトシ昭和十三年六月一日大阪電氣軌道株式
會社ニ金四十二萬圓、同年十月二十五日大阪鐵道株式會社ニ
金八萬圓ヲ補償スル契約ヲ締結シ大阪電氣軌道ニアリテハ既
ニ移設ヲ完了セルモ大阪鐵道ニ付テハ目下工事施行中ナリ

□宮崎神宮境域ノ擴張整備

紀元二千六百年祝典評議委員會ハ昭和十三年七月一日紀元二千
六百年奉祝記念事業追加トシテ宮崎神宮境域擴張整備ノ件ヲ議
決シタルニヨリ本會ニ於テハ金三十六萬圓ヲ以テ昭和十五年慶
迄ノ繼續事業トシテ施行スルコトトシ昭和十三年八月十三日宮
崎縣ニ委嘱シタリ即チ神宮境域ト參道ノ擴張整備ニ金二十一萬

圓、復古館ノ改築ニ金十五萬圓ヲ支出スルコトトシ事業殆々進
捗中ナリ尙且元宮崎縣下ヲ始メ各方面ヨリ熱心ナル獻木ハ既ニ
壹萬餘本ニ達セリ

□神武天皇遷陵ノ調査保存顯彰

神武天皇ノ遷陵ヲ調査シ適當ナル保存顯彰ノ施設ヲ講ゼントス
ルモノニシテ經費約三十萬圓ヲ豫定ス先ヅ調査ニ關スル事務ヲ
昭和十二年勅令第五百九十六號ノ規定ニ基キ昭和十三年六月二
十二日文部省ニ委嘱シタリ右經費ハ凡ソ十萬圓トシ調査ノ結果
ニ基キ本會ニ於テ順次保存顯彰ヲ實行ニ移サントスルモノニシ
テ目下調査ニ於テハ委員會ヲ設置シ慎重調査ヲ進メツツアリ

四 御陵参拜道路ノ改良

歷代天皇ノ御陵ニ至ル道路中ニハ近代交通ニ適セザルモノアリ
依テ之ヲ改良シ参拜ニ便ナラシメントスルモノニシテ之ガ經費
トシテ約六十三萬圓ヲ豫定ス京都府下一段、奈良縣下二十七段
京都市内十三段ニ通ズル道路ニ就テハ夫々成案ヲ得タルヲ以テ
昭和十四年三月二十二日京都府、奈良縣及京都市ニ對シ事業委
囑ヲナシ夫々事業進捗ヲ示シ居レリ

五 國史館ノ建設

皇室ヲ中心ニ生成發展シ來レル國史ノ成跡ニ關スル各種ノ資料
實物ヲ展示シ國民精神ノ振作更張ニ資セントスルモノニシテ昭

和十二年勅令第五百九十六號ノ規定ニ基キ昭和十三年四月五日
經費約三百萬圓昭和十七年ニ至ル五箇年繼續事業トシテ其ノ施
設ヲ文部省ニ委囑シタリ同省ニ於テハ委員會ヲ設置シ建築様式
内容施設等ニ付調査考究ヲ進メツツアリ
本事業ニ付テハ計畫當初ニ比シ物價騰貴ニ因ル設計上ノ困難ア
リ猶一面紀元二千六百年奉祝記念トシテ眞ニ後世ニ誇ルニ足ル
一大建築物タラシムルノ要アリ而モ設計完了ニ至ラズ時局ノ關
係上之ガ工事着手ノ時機ニ付テハ慎重ナル考慮ヲ拂フノ要アリ
テ本年度計上ノ豫算七十四萬三千圓ニ對シ五千五百十三圓餘ノ
支出ヲナセルニ止マリタリ

四 日本文化大觀ノ編纂出版

日本文化ノ精髓ヲ日、英、佛、獨ノ各國語ニ輯録シ廣ク内外ニ頒布セントスルモノニシテ昭和十二年勅令第五百九十六號ノ規定ニ基キ昭和十三年七月一日文部省ニ委嘱シタリ經費凡ソ六十五萬圓、昭和十五年度ニ至ル繼續事業トシ本年度十八萬六千圓ヲ計上シタリ同省ニ於テ慎重ニ調査研究ノ結果略々脱稿ヲ見ルニ至レリ

五 教化施設

紀元二千六百年ノ意義ヲ闡明シ國民精神作興ヲ目的トシ本會ハ各種教化施設ヲ計畫實施來レルモ本年度ニ於テ八月刊雜誌「紀

元二千六百年」ハ七月「宮中の御祭典と御儀式」と十二月「神社誌」等ノ臨時増刊ヲ刊行シ各方面ニ多大ノ反響ヲ喚起セリ

二月十一日東京市日比谷公會堂ニ於ケル「紀元節奉祝會」、四月三日日比谷公會堂ニ於ケル「天業恢弘奉祝の會」、五月十六日大阪中央公會堂ニ於ケル「皇陵尊崇の會」等ノ講演會ヲ開催シ尙「愛國精神の發揚紀元二千六百年奉祝展覽會」ヲ東京、大阪、京都、名古屋等各地ニ於テ主催シ何レモ極メテ盛會程ニ終始セリ、其ノ他八月二十日ニハ「紀元二千六百年奉祝國民歌」ノ歌圖ヲ更ニ十月十五日ニハ當選シタル同歌圖ノ歌曲ヲ一般ヨリ懸賞募集シ十二月之ガ當選歌曲ノ發表演奏會ヲ東京及大阪ニ於テ

開催シタリ、然テ之等教化施設ニ要シタル經費ハ四萬七千百四十圓餘ヲ支出セリ

第四 結 語

之重要スルニ本會ノ記念事業ハ其ノ種類廣範圍ニ涉リ前々年度即チ創立第一年ニ於テ事業實施準備ノ大綱ヲ定メ昨年度ヨリ愈々實行ニ移リ擬原神宮境域並畝傍山東北陵參道ノ擴張整備ハ内務省、奈良縣、宮内省ニ、宮崎神宮境域ノ擴張整備ハ宮崎縣ニ、神武天皇聖蹟ノ調査ト國史館建設及日本文化大觀編纂出版ハ文部省御殿參拜道路ハ京都府奈良縣及京都市ニ夫々委嘱ヲ了レリ擬原神宮境域並畝傍山東北陵參道擴張整備事業ノ如キハ時恰モ時局ニ際會シ

テ國民精神ノ昂揚ニ因ル勞働奉仕ノ盛行ヲ見著シキ進行ヲ示シタルモノ一面國史館建設ノ如ク資材ノ關係上自然豫定計畫ノ變更ヲ免カレサルニ至リ又寄附金募集ニ就テハ時局ノ關係上豫定ノ收入ヲ舉グルニ至ラザリキ

昭和十四年度紀元二千六百年奉祝會收入支出豫算
 収入
 第一款 國庫補助金
 第一項 國庫補助金
 第二款 寄附金
 第一款 寄附金
 第三款 雜收入
 第一款 雜收入
 第四款 前年度繰越金
 第一款 前年度繰越金
 合計

昭和十四年度紀元二千六百年奉祝會收入支出豫算

収入	
第一款 國庫補助金	一、二五〇、〇〇〇、〇〇
第一項 國庫補助金	一、二五〇、〇〇〇、〇〇
第二款 寄附金	四、〇〇〇、〇〇〇、〇〇
第一款 寄附金	四、〇〇〇、〇〇〇、〇〇
第三款 雜收入	三八、一一〇、〇〇
第一款 雜收入	三八、一一〇、〇〇
第四款 前年度繰越金	二、三〇〇、九四六、〇〇
第一款 前年度繰越金	二、三〇〇、九四六、〇〇
合計	七、五八九、〇五六、〇〇

支出

第一款 本部事務費

四二、三五四、〇〇

第一項 會議費

一、〇〇五、〇〇

第二項 給與費

一七、四四九、〇〇

第三項 旅費

二、五〇〇、〇〇

第四項 事務所費

四、四〇〇、〇〇

第五項 寄附募集費

一五、〇〇〇、〇〇

第六項 雜費

二、〇〇〇、〇〇

第二款 支部事務費

一〇〇、〇〇〇、〇〇

第一項 支部事務費

一〇〇、〇〇〇、〇〇

第三款 事業費

三、九八一、〇〇〇、〇〇

第一項

櫻原神宮境域並欽傍山
東北陵參道擴張整備費

二、一五〇、〇〇〇、〇〇

第二項

宮崎神宮境域擴張整備費

一八〇、〇〇〇、〇〇

第三項

神武天皇聖蹟調査保
存費

一〇〇、〇〇〇、〇〇

第四項

御陵參拜道路改良費

四九八、〇〇〇、〇〇

第五項

國史館建設費

七四三、〇〇〇、〇〇

第六項

日本文化大觀編纂出版費

一八六、〇〇〇、〇〇

第七項

教化事業費

一二四、〇〇〇、〇〇

第四款

豫備費

五〇、〇〇〇、〇〇

第一項

豫備費

五〇、〇〇〇、〇〇

第五款

次年度繰越金

三、四一五、七〇二、〇〇

第四款 前年度繰越金	六三〇、九四六、〇〇〇	三、五五三、四〇〇	〇	六三〇、四九五、〇〇〇
第一項 繰越金	二五〇、九四六、〇〇〇	五、五五三、四〇〇	〇	二五〇、四九五、〇〇〇
第一項 前年度繰越金	七五〇、九四六、〇〇〇	五、八八八、八〇〇	〇	七五〇、〇五七、二〇〇
合計				

支出

款	項	目	本年度	前年度	増	減	備考
第一款 本部事務費	第一項 會議費	第一日 會議費	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	〇	〇	第一日 會議費
		第二日 俸給	一〇、二二四	一〇、二二四	〇	〇	第二日 俸給
		第三日 嚙託給	二、四〇〇	二、四〇〇	〇	〇	第三日 嚙託給
		第四日 俸給	一、二六〇	一、二六〇	〇	〇	第四日 俸給
		第五日 俸給	一、二六〇	一、二六〇	〇	〇	第五日 俸給
		第六日 俸給	一、二六〇	一、二六〇	〇	〇	第六日 俸給
		第七日 俸給	一、二六〇	一、二六〇	〇	〇	第七日 俸給
		第八日 俸給	一、二六〇	一、二六〇	〇	〇	第八日 俸給
		第九日 俸給	一、二六〇	一、二六〇	〇	〇	第九日 俸給
		第十日 俸給	一、二六〇	一、二六〇	〇	〇	第十日 俸給
第二項 給與費	第一日 給與費	第一日 給與費	七、四四九	七、四四九	〇	〇	第一日 給與費
		第二日 給與費	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	〇	第二日 給與費
第三項 旅費	第一日 旅費	第一日 旅費	六、五〇〇	六、五〇〇	〇	〇	第一日 旅費
		第二日 旅費	六、五〇〇	六、五〇〇	〇	〇	第二日 旅費
第四項 雑費	第一日 雑費	第一日 雑費	三、〇〇〇	三、〇〇〇	〇	〇	第一日 雑費
		第二日 雑費	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	〇	第二日 雑費
合計			四六、三五四	四六、八五四	〇	一、二五〇	

支出

第一款 本部事務費	二九、二一〇、九〇
第一項 會議費	四一、二〇
第二項 給與費	五、一一六、二一
第三項 旅費	八〇四、四五
第四項 事務所費	二、一三七、四八
第五項 寄附募集費	一九、三四九、一一
第六項 雜費	一、七六二、四五
第二款 支部事務費	三、六六六、八九
第一項 支部事務費	三、六六六、八九
第三款 事業費	二、〇九一、五五八、五八
第一項 榑原神宮境域並畝傍山東北陵參道擴張整備費	一、七〇二、一五四、八四
第二項 宮崎神宮境域擴張整備費	七六、八六五、七〇

第三項 神武天皇聖蹟調査保存顯彰費	三六、二〇六、〇〇
第四項 御陵參拜道路改良費	一六八、五二八、二一
第五項 國史館建設費	五、五一三、一四
第六項 日本文化大觀編纂出版費	五五、一五〇、〇〇
第七項 教化事業費	四七、一四〇、六九
第四款 豫備費	〇
第一項 豫備費	〇
第五款 次年度繰越金	三、一九六、四〇二、〇九
第一項 次年度繰越金	三、一九六、四〇二、〇九
合計	五、三二〇、八三八、四六

昭和十四年度紀元二千六百年奉祝會收入支出決算說明

收入

科	目	豫算額	決算額	増比	取	備考
第一款 庶務補助金	第一目 庶務補助金	1,250,000.00	2,300,000.00		1,000,000.00	
	第二目 庶務補助金	1,250,000.00	2,300,000.00		1,000,000.00	
第二款 借入金	第一目 借入金	4,000,000.00	1,996,000.00		3,000,000.00	
	第二目 借入金	4,000,000.00	1,999,000.00		3,000,000.00	
第三款 收入	第一項 雜收入	381,000.00	1,160,930.00		809,830.00	
	第二項 預金利子	381,000.00	1,160,930.00		809,830.00	
第二款 雜收入		381,000.00	1,160,930.00		809,830.00	
合計		11,000,000.00	13,616,860.00		10,000,000.00	

第四款前起年度	第一項前起年度	第一目前起年度	合計
二三〇〇九四六〇〇	二三〇〇九四六〇〇	二三〇〇九四六〇〇	二五八八〇三六〇〇
二九三三七〇三五六	二九三三七〇三五六	二九三三七〇三五六	三三三二〇八三八四六
六五、七五、六三六	六五、七五、六三六	六五、七五、六三六	〇
			二二六八二一七三四

支出

科目	豫算額	決算額	増比	減較	備考
第一款本部事務費	四三三五四〇	二九二一〇九〇		一三、四三、三二〇	
第一項會議費	一〇〇五	四一三〇		九六三六〇	
第一目會議費	一〇〇五	四一三〇		九六三六〇	
第二項給與費	一七四四九	二、一六三、一		一、三三、三二九	賞與へ流用減額 四七九圓
第一目俸給	一〇二二四	二九三三八一		七二九〇三九	
第二目囑託給	二四〇〇	〇		二四〇〇〇〇	
第三目雇員給	一、二六〇	〇		一、二六〇〇〇	
第四目備人料	五六四	〇		五六四〇〇	
第五目手当當	三〇〇〇	一、七〇二、四〇		一、二九七、六〇	俸給ヨリ流用増額 四七九圓
第六目賞與	一	四八〇〇〇		一、二九七、六〇	
第三款旅費	二五〇〇	八〇四五	四七九〇〇	一、六九五、五	

第一目旅費	二五〇〇	八〇四四五	一六九五五五
第四項事務所費	四四〇〇	二一三七四八	二二六二五二
第一目備品費	五〇〇	一〇七六八	三九二三二
第二目圖書及印刷費	一五〇〇	六三〇七五	八六九三五
第三目消耗品費	一三〇〇	四六四七〇	七三五三〇
第四目通信運搬費	一三〇〇	九三四三五	二六五六五
第五項寄附募集費	一五〇〇〇	一六三四九二一	四三四九二一
第一目寄附募集費	一五〇〇〇	一九三四九二一	四三四九二一
第六項雜費	二〇〇〇	一七六二四五	二三七五五
第一目雜費	二〇〇〇	一七六二四五	二三七五五
第二款支部事務費	一〇〇〇〇〇	三六六六八九	九六三三三一
第一項支部事務費	一〇〇〇〇〇	三六六六八九	九六三三三一
第一目支部事務費	一〇〇〇〇〇	三六六六八九	九六三三三一

豫備費ヨリ充用
増額四八五〇圓

第三款事業費	三九八、〇〇〇	二〇九、五五八	一八八、四四二
第一項 檜原神宮境 域並畝傍山 東北陵參道 擴張整備費	二一五、〇〇〇	一七〇、一五四	四四、七八六
第一目 檜原神宮境 域並畝傍山 東北陵參道 擴張整備費	二一五、〇〇〇	一七〇、一五四	四四、七八六
第二項 宮崎神宮境 域擴張整備 費	一八〇、〇〇〇	七六、八五七	一〇三、一三四
第一目 宮崎神宮境 域擴張整備 費	一八〇、〇〇〇	七六、八五七	一〇三、一三四
第三項 神武天皇聖 蹟調査保存 顯彰費	一〇〇、〇〇〇	三六、二〇〇	六三、七九四
第一目 神武天皇聖 蹟調査保存 顯彰費	一〇〇、〇〇〇	三六、二〇〇	六三、七九四

第四項 御陵參拜道改良費	四九八〇〇〇	一六八五二八三一	三二九四七一七九
第一目 御陵參拜道改良費	四九八〇〇〇	一六八五二八三一	三二九四七一七九
第五項 國史館建設費	七四三〇〇〇	五五二三四四	七三九四八六八六
第一目 國史館建設費	七四三〇〇〇	五五二三四四	七三九四八六八六
第六項 日本文化大觀編纂出版費	一八六〇〇〇	五五一五〇〇〇	一三〇八五〇〇〇
第一目 日本文化大觀編纂出版費	一八六〇〇〇	五五一五〇〇〇	一三〇八五〇〇〇
第七項 教化專業費	一二四〇〇〇	四七一四〇〇〇	七六八五九三一
第一目 教化設施費	一二四〇〇〇	四七一四〇〇〇	七六八五九三一
第二目 行費	二四〇〇〇	一八四八七七	七三三四〇八
合計	二四〇〇〇	一八四八七七	七三三四〇八

第四款 豫備費	五〇〇〇〇		五〇〇〇〇〇	
第一項 豫備費	五〇〇〇〇		五〇〇〇〇〇	
第一目 豫備費	五〇〇〇〇		五〇〇〇〇〇	
第五款 繰入金	三四一五七〇〇	三一九六四〇〇	三一九六二九九〇	
第一項 繰入金	三四一五七〇〇	三一九六四〇〇	三一九六二九九〇	
第一目 繰入金	三四一五七〇〇	三一九六四〇〇	三一九六二九九〇	
合計	七五八九〇三六	五三二〇八三四四	七三六八二一七五四	

寄附分集費二充
因減額引八五〇圓

財產目錄 昭和十四年十二月末日現在

種類	金額	備考
國債	一九五三〇〇	
銀行預金	三一八九八五三四	
振替貯金	三八〇八五四一	
現金	四六〇〇	
合計	三二二九九七九五	

〆號三分半利付額面二千圓
 三井、三菱、安田、住友、第一、橫濱正金
 朝鮮、臺灣、第百、三和、野村以上十一銀行

財產目錄中銀行預金明細書

昭和十四年十二月三十一日現在

銀行名	定期預金	通知預金	特別當座預金	當座預金	合計
三井銀行	五五〇〇〇〇〇	〇	五〇七二一	〇	六五〇七二一
三菱銀行	〇	〇	一〇七二六九	〇	一〇七二六九
三井銀行丸の内支店	一五〇〇〇〇〇	〇	〇	〇	一五〇〇〇〇〇
安田銀行	五五〇〇〇〇〇	〇	五七四〇八九	〇	五八七四〇八九
住友銀行東京支店	四〇〇〇〇〇〇	〇	五九七五六	〇	四四四二九五六
住友銀行神田支店	一五〇〇〇〇〇	〇	〇	〇	一五〇〇〇〇〇
第一銀行	五五〇〇〇〇〇	〇	六九二二六七	〇	五二九二二六七
第一銀行丸の内支店	〇	一六四〇〇〇〇	〇	五八二二五	一六九八二二五

支	橫濱正金銀行東京店	4000000	0	4000000	0	4000000
	朝鮮銀行東京支店	4000000	0	4000000	0	4000000
	臺灣銀行東京支店	4000000	0	4000000	0	4000000
	第一百銀行	4000000	0	4000000	0	4000000
	三和銀行東京支店	4000000	0	4000000	0	4000000
	野村銀行	1000000	0	1000000	0	1000000
計		16000000	0	16000000	0	16000000

事業施行状況調書 (昭和十四年度末現在)

事業名	施行方法	豫算額				決算額				竣工年月
		十二年度	十三年度	十四年度	計	十二年度	十三年度	十四年度	計	
神武天皇 聖蹟調 重原存願	同	1,500,000	1,500,000	1,500,000	4,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	4,500,000	昭和十四年度末
宮崎神宮 境内拡張 整備	同	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	昭和十四年度末
御蔭分持 道路改良	同	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	昭和十四年度末
國史館 建設	同	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	昭和十四年度末
日本文化大 親編纂 出版	同	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	昭和十四年度末
記念事業 拓東整備	嘱	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	昭和十四年度末

計	同
	教化施設 及雑談 行
二〇四〇	一〇〇〇〇
三〇〇〇	...
四〇〇〇	...
五〇〇〇	...
六〇〇〇	...
七〇〇〇	...
八〇〇〇	...
九〇〇〇	...
一〇〇〇〇	...
二〇〇〇	...
三〇〇〇	...
四〇〇〇	...
五〇〇〇	...
六〇〇〇	...
七〇〇〇	...
八〇〇〇	...
九〇〇〇	...
一〇〇〇〇	...

日方九

五十七

小 7 17

小 7 17

局長

書記官

昭和十五年七月 17 日

局長

紀元二千六百年奉祝會幹事長宛

當地會計検査執行ニ関スル件

標記ノ件ニ関シ内閣官房會計課長ヨリ別



紙寫ノ通移牒有之候ニ付テハ會計書類全般
ニ付萬遺漏ナキ様整備シ置カレ度此段及通知
候

追テ検査官ニ提出スヘキ調書拾部速ニ御送付

相成度

會淡第 四七六 號

昭和十五年七月二日

内閣官房會計課長 佐藤朝



供覽

内閣紀元二千六百年
祝典事務局長 歌田千勝殿

局長 藤野

書記官



會計検査院東谷検査官ヨリ別紙寫ノ通照會有之候條可然御取計相成度
此段及移牒候也
追テ右照會ニ依リ検査官ニ調書ヲ提出スル場合ニ於テハ寫一部當課
ニ送付スル様御取計相成度

内閣

15. 1
第4

昭和十五年六月二十八日
検査官 東 谷 傳次郎 印
内閣書記官長 石 渡 莊太郎 殿

昭和十五年六月二十八日
検査官 東 谷 傳次郎 印

昭和十五年六月二十八日

昭和十五年六月二十八日

検査官 東 谷 傳次郎 印

内閣書記官長 石 渡 莊太郎 殿

紀元二千六百年奉祝會實地検査ノ爲來ル七月二十六日頃出張ノ豫定ニ付テハ左記書類調製ノ上検査ノ際提出方御取計相願度此段及照會候也

- 一 昭和十四年度 事業計劃書及事業成績書
- 一 同 年度 收支豫算書及收支決算書
- 一 同 年度 未現在財産目錄
- 一 事業施行狀況調書 (左記様式ニ依ルコト)

事業名 工事名 施行方法
 豫算額計 決算額計
 年度：年度：年度：年度：年度：年度
 豫定功 實際功
 年月 年月

(備考)

一 施行方法ノ欄ニハ直營、請負、委託ノ區別ヲ記載ノコト
 二 右調書ハ昭和十四年度末現在狀況ノコト

本會第 八二二 號

昭和十五年七月十六日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

内閣總理大臣 米内光政 殿

地方副支部長囑託ノ件

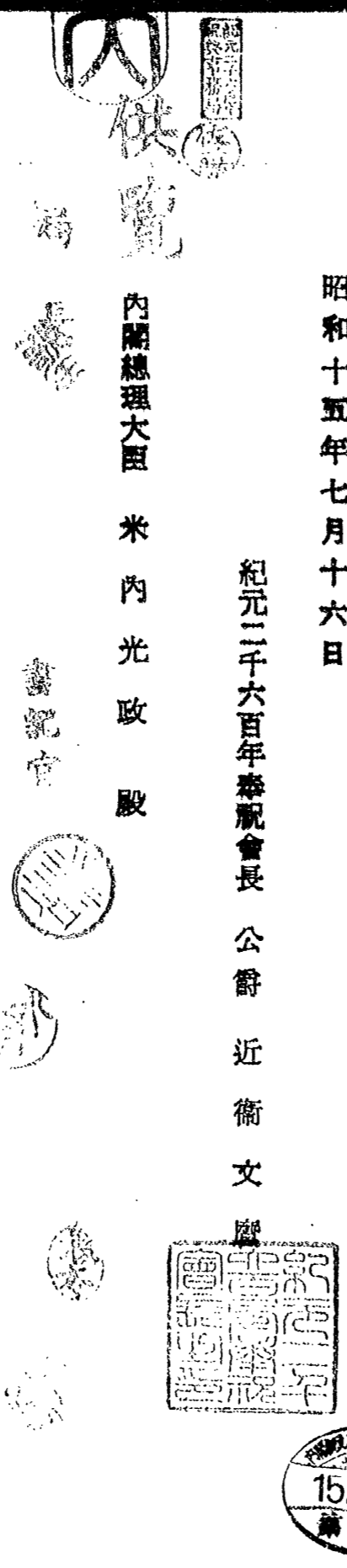
本日本會副支部長左記ノ通囑託致候ニ付此段及報告候

記

愛媛縣總務部長

外 山 福 男

紀元二千六百年奉祝會愛媛縣副支部長ヲ囑託ス



紀元二千六百六十年奉祝會事務ヲ囑託ス

本日奉命臨時委員等ヲ選入シ事務ヲ執行ス

謹依國史館御印

内閣總理大臣 米内光政 殿

昭和十五年七月十六日

第七八九號

昭和十五年七月十六日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿



内閣總理大臣 米内光政 殿

職員囑託ノ件

本會職員左ノ通囑託致候ニ付此段及報告候

記

太田太郎

紀元二千六百年奉祝會會務ヲ囑託ス

15.7.11
第509號

昭元二千六百年奉祝會會書ヲ贈請ス

太田太狼

本會職員込ノ願願請送送ニ付出題又辨告親

職員願請ノ件

内閣總理大臣 米内光畑 題

昭元二千六百年奉祝會會長 公爵 近衛文麿

昭元十五年甲子月十六日

昭元十五年七月二十七日

昭元二千六百年奉祝會會長 公爵 近衛文麿

内閣總理大臣 公爵 近衛文麿 殿

地方副支部長 囑託ノ件

本日本會副支部長左記ノ通囑託致候ニ付此段及報告候

記

滋賀縣總務部長

冲森源一

昭元二千六百年奉祝會滋賀縣副支部長ヲ囑託ス



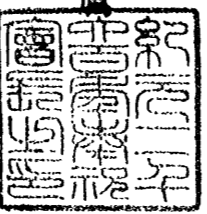
15.7.29

内閣紀元第...号

紀元第...号
奉記合...三〇號

昭和十五年七月二十七日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿



内閣總理大臣 公爵 近衛文麿 殿

書記官

地方支部長囑託竝解囑ノ件

本日本會地方支部長左記ノ通囑託竝ニ解囑致候ニ付此段及報告候

記

長野縣知事

鈴木 登

紀元二千六百年奉祝會長長野縣支部長ヲ囑託ス

青森縣知事

上田 誠一

15.7.29

本日本會同支聯長...
青森縣支部長...
青森縣知事...
昭和十五年七月二十七日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿



紀元二千六百年奉祝會青森縣支部長ヲ囑託ス

秋田縣知事

岩上夫美雄

紀元二千六百年奉祝會秋田縣支部長ヲ囑託ス

愛媛縣知事

中村敬之進

紀元二千六百年奉祝會愛媛縣支部長ヲ囑託ス

元長野縣知事

富田健治

紀元二千六百年奉祝會長野縣支部長ノ囑託ヲ解ク

元秋田縣知事

留岡幸男

紀元二千六百年奉祝會秋田縣支部長ノ囑託ヲ解ク

元愛媛縣知事

持永義夫

紀元二千六百年奉祝會愛媛縣支部長ノ囑託ヲ解ク

五四二

十五八一

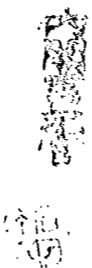
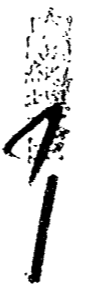
書記官

紀元二千六百年奉祝會役員選任認可指令案

紀元二千六百年奉祝會長公爵近衛文麿

昭和十五年七月三十一日附芳九四四號申請役員

選任ノ件認可ス



昭和十五年八月一日

内閣總理大臣

昭和十五年七月三十一日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵近衛文磨殿

内閣總理大臣 公爵近衛文磨殿



役員選任ノ件認可申請

本會役員左ノ通選任致度候條御認可相成度此段及申請候也
記

内閣書記官長
内務次官
大藏次官
文部次官

富田健治
挾間茂
廣瀬豐作
菊池豊三郎

紀元二千六百年奉祝會理事ヲ囑託ス

公爵 徳川家正

法制局長官

村瀬直養

三井合名會社常務理事

向井忠晴

紀元二千六百年祝典評議委員會委員

大熊喜邦

同

佐野利器

東洋拓殖株式會社總裁

佐佐木駒之助

臺灣銀行頭取

水津彌吉

大日本青年團理事

栗原美能留

帝國教育會專務理事

武部欽一

朝日新聞社長

村山長舉

紀元二千六百年奉祝會常議員ヲ囑託ス

秋田縣知事

岩上夫美雄

青森縣知事

上田誠一

愛媛縣知事

中村敬之進

三條市長

佐藤徳龍

福知山市長

岸本熊太郎

京都市長

加賀谷朝藏

岸和田市長

寺田利吉

吹田市長

川端信次郎

御磨市長

岡上彦三

尾道市長

土屋寛

防府市長

山本芳輔

岩國市長

永田新之允

長崎市長

井野次郎

鹿兒島市長

久米成夫

埼玉縣町村長會長

渡邊勲左衛門

宮城縣町村長會長

鎌田三之助

京都府町村長會長
 奈良縣町村長會長
 新潟縣町村長會長
 福岡縣町村長會長
 大分縣町村長會長
 帶廣商工會議所會頭
 柏崎商工會議所會頭
 熊谷商工會議所會頭
 栃木商工會議所會頭
 豐橋商工會議所會頭
 長濱商工會議所會頭
 飯田商工會議所會頭
 山形商工會議所會頭
 玉島商工會議所會頭

遠坂憲治
 岩井政三
 佐藤芳男
 中村堅太郎
 橋本彌五郎
 伊谷半三郎
 二宮傳右衛門
 水野朝一
 關根源七
 河合藤四郎
 河路重平
 松下一郎
 庄司爲次郎
 安藤嘉助

宇和島商工會議所會頭
 八幡商工會議所會頭
 埼玉縣會議長
 京城帝國大學總長

菊池傳次郎
 中村良平
 野口訓三
 篠田治策

紀元二千六百年奉祝會幹議員ヲ囑託ス

昭和十五年八月七日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

供 內閣總理大臣 公爵 近衛文麿 殿

職員囑託ノ件

本會職員左ノ通囑託相成候ニ付此段及報告候

記

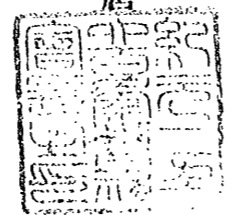
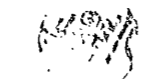
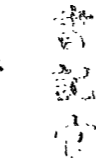
(内務技手)

奥村民夫

(内務技手)

秋本健三

紀元二千六百年奉祝會會務ヲ囑託ス



紀元二千六百年奉祝會書記ヲ囑託ス

(内務省)

林

本

省

三

(内務省)

興

林

員

次

品

奉祝會書記ノ通牒

職員囑託ノ件

内閣總理大臣 公爵 近衛文麿 謹

紀元二千六百年奉祝會書記 公爵 近衛文麿

昭和十五年八月九日

奉祝會第九八六號

昭和十五年八月九日

紀元二千六百年奉祝會書記 公爵 近衛文麿

内閣總理大臣 公爵 近衛文麿 殿

書記官

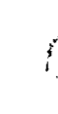
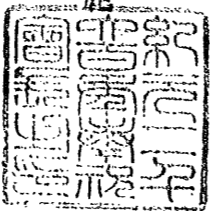
職員囑託ノ件

本日附奉本會職員左ノ通牒致候條此段及報告候

記

紀元二千六百年奉祝會書記ヲ囑託ス

渡邊虎雄



紀元二千六百年奉祝會書記ノ囑託ヲ解ク

呈

本日附本會職員左記ノ通解囑致候ニ付此段及報告候

記

内閣總理大臣 公爵 近衛文麿

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

昭和十五年八月九日

紀元二千六百年奉祝會 第九八七號

昭和十五年八月九日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

内閣總理大臣 公爵 近衛文麿

書記

書記解囑ノ件

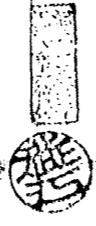
本日附本會職員左記ノ通解囑致候ニ付此段及報告候

記

紀元二千六百年奉祝會書記ノ囑託ヲ解ク

吉川

盛



昭和五年六月廿五日 奉 命 署 長 入 部 署 長 署 長

田 部 署 長

本日 櫻木會社 役員 入 部 署 長 署 長 署 長

櫻木會社 役員 入 部

櫻木會社 役員 入 部

昭和五年六月廿五日 奉 命 署 長 署 長 署 長

昭和五年八月八日



五四三 五八一

昭和拾五年八月八日

會計課長 櫻木會社 役員 入 部

紀元二千六百年奉祝會長ヨリ別紙、通照和ナ

五年六月分収入支出計算書提出ニ付内容ヲ

査閲セシ處異狀無之

右 供 高 覽

奉
命
令
第
九
四
三
號

昭和十五年七月三十一日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

内閣總理大臣 公爵 近衛文麿 殿



收入支出計算書提出ノ件

昭和十五年六月分收入支出計算書別紙ノ通り及提出候也

昭和十五年七月三十一日

收		入		支		出		現在高
前月迄累計	本月分	計	前月迄累計	本月分	計	計		
6,788,151.72	391,425.47	7,179,577.19	741,319.04	121,946.52	863,265.56	6,516,411.63	6,516,411.63	

備考

現在高内訳

銀行預金總額	振替貯金	國債證券	現金	合計
6,465,221.34	413,200.00	245,000.00	50,000.00	6,516,611.34

備考

- 1 銀行預金總額ノ明細下記ノ通り
- 2 國債證券ハ五分半利

銀行預金明細

銀行名	定期	通知	特別當座	當座	計
三井銀行	1,111,111.11		49,278.51	0	1,160,389.62
三菱銀行	411,111.11	111,111.11	74,578.77	0	606,801.09
安田銀行	650,000.00		74,774.12	0	724,774.12
住友銀行	722,000.00	74,800.00	49,104.22	0	845,904.22
第一銀行	600,000.00	1,115,000.00	177,000.20	70,777.11	2,102,777.31
橫濱正金銀行東京支店	70,000.00		35,552.77	0	105,552.77
朝鮮銀行東京支店	70,000.00		16,164.70	0	86,164.70
臺灣銀行東京支店	71,000.00	100,000.00	8,304.75	0	179,304.75
第百銀行	20,000.00		77,125.77	0	97,125.77
三和銀行	420,000.00		22,577.07	0	442,577.07
野村銀行	250,000.00		61,777.19	0	311,777.19
計	4,321,111.11	1,592,111.11	474,322.26	70,777.11	6,465,221.34

支出計算書

昭和 / 年 6 月分

科 目	豫 算 額	支 出		額 計	豫 算 残 額	備 考
		前月迄累計	本 月 分			
第一級 本部事務費	74,724.00	15,574.01	6,137.33	21,723.34	70,200.66	
第一級 本部事務費	2,175.00	1,905.00	0	1,905.00	270.00	
第一級 本部事務費	2,175.00	1,905.00	0	1,905.00	270.00	
第一級 本部事務費	17,409.00	27,135.58	1,924.30	4,637.88	12,511.12	
第一級 本部事務費	7,635.00	10,464.1	275.00	1,321.41	8,703.59	
第一級 本部事務費	2,400.00	7,596.7	1,500.00	7,696.7	1,430.33	
第一級 本部事務費	1,260.00	0	0	0	1,260.00	
第一級 本部事務費	564.00	0	0	0	564.00	
第一級 本部事務費	3,000.00	677.50	1,079.30	1,756.80	1,243.20	
第一級 本部事務費	590.00	200.00	390.00	590.00	0	
第一級 本部事務費	6,000.00	1,708.43	1,972.12	3,680.55	2,319.45	
第一級 本部事務費	6,000.00	1,708.43	1,972.12	3,680.55	2,319.45	
第一級 本部事務費	4,400.00	1,174.31	341.47	1,515.78	2,884.22	
第一級 本部事務費	500.00	184.51	388	188.39	311.61	
第一級 本部事務費	1,500.00	217.17	0	217.17	1,282.83	
第一級 本部事務費	1,200.00	351.48	171.71	523.19	676.81	
第一級 本部事務費	1,200.00	411.15	165.51	576.66	623.34	
第一級 本部事務費	2,100.00	110.00	1,500.00	1,610.00	1,940.00	
第一級 本部事務費	1,845.00	110.00	1,500.00	1,610.00	1,640.00	
第一級 本部事務費	2,650.00	0	0	0	2,650.00	
第一級 本部事務費	40,500.00	5,505.83	0	5,505.83	34,994.17	
第一級 本部事務費	40,500.00	5,505.83	0	5,505.83	34,994.17	
第一級 本部事務費	3,000.00	2,146.86	401.44	2,548.30	451.70	
第一級 本部事務費	3,000.00	2,146.86	401.44	2,548.30	451.70	
第一級 本部事務費	72,000.00	47,222.51	13,204.38	60,426.89	31,573.11	
第一級 本部事務費	72,000.00	47,222.51	13,204.38	60,426.89	31,573.11	
第一級 本部事務費	72,000.00	47,222.51	13,204.38	60,426.89	31,573.11	

支出計算書

昭和15年6月分

科 目	豫算額	支 出 額		豫算残額	備 考
		前月迄累計	本 月 分		
第三款 事業費	6,273,140.00	6,714,522.22	102,401.51	7,738,043.73	4,247,260.77
第一項 檀原神宮境内	1,275,000.00	1,227,700.00	40,000.00	1,267,700.00	1,052,127.47
第一目 檀原神宮境内	1,275,000.00	1,227,700.00	40,000.00	1,267,700.00	1,052,127.47
第二項 檀原神宮境内	100,000.00	70,245.00	0	70,245.00	44,755.00
第一目 檀原神宮境内	100,000.00	70,245.00	0	70,245.00	44,755.00
第三項 檀原神宮境内	250,000.00	15,227.70	1,074.75	17,622.45	230,377.52
第一目 檀原神宮境内	250,000.00	15,227.70	1,074.75	17,622.45	230,377.52
第二目 檀原神宮境内	0	0	0	0	0
第三目 檀原神宮境内	0	0	0	0	0
第四目 檀原神宮境内	0	0	0	0	0
第五目 檀原神宮境内	0	0	0	0	0
第六目 檀原神宮境内	0	0	0	0	0
第七目 檀原神宮境内	0	0	0	0	0
第八目 檀原神宮境内	0	0	0	0	0
第九目 檀原神宮境内	0	0	0	0	0
第十目 檀原神宮境内	0	0	0	0	0
第四款 國史館建設費	1,047,404.00	14,019.00	260.00	14,279.00	1,033,125.00
第一項 國史館建設費	1,047,404.00	14,019.00	260.00	14,279.00	1,033,125.00
第一目 日本文化大	550,551.00	12,000.00	11,000.00	23,000.00	527,551.00
第二目 日本文化大	550,551.00	12,000.00	11,000.00	23,000.00	527,551.00
第三目 日本文化大	0	0	0	0	0
第四目 日本文化大	0	0	0	0	0
第五目 日本文化大	0	0	0	0	0
第六目 日本文化大	0	0	0	0	0
第七目 日本文化大	0	0	0	0	0
第八目 日本文化大	0	0	0	0	0
第九目 日本文化大	0	0	0	0	0
第十目 日本文化大	0	0	0	0	0
第五款 教化事業費	400,000.00	42,202.69	47,712.56	89,915.25	310,084.75
第一項 教化施設費	370,000.00	30,566.09	40,766.09	71,332.18	298,667.82
第二項 紀元二千六百年新築費	30,000.00	11,636.60	7,946.47	19,583.07	10,497.63
第六款 奉祝會費	75,000.00	5,127.09	4.00	5,131.09	74,468.91
第一項 奉祝會費	75,000.00	5,127.09	4.00	5,131.09	74,468.91
第七款 豫備費	1,950,000.00	0	0	0	1,950,000.00
第一項 豫備費	1,950,000.00	0	0	0	1,950,000.00
第一目 豫備費	1,950,000.00	0	0	0	1,950,000.00
第八款 繰越金	5,164,701.00	0	0	0	5,164,701.00
第一項 繰越金	5,164,701.00	0	0	0	5,164,701.00
第一目 繰越金	5,164,701.00	0	0	0	5,164,701.00
計	10,574,500.00	7,403,190.44	121,745.52	7,524,935.96	3,049,564.04

五七五

五八五

昭和十五年八月十六日

八月十六日

局長

書記官

書記官



昭和十五年八月十六日

局長



内閣官房總務課長宛

別紙、通官報彙報欄、雜事、項、二、掲

載方可然御取計相成度候



(別紙ニ通添付)

◎紀元二千六百年奉祝會記事

紀元二千六百年奉祝會副總裁、顧問及理事今

般左ノ通異動アリタル旨同會長ヨリ報告アリ

タリ(内閣)

一 副總裁

退任 米内光政

二 顧問

就任

米内光政

松岡洋右

安井英二

河田 烈

東條 英機

風見 章

橋田 邦彦

小林 一三

村田 省藏

星野 直樹

三理事

就任

富田 健治

扶間 茂

廣瀬 豊作

菊池豊三郎

只退任

大達茂雄

大野龍太

赤間信義

日本標準規格B4(十四行罫)

九三九號

昭和十五年七月三十一日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

内閣總理大臣 公爵 近衛文麿 殿

本會役員左ノ通解囑相成候條此段及報告候

記

小林一三

村田省藏

紀元二千六百年奉祝會常議員囑託ヲ解ク

15.8-5
葉547號

昭和十五年六月廿五日

小 村 三

本會役員及前贈勳章並勳章並勳章

内閣縣政大引 公爵 近衛 文 麿

昭和十五年六月廿五日

昭和十五年六月廿五日

内閣縣政大引

九四四號

昭和十五年八月三日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛 文 麿

供 養

内閣總理大臣 公爵 近衛 文 麿 殿

役員異動ノ件

本會役員左記ノ通解職相成候條此段及報告候

記

元内務次官

大 達 茂 雄

元大藏次官

大 野 龍 太

15 5 549

元文部次官

赤間信義

紀元二千六百年奉祝會理事囑託ヲ解ク

元東洋拓殖株式會社總裁

安川雄之助

元臺灣銀行頭取

保田次郎

元大日本聯合青年團理事長

生駒高常

元帝國教育會專務理事

藤井利譽

元鐵鋼協議會理事

中井勵作

紀元二千六百年奉祝會常議員囑託ヲ解ク

元秋田縣知事

留岡幸男

元長野縣知事

富田健治

元愛媛縣知事

持永義夫

元川崎市長

芝辻一郎

元福知山市長

高木半兵衛

元京都市長

市村慶三

元岸和田市長

竹崎米吉

元尾道市長

齋藤勸治

元德山市長

本城嘉守

元防府市長

浮田茂太郎

元宇和島市長

樋口虎若

元八幡濱市長

西村彌三郎

元長崎市長

青木善祐

元佐世保市長

相賀照郷

元鹿兒島市長

伊地知四郎

元埼玉縣町村長會長

宮下林平

元京都府町村長會長

久保秀次

元奈良縣町村長會長

小松茂作

元滋賀縣町村長會長

吉丸榮三郎

元兵庫縣町村長會長

古川岩太郎

元新潟縣町村長會長

島田善治

元島根縣町村長會長

中澤倉太郎

元山口縣町村長會長

小田周一

元福岡縣町村長會長

森田雷四郎

元大分縣町村長會長

黒木幸太郎

元宮崎縣町村長會長

山下兼三

元豐橋商工會議所會頭

河合致郎

元長濱商工會議所會頭

中辻源太郎

元山形商工會議所會頭

草刈源助

元宇和島商工會議所會頭

高島龜太郎

元八幡商工會議所會頭

入江賢助

元埼玉縣會議長

岩田鹿太郎

元京城帝國大學總長

速水

漢

紀元二千六百年奉祝會評議員囑託ヲ解ク

内閣經第五七二号

九四四號

昭和十五年八月七日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文

供覽

内閣總理大臣 公爵 近衛文 磨 殿

左ノ本會理事異動本日登記完了致候條此段及御届候

記

昭和十五年八月三日理事就任

富田健治

同日

挾間茂

同日

廣瀬豐作



15.

同	同	同	同
同日	同日	日理事退任	同日
赤間信義	大野龍太	大達茂雄	菊池豊三郎

内閣第五〇二号

九三九號

昭和十五年八月十二日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵近衛文

内閣總理大臣 公爵近衛文 殿

副總裁、顧問異動ノ件

七月三十一日附總裁ヨリ左記ノ通本會副總裁御解囑竝ニ顧問御囑託相成候ニ付此段及報告候也

記

元内閣總理大臣

米内光政

紀元二千六百年奉祝會副總裁囑託ヲ解ク

15. 8 14
第569號

15.

紀元二千六百年奉祝會顧問ヲ囑託ス

米 内 光 政

内閣第五四号

九三几簿

昭和十五年八月十二日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

内閣總理大臣 公爵 近衛文麿 殿

顧問囑託ニ關スル件

七月三十一日附總裁ヨリ左記ノ逋本會顧問御囑託相成候條此段及報告
候

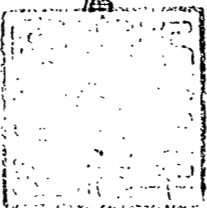
記

外務大臣兼拓務大臣

松 岡 洋 右

内務大臣兼厚生大臣

安 井 英 二



15.

大藏大臣	河田 烈
陸軍大臣	東 條 英 機
司法大臣	風 見 章
文部大臣	橋 田 邦 彦
商工大臣	小 林 一 三
逓信大臣兼鐵道大臣	村 田 省 藏
企畫院總裁（國務大臣）	星 野 直 樹

紀元二千六百年奉祝會顧問ヲ囑託ス

内閣
五月三日

第七十七號

昭和十五年七月三日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

供覽

内閣總理大臣 米内光政 殿

役員異動ノ件

本會役員左記ノ通解囑相成候條顧問役員死亡ノ分ヲ併セ此段及報告候

記

岡 本 英 太 郎

紀元二千六百年奉祝會常議員囑託ヲ解ク

元市川市長

浮 谷 竹 次 郎

元沼津市長

森 田 泰 次 郎

紀元二千六百年奉祝會
15.7.-5
第478號

元桐生市長
元布施市長
元廣島商工會議所會頭
元東北帝國大學總長
元東京美術學校長
元東京商工會議所副會頭

紀元二千六百年奉祝會評議員囑託ヲ解ク

昭和十五年六月五日薨去 願 問 公爵 德 川 家 達

死去 評議員 佐 藤 邦 則

關 口 義 慶 二
椎 野 信 次
柳 父 昌 一
本 多 光 太郎
芝 田 徹 心
山 本 留 次

五八

昭和拾五年八月貳日

局



書記官



會計課
提出

紀元二千六百年奉祝會ニ對スル本年度補助金百
万円ヲ若干減額セルトスル趣ナルモ之カ減額ヲ為シ能ハ
サル理由トシテ此記ノ通申出相成可然哉

理由 由

此記ノ通申出相成可然哉

紀元二千六百年奉祝會補助金ニ就テハ昭和十二年
五月五百万円ヲ交付スルユトニ決定シ昭和十三年度二百
五十万円同十四年度百二十五万円同十四年度二十五
万円合計四百万円ヲ交付シ本年度ニ於テ残額百
万円ヲ交付スルユト、為レアリ

而レテ同會ニ於テハ右補助金ト相俟テ事業費財源他
ノ一半ニタル寄附金募集ニ情リテハ同會施行事業ノ

性質ニ鑑ミ官民協力之ニ當ルマキヲ強調シ幸ニレテ

全國民ノ共鳴ヲ得テ寄附申込額七月末自現在

ニ於テ七百十五万一千円ニ達セルモ寄附募集豫定額ニ

達セレメレ為ニ尚約百万円ヲ要スルノ実状ナリ

然ルニ今ニレテ本年度國庫補助額ヲ減カシテ

會事業ニ對スル國民ノ熱意ヲ減殺レ遂ニ九俵ノ

功ヲ一簣ニ缺キ近イテハ國家既定ノ各種奉祝記
 念事業遂行上支障ク来カンストク堪ルモノニシテ
 同會ニ對シ本年年度補助金百万四ノ金額交付ハ
 必要缺クベカラサルモノナリ

内閣府第五九七号

分第1080號

昭和十五年八月二十一日

供覽

紀元二千六百年奉祝會長 公爵近衛文麿

内閣總理大臣 公爵近衛文麿 殿

局長

書記官

地方支部長囑託並解囑

本日本會地方支部長左記ノ通囑託並解囑致候ニ付此段及報告候

記

群馬縣知事

薄田美朝

鹿兒島縣知事

新居善太郎

紀元二千六百年奉祝會 群馬縣支部長ヲ囑託ス

元群馬縣知事

熊野英

元鹿兒島縣知事

藤野惠

15.8.23

紀元二千六百年奉祝會 群馬縣支部長囑託子解夕

奉祝會第一〇九號

昭和十五年八月二十一日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文

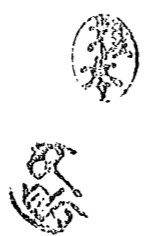
内閣總理大臣 公爵 近衛文 磨 殿

地方副支部長囑託ノ件

本日本會副支部長左記ノ通囑託致候ニ付此段及報告候

記

三重縣警察部長	高 島 資 吉
廣島縣總務部長	石 井 錦 樹
紀元二千六百年奉祝會 廣島縣副支部長ヲ囑託ス	



昭和二十六年六月分算書提出候ニ付

高島 啓
高島 啓
高島 啓
高島 啓

本日本會場支拂引込品ノ前總高覽録ニ付此算書提出候

取付品支拂引込品ノ件

内閣縣政大司 公稱 飛 藩 文 書 類

昭和二十六年六月分算書提出候ニ付

昭和二十六年八月二十一日



五八十九

會計課長 佐藤

書記官



内閣縣政大司

會計課長 佐藤

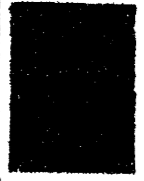
内閣縣政大司

別紙、通紀元二十六年奉祝會長ヨリ昭和十五年

年七月分収入支出計算書提出候ニ付内容

査閲セルニ異狀無之

右供高覽候



奉祝會 第一〇二〇號

昭和十五年八月十五日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵近衛文麿

內閣總理大臣 公爵近衛文麿 殿



收入支出計算書提出ノ件

昭和十五年七月分收入支出計算書別紙ノ通及提出候也

紀元二千六百年奉祝會

1155

收		入		支		出		現在高
前月迄累計	本月分	計	前月迄累計	本月分	計	計		
727,764.26	1,225,000.00	1,952,764.26	562,446.00	352,700.00	915,146.00	737,618.26	737,618.26	737,618.26

備考

現在高内訳

銀行預金總額	振替貯金	國債證券	現金	合計
727,651.74	54,222.71	2,450.00	620.22	734,944.67

備考
1 銀行預金總額ノ明細下記ノ通り
2 國債證券ハ

銀行預金明細

銀行名	定期	通知	特別當座	當座	計
三井銀行	100,000.00	70,000.00	61,640.77	0	231,640.77
三菱銀行	600,000.00	100,000.00	70,500.77	0	770,500.77
安田銀行	650,000.00	0	134,463.17	0	784,463.17
住友銀行	520,000.00	74,500.00	48,104.22	0	642,604.22
第一銀行	760,000.00	1,110,000.00	253,544.23	6,601,242,121.76	1,873,544.23
横濱正金銀行東京支店	70,000.00	0	77,500.77	0	147,500.77
朝鮮銀行東京支店	70,000.00	0	5,164.75	0	75,164.75
臺灣銀行東京支店	70,000.00	100,000.00	50,504.75	0	220,504.75
第百銀行	220,000.00	0	11,520.77	0	231,520.77
三和銀行	420,000.00	0	143,111.16	0	563,111.16
野村銀行	250,000.00	50,000.00	70,778.18	0	370,778.18
計	4,620,000.00	1,665,500.00	1,102,760.50	6,601,242,121.76	7,349,444.67

收入計算書

昭和15年7月分

13.0.1
177

科 目	豫 算 額	收 入 額			豫 算 残 額	備 考
		前月迄累計	本 月 分	計		
第一款 御下賜金	1,000,000.00	1,000,000.00	0	1,000,000.00	0	
第一項 御下賜金	1,000,000.00	1,000,000.00	0	1,000,000.00	0	
第一目 御下賜金	1,000,000.00	1,000,000.00	0	1,000,000.00	0	
第二款 國庫補助金	1,000,000.00	250,000.00	0	250,000.00	750,000.00	
第一項 國庫補助金	1,000,000.00	250,000.00	0	250,000.00	750,000.00	
第一目 國庫補助金	1,000,000.00	250,000.00	0	250,000.00	750,000.00	
第三款 寄附金	5,000,000.00	2,579,471.98	1,000,152.15	3,579,624.13	1,420,375.87	
第一項 寄附金	5,000,000.00	2,579,471.98	1,000,152.15	3,579,624.13	1,420,375.87	
第一目 寄附金	5,000,000.00	2,579,471.98	1,000,152.15	3,579,624.13	1,420,375.87	
第四款 雑収入	94,500.00	72,879.79	22,157.63	301,047.62	206,547.62	
第一項 雑収入	94,500.00	72,879.79	22,157.63	301,047.62	206,547.62	
第一目 預金利子	34,500.00	47,313.40	21,558.48	68,871.88	15,628.12	
第二目 雑 入	10,000.00	25,566.39	206,629.15	232,195.74	222,175.74	
第五款 前年度繰越金	3,450,000.00	3,196,402.09	0	3,196,402.09	253,597.91	
第一項 前年度繰越金	3,450,000.00	3,196,402.09	0	3,196,402.09	253,597.91	
第一目 前年度繰越金	3,450,000.00	3,196,402.09	0	3,196,402.09	253,597.91	

計

10,574,500.00 7,371,744.06 1,221,339.78 3,870,993.84 19,667,406.16

支出計算書

昭和15年7月分

科 目	豫 算 額	支 出		額 計	豫 算 残 額	備 考
		前月迄累計	本 月 分			
第一級 本部事務費	75,240.00	27,233.34	23,114.34	44,577.68	22,466.32	
第一項 會議費	2,175.00	1,905.00	15.20	1,920.20	254.80	
第一目 會議費	2,175.00	1,905.00	15.20	1,920.20	254.80	
第二項 給与費	17,449.00	4,537.58	967.95	5,605.53	11,843.47	
第二目 俸給	9,635.00	1,221.41	415.45	1,736.86	7,903.14	
第三目 嘱託給	2,400.00	909.07	130.00	1,149.67	1,250.33	
第四目 雇員給	1,260.00	0	0	0	1,260.00	
第五目 傭人料	564.00	0	0	0	564.00	
第六目 手当	3,000.00	1,756.50	372.50	2,129.00	870.70	
第七目 賞与	590.00	590.00	0	590.00	0	
第三項 旅費	6,000.00	3,650.55	554.03	4,204.58	1,795.42	
第一目 旅費	6,000.00	3,650.55	554.03	4,204.58	1,795.42	
第四項 事務所費	4,400.00	1,535.78	557.73	2,093.51	2,306.49	
第一目 備品費	500.00	158.09	61.40	249.77	250.23	
第二目 圖書及印刷費	1,500.00	217.17	32.50	249.67	1,250.33	
第三目 消耗品費	1,200.00	559.26	295.58	849.14	350.86	
第四目 通信運搬費	1,200.00	596.96	165.95	742.91	457.09	
第五項 印章費	21,100.00	1,610.00	12,743.50	14,353.50	6,746.50	
第一目 印章作成費	15,450.00	1,610.00	12,743.50	14,353.50	4,096.50	
第二目 寄送諸費	2,650.00	0	0	0	2,650.00	
第六項 寄附募集費	40,800.00	5,505.53	7,786.40	13,291.93	27,508.07	
第一目 寄附募集費	40,800.00	5,505.53	7,786.40	13,291.93	27,508.07	
第七項 雑費	5,000.00	2,548.30	201.50	2,749.80	2,250.20	
第一目 雑費	5,000.00	2,548.30	201.50	2,749.80	2,250.20	
第二級 支部事務費	92,000.00	60,487.19	17,730.71	78,217.90	13,782.10	
第一項 支部事務費	92,000.00	60,487.19	17,730.71	78,217.90	13,782.10	
第一目 支部事務費	92,000.00	60,487.19	17,730.71	78,217.90	13,782.10	

支出計算書

昭和 15 年 7 月分

科 目	豫 算 額	支 出 額			豫 算 残 額	備 考
		前月迄累計	本 月 分	計		
第三款 事業費	5,027,500.00	7,792,400.00	3,420,237.60	11,212,637.60	2,195,137.60	
第一項 糧食衛生費	1,495,000.00	4,428,700.00	2,700,000.00	7,128,700.00	7,623,700.00	
第一目 糧食衛生費	1,495,000.00	4,428,700.00	2,700,000.00	7,128,700.00	7,623,700.00	
第二目 衛生費	131,000.00	93,245.00	40,000.00	133,245.00	49,755.00	
第三目 衛生費	131,000.00	93,245.00	40,000.00	133,245.00	49,755.00	
第四目 衛生費	27,000.00	19,622.60	1,529.51	21,152.11	22,847.89	
第五目 衛生費	50,000.00	19,622.65	1,529.51	21,152.16	22,847.84	
第六目 衛生費	30,000.00	71,791.84	4,946.00	76,737.84	277,262.12	
第七目 衛生費	30,000.00	91,791.88	4,946.00	96,737.88	277,262.12	
第八目 衛生費	1,174,334.00	14,277.30	527.00	14,804.30	1,159,529.70	
第九目 衛生費	1,174,334.00	14,277.30	527.00	14,804.30	1,159,529.70	
第十目 衛生費	52,581.00	23,000.00	0	23,000.00	29,581.00	
第十一目 衛生費	52,581.00	23,000.00	0	23,000.00	29,581.00	
第二項 教化事業費	401,000.00	89,915.55	24,744.96	114,659.51	286,340.49	
第一目 教化施設費	371,000.00	79,623.11	24,744.96	104,368.07	266,331.93	
第二目 教化施設費	30,000.00	10,292.44	2,209.41	12,501.85	17,498.15	
第三項 奉祀會費	750,000.00	5,131.07	306.29	5,437.36	744,562.64	
第一目 奉祀會費	750,000.00	5,131.07	306.29	5,437.36	744,562.64	
第四款 豫備費	193,330.00	0	0	0	193,330.00	
第一項 豫備費	193,330.00	0	0	0	193,330.00	
第二項 豫備費	193,330.00	0	0	0	193,330.00	
第五款 文書費	5,164,931.00	0	0	0	5,164,931.00	
第一項 文書費	5,164,931.00	0	0	0	5,164,931.00	
第二項 文書費	5,164,931.00	0	0	0	5,164,931.00	

計 10,574,500.00 182,164.56 382,908.51 1,244,973.57 9,229,526.63

1926

供覽

社長第二三三四號

昭和十五年八月二十八日

奈良縣知事

内閣紀元二千六百中祝典事

榎原神宮外苑田工品調査状況報告ノ件

課記ノ件ニ關シ状況報告致候候處其ノ後ノ分別紙ノ通ニ有之候旨及
報告候也

通テ特殊ナルモノ發見セラレサル限リ状況報告ハ一先打切り候
際御了知相成申添候



15

項 事 殊 特

文 本 査 調

井戸が二、ノカニ一、介ニ二早の調査
 各号の井戸は、大字あふ保所内の大久保池の乾燥によりその池
 底に現存したものである。地味軟弱なため、東比方約三丁の深
 敷のあり、南比約二丁、東面約一丁の深さと有する辰方形の湯池
 である。この湯池は古く粟飯のありたる所にして、この地
 帯を流れる地を師と考へた。今この調査したるは上記の
 三伯の井戸のありかを知る事、その存在する井戸である。
 各号の井戸は、幅四至五尺乃至七尺、高さ三尺餘りして、板を堅固に
 掘り出し、その内底には板部土器・土師器・赤土
 類の遺物・布片等が散在し、土器は特に意匠的埋置を施す
 べき点に注意を要する。

考 備

調査場所
 調査従事員

調査種類

本日迄の使用人夫通計

調査主任

人夫使用細目

昭和十一年 四月三十日 提出

奈良縣史蹟名勝天然紀念物調査會

整理中
揚州
石器

狭
石
器

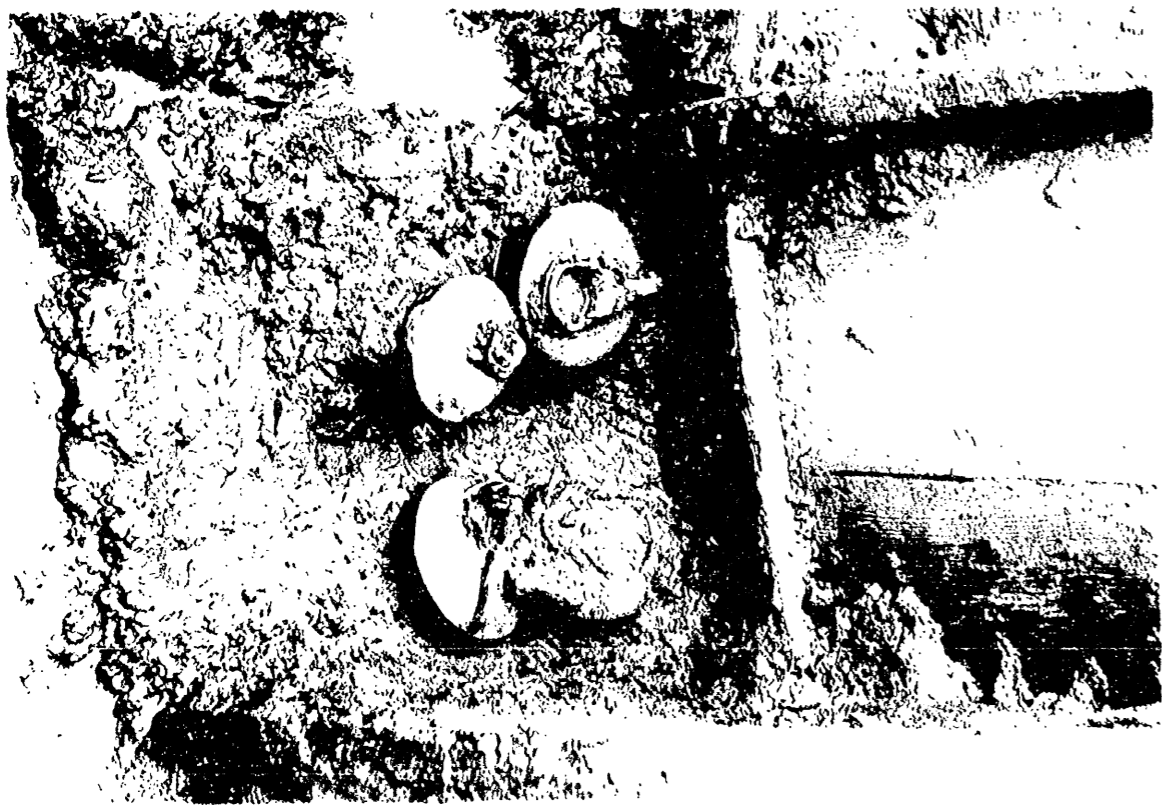
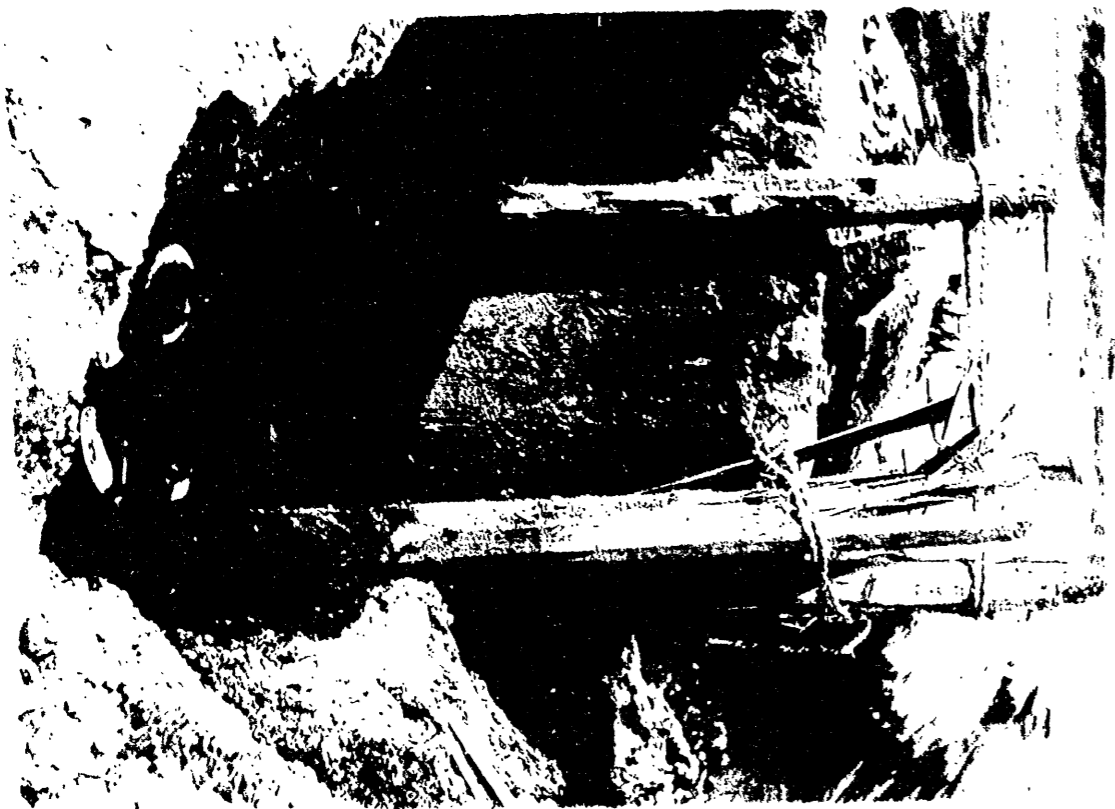


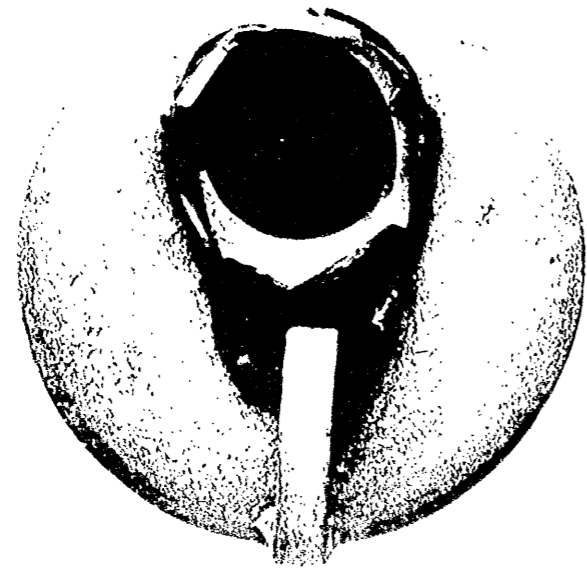
土
器



廣
石
器







呂部子 把子ノ差 夢王卷ノ



致部上長





土仰器



土仰器

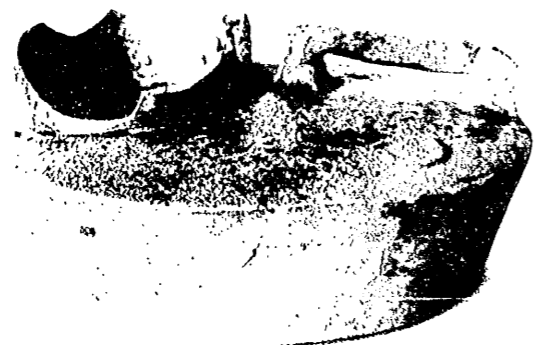


土師器



祝部土器

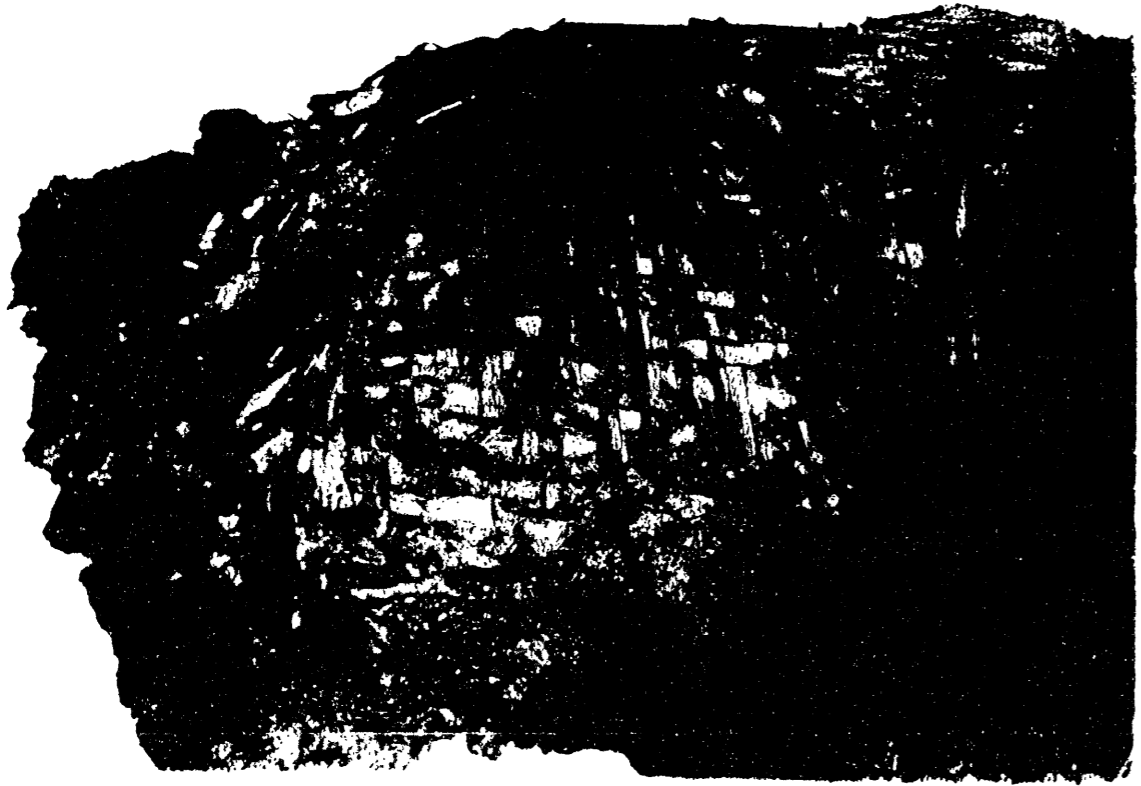


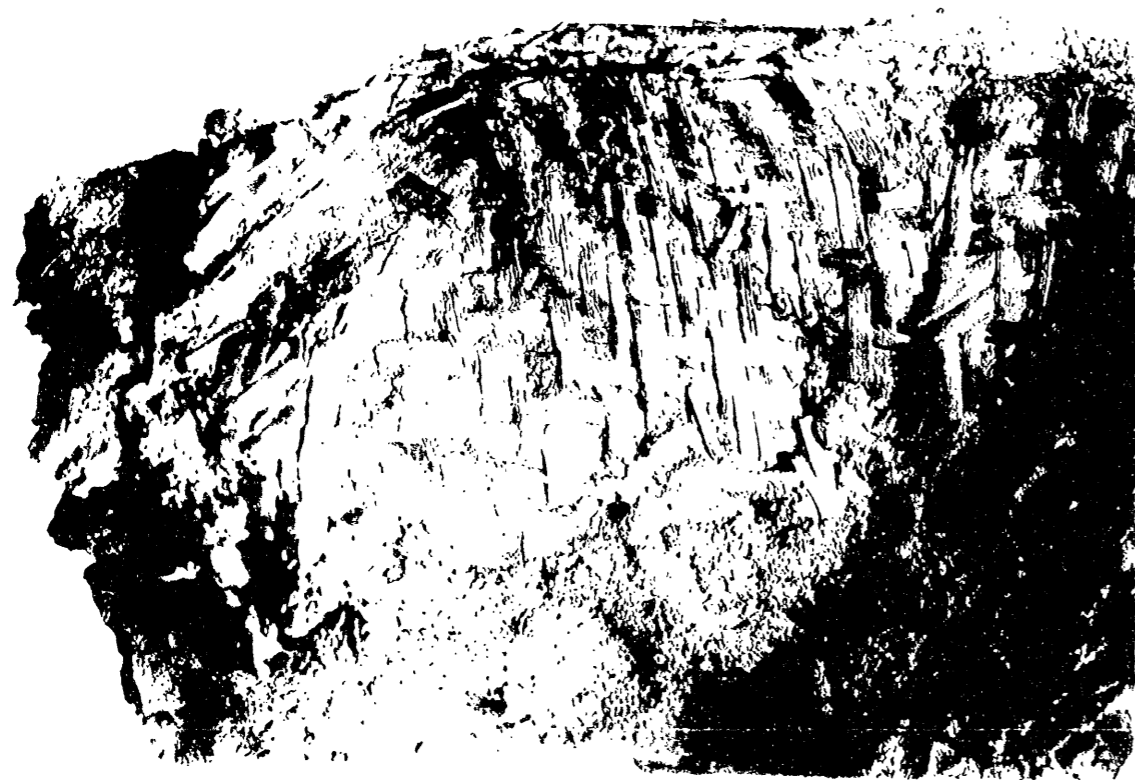




籙の一片

多下 ↓







布片

瓢





祝 昭 和 八 三 號

六〇〇

五九二

五九二

五九二



書記官

書記官



紀元二千六百年奉祝會役員選任認可指令案

紀元二千六百年奉祝會長公爵近衛文麿

昭和十五年八月三十日附第一〇七一號申請役員

選任ノ件認可ス



昭和十五年九月四日

内閣總理大臣

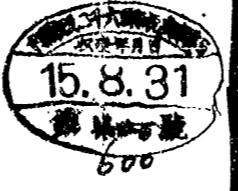
内閣 紀元二千六百年奉祝會長

第一〇七一號

昭和十五年八月三十日

佐藤

内閣總理大臣 公爵 近衛文磨 殿



役員選任ノ件認可申請

本會役員左ノ通選任致度候條御認可相成度此段及申請候也

記

企畫院次長

小畑忠良

農林次官

井野碩哉

遞信次官

山田龍雄

鐵道次官

鈴木清秀

紀元二千六百年奉祝會常議員ヲ囑託ス

群馬縣知事

薄田美朝

鹿兒島縣知事

新居善太郎

郡山市長

關卯次郎

宮崎縣會議長

野村嘉久馬

宮崎縣町村長會長

齋藤虎一

明治大學總長

志田鉦太郎

紀元二千六百年奉祝會評議員ヲ囑託ス

五八四

五八五

五八三

五八九

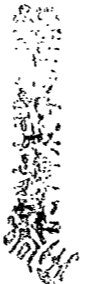
書記官

紀元二千六百年奉祝會實施事務委囑件
認可指令案

紀元二千六百年奉祝會會長公對近衛文磨

昭和十五年八月二十一日附第1042號申請

紀元二千六百年奉祝會實施事務委囑件



認可ス

昭和十五年九月二日

内閣總理大臣

内閣總理大臣 公爵 近衛 文磨 殿

紀元二千六百年奉祝會 事務委託ニ
關スル件認可申請

昭和十五年八月二十一日

紀元二千六百年奉祝會 會長 公爵 近衛 文磨

内閣總理大臣 公爵 近衛 文磨 殿

紀元二千六百年奉祝會 實施要綱ニ關シ其ノ設備及裝
飾ニ屬スル事務ノ中別紙記載ノ工事施行ヲ昭和十二年勅令第五百九十
六號ニ基キ左記條件ニ依リ營繕管財局長官ニ委囑致度候條御認可相成
度此段及申請候也

發ニ御決定相受候紀元二千六百年奉祝會 實施要綱ニ關シ其ノ設備及裝
飾ニ屬スル事務ノ中別紙記載ノ工事施行ヲ昭和十二年勅令第五百九十
六號ニ基キ左記條件ニ依リ營繕管財局長官ニ委囑致度候條御認可相成
度此段及申請候也

記

15.8.23

- 一 設計ハ本會ト協議ノ上之ヲ決定スルコト
- 二 本會ノ負擔金ハ九萬八千百參拾圓也トス
- 三 右經費ハ事務ノ進捗ニ伴ヒ本會ヨリ營繕管財局ニ納付スルコト
- 四 前各號ノ外事務施行ノ詳細ハ本會ト其ノ都度打合ヲ爲スコト

工事施行内譯

- 式 殿 幕 一 式
- 參 列 席
- 「テント」張
- 舞 樂 台
- 復 舊

第九 六百年在職官

第一紀元二千六百年式典
第二紀元二千六百年式典
第三紀元二千六百年式典
第四紀元二千六百年式典
第五紀元二千六百年式典

第一紀元二千六百年式典

參考

紀元二千六百年式典及紀元二千六百年奉祝會實施要綱

(昭和十五年七月三十日決定)

第一紀元二千六百年式典

- 一、日時、十一月十日(日曜日)午前十一時
 - 二、場所、宮城外苑
 - 三、設備、宮城外苑ノ中央部約一萬三千坪ノ地ヲトシ、之ヲ式典場トシ約二百坪ノ式殿ト約五萬五千人ノ座席トヲ設ク
- 内濠際三箇所ニ奉祝門ヲ建テ式典場附近道營ノ場所ニ受付、休憩所等ヲ設ク

(設備内容ハ奉祝會實施案添付圖面仕様書参照)

四、次 簿 (別紙 (一))

五、參列者範圍 (別紙 (二))

別紙第一號

紀元二千六百年式典次第

一、整 列

一、臨 御

一、國歌「君が代」奉唱

一、內閣總理大臣壽詞奏上

一、紀元二千六百年頌歌齊唱

一、萬歲奉唱

一、還 御

一、散 會

別紙第二號

紀元二千六百年式典參列者範圍

皇族

王公族

參列者

大勳位

內閣總理大臣

樞密院議長

國務大臣 宮内大臣 内大臣

内閣參議

朝鮮總督

内閣總理大臣又ハ樞密院議長タル前官ノ禮遇ヲ賜ハリタル者
國務大臣官内大臣又ハ内大臣タル前官ノ禮遇ヲ賜ハリタル者

樞密院副議長

陸軍大將 海軍大將 樞密顧問官

親任官

貴族院議長 衆議院議長

勳一等旭日桐花大綬章

親任官ノ待遇ヲ賜ハリタル者

公爵

勳一等

旭日大綬章

寶冠章

瑞寶章

以上夫人

高等官一等

貴族院副議長 衆議院副議長

府香間祇候

候 爵

正二位

高等官二等

錦鷄間祇候

勳任待遇

伯子男爵

從四位以上有位者總代

勳三等功三級以上帶勳者總代

東京市長

貴族院議員 衆議院議員

内閣總理大臣並各省大臣ノ監督管理ニ屬スル各種委員會委員
私立大學ノ總長又ハ學長

神佛各教宗派管長

民間ニ在リテハ特ニ功勞顯著ナル者

高等官三等以下同待遇者總代

各種公會團體代表者

道府縣會議長 朝鮮道會副總長 臺灣總督府評議會代表

臺灣州會代表 臺灣廳協議會代表

私立高等學校、專門學校及實業專門學校ノ長

門跡寺院、御由緒寺院ノ住職

キリスト教其ノ他教團統理者

市長 (朝鮮、臺灣、樺太及關東州ニ於ケル相當者ヲ含ム)

紀元二千六百年奉祝會役員

紀元二千六百年奉祝會有功會員以上

六大都市ノ市會議長

六大都市ノ市ノ助役、參與

東京府會議員

東京市會議員

東京市ノ區長、局長

町村長 (朝鮮、臺灣、樺太及關東州ニ於ケル相當者ノ總代ヲ含ム)

陸軍ノ軍隊代表

海軍ノ軍隊代表

判任官同待遇者總代

道府縣民總代

朝鮮在住者總代

臺灣在住者總代

樺太在住者總代

關東州在住者總代

南洋群島在住者總代

外國在住者總代

各國大使公使同夫人

外國參列者

以上參列者總數凡ソ五五〇〇〇人ニシテ紀元二千六百年奉祝會ニ於テハ紀元二千六百年奉祝會特別會員凡ソ一、五〇〇人ヲ増加ノ見込

第二紀元二千六百年奉祝會

一、日時 十一月十一日（月曜日）午後二時 雨天順延

二、場所 宮城外苑

三、設備 式典場ノ諸設備ヲ利用シ之ニ裝飾演奏設備其ノ他
當ナル施設ヲ加フルモノトス（紀元二千六百年奉祝會施設內容別紙圖面及仕様書參照）

四、次第 （別紙）

五、參列者範圍

政府主催ノ式典參列者ノ外本會特別會員ノ參列ヲ
慮スルモノトス

六、食 饌

食饌ハ左ノ要領ニ依ルモノトス

一、主 饌 陸軍糧秣本廠選定軍事食糧ニ依ル

一、副 饌 昆布、勝栗、スルノ其ノ他

一、祝 酒 祝酒一合（陶器製容器ヲ用フ）

七、記念品

記念品ハ左ノ要領ニ依ルモノトス

一、列聖珠藻 佐々木信綱謹撰

一、聖德餘光 辻 善之助 著

右二冊和装、帙入トス

八、演 奏

演奏ハ左ノ要領ニ依ルモノトス

一、吹奏樂 陸海軍軍樂隊

二、雅 樂 宮内省樂部

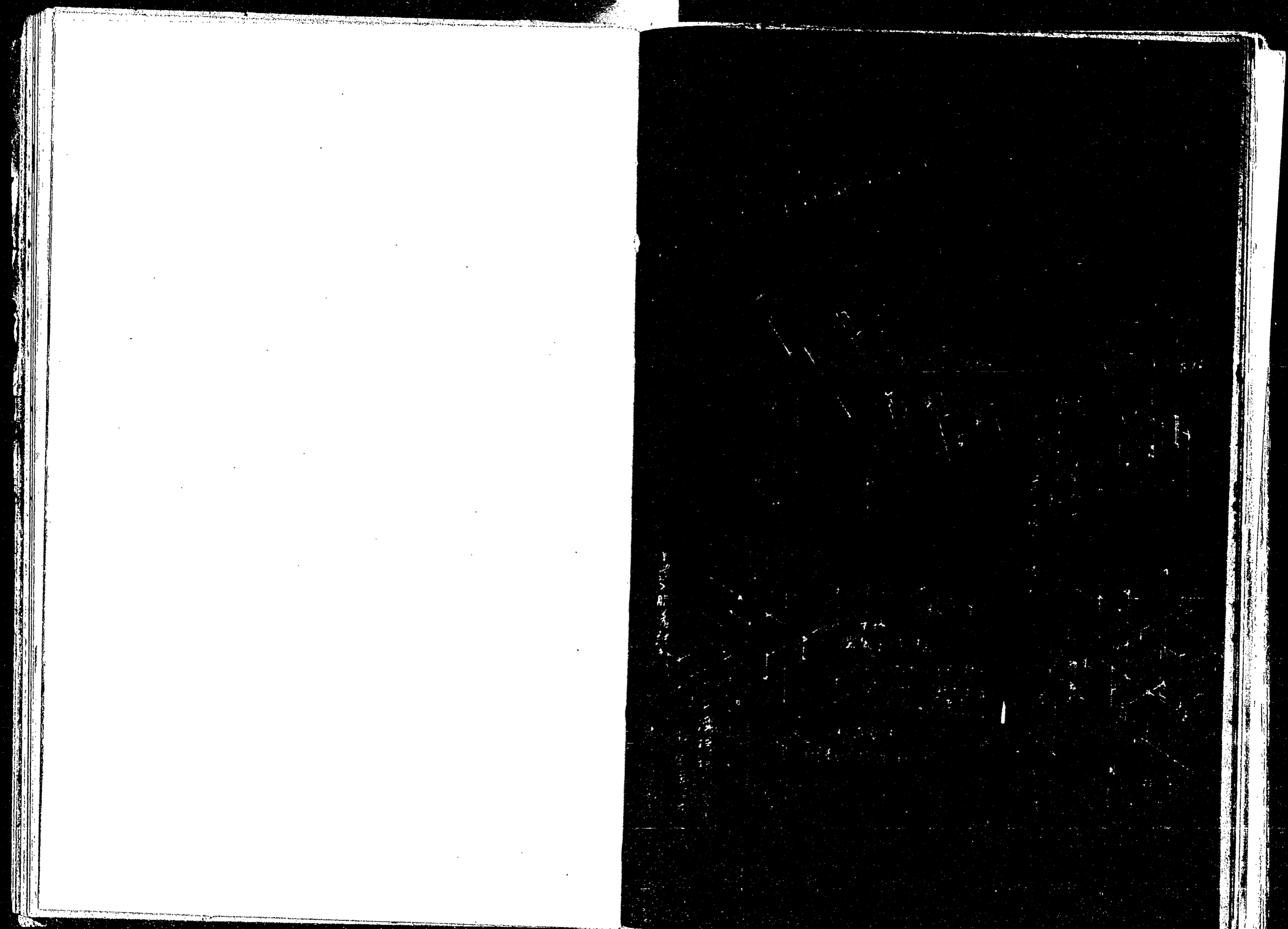
三、齊 唱 合唱團

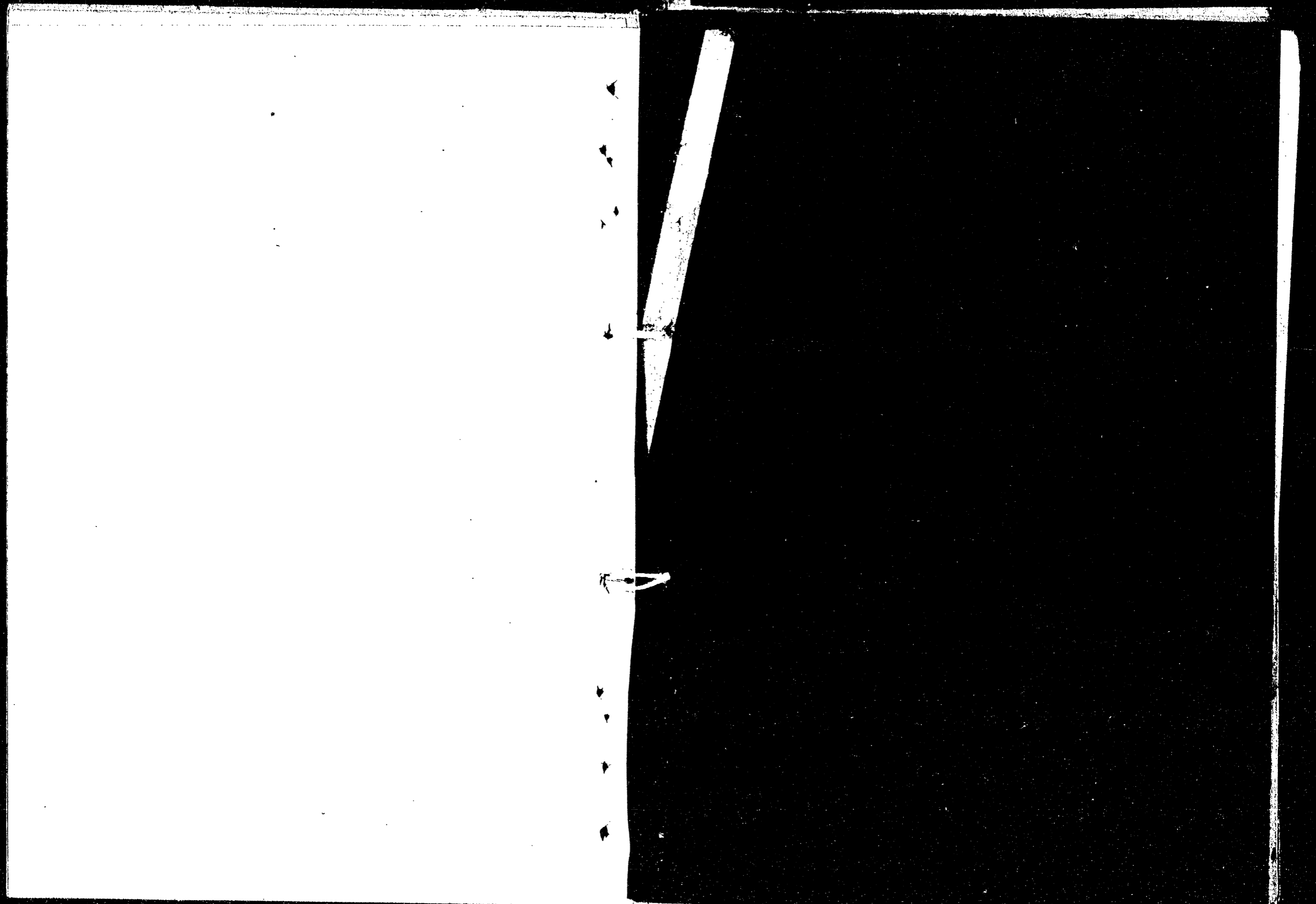
男女學生生徒約三千人ヲ以テ組織ス

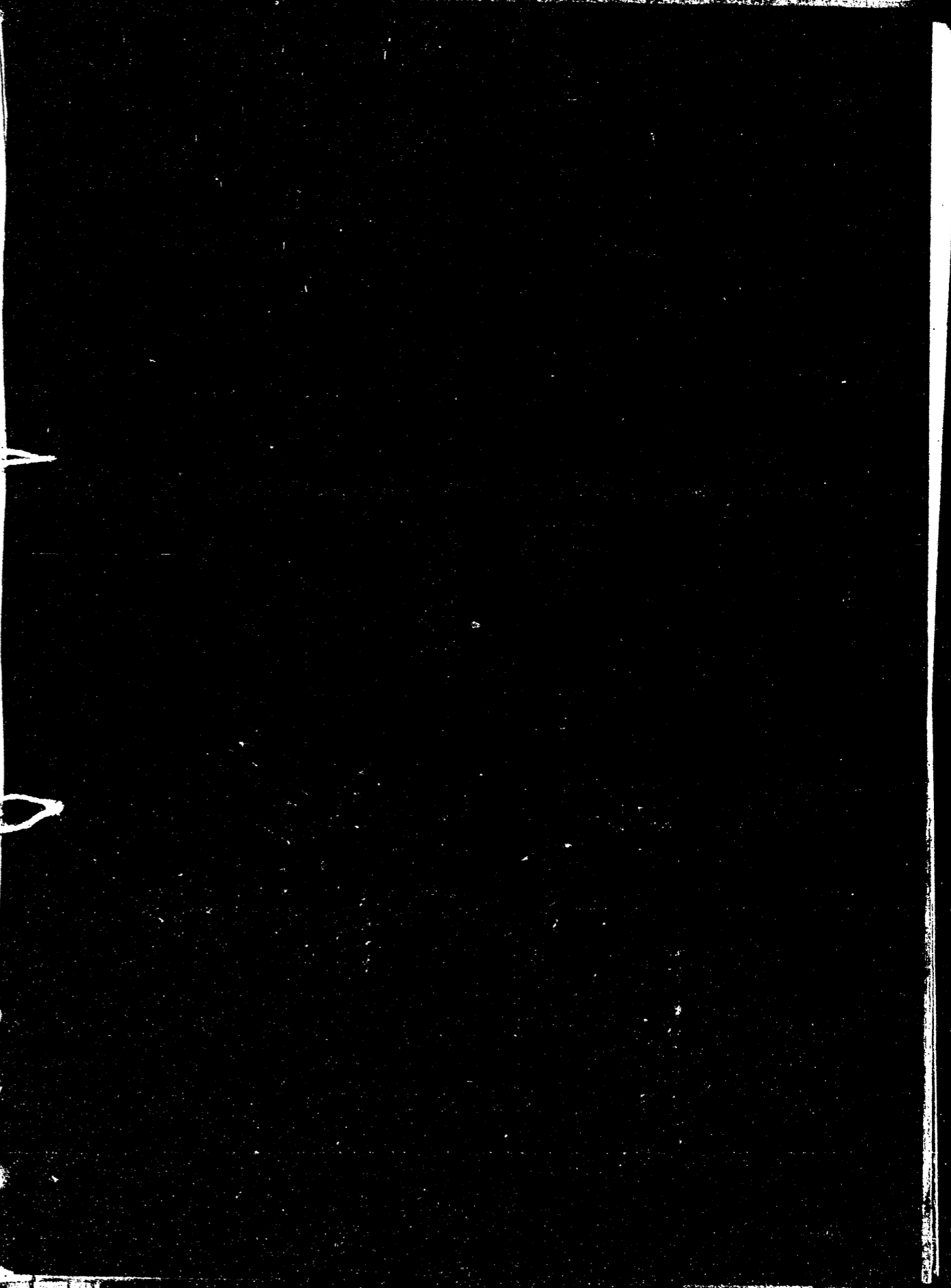
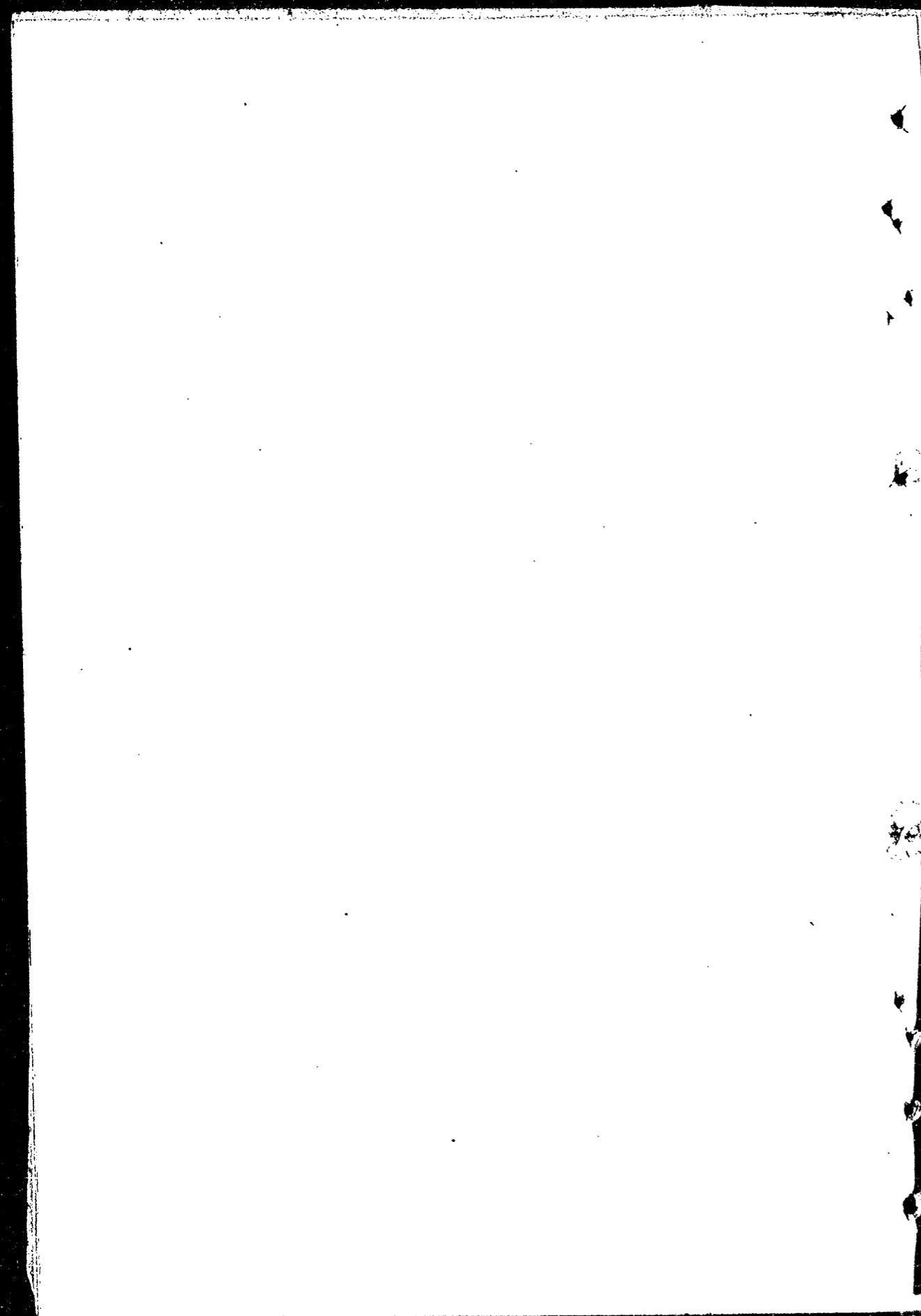
別紙

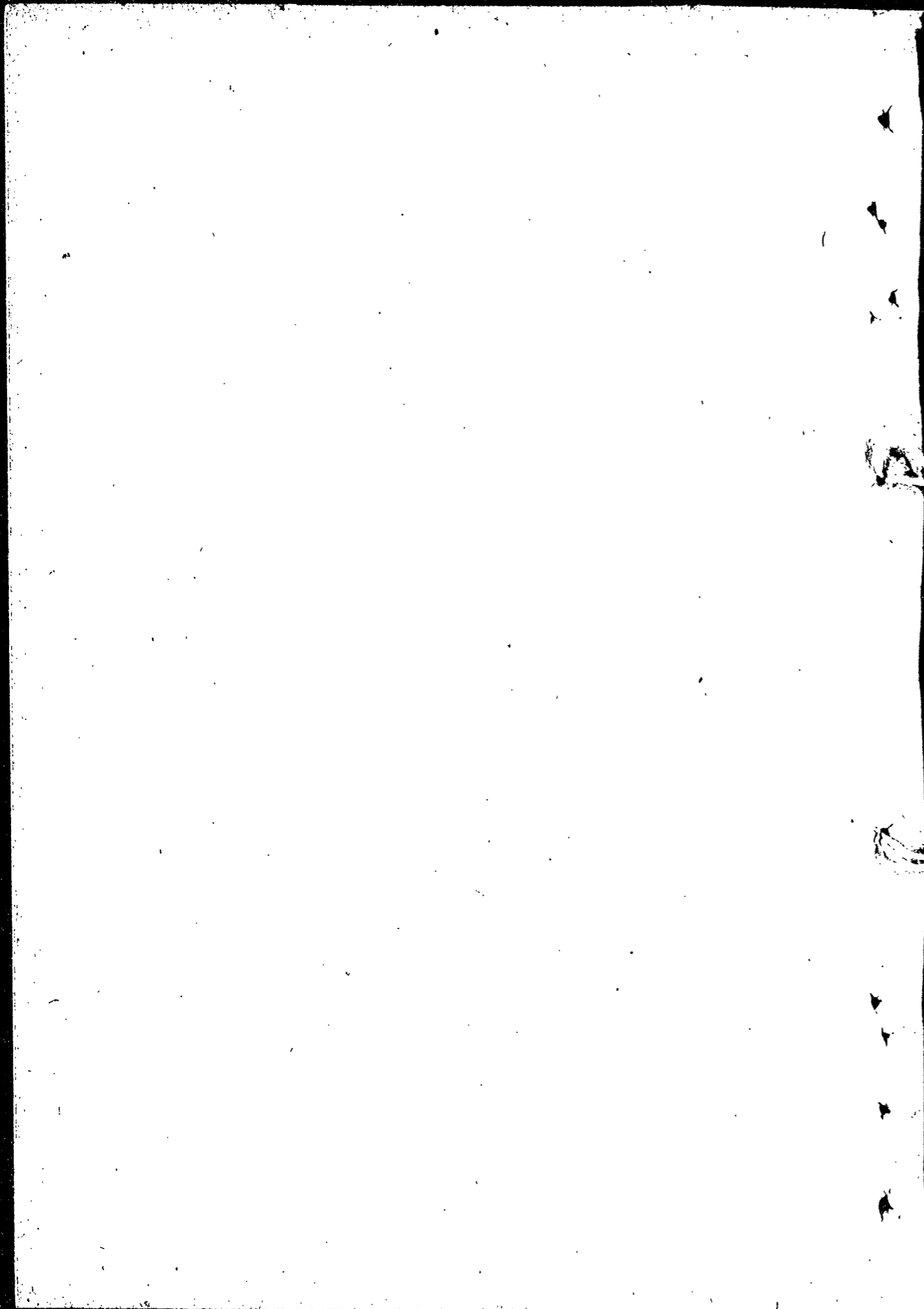
紀元二千六百年奉祝會次第

- 一、整列
- 一、臨御
- 一、國歌「君が代」奉唱
- 一、紀元二千六百年奉祝會總裁奉祝詞奏上
- 一、在本邦外國使臣首席奉祝詞奏上
- 一、開宴
- 一、演奏
- 一、奉祝國民歌「紀元二千六百年」齊唱









尚「モール」張廻ラスベレ

52

以上

官内省 貸下品

53

雅	祭	舞	名		
式	典	中	央	御	幕
御	車	寄	御	幕	
正	座		所	既	

表紙共39枚

紀元二千六百年式典建築設備工事

仕様書



●紀元二十六百年式典建築設備工事仕様書

(1) 工事概要

省概要 (1) 工事場所、宮城外苑

(2) 工事種目

(1) 式典新築

概 要	木造平家建 7棟新築		
面積(M ²)	總面積	① 09.60 (275.15坪)	
	内 容	② 46.19	(137.15坪)
	譯 屋	(225.72坪)	
	廻廊	③ 63.41 (49.43坪)	

(2) 附屬建物新築

概 要	木造平家建 1棟新築
面積(M ²)	351.64 (106.37坪)

- (3) 奉祝門 3個所新設
- (4) 参列席 一式新設
- (5) テント張 29棟新設
- (6) 便所 12ヶ所新設
- (7) 棧橋 2ヶ所新設
- (8) 埴 延長四面 一式新設

- 2
- (9) 幕張延長図面ノ通 一式新設
 - (10) 砂利敷 一式新設

構造仕上概要 図面表示ノ通り。

(2) 特別注意事項

損料工事 本工事ハスヘテ損料工事トス。但シ宮内省御貸下岳ニ付キテハ運搬取付取外シ共本工事ニ含ムヲ以テスヘテ指揮ニヨリテナシ毀損汚損セザル様才金ノ注意ヲナスベシ。万一毀損汚損セルトキハ適當ノ處置ヲ命スルヲ以テ異議ナク従フモノトス。

別途工事 電気設備工事、機械設備工事ハ別途工事トス。

上記工事及別途施工中ノ外苑整備工事ハ本工事ト同時施工ナルヲ以テ、別途工事担当者ト工事上ノ打合せヲ充分ニナシ相互支障ヲ生セシメサル様因滑ニ工事ヲ進捗セシムベシ。

構内取締 工事中ハ特ニ従業員ノ言動、衛生、火氣ノ取締ニ注意ヲナシ作業ハ建設

区域内ニ於テナシ其他ノ道路芝生葎ノ土地ハ使用セザルモノトス。

工事用諸材料 工事用諸材料ハナルヘク整頓ニ努メ常ニ不体裁ニ亘ラサル様ニナレ搬入搬入ハ主トシテ内櫻田方面ヨリナスモノトス。

夜警 工事中ハ夜警ヲ置キ工事場内外ヲ巡邏セシムルモノトス。

跡片付 設備使用後ノ跡片付、掃除杭穴其他破損セル箇所ノ復旧等ハ指揮ニヨリ丁寧ニ施エスベシ。

(3) 一般事項

一般事項(共通事項)

材料工法其他 1 材料ハ總テ諸負人ヨリ見本ヲ提出シテ掛官ノ認定ヲ受ケタル後搬入シ検査ヲ受クベシ。但工作仕上等ノ都合上止ムヲ得サル場合ハ掛官ニ申出テ搬入以前ニ検査ヲ受クル事ヲ得。工法及仕上ノ程度等ハ必要ニ依リ模範又ハ見本面ニ依リ豫メ認定ヲ受クベシ。

2 材料、製品、製造所又ハ施工者ヲ

ニ以上指定セル場合ハ請負人ニ於テ其ノ中ヨリ任意選定スルコトヲ得。尚其使用箇所ヲ異ニスル場合ニシテ掛官ノ承認ヲ受ケタルトキハ数種ノモノヲ便分ニ為スコトヲ得。

3 材料・工法其他ハ現場ノ納リ若クハ取合關係ニ依リ多少之ヲ変更スルコトアルレ。但シ此ノ場合ニ於テ請負金額ハ増減セズ

4 若工事ハ豫メ掛官ノ指定シタル工程ニ違レタルトキハ必ス承認ヲ受ケ然ル後次ノ工程ニ着手スヘシ

材料試験 5 「特別注意事項」中ニ記載セル材料ニシテ特記ナキモノノ材質試験ハ当局ニ於テ執行ス。但シ現場ノ事情ニ依リ掛官ノ承認スル公設試験所・学校其他ニ於テ之ヲ執行スルコトヲ得。此ノ場合ニ在リテハ該試験所ノ試験成績表ヲ提出スヘシ。

6 試験試料ハ掛官ニ會ノ上之ヲ採取シ掛官ノ封印又ハ模印ヲ受ケ当局又ハ前記試験所ニ送付スヘシ。

7 当局ニ於テ試験ヲ執行スル場合ニハ其試験費用ハ之ヲ徴收セサルモノトシ試料ノ送付ニ要スル費用ハ請負人ノ負担トス。

8 公設試験所其他ニ於テ試験ヲ執行スル場合ニハ其費用ハ總テ請負人ノ負担トス。

施工 9 主要ナル施工圖ハ当局ヨリ交付スルモ其他ノ必要ナル施工圖ハ請負人ニ於テ遅滞ナク作製シ検査ヲ受クベシ。

養生其他 10 工事施工中並ニ施工済ノ部分ニテ必要アルモノハ順次掛官ノ指揮ニ従ヒ適當材料ヲ以テ養生ヲ施スベシ。

11 気象其他ノ状況ヲ工事實施ニ支障ヲ及ボス虞アル場合ハ其ノ工事ノ施工ヲ一時見合スベシ。

掃除 12 工事場内ハ常に整理シ清潔ヲ保持シ工事完了ト同時ニ建物内外共清掃ヲ為スベシ。

交通仕様訂正其他 13 若交通仕様ハ夫々ニ添付セル注意事項ノ通り之ヲ訂正並ニ加添ヲ為ス

モノトス。

共通仕様中本工事 = 関係ナキ事項ハ之ヲ適用セス。

(4) 準備及仮工事

「準備及仮工事(共通仕様) = ヨリ下記注意事項参照施工スヘシ。」

66M²トス。

掛官詰所
仮 囲

図示ノ通り取設クルモノトシ葎葎張ハ外苑整備工事ノモノ = 準シ本柵ハ後記場 = 準ス。

準備及仮設工事(共通仕様)

・ 障害物處分

- 敷地内ニ在リテ工事に障害トナルヘキモノハ下記ノ通り處分スヘシ。
 - 残存工作物ハ解キ毀チ夫レヨリ生シタル石屑・「コンクリート」塊其他ハ掛官ノ承認ヲ受ケ適宜處分スヘシ。
 - 樹木ハ掛官指定ノ位置ヘ移植スヘシ。但シ掛官ノ承認ヲ受ケタルモノハ之ヲ伐採スルコトヲ得。
 - 根株ハ總テ掘揚ケ適宜處分スヘシ。
 - 古井戸ハ井戸側ヲ掘取り液溜ノ上砂埋トシ、場合ニ依リテハ割栗石及目潰砂利ヲモ加ヘ厚約60 ㎝毎ニ充分搗縮メ埋立ツヘシ。
 - 池・水溜・塵芥溜等ハ液溜シタル上埋立ツヘシ。
 - 其他工事に支障ヲ來タスモノハ掛官ノ指揮ヲ受ケ總テ適當ニ處分スヘシ。

・ 假 囲

掛官詰所及
工事用下小
屋其他

- 假囲ハ掛官ノ指揮ニ從ヒ取設クヘシ。
- 掛官詰所ハ下記床面積ヲ標準トシ、給水・電燈其他ノ設備共掛官ノ指揮ニ從ヒ取設クヘシ。

甲 種	165 平方米
乙 種	100 平方米
丙 種	33 平方米
- 事務室ニハ必要ニ應シ書箱・卓子・椅子・圓板・寒暖計・消火器・暖爐・掛時計等ヲ設備スヘシ。
- 小使室及宿直室ハ東立床疊敷ト爲スヘシ。
- 請負人事務所・工作小屋・材料置場・職工休憩所・便所等必要ナル假設物ハ適當ナル箇所ヲ選定シ掛官ノ承認ヲ受ケ取設クルモノトシ、屋根ハ不燃質材料ヲ以テ覆存スヘシ。
- 火氣ヲ使用スル場所・「ペイント」・油等ノ可燃性物ヲ貯藏スル場所ハ不燃質材料ヲ以テ圍ヒ、「セメント」・石灰等ノ貯藏所ハ防濕構造ト爲シ、砂及砂利置場ハ必要ニ應シ土其他雜物ノ混入セサル様圍ヒラ設ケ地面ニハ適當ノ設備ヲ爲スヘシ。

・繩張遺形

・足代、棧橋
其他

・給電設備

・給水設備

・排水設備

・機械設備

・危険防止設備

・消火設備

・經費負擔

・假設物及諸
設備取拂

- 8 敷地内ニ前記各假設物ヲ取設クヘキ適當ノ餘地ナキ場合ハ掛官ノ承認ヲ受テ現場附近ニ適當ノ地場ヲ選ミ取設クヘシ。但シ其地場ノ借入ニ關スル一切ノ件ハ請負者ニ於テ處理スヘシ。
- 9 繩張ハ掛官立會ノ下ニ之ヲ行フヘシ。
- 10 遺形ハ掛官ノ指揮ニ從ヒ所要ノ位置ニ正確堅牢ニ取設ク垂直・水平ノ規準ヲ明瞭ニ標示シ常ニ其檢査ヲ行ヒ不正ノ箇所ハ掛官ノ立會ヲ受テ直ニ修正スヘシ。尚適當ノ位置ニ正確ナル「ベンチ・マーク」ヲ標示スヘシ。
- 11 各種工事用足代・棧橋・墮棚・渡り足場等ハ堅牢ニ取設ク必要ニ應シ手摺及止り止ノ類ヲ附加シ工事ノ進行ニ伴ヒ掛ケ拂ヒヲ爲スモノトシ常ニ維持保存ニ注意スヘシ。
- 12 建地・布・筋造・控其他ノ各材ハ適當ナル強度ヲ有スル長丸太又ハ角材トシ歩ミ板・棚板等ハ相當ノ厚サヲ有スル容板類ヲ使用スヘシ。
- 13 組立足代・張出シ足代・釣移動足代等特殊ノモノニ在リテハ豫メ其構造圖及仕様書又ハ見本ヲ以テ掛官ノ承認ヲ受ケタル適當ノモノヲ使用スヘシ。
- 14 工事用動力・電燈等必要ナル電氣設備ハ電氣工作物規程及電氣供給會社ノ規程ニ依リ請負者ニ於テ其手續及取設ヲ爲スヘシ。
- 15 工事用水及飲用水ニ關シテハ請負者ニ於テ之カ設備ヲ爲スヘシ。
- 16 敷地内ニハ適當ナル假排水設備ヲ爲スヘシ。
- 17 工事ニ必要ナル諸機械設備ヲ爲ス場合ハ各其取締規則ニ從ヒ掛官ノ承認ヲ受ケ取設ク常ニ手入ヲ行ヒ故障危險ノ虞等ナカラシムヘシ。
- 18 道路及隣家ニ接シテ工事ヲ爲ス場合ハ其進行ニ伴ヒ危險ナカラシムル様適當ノ方法ヲ講シ、且墜落物其他ノ危險ヲ避クル爲メ掛官ノ承認スル鐵網張・覆簀張等ヲ爲スヘシ。
- 19 構内ノ通行路及假門ノ附近其他ニハ必要ニ應シ電燈ヲ設置スヘシ。
- 20 掛官ニ於テ必要ト認マル場合ニハ消火設備ヲ爲スヘシ。
- 21 以上ノ諸設備ニ要スル費用ハ請負者ノ負擔トス。
- 22 各假設物及諸設備ハ其使用終了ト共ニ順次ニ取拂ヒ跡穴ハ完全ニ埋戻シ、便所跡等ノ汚染シタル土砂ハ取捨テ清淨ナルモノト入替ヘ敷均スヘシ。

(5) 式典反附屬建物建築工事

(a) 土工事(砂利敷共)

廻廊周囲

式典廻廊周囲ハ一段高クシ見切ニ石又ハ「コンクリートブロック」ヲ据ヘ其レヨリ内部ニ砂利敷ヲ爲スモノトス。砂利敷ハ土ノ見エ隠レル程度ニテ差支ヘナレ。

780
スル
上、
135
ニシ
トス
定ム
受ク
嵌メ
ル胴
：壁錘
ハシ
質ノ硬
掛官ト
スル事
〇〇耗

(四) 基礎工事

木杭地業

場所及材料 式殿各柱下及床束下

式殿中央部各柱下ニ使用スル杭ハ^和780
耗長2^m700以上、両翼ニ使用スル
分ハ木口150耗長2^m700以上、
式殿各床束下ニ使用スル分ハ木口135
耗長1^m200以上トス。松丸太ニシ
テ長1;50以上ノ面リナキモノトス。

工法及用具

- 杭ノ打込ニ先タチ杭ノ位置ヲ定ムルタメ小杭ヲ打チ掛官ノ検査ヲ受クヘシ。
- 杭ハ大節ヲ割り杭頭ニハ鉄輪ヲ嵌メ小端ハ地質ノ硬軟ニ応じ適當ナル胴着付ニ尖入ヘシ。
- 杭ハ位置ヲ正シク垂直ニ建込ニ墜錘ヲ以テ「軋ヒ」ナキ様打込ムヘシ。
- 錘ノ重量及打込用具ハ此ノ地質ノ硬軟ニ応じ適當ナルモノヲ選ビ掛官ト打合セ承認ヲ得タル後、使用スル事。
- 打止メハ杭頭仕上地盤ヨリ200耗出ヲ要ス。

- 打止メハ掛官ノ許可ヲ受クヘシ。
- 打止メ其他掛官ニ於テ必要ト認メタルトキハ杭ノ沉下及錘ノ落高ヲ測定スヘシ。尚測定回数ハ掛官ノ指揮ニ依ルモノトス。
- 打込ミタル杭ノ頭部ハ水平ニ切揃フヘシ。

六五砂利目潰シ地業

場所
材料反工法

式殿廻廊東下反階段下、附属建物各柱下及床下六五砂利目潰シ砂利(目潰砂利ハ切込砂利)ヲ混シタルモノヲ厚約ノケ〇程度ニ填充シ下記ノ搦固用具ヲ以テ充分ニ搦固ムヘシ。地盤軟弱ノ為ニ陸ヲ生シタル部分ハ五砂利反目潰シ砂利ヲ入込ミ追突ヲ為シ上バヲ平坦ニ仕上クヘシ。搦固用具ノ重量及引上高ハ下表ノ通りトス。

柱下真棒 110 kg 内外(30貫内納)
引上高 1m 以上

床下脚ケケ柱内外(15貫以内)
400 mm 以上、但シ床下同 砂利

ノ厚サハ100mm程度トス

「コンクリートブロック」又ハ大石ヲ据ヘ

以上ノ地業ヲナレタル各柱下ニハ凹ホノ「コンクリートブロック」又ハ大石ヲ「ブロック」ヲ据置クモノトス。床下下ハ玉石又ハ「コンクリートブロック」ヲ据エル事、(「コンクリートブロック」ハ「セメント」1、砂2、砂利3ノ割合品トス)現場打ニテモ差支ナシ。

ハ) 木工事
一般事項

材質其他。構造材ハ松又ハ杉ニ等並(凡太ハ三
等)腐、腐蝕、朽了、換れ、左切れ
其他耐力^{影響}及ボサナル程
度ノ缺欠ハ之ヲ認容ス。又見工隠
レトナル部分ニハ耐力ニ差支ヘ無キ
限リ^{樹種}用スル^ニ認ム。亦トス。
①^{構造材}ハ杉ニ等小節トス。構造材中
造作材ヲ兼ネルモノハ造作材ト見ナ
ス。

②^{附屬建物中}便殿、皇族、内室ノ張
付柱、長押、天井格、廻縁、建具材
ノ類ハ特ニ見工掛リ面ニハ節ヲ表ハ
カハル様ナリ影ニ成リ見立タサル部
分ニハ刃少ノ節ハ表ハルモノ差支大
ナレ。

材質ハ檢又ハ「ツカ」ニシテ充分乾
燥セル良材トス。

③^{附屬建物}以上ノ名室ヲ除キタル
部分ノ内玄關玄間、廊下、御次室等
ハ成ルハ見工掛リ部分ハ無節トス。

① 毛ノヲ小節材中ヨリ選ヒ使用スル
事、材質ハ杉材トス。以上^{小節}造作材
及板類ハ総テ心去材トス。

- 乾燥造作材中特ニ乾燥ヲ必要ト認メ
タル場合ハ棧積、林玄、其他適者ナ
ル方法ヲ講ゼシムル事アリ。
- 造作材ノ目違接ハ見エ掛リ材ニ限リ
隠シ目違入レトス。
- 板類ニ打付ヘキ釘ノ長サハ木厚ノ2.5
倍程度トシ特ニ必要ナレト認メタル
場所ニ使用スル分ハ掛官ノ承認ヲ得
テ木厚ノ2倍迄ハ減スル事ヲ得
- 継及逆目釘ハ市販賣品トシ継ノ爪長
及逆目釘ハ長サハ4ヶ程以上トシ大
サ等ハ掛官ノ承認ヲ經タルモノヲ用
フヘシ。但シ逆目釘ハ足長ノ $\frac{2}{3}$ 以上
ハ逆目附トス。
- 羽梁板「ボールド」ハ丸鋼ヲ板鋼ニ
「孤しめ」附ケタル物ヲ用ヒ短冊鉄
其ノ大サ形状及之レニ附属スヘキ締
付「ボールド」逆目釘ノ大サ員數配
置等ハ図示又ハ掛官ノ指揮ニ仍ルヘ

木材使用上
ノ注意

シ。
。土名、桁類其他、角材ヲ長ク接伸シ
使用スル場合ハ構造上缺角ヲ及ホス
如キ短材ヲ〇〇耗以下ヲ使用スヘカ
ラス。但シ接伸シノ結果最端部ノミ
ハ其ノ場合ニ志シ之レヲ認ム。

。這掛接、各持接等ハ接手ノ長サハ其
ノ材ノせいノ2.5倍トス。但シ場
所ニヨリ掛官ノ認メタル場合ニハ多
少縮少スル事ヲ得。

。綱、栓、楔、太柄、實柄、合決り、
等ノ掛り代、又ハ大人小穴入等ノ深
サハ明示ナキ限り掛官ノ指揮ニヨル
ヘレ。

板類ノ取付

。板類ノ取付ハ受材ト並行セル場合ハ
間隔々50耗乃至600耗内外其他
ノ場合ニ於テモ其ノ場所ニ志シ掛官
打合セ決定ノ事尚木摺板、目板等小
巾ノモノニカリテハ木巾ニ本打ト
ス。

木材ヲ貫通
スル「ホルト」
孔ノ径

。「ホルト」孔ノ径ハ「ホルト」径ヨリ
約2耗以上短冊鉄又ハ羽子板「ホル

ト」ノ板鋼部ニ穿通スル孔ハ「ホルト」
ト」径ヨリ約2耗以上大ナラシムヘ
カラス。

設備工事用
器具取付下
地

。電灯、便器、洗面器等ヲ取付ケル部
分ニハ取付ニ必要ナル下地並ニ補強
構造等ヲ施エスヘレ。

木材ノ鉋削

。木材ノ見工掛り部分ハ總テ換孔不陸
等ナク其ノ場合ノ等級ニ志シ適当ノ
鉋削リ仕上ケトシ見工隠レ部ト雖モ
其ノ場所ノ關係上平坦且通リヨキヲ
要スル部分及矧付面ニ有リテハ鉋削
リヲ為サシムル事有リ。

組 組

士 合
(式 殿)

継手、添木ヲ当テ「ホルト」締
メ、添木ハ掛官ノ認ムル範圍ニ於
テ適当ナル材ヲ選ビ差支ヘナレ。
杭トノ取合 図示ノ位置ニ鋸ヲ打杭
頭ニ永平ニ取付クルモノトス。(
仕様附図参照) 樫ハ出束合岳ニテ
差支ヘナキモ掛官ノ承認ヲ要ス。
火打土急トノ取合 図示ノ位置ニ取
付「ホルト」締メ。

(附属建物) 継手、柱位置ヲ避ケ添木ヲ当テ「ボ-ルト」締メ。

隅角仕口小根柵打抜割楔締、十字、丁字形取合仕口、上端平坦=腰掛各隅=火打形=鋸打。

段違取合口 重木掛「ボ-ルト」締其ノ場所=ヨリテハ鋸打程度=テモ差支ナシ。

火打去多 斜胴着込込「ボ-ルト」

柱 (式殿) 去多トノ取合 (仕様附図) = 依ル。但し一本建ノ分ハ附属建物ノ分=依ル。

(附属建物) 去台トノ取合 短柵差下部之面=鋸打。
(式及附) 受梁及小屋梁トノ取合 短柵差ノ上羽子板「ボ-ルト」締逐目釘打。

隅 (式殿) 柱 隅檣木トノ取合 仕様附図=依ル。
間 (式及附) 柱 上下受木 取合 両面ヨリ釘打又ハ短柵差ノ上釘打ケ所=依リ横木=大釘打取付。

胴 (式殿) 繋 柱トノ取合「カタギ」入短柵差ニニ面=鋸打。

筋 (式及附) 違 上下受木、取合 斜胴着短柵又ハ缺込ニ

ニナシ釘又ハ鋸止メ。

火打梁 (式及附) 深、折、取合 側面取合ハ斜胴着「カタギ」柵差上端取合ハ梁ニ掛ケ各「ボ-ルト」締メ。

才 杖 (式及附) 深、柱 斜胴着「カタギ」柵差「ボ-ルト」締メ。

敷 (式) 桁 柱其他ノ取合 仕様附図=依リ「ボ-ルト」締メ等ヲナス。

継手、柱位置ヲ避ケ適當ナル添木ヲ当テ「ボ-ルト」締メトス。(ボ-ルトハ四本)

(附) 柱位置ヲ避ケ追掛、名持(セイノ異ナル場合) 継何レモ大柱之本打

(附) 隅柱取合 「カタギ」陰入短柵差、鋸打、

軒 (式及附) 桁 継手 梁上=テ腰掛蟻継上端=鋸打
敷桁ノナキ部分ハ前記敷桁=準ス
深トノ取合 渡、腕、隅角大出、深際=テ敷桁へ「ボ-ルト」締、処=ヨリ掛官ノ指揮=従ヒ鋸止メ。

間仕切桁 (附) 継手柱位置ヲ避ケ腰掛蟻継、上端=鋸打。

柱トノ取合 「カタギ」入短桁差、之面=鋸打又ハ工形短冊鉄ヲ当テ目釘打。

上端平坦ナル場合 腰掛蟻上ト=鋸打、十字取合 渡腿、丁字取合、二り腿、各釘打。

(段違大ナル場合) 手置鋸2本打。

欄窓名 (附)

柱其他ノ取合 「カタギ」陰入レ短桁差、之面=鋸打。

小屋組(式敷) 洋式和器用

陸 深継手 真束ノ両側=胴着=ナシ(真束ヲ挟ミテ) 両面ヨリ図示ノ如ク添木ヲ当テ「ボールド」締メ=ナス。

敷桁トノ取合 渡腿、結合金物ハ敷桁ヲ挟ミ柱ヨリ短冊金物ヲ用ヒ「ボールド」締メ図示ノ通り。

合 掌 真束取合 斜胴着「ワナギ」込2面=短冊鉄ヲ当テ「ボールド」締メ。

陸 深取合 斜胴着「ワナギ」込「ボールド」締。

真 束 上部棟迄延シ、上部「ワナギ」込ニ桁付、下部図示ノ通り陸深下部ハ延

シ左右ヨリ陸深ヲ胴付ニナシ、両面ヨリ添木ヲナシ「ボールド」締

挟釣束 上下共取合材ヲ缺込ニ各「ボールド」締

才杖 上下共取合材=斜胴着「カタギ」桁差之面=鋸打。

深 繫 深トノ取合 渡腿

束トノ取合 「ボールド」締メ。

桁行筋違 束=添付 「ボールド」締メ。

棟 木 継手 束位置ヲ避ケ追掛継キ大柱2本打

母 屋 継手 桔木上=テ何レモ腰掛蟻継、上端=鋸打束立ノ場所ハ和式小屋=準ス。

東 母屋取合 短桁差ニ面=鋸止メ下部ハ合掌上端ニ流シタル流木(束受)ヲ束当リ缺込ニ短桁差上ニ鋸両面打軒先廻リハ四面ノ通り桔木ヲ束当リ缺込ニ同上。

流 木 二掌上端ハ流「ボールド」締メ。

(束受) 桔 木 中央部受木及軒桁当リ缺込ニ軒桁ハ「ボールド」締メ、受木ニハ「ボ

「ルト」締メ、小屋組 = 流ス場合
ハ木当リ「ポールト」締メ、何レ
モ図面参照。算盤負木受深木
ヲ図面通り「ポールト」締メトナ
ス。

隅 木 継手 腰掛蟻継、上端 = 鋸打。
母屋取合ハ渡腮、鋸打取付上端「シノ
ギ」削リ。

谷 木 継手 其他隅木 = 準シ上ハ「ヤゲン」彫
ヲ要ス。

檼 木 継手 母屋上 = 「リキ」継キ釘打。
隅木、谷木 = 彫込其他 = 乗セ掛ケ。

他檼榑木 受木 = ハ大釘又ハ鋸打。

破風板 図面ノ通り上増付 = 爲シ拜ミ合セハ目
違ハ裏面 = 吸付様付、現寸図 = 依
リ母屋其他へノ取付等掛官ノ承認
ヲ得ルコト。

懸 奥 現寸図 = 依リ破風下端 = 取付。

茅葺板木 榑木取合裏ニテ目違、枘付ク隅ハ大目
目違、枘付榑木へ「ポールト」締
メ。

面戸板 檼ニハ、小穴入 = ナサス釘打取付。

軒裏化粧板 檼上バへ、乗セ掛ケ釘打継手榑木裏 =
ラ突着 = ナサス板ハベニヤ板ヲ用ス。

和式小屋(附属建物)

小屋梁 継手受木上=各持継、「ホルト」之本筋、敷桁トノ取合、渡臈=ナシ「ホルト」締メ(敷桁ノ項参照)
 軒桁トノ取合、鬼蟻 羽子板「ホルト」締 小屋梁、火打梁取合、渡臈、手遣之本打。
 火打梁取合軸組(火打梁)ノ項参照
 枚掛梁 敷梁又ハ仕切桁=渡臈継両面打場所ニヨリテ「ホルト」締メニナスコトアリ。
 火打梁 斜胴着短桁又ハ二付臈掛ケ「ホルト」締メ
 隅 梁 火打梁=渡り臈「ホルト」締メ敷桁=矢筈渡り掛ケ軒桁=ヲ押へ梁へ両側=ヲ軒桁ト敷桁=ヲ押へ両側=ヲ軒桁ト敷桁ヲ「ホルト」締メ上ニ短桁共玉短桁両面ヨリ継打
 棟 桁 右材=渡り鉄キ釘打
 梁上=ヲ腰掛蟻継梁上=ナラサル所ハ柱位置避ケ追掛大柱=本打
 梁トノ取合、渡り臈「ホルト」締

東筋軒

x.

隅梁上=仕掛ケル場合ハ大当渡り臈丁形取合ノトキハ蔭入シ蟻掛上端ヨリ継打
 母 屋 梁上又ハ束上=ヲ腰掛蟻継上端=継打
 梁トノ取合ハ渡り臈掛、束=取合フトキハ載セ置キ何シモ継打化粧破風板付ハ跳柄付
 棟 木 束上=ヲ腰掛蟻継継打、束初=載セ掛ケ丁形取合ハ蔭入シ蟻掛継打
 隅 木 腰掛蟻継継打、極当り彫込ニ母屋其他=渡り臈掛ケ棟木=腰掛ケ若木当り大釘打
 谷 木 継手腰掛蟻継継打母屋其他=渡り臈極当り「ヤゲン」彫ヲナシ若木当り大釘打
 棟 木 式殿=準ス
 棟 掛 柱真=ヲ隠目遣継、棟当り彫込ニ柱=襟輪缺キ面柱其他=ハ缺込ニ釘打
 破風板 現寸図=依り上ニ増付=為シ拜ミ合セハ目置入シ裏面=吸付棧付、箒桧

締。

懸 魚 現寸四 = 依り破風下端 = 取付
 茅 負 榑真 = 目違枘付、隅八大当目違枘付。
 広小舞 目違枘付隅八大当目違枘付、茅負
 上バ = 釘打
 軒化粧裏板 ベ = ヤ板ヲ用ヒ極上 = 釘打

屋根葺工事

野地板 中貫(12×8)ヲ120²(4サ)マ = 極木当リ釘打
 化粧棟 板割ヲ用ヒ四示ノ通り箱形 = 組三雨
 仕舞ヨク棟木 = 釘打取付
 松皮葺 ^{下地}足及大サ重ネ葺仕様書附四ニ依リ
 雨漏レ無ク葺上クルコト (付)

床張工事

床板 継手傍ハ突矧、接手ハ根太真 = 胴着接表面ヨリ釘打(板巾180程度板巾 = 付釘三木打)濡縁床板モ之シ = 準ス。
 柱トノ取右其他四面 = 依ル。

室内壁及窓出入口廻り其他

内外巾木 (式) 柱間通シ物ヲ用ヒ柱間及柱脇受木当リ = 釘打取付
 (付) 継手目違継出角ハ見付大当×蔭 = ヲ組合セ入隅ハ上端角×襟輪付 = 為シ見工隠シヨリ釘打450(一尺五寸)

内外
鴨居
(式)

コ) 内外 = 釘打若シクハ小手違鉸打
柱左右 = 短柄付又ハ斜朋差 = 切込工
形金物ヲ用ヒ逆目釘打中矢釣リ束ハ
ハ釣鉄物ヲ用ヒ取付。

(附)

大壁ノ構造ノ為出入口枠同断トス。

内外

附鴨居
(式)(附)

柱其他受木当リ切込見工隠レヨリ忍
釘打

内外

長押
(式)(附)

柱間通シ物ヲ用ヒ継手ハ柱中央 = フ
目違入レ出角ハ大出蔭 = フ組合セ入
隅ハ下端大出メ柱又ハ束 = 裸輪鉄キ
= 為シ鴨居 = 密着 = 上端ナルバク見
工隠レヨク柱間柱 = 釘打取付、(附
)ハ釘ヲ表ハサハル事

沓
(附) 摺

釘打片才目違入レ摺込ニ忍ヒ釘打ト
シ外廻リハ内仕舞ヨキ工法トス。

出入口枠
(附)

枠ノ上ハ堅枠ヲ裸輪付 = 枚小根柄打
抜柄割楔締メトス。枠ノ取付ハ建具
ヲ籤メス鴨居 = 見セル処ハ堅枠ヲ延
バレ其他ノ処ハ上下ノ枠ヲ角柄 = 延
バレヲ軸材 = 切込ニ忍ヒ釘止メ枠裏

窓
(附) 枠

= 櫻銅ヒ忍ヒ釘止メ

出入口枠 = 準シ内仕舞ヨク工作取付

額
縁

額縁ハ隅見付大出違入レ流付ハ小尺
入レ忍ヒ釘打釘頭ヲ沈メ打、下部額
縁ハ柱間 = 切込ニ見工隠レヨリ忍ヒ
釘打

壁下地及壁貼工事

凍喰塗下地
(式)(附)

内外共「ヨリス」太キ大夫ナルモノ
ヲ使用シ間柱当リ = 割竹ヲ当ラ表面
ヨリ釘打釘ノ間隔ハノ50(5寸)
以内トス

紙貼下地
(式)

外部タイカゴニドヲ用ヒ間柱及本柱
脇受木 = 釘打取付(釘ノ間隔ハ90
程度トス)

紙貼下地
(附)

杉厚6程(四分板)(小巾モノ)ヲ釘
打張

羽目板張
(式)(附)

外部(式)ハ裏面(附)ハ軒下凍喰
仕上ノ部分ヲ隔キタル塗体図示ノ
寸法ヲ(杉六分板)ヲ以テ間柱当リ
釘打張

ベニヤ板張
外部(式)

濡縁下ト式敷床下界間柱及柱脇受木

目板羽目
(付)

きり釘打張トス。
羽目板形6耗厚(六分板)ヲ傍削り
合セ釘打張り目板ハ巾揃へ釘打羽目
板ノ周囲四分一押縁打廻シ(目板ハ
9耗厚(六分板)ヲ用フ。

夕カボード
及ベニヤ板
(付)

傍突着=張合セ図示ノ如ク継目=押
縁止トス。釘ノ間隔ハノナ〇程度ト
ス。

壁幕張

局寸色幕ヲ繋ぎニ枳實指テ
継目所ニ則絞リ付ケル

天井下地及天井張工事

釣木受木
(式) (附)

継木受木真ニラ合蹴キ継ヲ〇〇(三
尺)内外ニ割合セ配リ若木若リ手違
鋸打

釣木
(式) (附)

三尺マ内外ニ割合セ配リ野縁若リ片
蟻釘打

野縁受木
(式) (附)

継手「イヌ」継ヲ〇〇(三尺)内外
外ニ割合セ配リ野縁ト交叉部ハ小
鋸=丁打

野縁
(式) (附)

野縁ハ野縁受木ノ位置ヲ避ケ継手ヲ
取設ケルコト

各種天井廻縁
(式) (附)

継手突着目違継図面ニ依リ面取り隅
ハ裸輪付見付大箇上端ヨリ釘又ハ鋸
ヲ以テ柱及間柱ニ取付見工隠シヨリ
釘打

格天井格縁
(式) (附)

図面ニ依リ面取り廻縁付及交叉部ハ
短柄付小鋸打(式)折上天井隅登木
其他ノ工法ハ現ケ図引付ケ仕口其他
ノ決定ヲ受ケ施工ニ取掛ルコト

天井板
(式)

天井板ハ「ベニヤ」板裏様付ヲ用ヒ
各格毎ニ上節ヨリ落レ込ニ押縁止メ
トナシ

天井紙貼下地(附)

格ノ部分ハベニマ板張り、平ノ部分ハ(壁)紙貼リ下地ニ準ス。

天井幕張

全スツ自纏子程及押縁止外ハ掛官指揮ニ依リ張廻ス。

手摺

廻廊手摺及階段
図面ニ依リ現寸図ノ引付ケ各部分ノ大サ及仕口ヲ程度ト外觀ヲ損セサル程度ニ於テ簡易ノ方法ヲ以テ施エスルコト(掛官ト打合セ承認ヲ受クルコト)

階段(三)(附)

図面ノ通り中央部ハ力桁ニ三角型ノ厚板受木ヲ大釘打取付左右階段側面ニハ真物ヲ用ヒ筋桁上ハヨリ大釘打及鋸葉ヲ以テ取付クルコト(仕様附図参照)

階段筋桁

左右柱間ニハ切込ニ固柱多リ切込ニ受深多リハ切込ニノ上羽子板「ホルト」締メ。

力桁

段板多リ三角型板ヲ大釘打力桁ニ取付、上下目違入シ張込ニ取付。

段板

裏棧々50mm間内外ニ受木多リ大釘打

階込板(附)

階込板ハ段板ハ廻着受木ニ大釘打筋桁

親柱(附)

当リ大ハシ楔銅ニ拔止釘打
恰好図示ニ倣ヒ木造リ筋桁鼻ニ蟻港シニナレ下部受木其他ニ枘差シ。

手摺(附)

手摺ノ笠木ハ柱及親柱ヘ、突着ハ大枘差枘差摺手摺手ノ上ホ太枘差枘差ニ一本置キ込枘差シ込栓打。

出入口及
堅建具用材
(附)

(二) 建具工事

便殿及御次室、室族室

以上三室 = 使用スル分ハ松製 = 等無
節材他ノ部分ハ杉 = 等上小節材程度
トシ、向シモ漬去リ乾燥セルモノト
ス。

建具ノ櫃棧組子其他ノ大サ反形状板
類ノ厚サ等ハ現寸図ニ依ルベシヤ板
(便殿外 = 室ノ分) ハ厚板ノ枚知厚
9mm以上ノモノヲ = 枚合セトオス。
但シ巾板ヲ「=カワ」其他ノモノ
ニラ知合セ一枚モノトナシ使用スル
モ差支ナシ。其他ノパネル板ハ厚サ
mm以上ノモノニ枚合セトス。外部 =
面スル建具 = ハ「ベシヤ」板ヲ使用
セサルモノトス。

工 法

縦樫ト上下櫃ノ取合ハ小根打抜枘
横棧ハ打抜枘其他ハ差込枘トシ打抜
枘ハ割楔締トス。

硝子決リハ 6mm位トシ横棧ヲ通シ他
ヲ合差シ面打箇メトナス。

両開キ戸 = ハ名合セ定規縁ヲ取付ケ

組立 = 隙シテハ豫メ仮組立ヲナシ換
シ在シ目違等ヲ正シ本組立 = ハ膠着
劑ヲ使用スルモノトス。

窓引違建具ノ嵌合セハ縦櫃ノ上部ヲ
延置鴨居ニ上置彫ヲナシ其ノ筋分ヨ
リ嵌込ムベシ。本建具建具ハ硝子
押縁止メトス。

建具種類
(附)

便殿、両開キ板戸及片開キ板戸

御次室、片開キ板戸

室族室、両開キ及片開キ板戸

御手洗、片開キ腰付硝子戸

供奉員室 左 上

室族随員室 左 上

豫備室 左 上

配膳室、引違ヒ腰付硝子戸

供進室、 左 上

堅木レール
及ニリ木
(附)

引違硝子戸 = ハ敷居 = 堅木レールヲ

建具 = 同ニリ木ヲ各木ネヂ止メ = 取
付ル事

附属金物其他

建具 = ハ附属金物其他一切ヲ具備セシムベシ。

建具金物ハ市場出末合形ノモノトシ見本品 = 依リ決定ヲ得ル事。但シ(便殿、御次室、皇族室ノ御手洗室 = 取付ノ鏡及蝶番ハ特ニ上等品ヲ使用スルコト)

(六) 硝子工事

出入口建具

窓引建具

窓引建具

窓引建具

厚 3mm 硝子ハ正確 = 切り室内ノ分ハ日本紙ヲ二重 = 貼り付ケ押縁止メ付ケ「L」パテヲ押ハ「L」鏡引付止メス。便殿 = 御次室分全辯鏡 = 硝子掛ケ所其他ノ掛入所ニハ鏡引付止メ又、付ケ便殿、御次室、皇族室ノ準及厚 3mm 鏡引建具ハ厚 5mm 鏡引建具共ニ用テ止メ付ケハ以上ノ「L」パテヲ押ハ = 準ス。

(八) 右ノ官工事

モルタル
塗り調合

喰
塗材

「モルタル」塗部分ノ調合ハ「セメント」1 砂 3、(容積比)トス。灰類及「セメント」、砂、水、角又、苧、下ケ等ハ普通品程度ヲ用ヒ各見本品 = 依リ決定ヲ受ケルコト。

配合

種別	下塗層	中塗層	上塗層
セメント (kg)		2.8	
石灰 (kg)	乙種 180	乙種 180	甲種 90
貝灰 (kg)			90
角又類 (kg)	4.5	4.5	3.4
苧 (kg)	油床苧 4.5	全 4.1	上床苧 3.2
砂 (kg)	9	3.6	9.0
塗厚 (mm)	2.0	2.0	5.5

石灰及貝灰ハ完全 = 「フカ」セルモノ = シテ下記ノ種類 = 分ツ。

種別	石灰分 (重量%)	粒位
石灰甲種 (純白)	95以上	70番篩ヲ95%以上 通過
乙種 (白又小黒)	85以上	35番篩ヲ95%以上 通過

備考

前記石灰分ハ水酸化石灰、炭酸化石灰及硫酸石灰ノ含量ヲ謂フ、篩ノ大サ70番ハ0.2ノ粒、35番ハ0.1ノ粒トス。

塗方

下々等ハ歩ミ35粒間内外ニ千鳥ニ下塗後直ニ差込ニ下塗面ト斑直下附面ニ各半量死扇形ニ散ラレ摺込ム。

前記配合表ノ各層ハ下附上附ノ一回ニ塗付クヘシ。

下塗層ハ下地面ニ充分摺込ニ裏面ニ喰ミ出ス迄塗付クヘシ。

中塗層以下各層ハ其ノ下地ノ乾燥セル後塗付クヘシ。上塗層ニ在リテハ中塗層ノ生乾燥程度ヲ見計ヒ施エヌベシ。

石膏工事ノ部分

式殿内外ノ丸柱、見エ御リ部、(背面向堅柱ハ除ク)各釘隠反勾欄ニ取付ク擬宝珠出入口「カーラー」釣り棒ノ一部屋根棟ノ鬼板等型抜キニナシ骨組等掛官ノ指揮ニ従ヒ施エスルモノトス。

本工事ノ手間、模様、取付等直管トナスモ之レニ要スル總テノ材料ハ諸貴人ノ負担トス。

塗 装 工 事

36

油性「ペ
イント」塗
り箇所

式殿内外、見工掛り部全体及御手洗
室内部見工掛り全体

油性「ペ
イント」型置
キ仕上

式殿中央部天板「ペイント」塗
王座(段)周囲布張ノ上

~~油性「ペ
イント」塗
り箇所~~

~~式殿内部壁布貼面全体~~

~~油性「ペ
イント」塗
り箇所~~

~~式殿内部壁布貼面全体~~

~~但心両翼部ハ簡單ナルモノナリ~~

以上ノ外油性
「ペイント」及「エ
ナメル」ニテ
仕上スル
部分

内外部石膏部分(石膏工事、部を照
)油性「ペイント」塗 紙製格天井ノ
鍍金具及出入口「カーテン」釣り棒
ノ木部等ハ色見本塗リニ依リ決定ヲ
受ケ(エナメル)仕上トナスコト。

(油 1)

普通油性「ペイント」塗(共通仕様・丙号)

。材 料
塗装用
「ペイント」

1. 普通油性「ペイント」塗ニハ掛官ノ承認スル製造所ノ調合「ペイント」及「さび止塗料」ヲ使用スルモノトス。
2. 調合「ペイント」ハ塗装ニ際シ適當ナル篩又ハ布ヲ以テ濾過スヘシ。

。工 法
塗回数

3. 普通油性「ペイント」塗ノ塗回数ハ特記ナキ限り木部ハ3回塗、鉄部ハさび止塗料2回塗ノ上ニ2回塗トス。

4. 下地ハ塗装前總テ良ク清掃スヘシ。
5. 下地持ハ鉄材面ハ針金刷毛及布等ニテさび落シヲ為シ、木材面ハ紙削ヲ以テ鑿足、蛇境等ナク「面用ド」ヲ丸メサル様平阻ニ摺均スヘシ。

。篩 止

6. 木部ノ篩ニハ篩止料「セラックワニス」(黄色陀ラツク1ガヲ「アルコール」4ガニ溶解シタルモノ)ヲ2回塗布スヘシ。

「パテ」
。飼

7. 木部ノ間隙、穴及割れ等ハ「パテ」

塗 装 工 事

36

油性「ペイ
ント」塗リ箇所

式殿内外、見工掛リ部全体及御手洗
室内部見工掛リ全体

油性「ペイ
ント」型置
キ仕上

式殿内部天井「石膏」部全体
玉座（段）周囲布張ノ上

漆具仕
上

式殿内部壁布貼面全体

漆具仕
上

式殿内部壁布貼面全体

但心両翼部ハ簡單ナルモノトス

以上、外油性
「ペイ
ント」及「
エナメル」ニテ
仕上スル
部分

内外部石膏部分（石膏工事、部を照
）油性「ペイ
ント」塗 紙製格天井ノ
鍍金具及出入口「カーテン」釣り棒
ノ木部等ハ色見本塗リニ依リ決定ヲ
受ケ（エナメル）仕上トナスコト。

(油 1)

普通油性「ペイ
ント」塗(共通仕様・丙号)

材 料

塗 装 用
「ペイ
ント」

1. 普通油性「ペイ
ント」塗 = ハ掛官
ノ承認スル製造所「調合ペイ
ント」及
「さび止塗料」ヲ使用スルモノトス。
2. 調合「ペイ
ント」ハ塗装 = 際ニ適
当ナル篩又ハ布ヲ以テ濾過スヘシ。

工 法

塗 回 数

3. 普通油性「ペイ
ント」塗ノ塗回数
ハ特記ナキ限り木部ハ3回塗、鉄部
ハさび止塗料2回塗ノ上ニ2回塗ト
ス。

4. 下地ハ塗装前總テ良ク清掃スヘシ。

5. 下地將ハ鉄材面ハ針金刷毛及布鯨
ニテさび落シヲ為シ、木材面ハ紙篩
ヲ以テ鑿足、鉋境等ナク「面用ド」
ヲ丸トサル様平坦ニ摺均スヘシ。

節 止

6. 木部ノ節 = ハ節止料「セラクワ =
ス」(黄色ニラツルモノ)ヲ「アルコー
ル」4g = 塔解シタルモノ)ヲ2回塗
布スヘシ。

「パ
テ

餉

7. 木部ノ間隙、穴及割れ等ハ「パテ

(油 2)

- 1. 下地 (製造所ハ普通油性「ペイント」ヲ用スルモノトシテ、
ニテ、
2. 下地ハ「ペイント」ヲ用シテ、
3. 下地ハ「ペイント」ヲ用シテ、
4. 下地ハ「ペイント」ヲ用シテ、
5. 下地ハ「ペイント」ヲ用シテ、
6. 下地ハ「ペイント」ヲ用シテ、
7. 下地ハ「ペイント」ヲ用シテ、
8. 下地ハ「ペイント」ヲ用シテ、
9. 中塗ハ其ノ塗下地ヲ略隠蔽シ、上
塗ハ完全ニ之ヲ隠蔽シ得ルモノトス。
10. 白色ハ上ノ場合ハ中塗ニ於テソノ
塗層ヲ識別シ得ル程度ノ最淡色「ペ
イント」ヲ、其他ノ場合ニハ上塗ト
同一系統ノ淡色「ペイント」ヲ用フ
ヘシ。
11. 塗装着手前塗装工程反工法ニ依リ
見本塗ヲナシ豫メ掛官ノ承認ヲ受ク
ヘシ。
12. 刷毛塗ハ初メ粗ク堅附ニナシ夫ヲ
横塗ニ展ク塗斑ナキ様堅テ引キ廻シ、
各塗層共乾燥後紙鈔ニテ平坦ニ摺均
シ、中塗上塗ノ塗付ハ長刷毛又ハ切
刷毛ヲ又、隘狭キ部分ハ其ノ場所ニ
スル細刷毛ヲ用ヒ、色境隅々等刷毛

(油 3)

- 13. 塗装中塵芥、水漬其他塗装皮膜ヲ
巧損スルモノニ対シ適當ナル養生ヲ
ナスヘシ。
14. 下地ノ乾燥不充分ナル時又ハ湿度
ノ過度ナル時等掛官支障カリト認メ
タル場合ニハ施工ヲ中止セシムル事
カルヘシ。
15. 塗料置場ニ付キテハ特ニ火災豫防
上ノ注意ヲ怠ルヘカラス。

- 目正レク其ツ斑ナク塗立ツヘシ。
- 13 塗装中塵芥、水滴其他塗装皮膜ヲ汚損スルモノニ対シ適當ナル養生ヲナスヘシ。
- 14 下地ノ乾燥不十分ナル時又ハ湿度ノ過度ナル時葺掛官支障カリト認めタル場合ニハ施工ヲ中止セシムル事カルヘシ。
- 15 塗料置場ニ付キテハ特ニ火災豫防上ノ注意ヲ怠ルヘラス。

- 8. 下地ノ乾燥不十分ナル時又ハ湿度ノ過度ナル時葺掛官支障カリト認めタル場合ニハ施工ヲ中止セシムル事カルヘシ。
- 9. 中塗ハ其ノ塗下地ヲ略隠蔽シ、上塗ハ完全ニ之ヲ隠蔽シ得ルモノトス。
- 10. 白色仕上ノ場合ハ中塗ニ於テソノ塗層ヲ識別シ得ル程度ノ最淡色「ペイント」ヲ、其他ノ場合ニハ上塗ト同一系統ノ淡色「ペイント」ヲ用フヘシ。
- 11. 塗着着手前塗装工程反工法ニ依リ見本塗ヲナシ豫メ掛官ノ承認ヲ受クヘシ。
- 12. 刷毛塗ハ初メ粗ク堅附ニナシ夫ヲ横塗ニ展テ塗斑ナキ様堅テ引キ廻シ、各塗層共乾燥後紙鈔ニテ平坦ニ摺均シ、中塗上塗ノ塗付ハ長刷毛又ハ切刷毛ヲ又闊狭キ部分ハ其ノ場所ニ応ズル細刷毛ヲ用ヒ、色境隅々等刷毛

(4) 布及壁紙貼工事

各材料ハ見本岳提出ノ上決定ヲ受テ
施工ニ取掛ルコト。

便殿

壁紙貼工程

工 名 称	骨縛	袋貼	簾掛貼	袋貼	上貼
	回数	全	重ネ数	回数	回数
壁及天井	1	1	2	1	1

- 骨縛リハ壁、紙全面ニ糊ヲ付継目ハ縦横共一種以上重ネ掛ケ貼付スヘシ。
- 袋貼ハ紙ノ周囲ニ糊ヲ付ケ貼付スヘシ。
- 簾掛貼ハ紙ノ全面ニ二分ノ一ヲ重ネ掛ケナル様貼ヅヘシ。
- 壁上貼ハ継目ノ模様ヲ正確ニ裁合セ糊ヲ紙全面ニ付ケ矧目ハ模様違ナキ様綺麗ニ貼ヅヘシ。
- 壁上貼周囲ハ掛官ノ指揮ニ従ヒ黒色「下ウルシ」塗リ(市場品ニテモ差支ナシ)四分一ヲ附廻スヘシ。
- 其ノ他ノ室

下貼用紙ハ塵紙ノ類ヲ使用シ「ベタ」貼一回袋貼一回、受貼一回ヲナスヘシ。

上貼用紙ハ品質其他見本品全等ノモノトシ「ベタ」糊=貼付ケ周囲四分一木打付クヘシ。

貼付用糊ハ生麩糊ヲ使用スベシ。

式殿内部、布貼

布貼 下地 下貼用紙ハ塵紙ノ類ヲ使用シ「ベタ」貼一回「袋貼」一回、受貼一回ヲナスヘシ。

上 貼 布=裏打貼(紙)ヲナシ前記ノ下地貼上=「ベタ」糊=貼付ケ周囲四分一(黒色「ウル」塗リ市場品)ヲ附廻スヘシ。布地、裏貼用紙。

下地貼用紙、其他總ヲ見本品提出決定ヲ受ケタル後施工=掛ル事。

(11) 敷物工事

敷物工事

敷込箇所

敷込箇所ハ式殿中央部便敷、玉座(段上端共)、御次室、皇族室トス(平面図参照)品質ハ見本品程度ニシテ色合模様等ハ見本品提出ノ上掛官ノ認定ヲ受クルモノトス。

下敷込

下敷込ハ糸之ヲ使用スヘシ。敷込ミハ鉄ヲ以テノ50(五寸)間内外ニ打付ケ敷キ弛ミ、下ネダレ等ナキ様又模様合口ハ殊ニ注意シテ割合スヘシ。

絨氈割合セハ丈夫ナル木柵系ヲ以テ割合スヘシ。

敷込方向、巾敷ノ割合セ掛等掛官ノ指揮ヲ受ケ決定スヘシ。

「リ」リユーム」敷

敷込箇所

敷込箇所ハ式典兩翼部 附属建物ノ玄間、御廊下、手洗所、供進室、若階段踏面(平面参照)

「リ」リユーム」敷込

茶色厚1.9mm以上ノモノトス。通多ノ期間中仮設ヲナシ、止メ付方

法ハ掛官ノ承認ノ上「メクレガル」
程度ニ於テニ施工スベシ。階段ハ「
ベタ」糊貼付トス。

表面仕上 表面充分掃除拭ヒ取りヲナスヘシ

(2) 窓掛及日除取設工事

窓掛取設箇所 窓掛取設箇所 式殿御廊下取合部
一ヶ所
便殿 一ヶ所

窓掛及日除ノ布地ハ品質ハ見本品程
度ニシテ見本品提出掛官ノ認定ヲ受
ケ使用スヘシ。

窓掛ニハ上筋共裏地ヲ要セス。但シ
式殿御廊下取合部ノ式殿側ノ窓ノハ
上筋ヲ除キ無双仕立トス。上筋共模
様ハ適當ナル剥脱セカレ材料ニテ
数回)型置仕上トスヘシ。

布地及長サハ四圍ノ端トシ十分蒙取リニ「
シ」掛ケヒシテ仕立タス。

上筋上釣桿ハ木製「ラッカー」仕上トス。
但式殿御廊下取合部ノ式殿側ノモノ
ハ左右鼻金物ハ石膏製(芯木製)差
込ニシテ取付ク「ラッカー」仕上ケ

トス。
上筋用「チロ」ハ組紐3種ノモノヲ
使用スヘシ。其他ノ釣桿ハ適當ナル
木材ノ下端ニ工型「シール」ヲ取付
ケ閉閉具合ヨク調節ナスモノトス。

取付其他 両端ニハ木製持送りヲ木ねぢニテ丈
夫ニ取付クヘシ。

釣桿ヲ木製持送りヘノ止付クハ大入
レトニ木製持送りヨリ木ねぢ止メトス
ヘシ。

窓掛更鉤ツキ鋼線製釣環ニテ釣付
ケ釣ノ5種向内外ニ丈夫ニ「ヒル」
環掛ケトナスヘシ。

附属品 滑車引紐付キトシ引紐ハ丈夫ナル引
分ク紐ヲ使用スヘシ。絞紐ハ幕ト全
シ布地ヲ以テ製作シ受金物ハ似合モ
ノヲ使用スヘシ。

装飾工事

○式殿前錦襦

取設箇所種 取設箇所ハ四圍参照

類 本数16、模様ハ2種類宛

幡布地

幡布地ノ品質ハ見本品程度「テント」
用製地類似品、幕竿ニヨリニ枚重
ネ上部木製々々mm内外棒、下部木製
厚 / 5mm巾々々mm内外ノ板ヲ縫込ミ
「ミレン」掛ニテ仕立上クヘシ。
地色ハ着色ノ上模様ハ總テ「ペイン
ト」型置キ(両面共)トス。

模様ハ總テ現寸図ヲ製作色彩其他見
本品製作認定ヲ受クヘシ。

鉾

鉾ハ木製「カクミ」箔貼リ仕上トス。
日像、月像、彙幡ノモノハ下地、
下端、上端ハ竹籠ニテ製作ノ上「レ
ガーフローズ」金色ノモノ々々mm巾
ノモノヲ数枚重ネ合セニ丈夫ニ取付
クルモノトス。

旗竿

旗竿杉材黒「ペイント」ニ同塗ト
ス。

杵

杵ハ杉材黒「ペイント」ニ同塗ト
ス。

金物其他

金物ハ鉄製金色塗り仕上ケトスヘシ。
旗竿ニ鉄製滑車ヲ取付ケ丈夫ナル引

取設個所材
料及仕上其
他

紐ニテ釣リ上クルモノトス。

式殿中央部額

取設個所ハ図面参照 一ヶ所
下地ハ木製、彫刻石膏ニテ製作ノ上
泥絵具ニテ色彩ヲナスモノトス。取
付用金物ハ鉄製金色仕上トス。

(6) 奉祝門建築工事

(1) 特別注意事項

○各塔共警戒ヲ為メ完成期ヨリ存続期
間ハ勿論取拂ヒ完了マテ指定数ノ警
戒人員ヲ附シ係官ノ指揮ニ従ヒ何時
ニテモ恣意作業ニ従事セ得ル様用意
スヘシ。

且ツ「ワイヤーロープ」抗丸太、控
用長丸太掛矢、鉄線、鋸其他恣意諸
器具諸材ヲ常ニ準備スヘシ。

○縁葉、布「カニパス」塗装材料其他
裝飾材ハ修繕要果雨風等ニ起因スル
補修用指定ヲ相違数量ヲ準備シ置ク
ヘシ。

○各塔共指定ノ箇所ニ内部改メ口ヲ取
設ケ嚴重ナル産縮錠ヲ附シ尚図示ノ
通り頂上迄登リ得ル猿梯子ヲ堅牢ニ
取付クヘシ。

又裝飾修理用トシテ長短各種ノ梯子
ヲ一定箇所ニ常備スヘシ。

○暴風養生用網ハ径 $\frac{1}{2}$ 吋「ワイヤーロ
ープ」トシ各塔ニ三條宛準備塔上部

指定ノ位置ニ緊結シ卷キ置キ恣意ノ

際直ニ垂下セ得ル様為スモノトス。

○特記ナキモノハ總テ式敷及附属建物
建築工事当該仕様ニ準シ施工スヘシ。

(6) 奉祝門建築工事

(1) 特別注意事項

- 各塔共警戒ヲ為メ完成期ヨリ存続期
間ハ勿論取拂ヒ完了マテ指定數ノ警
戒人員ヲ附シ係官ノ指揮ニ從ヒ何時
ニテモ恣意作業ニ從事セ得ル様用意
スヘシ。
- 且ツ「ワイヤーロープ」抗丸太、控
用長丸太掛矢、鉄線、鉋其他恣意諸
器具諸材ヲ常ニ準備スヘシ。
- 縁葉、布「カニパス」塗裝材料其他
裝飾材ハ修繕器具等起因スル
◦ 補修用指定ヲ相商數量ヲ準備シ置ク
ヘシ。
- 各塔共指定ノ箇所ニ内部改メ口ヲ取
設ケ嚴重ナルハ締鎖ヲ附シ尚図示ノ
通り頂上迄登リ得ル猿梯子ヲ堅牢ニ
取付クヘシ。
- 又裝飾修理用トシテ長短各種ノ梯子
ヲ一定箇所ニ常備スヘシ。
- 暴風養生用網ハ徑 $\frac{1}{2}$ 吋「ワイヤーロ
ープ」トシ各塔ニ三條宛準備塔上部

- 指定ノ位置ニ緊結シ卷キ置キ恣意ノ
際直ニ垂下セ得ル様為スモノトス。
- 特記ナキモノハ總テ式敷及附属建物
建築工事者該仕様ニ準シ施工スヘシ。

(四) 基礎工事

共通仕様様木杭地業共通仕様 = 下記ノ條項ヲ追加
追加

- ス
- 杭ノ大サハ末口ノ50長サ8000トス。
- 杭ノ最終沈下ハ鍾ノ重量200kg落
高300mmノ時40内外トシ地
盤軟弱ニシテ沈下40以上ノ時ハ掛
官ノ指揮ヲ受ケ増杭其他補強ノ手延
ヲ請スハレ。但シ諸負金額ハ増減セ
ス。
- 暴風養生用控鋼度杭ノ末口ノ50長
サ400mmトシ地上約600mm打
穿スハレ。但シ附近ノ電柱其他ヲ代
用スル場合ハ中止スルコトカレハレ。
- 杭打其他ノ為鋼製面ヲ取毀ツ際ハ掛
官ノ許可ヲ受取毀ハ最少限度ニ止ム
ベシ。

普通「コン
クリート」

基礎「コンクリート」ハ「コンクリート」
トシ(1:2.5:4)トス。
施工箇所ハ土倉下其他箇面指定ノ箇
所トシ下地鋪装面ヲ清掃シ水洗ノ後

施工スルモノトシ「コンクリート」
上端ハ不陸ナキ様木鍍仕上ニ為スハ
シ。

篝火台「コンクリート」ハ1:2
ノ豆砂利「コンクリート」トシ100
mm内外ニシ番鉄線入リトス。

塔脚部砂利
積

使用ハ砂利ノ径25mm以下ニシ汚物
ヲ混入セサル清浄ナルモノトス。場合
ニ依リ掛官ノ許可ヲ得テ全重量ノ石材
又ハ土囊ヲ以テ代用スルコトヲ得。

(八) 雑工事

篝火台花壇。篝火台及花壇ノ側壁其他ノ丸太巻ニ
使用ノ半丸太ハ取付筋長キ杉丸太径
90mm内至ノ20mmノ毛ノ二ツ割ト
シ傍密着ニ削合セ土中ニ90mm以上
埋メ建込ニ胴縁毎ニ釘2本打
正内塔腰井籠組ニ使用ノ半丸太毛前
記全断ノ杉丸太ニツノ割トシ土向ハ
尚ニ仕合セ柱ノ間柱者リ釘2本打取
付ケ又持込シ部ハ前記全断ノ杉丸太
丸毛ノヲ見付尚柄差釘打ニ取クハレ。

杉皮張リ 杉皮ハ着レキ割レ反抜節ナキモノト
 シ下地大貫ニ重ネニ枚トナル様張之
 釘打
 押竹ハ真竹径30内外ニツ割トシ
 間隔150内外釘打、下地大貫ハ杉
 トシ建込ニ丸太杭當リ大釘2本宛
 打張之ツヘレ。

布張 地下杉板板厚図示ニ倣ヒ流木ノ倭傍突
 付名骨当リ毎ニ釘打張之ヲ目違、素地
 地斑事ハ鉋削ヲナスヘレ。

布ハ「ヘツレヤンクロス」又ハ「フン
 バス」ノ類トシ矧目要所縫矧ニ基レ下
 地ニ馴染ヨク張之ヲ縫目ハ布端ヲ折込
 ニ重ネ掛ケ廻リヨク釘60間以内ニ打
 タ矧好地ニ垂レ下等ナク張之ツヘレ。下
 地木部、抜節、隙間ヲ生シタル個所ハ
 亜鉛めつき鋼板ヲ以テ被覆スヘレ。

杉緑葉張 杉緑葉色揃葉振良キモノ直径50mm
 内外リ唐竹四割ニ小舞繩ニテ巻キニ
 巾150mm内外ニ造リ一坪当リ1本内
 至ノ2本ヲ使用シ各胴縁其他木当リ毎
 ニ釘打、脱落ノ虞アル所ハ見エ隠シ個

木杭地業 (共通仕様)

・材 料

1 杭木ハ松・沿海州松又ハ落葉松皮付生丸太ニシテ長サノ1:50以上
 ノ曲リナキ良材トス。

・工法及用具

2 杭ノ打込ニ先チ杭ノ位置ヲ定ムルタメ小杭ヲ打テ掛官ノ検査ヲ
 受クベシ。

3 杭ハ皮ヲ剥キ大節ヲ削リ、杭頭ニハ鐵輪ヲ嵌メ尖端ハ地質ノ硬軟ニ
 應シ適當ナル削替付ニ尖スヘシ。

4 杭ハ總テ位置ヲ正シク垂直ニ建込ニ鑿錘ヲ以テ「轉ビ」ナキ様打込ム
 ヘシ。

5 「ウィンチ」(此ノ場合ノ「ウィンチ」トハ杭打ニ際シ錘ト綱トガ連結
 セルママ運動スルモノヲ云フ)ヲ使用スル場合ハ捲取機ヨリ槽ニ至ル
 綱ノ全長ハ下記ノ算式ニ依リ算定セラルル値ヲ超過スルコトヲ得ス。

$$l = 63 - (2h + 5n)$$

l……「ウィンチ」捲取機ヨリ槽ニ至ル綱ノ長サ(米)

h……槽ノ高サ(米)

n……「ウィンチ」捲取機ト槽トノ間ノ第6項ニ依ル滑車ノ數(但
 シ槽上下ノ滑車ヲ含マス)

6 「ウィンチ」ノ綱ハ地面又ハ他物ニ接觸セサル様適當ニ滑車ヲ用フヘシ。

7 錘ノ重量及打止リ測定ノ際ノ落高ハ下表ノ通りトス。但シ其重量ガ
 下表ノ範圍外ノ錘ヲ使用セントスルキハ掛官ノ承認ヲ受クヘシ。

錘ノ重量	185 --- 500 斤
錘ノ落高	3 米 以上

・ 雜

8 打止メハ掛官ノ許可ヲ受クヘシ。

9 打止メ其他掛官ニ於テ必要ト認メタル場合ニハ杭ノ沈下及錘ノ落高
 ナ測定スヘシ。尙測定回数ハ掛官ノ指揮ニ依ルモノトス。

10 打込ミタル杭ノ頭部ハ水平ニ切揃フヘシ。

杉

布

木

所 = 亜鉛めつき銅線 16 # を繋ぎ覆ひ
= 為し完了後ハ恰好ヨク刈込ムヘシ。

内部改メロ 入口棹反扉ハ掛窓ノ指揮ニヨリ製作シ
前記杉縁葉張り蝶番ニラ釣込ムヘシ。

(7) 参列席其他工事

- 参列席 〇 図面 = ~~...~~ = 堅固 = 取クベシ
- 甲板腰掛板ハ鉋削リ其他ハ流木トス
- 各所「テント」 〇 「テント」張 図示依ヒ丸太角材等 =
テ堅固 = 組上ケ尚控フテ充分 = 張込
ニ両端等鉄臭ナク完成スヘシ
- 〇 御車寄及御通路「テント」ノ土間ハ図
面 = 依ヒ清砂 (厚30mm) 敷詰メ天井
ハ全スフ白綿子張押縁止メ全所幕反垂
幕ハ品ヨキ色幕ヲ張廻シ所 = ヨリ絞リ
付ケヘシ
- 〇 奉迎者控所及同通路「テント」ノ土間
ハ荒菰敷詰ムヘシ
- 〇 御車寄及御通路並 = 奉迎者控所同通路
及式場周囲「テント」 = 使用スル材料
ハ總テ新材トシ其他見苦しカラサリ程
度トス
- 〇 内部卓子ハ参列席 = 準シ施エシ椅子ハ
折疊式子ヲ準備スヘシ
- 〇 大便所床長板張 (厚15mm) 壁ハ目
按羽目 (並四分板) 入口板戸建込ニ
外部ハ葎簀張りノ上 = 紅白幕ヲ張廻ス

便所葎簀張

ハヘシ

- 〇 屋根ハ板 (並四分板) 羽重ネ張押縁
止メ両端ナク張込ツヘシ
- 〇 便器ハ図示 = 依ヒ木製トシ小便樋箱
= ハ杉葉ヲ敷込ムヘシ
- 〇 手洗ハ図示ノ通り丸竹 = 流水孔ヲ穿
テ給水栓ヲ接続スルモノトス
- 〇 排水及排尿土管 (径90mm) ヲ地中
= 布設シ消樹 = 連結スヘシ
- 〇 檼橋杭、檼柱共、杉丸太 (末口90
mm内外) 敷板ハ松 (厚30mm) ヲ藁
縄等 = テ結ヒ付ケ安全 = 取該クヘシ
- 〇 呼杖及手摺共杉丸太 (径70mm内外
ノ根入十分 = 建込ニ手摺ハ鋼線 = テ
丈夫 = 結ヒ付ケ何レモ紅白布シ巻キ
ツクヘシ
- 〇 幕張り柱ハ角材 (90x90) ヲ
1. 800mm内外 = 配リ控柱 (5.400
間) 共根入充分 = 建込ニカシラ貫 (
杉大貫) ヲ通シテ打チツケ式敷固圍
ノ青白幕張廻スヘシ
- 〇 式典終了後直 = 紅白幕ト張換ヲナシ

檼橋杭、檼柱共

尚「モール」張廻ラスベレ

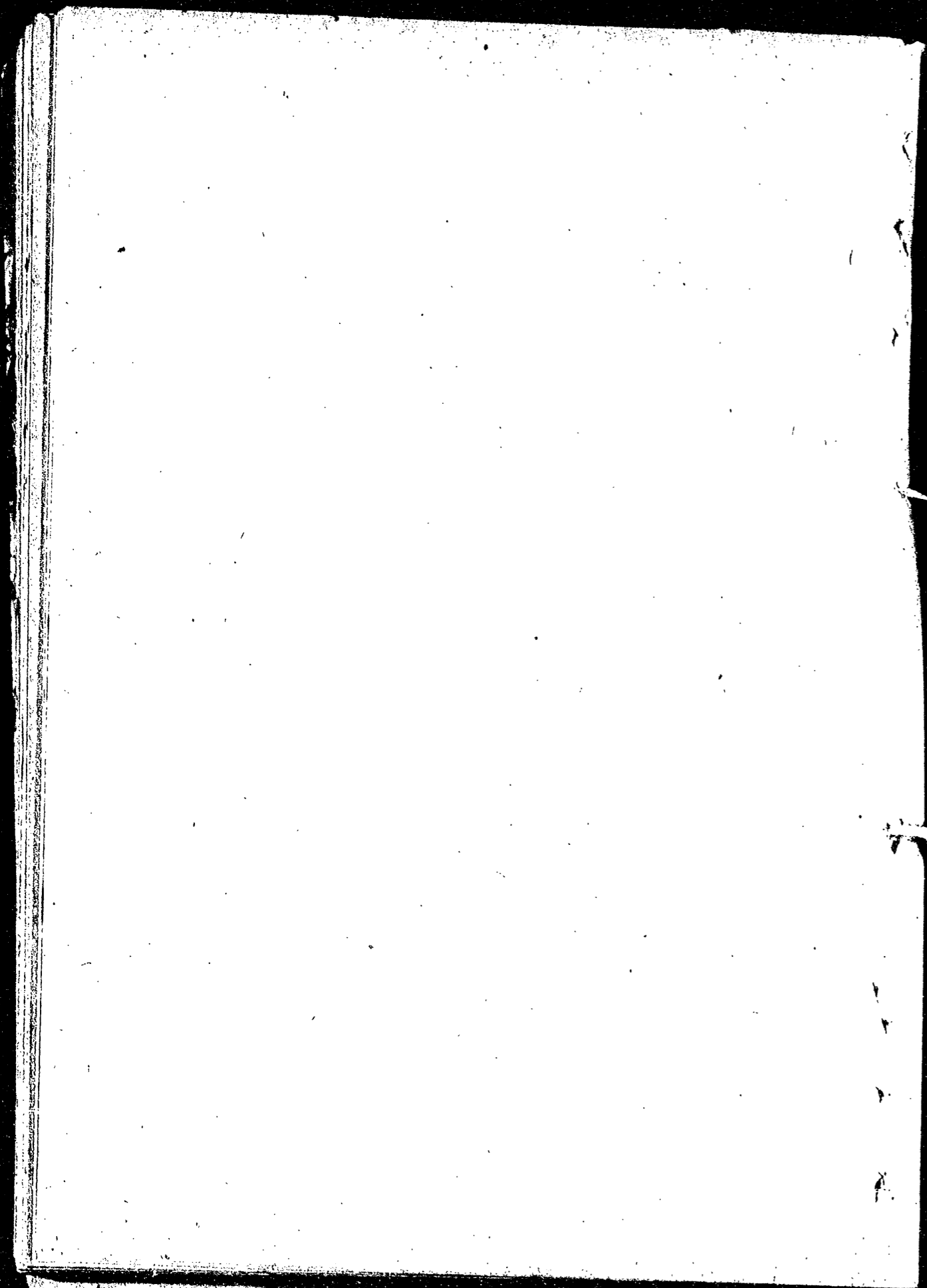
52

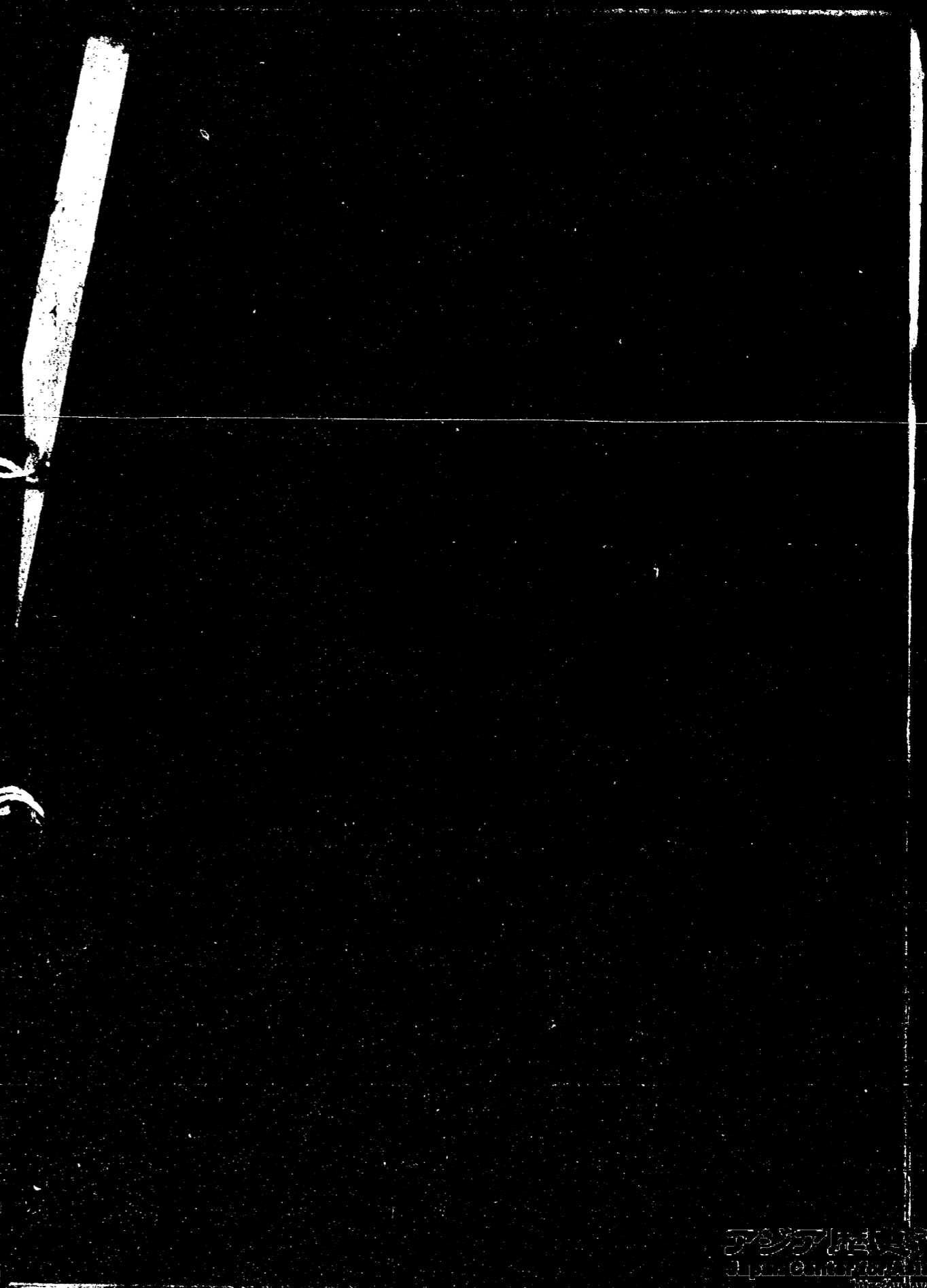
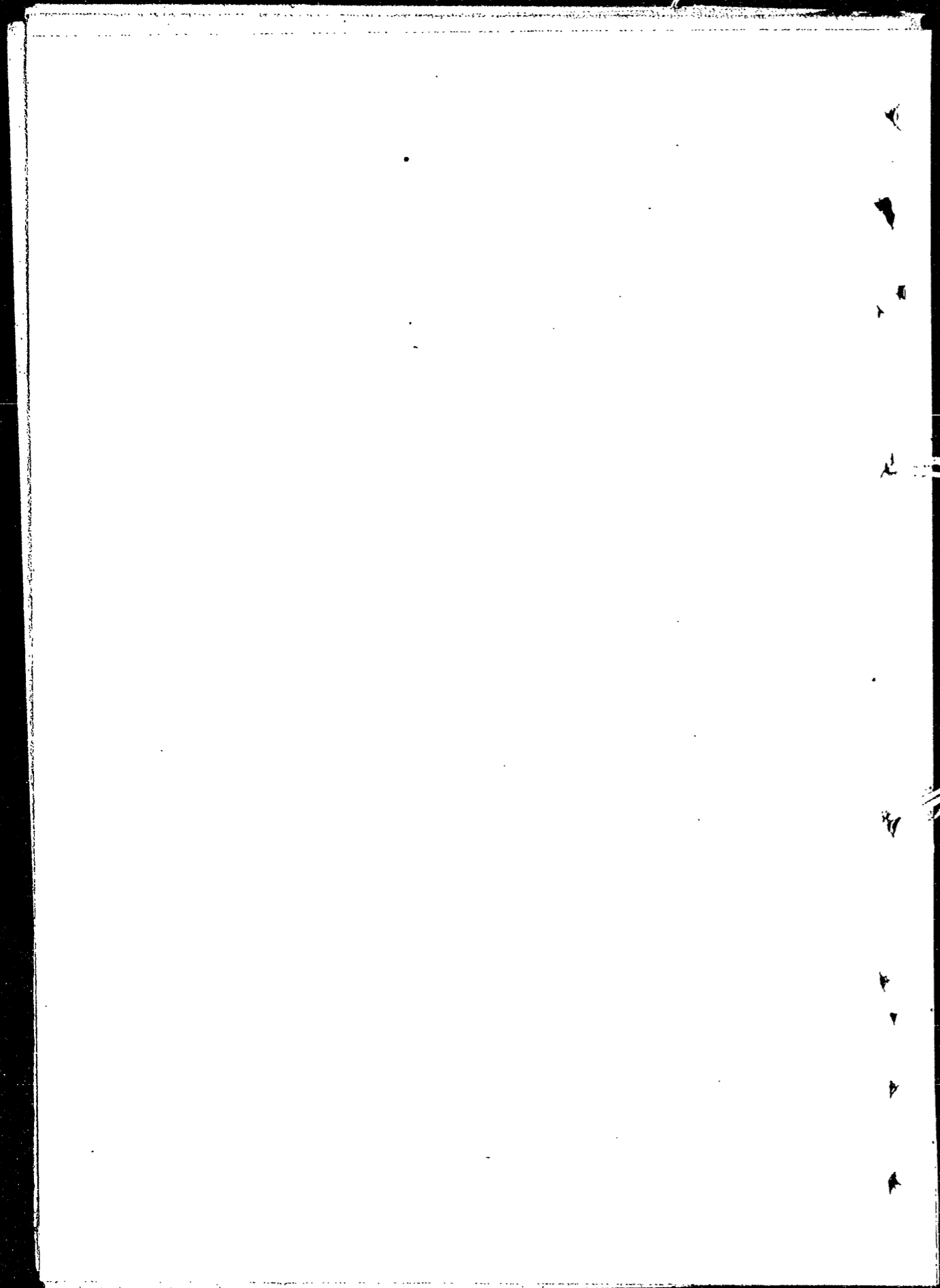
妙上

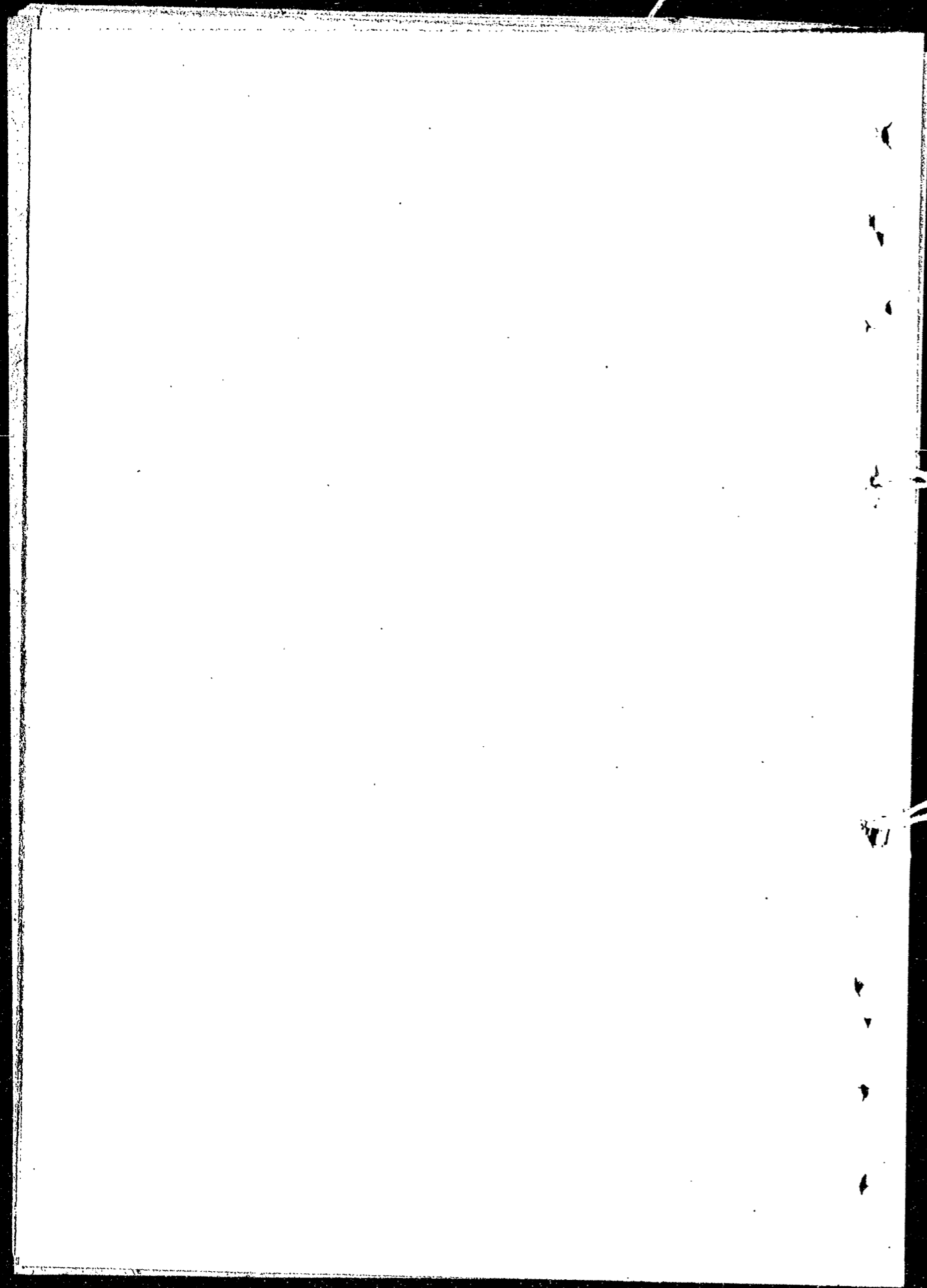
53

宮内省 貸下品

雅	樂	舞	名		
式	典	中	央	御	幕
御	車	寄	御	幕	
子	座	加	屏	風	







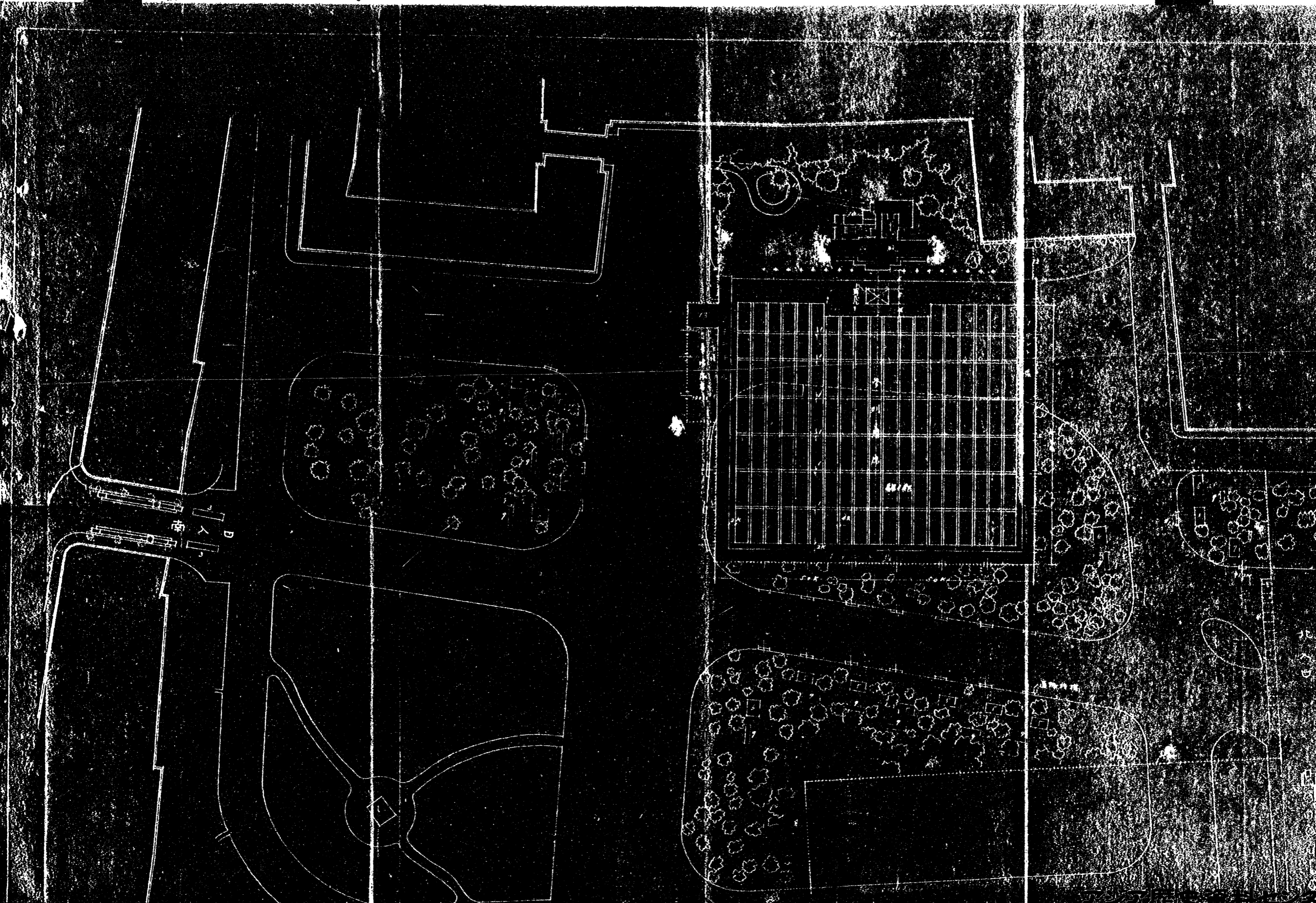
次コマから始まる図(分割撮影)は
4色刷りです。
詳細については、
原本を請求してください。



武英場配置圖
1/200

北入口

名	編	大	小	備
1	南列廊	4	1274	1
2	東口廊	2	85	4
3	南入口廊	2	111	2
4	北入口廊	3	49	1
5	校門	3	5	1
6	校門	4	5	3
7	南校門	3	6	1
8	北校門	3	6	1
9	校門	1	1	1
10	校門	1	1	1
11	校門	1	1	1
12	校門	1	1	1



式場配置図
1/200



名	寸法	個数
1 本列席	4 x 274	1
2 東入口受付	3 x 5	4
3 南入口受付	2 x 16	2
4 北入口受付	3 x 49	1
5 楽座所	3 x 5	16
6 楽座所	4 x 5	3
7 楽座所	3 x 6	1
8 楽座所	3 x 6	3
9 楽座所	15 x 6	16
10	15 x 3	11
11 楽座所	3 x 6	11
11 楽座所	3 x 6	11
12 楽座所	3 x 10	1
13 楽座所	3 x 10	1

東入口

北入口

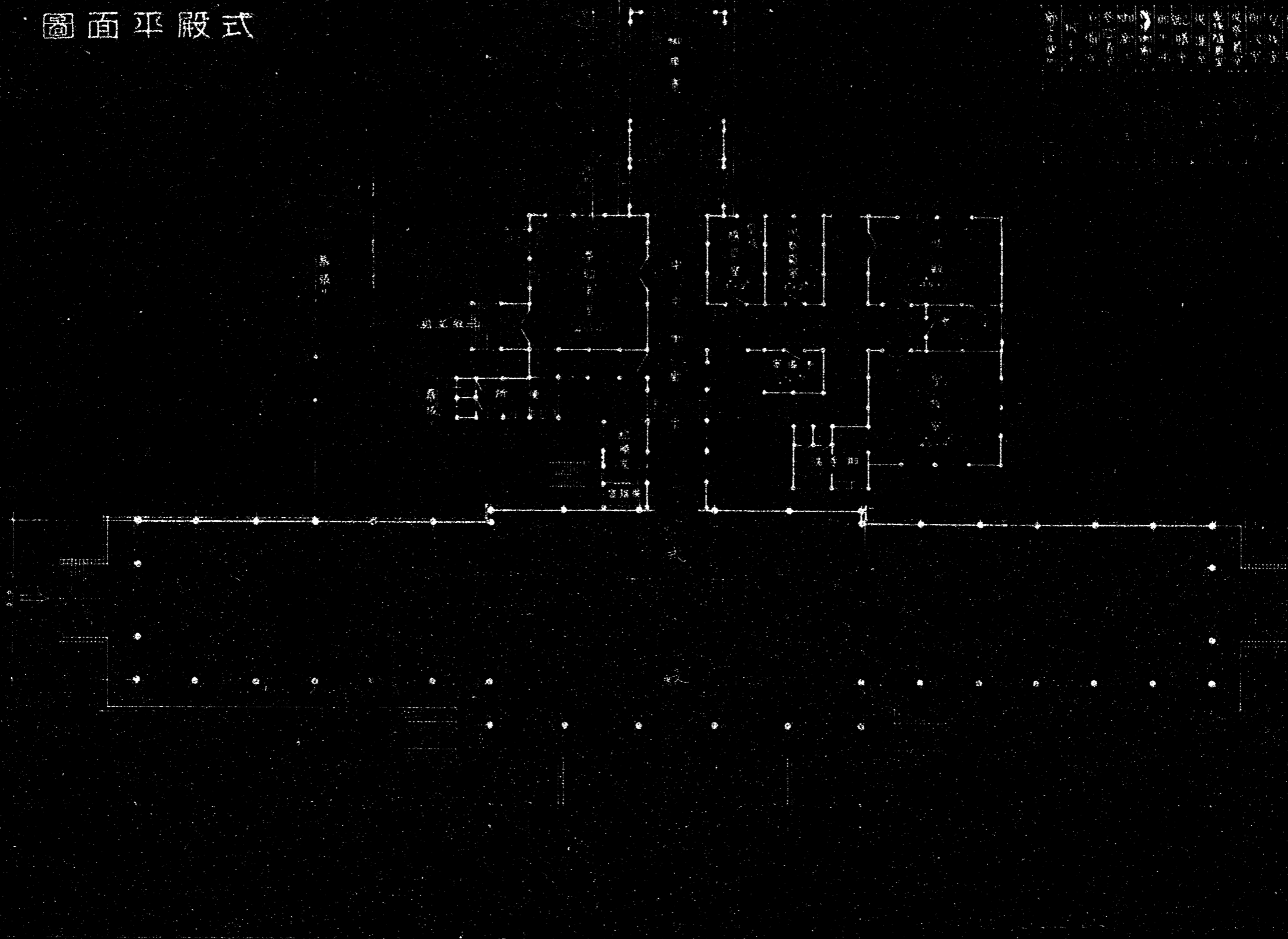


南
入

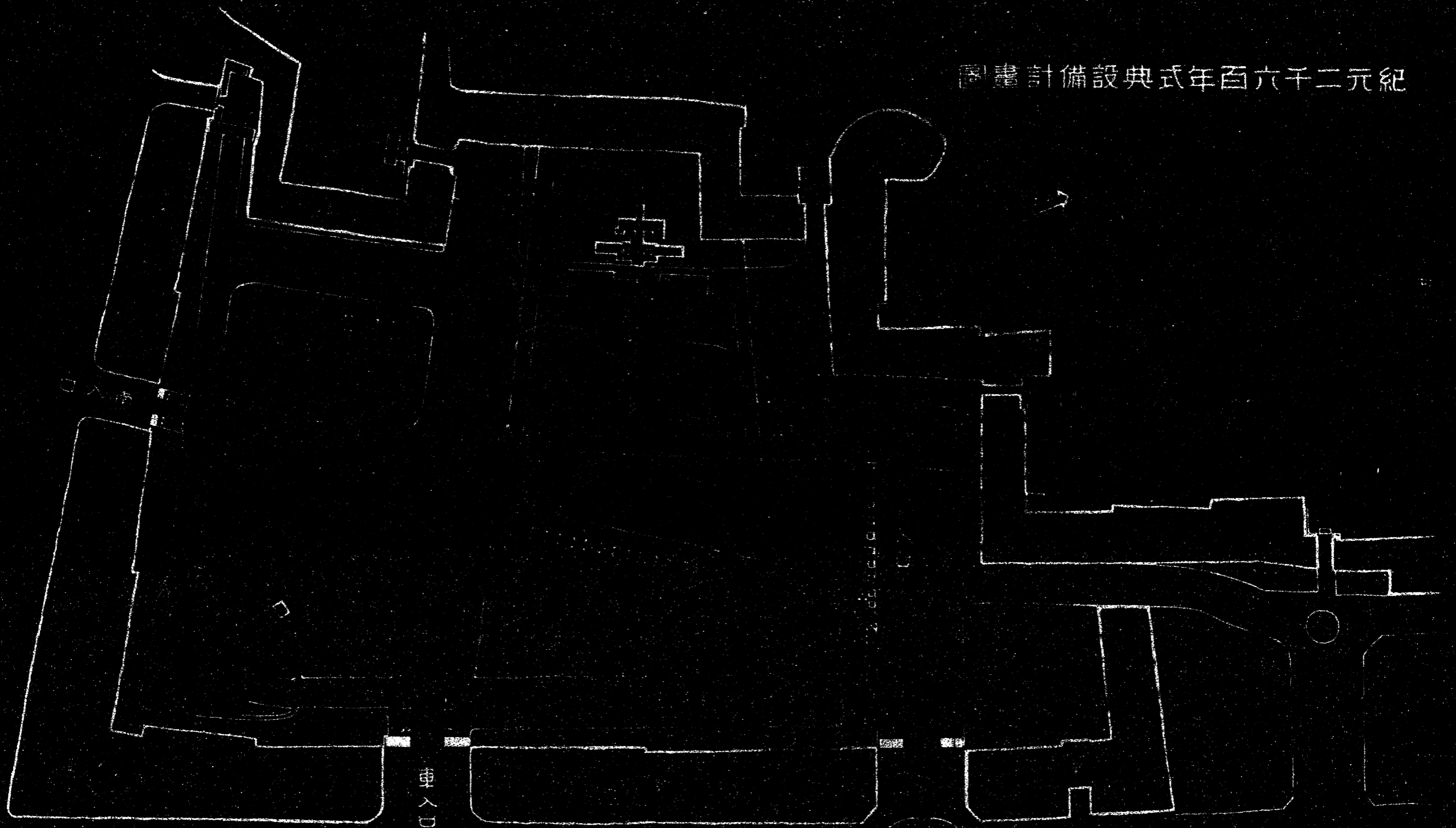
東
入

式殿平面圖

設計者 建築師事務所
設計者 建築師事務所
設計者 建築師事務所
設計者 建築師事務所
設計者 建築師事務所
設計者 建築師事務所
設計者 建築師事務所
設計者 建築師事務所
設計者 建築師事務所
設計者 建築師事務所



圖畫計備設典式年百六千二元紀



車入口



五五。

十五八六

主八七

紀元奉祝會

書記官

内閣書記官



内閣書記官



紀元二千六百年奉祝會實施事務委囑

關スル件認可指令案

紀元二千六百年奉祝會會長公爵近衛文麿



昭和十五年八月六日附第八六一號申請紀元

内閣書記官
第五八六號

五五〇

五八六

五八七

内閣書記官

内閣書記官

内閣書記官



内閣書記官



紀元二千六百年奉祝會實施事務委囑

關スル件認可指令案

紀元二千六百年奉祝會長公爵近衛文麿



昭和十五年八月六日附第八六一號申請紀元

二千六百年奉祝會實施事務委囑關スル
件認可ス

昭和十五年八月七日

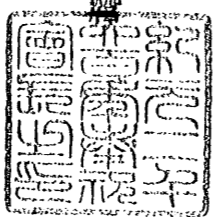
内閣總理大臣

大正
九十八
八六一番

昭和十五年八月六日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文

内閣總理大臣 公爵 近衛文 磨殿



15.8.-6
第550番

紀元二千六百年奉祝會實施事務委囑ニ關スル件

認可申請

今秋政府主催ヲ以テ舉行セラルベキ紀元二千六百年式典終了後紀元二
千六百年奉祝會開催可致下命相受依命之ガ實施要綱ヲ上申シ去ル七月
三十日之カ御決定相受ケ候ニ付キテハ之カ實施ノ事務ハ政府主催ノ式

典トノ關聯、從來處務ノ實狀等ニ鑑ミ之ヲ內閣總理大臣ニ委囑シ勅令第四百七十號紀元二千六百年祝典ノ實施事務ニ關スル件ニ基ク職員ニ於テ處理セラル、様致度候條御認可相成度此段及申請候也
洎而事務ノ詳細及事務執行ニ要スル經費ニ付テハ必要ノ都度御打合致度申添候

以下參照

紀元二千六百年奉祝會實施案

- 一、日 次 十一月十一日（月曜日）雨天順延
- 二、場 所 宮城外苑
- 三、設 備 式典場ノ諸設備ヲ利用シ之ニ裝飾演奏設備其ノ他適當ナル施設ヲ加フルモノトス
- 四、次 第 （別 紙）
- 五、參列者範圍 政府主催ノ式典參列者ノ外本會特別會員ノ參列ヲ考慮スルモノトス
- 六、食 饌 食饌ハ左ノ要領ニ依ルモノトス

七、記念品
一、主 饌 陸軍糧秣本廠撰定軍事食糧ニ依ル
一、副 饌 昆布、勝栗、スルメ其ノ他
一、祝 酒 祝酒一合（陶器製容器ヲ用フ）
記念品ハ左ノ要領ニ依ルモノトス

一、列聖珠藻 佐々木信綱謹撰
一、聖徳餘光 辻 善之助 著

八、演 奏
右二册和装、帙入トス
演奏ハ左ノ要領ニ依ルモノトス

一、吹奏樂 陸海軍軍樂隊
二、雅 樂 宮内省樂部

三、齊 唱 合唱團

男女學生生徒約三千人ヲ以テ組織ス

(別紙)

紀元二千六百年奉祝會次第

一、整列

一、臨御

一、國歌「君か代」奉唱

一、紀元二千六百年奉祝會總裁奉祝詞奏上

一、在本邦外國使臣首席奉祝詞奏上

一、開宴

演 奏

- 一、奉祝國民歌「紀元二千六百年」齊唱
- 一、萬歲奉唱
- 一、還 御
- 一、散 會

寫

内閣紀元二千六百年祝典事務局 第二八三號

昭和十四年八月十一日

内閣書記官長 太田 耕 造 閣

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 徳川家達 殿

紀元二千六百年祝典ノ實施ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ紀元二千六百年祝典評議委員會委員長ヨリ別紙ノ通報
 告有之候ニ就テハ右ノ中式典及奉祝會等ニ關シ左記ノ通決定致候ニ付
 テハ御了知ノ上可然御準備相成度依命此段及通牒候

記

一、昭和十五年十一月十日ヲ期シ兩陛下ノ行幸啓ヲ仰ギ政府主催ヲ以テ式典ヲ舉行スルコト

一、右式典終了後兩陛下ノ行幸啓ヲ仰ギ紀元二千六百年奉祝會ヲシテ奉祝會ヲ開催セシムルコト

一、紀元二千六百年ノ祝典ニ際シ各省ニ於テ行フヲ適當ト認ムル事項ニ付テハ關係省間ニ於テ緊密ナル連絡ノ下ニ考慮シ之ガ準備ヲ進ムルコト 但シ多量ノ物資及勞力ヲ要スル事項ハ之ヲ避クルコト

○行政官廳ヲシテ委囑ニ依リ紀元二千六百年奉祝會ノ事

務ヲ施行セシムルノ件

(昭和十二年十月十六日
勅令第五百九十六號)

第一條 行政官廳ハ紀元二千六百年奉祝會ノ委囑ニ依リ紀元二千六百年奉祝記念事業ニ關スル事務ヲ施行スルコトヲ得

第二條 行政官廳ハ必要ト認ムルトキハ紀元二千六百年奉祝會ヲシテ前條事務施行ノ費用ニ充ツベキ資金ヲ國庫ニ納付セシムルコトヲ得

第三條 行政官廳第一條ノ規定ニ依リ紀元二千六百年奉祝會ニ屬スル支拂事務ヲ取扱フ場合ニ於テハ現金ノ前渡ヲ受ケタル官吏現金取扱ノ例ニ準ジ主任ノ官吏ヲシテ其ノ現金取扱ヲ爲サシムルコトヲ得

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

紀元二千六百年奉祝會設立及監督規程(抄)

- 第三條 左ニ掲グル事項ニ付テハ内閣總理大臣ノ認可ヲ受クベシ
- 一 事業計畫及收支豫算並ニ其ノ變更
 - 二 毎年度ノ收入支出豫算及其ノ變更
 - 三 役員ノ選任
 - 四 豫算外義務ノ負擔
 - 五 權利ノ讓渡又ハ拋棄
 - 六 歲計現金ヲ預入又ハ信託スル銀行又ハ信託會社
 - 七 借入金但シ同一年度内ニ償還スルモノヲ除ク
 - 八 殘餘財産ノ處分
 - 九 寄附行為施行ニ関スル細則及其ノ變更

内閣

規程
 奉祝會
 監督規程
 施行細則
 及
 事業計畫
 豫算
 並
 其
 變更
 內閣總理大臣
 認可
 受
 付
 日

Vertical text on the right page, likely bleed-through from the reverse side. The text is mostly illegible due to fading and bleed-through.

五八三 十五九二

昭和拾五年九月四日

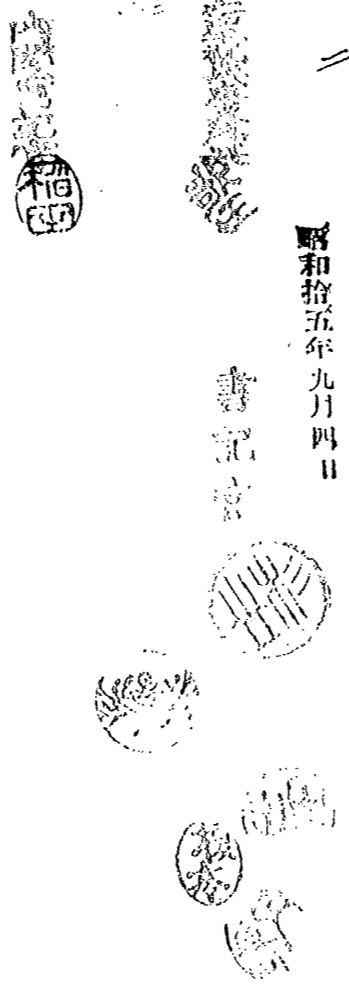
7

紀元二千六百年奉祝會長ヨリ別紙ノ通來ル

九月十一日奈良縣下ニ於テ御陵參拜道路改

良工事起工祭ヲ舉行ニ付テハ内閣總理大臣

ノ臨場方申請有之候ニ付左記ノ者代理官



トシテ派遣相成可然哉

記

内閣紀元二千六百年祝典事務局長 歌田千勝

内閣
第一〇三七號

昭和十五年八月二十一日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵近衛文

内閣總理大臣 公爵近衛文麿 殿

御陵參拜道路改良工事起工祭ニ關スル件

來ル九月十一日午前十時三十分ヨリ奈良縣吉野郡吉野町ニ於テ後醍醐
天皇御陵ニ至ル參拜道路ノ改良工事起工祭ヲ別紙祭式ニ依リ舉行致候
ニ付テハ貴官若ハ代理官御臨場賜度此段及申請候



紀元二千六百年奉祝會

ニ甘テハ音育器ハ升胆音輪調想神聖出器以中音神
大皇輪調ニ至ル參拜並潮ノ立身工建城工祭キ既飛登去ニ為事舉音
來ル此月十一日午前十時三十分ニ至リ是日總吉裡器古世間ニ習テ尚體隆

時刻參拜並潮新身工建城工祭ニ關テハ

内閣府大臣 公爵 飯田 文相 覽

昭和十五年六月廿八日 公署 飯田 文相 覽

昭和十五年八月二十一日



御陵參拜道路改良工事起工祭祭式

日時 昭和十五年九月十一日（水曜日）午前十時三十分
場所 奈良縣吉野郡吉野町

午前十時三十分マデニ參列員祭場所定ノ座ニ著ク

午前十時五十分ヨリ齋主以下關係諸員參進開始

（是ヨリ先手水ノ儀アリ）

午前十一時マデニ齋主以下關係諸員祭場所定ノ座ニ著ク

次 修 殿

次 齋主降神ヲ奉仕ス 響管 奏

次 神饌ヲ供ス

次 齋主祝詞ヲ奏ス

次 獻入ノ式ヲ行フ

此間一同響折

此間 奏樂

此間一同響折

- 次 齋主玉串ヲ奉リテ拜禮
- 次 紀元二千六百年奉祝會長玉串ヲ奉リテ拜禮
- 次 内閣總理大臣玉串ヲ奉リテ拜禮
- 次 宮内大臣玉串ヲ奉リテ拜禮
- 次 内務大臣玉串ヲ奉リテ拜禮
- 次 奈良縣知事玉串ヲ奉リテ拜禮
- 次 参列員總代玉串ヲ奉リテ拜禮
- 次 神饌ヲ撤ス
- 次 齋主昇神ヲ奉仕ス賞牌
- 次 各退出

副齋主以下列拜

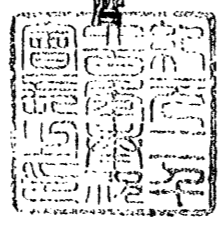
参列員一同自
此間奏樂
此間一同啓折

内閣經第六三號

第一。四二號

昭和十五年九月三日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵近衛文磨



供覽

内閣總理大臣 公爵近衛文磨 殿

書記官

役員異動ノ件

本會役員左記ノ通解囑相成候條此段及報告候

記

元企畫院次長
元外務次官
元農林次官

植村 甲午郎
谷 正之
荷見 安

15.9.-5
第11號

元遞信次官

大和田 倂二

元鐵道次官

喜安 健次郎

紀元二千六百年奉祝會常議員囑託ヲ解ク

元群馬縣知事

熊野 英

元鹿兒島縣知事

藤野 憲

元明治大學總長

木下 友三郎

紀元二千六百年奉祝會評議員囑託ヲ解ク

昭和十五年八月三日死亡

評議員

久米田 新太郎

内閣經緯第六五

奉祝會第一一〇號

昭和十五年九月七日

紀元二千六百年奉祝會長 公衛 公衛 文 啓



15.9.-9 第622號

内閣總理大臣 公衛 近衛 文 啓

局長 長 官

書記官



豫備費充用ノ件報告

昭和十五年度本會收入支出豫算中第一款本部事務費第三項旅費ノ既定豫算額ハ左記ノ通不足ヲ生ジタルヲ以テ豫備費ヨリ充用致候ニ付
此段及報告候

記

款	項	豫當算額初	豫算殘額	要支出額	差引不足額	豫備費額充
本部事務費	旅費	1,300.00	1,414.33	1,414.33	1,000.00	1,000.00
豫備費	豫備費	100,000.00	19,585.67	0	0	119,585.67

内閣總理大臣公署近衛文麿殿

昭和十五年九月十日

紀元二千六百年奉祝會長 公署近衛文麿

内閣總理大臣 公署近衛文麿 殿

職員解囑ノ件

本日左ノ通本會職員解囑相成候條此段及報告候

記

元内閣情報部長

熊

谷

憲

一

元商工省商務局長

新

倉

利

廣

紀元二千六百年奉祝會幹事囑託ヲ解ク



15.9.11
624

紀元二千六百年奉祝會
山形縣支部長ノ囑託ヲ解ク
石 黒 武 重



昭和十五年九月十日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛 文麿



内閣總理大臣 公爵 近衛 文麿 殿

地方支部長囑託並ニ解囑ノ件

本日本會地方支部長左記ノ通囑託並ニ解囑致候ニ付此段及報告候
記

山形縣知事

山 内 繼 喜

紀元二千六百年奉祝會山形縣支部長ヲ囑託ス

元山形縣知事

石 黒 武 重

紀元二千六百年奉祝會山形縣支部長ノ囑託ヲ解ク

供覽



局長

局長



紀元二千六百年奉祝會
紀元二千六百年奉祝會
紀元二千六百年奉祝會
紀元二千六百年奉祝會
紀元二千六百年奉祝會
紀元二千六百年奉祝會
紀元二千六百年奉祝會
紀元二千六百年奉祝會
紀元二千六百年奉祝會
紀元二千六百年奉祝會

紀元二千六百年奉祝會
紀元二千六百年奉祝會
紀元二千六百年奉祝會
紀元二千六百年奉祝會
紀元二千六百年奉祝會
紀元二千六百年奉祝會
紀元二千六百年奉祝會
紀元二千六百年奉祝會
紀元二千六百年奉祝會
紀元二千六百年奉祝會

昭和十五年九月十日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵近衛文麿

内閣總理大臣 公爵近衛文麿 殿

地方副支部長囑託ノ件

本日本會副支部長左記ノ通囑託致候ニ付此段及報告候

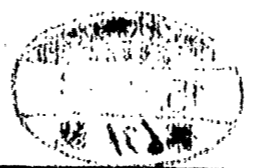
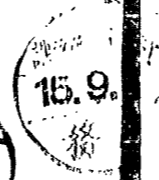
記

福島縣學務部長

上塚

弘

紀元二千六百年奉祝會福島縣副支部長ヲ囑託ス



昭和五年五月十五日

文書課
15.5.24
第977號

主計局
15.5.13
調査課

大藏大臣了

次官



文書課長

主計局長

調査課長

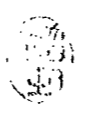
豫算課長



内閣書記官

内閣書記官

内閣書記官



書記官



三二七

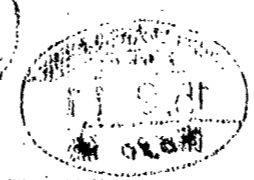
十五五九

主五二

主五二

御陵參拜道路改良ニ関スル事務委託案件

認可指令案





紀元二千六百年奉祝會長公爵近衛文磨

昭和十五年五月八日附第五五三號申請御

陵參拜道路改良ニ關スル事務委囑ノ件

認可ス

昭和十五年五月二十七日

内閣總理大臣

内閣總理大臣

第五五三號

昭和十五年五月八日

紀元二千六百年奉祝會長公爵近衛文



内閣總理大臣 米内光政 殿



御陵參拜道路改良ニ關スル事務委囑ノ件

認可申請

本會施行ニ係ル紀元二千六百年奉祝記念事業タル御陵參拜道路改良ニ關スル設計及工事ノ施行ヲ左記條件ニ依リ鹿児島縣知事ニ委囑致度候條御認可相成度此段及申請候也

記

第一 設計ハ本會ト協議ノ上決定スルコト

第二 改良ヲ要スル御陵參拜道路及經費ハ別紙ノ通トス

第三 前號ノ經費ハ事業ノ進捗ニ伴ヒ本會ヨリ鹿兒島縣ニ納付スル

コト

第四 前各號ノ外事務施行ニ關スル取扱手續ハ別紙ノ通トス

改良ヲ要スル御陵參拜道路及經費

一 改良スベキ道路 天津日高彦火瓊瓊杵尊御陵外一陵ニ至ル道路

一 經費 凡ソ壹萬六千圓

内 詳

一 改良スベキ道路 天津日高彦火瓊瓊杵尊御陵ニ至ル道路

一 經費 四千圓

一 改良スベキ道路 天津日高彦火出見尊御陵ニ至ル道路

一 經費 壹萬貳千圓

第四 經費ノ納付ニ關シテハ左ノ通トスルコト

一 鹿兒島縣ハ本年度ノ經費ニ就キ豫メ月別支拂豫定額ヲ概定シ

紀元二千六百年奉祝會ニ通知スルコト

二 鹿兒島縣ハ支拂見込額ヲ前月末迄ニ紀元二千六百年奉祝會ニ通知シ之ガ資金ノ納付ヲ受クルコト

第五 鹿兒島縣ハ毎月收入支出計算書ヲ次月上旬迄ニ紀元二千六百年奉祝會ニ提出スルコト

第六 左ニ掲グル場合ニ於テハ鹿兒島縣ハ事前ニ紀元二千六百年奉祝會ニ協議スルコト

一 給與ニ關スル規程ヲ制定スルトキ

二 價格五百圓以上ノ物品ヲ購入スルトキ

三 豫算各科目ノ金額ヲ彼此流用スルトキ

四 賞與又ハ手當ヲ給與スルトキ

五 殘餘物件ノ處分ヲ爲ストキ（第三號様式ニ依ル）

第七 事業完了シタルトキハ速ニ第一號様式ニ依リ事業竣功調書ヲ

紀元二千六百年奉祝會ニ提出シ承認ヲ受タルコト

第八 工事執行ノ方法ハ直營ヲ原則トス但シ特別ノ場合ニ於テハ請負ト爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ理由及請負條件ヲ豫メ紀

元二千六百年奉祝會ニ報告スルコト

第九 鹿兒島縣ハ事業ノ工程ヲ第二號様式ニ依リ三、六、九、十二

月末日現在ヲ各盟月十日迄ニ紀元二千六百年奉祝會ニ報告スルコ
ト

第十 前各號ニ掲グルモノノ外重要ナル事項ニ付テハ鹿兒島縣ハ其
ノ都慶紀元二千六百年奉祝會ニ協議スルコト

第一號様式

御陵參拜道路改良事業竣功調書

合	監	計	圖	對	番	名	道	種	別	改良	種	工	事	費	內	計	摘	要

御陵參拜道路改良事業竣工總攬表

第一編 概論

第一章 概論

備考

勤務奉仕、物件其ノ他ノ寄附ハ之ヲ金額ニ換算シ括弧書ヲ以テ外書スルコト

本表ニハ平面圖ヲ添付スルコト、平面圖ハ管内圖及陸地測量部五萬分一地形圖ニ御陵名及改良箇所ヲ朱線ヲ以テ表示シ（市街地ニ在リテハ別ニ市街圖ニ記入セルモノヲ添付スルコト）調書對照番號ヲ掲記スルコト

御陵參拜道路改良事業竣功調書

(一) 事業説明書

一、改良工事ノ概要

(1) 御陵名並道路種別

(2) 改良區間

(3) 改良延長

(4) 改良前ノ現況

(5) 改良ノ效果

(6) 設計概要

- 1 幅員（車道、歩道ヲ區別セルモノハ各ノ幅員）
- 2 路面ノ種類
- 3 最急勾配
- 4 最小屈曲半徑
- 5 待避所ノ數及構造
- 6 事業費調書（A號様式）
- 7 工費内譯書（B號様式）
- 8 土地買收費調書（C號様式）
- 9 物件移轉其他補償費調書（D號様式）
- 10 器具機械費調書（便宜ノ様式ニ依リ詳細記載ノコト）
- 11 雜費調書（便宜ノ様式ニ依リ詳細記載ノコト）

- 12 監督雜費調書（E號様式）
- 13 仕様書

(二) 圖 面

- 1 實測平面圖
- 2 從斷面圖
- 3 横斷面圖
- 4 特殊工作物ノ構造圖
- 5 土工定規圖

(〇 號様式)

土地買收費調書

土地買收費	費目	名稱	單位	數量	單價	金額	摘要
		宅地	平米又ハ坪				
		畑田					
		山					
		原					
		林					
		野					
		々					
		何					

備考

用地ノ寄附ハ之ヲ金額ニ換算シ括弧書ヲ以テ外書スルコト

土地買收費調書
〇 號様式

長官入部... (Vertical text on the right page)

土地... (Vertical text on the right page)

土地... (Vertical text on the right page)

(D) (Vertical text on the right page)

(D 號樣式)

物件移轉其他補償費調書

費	目	名稱	單位	數量	單價	金額	摘要
物件移轉其ノ他補償費	物件移轉費	家屋	戸				電柱ノ補償(減償省又ハ何 々毎云分算計上スルコト)
		電柱	本				
補償費	何々	其ノ他					
		何々					

備考

物件移轉其ノ他ノ補償費ノ寄附ハ括弧書ヲ以テ外書スルコト

(日號様式)

監督雜費調書

費目		名稱	單位	數量	單價	金額	摘要
給	給						
技師	書記	何々					
旅費	賞與	何々					
備人費		何々					
雜給							

(日號様式)

監督雜費調書

費目		名稱	單位	數量	單價	金額	摘要
給	給						
技師	書記	何々					
旅費	賞與	何々					
備人費		何々					
雜給							

雜
費

何 運通 品消 備
々 搬 費信 費耗 品費

第二號樣式

御陵參拜道路改良事業功程報告

昭和 年 月末日現在 何々縣

合 計 監督雜費 計	陵 名	
	■	豫算額
■	當期迄 出來高	用地費並物件移轉補償費
%	出來高 歩合	
■	豫算額	用地費並物件移轉補償費
■	當期迄 支拂額	
%	支拂額 支歩合	
■	豫算額	計
■	當期迄	
%	支歩合	
	摘要	

備考

一、御陵名、豫算額ハ出來形及支出ノ有無ニ拘ラズ工事箇所全部ニ就イ
テ掲記スルコト

二、工事費豫算額ニハ監督雜費及用地費竝物件移轉補償費ヲ除キタル總
テノ費用ヲ合算計上スルコト

三、工事費出來高ハ工事費ノ支拂濟ナルト否トニ拘ラズ工事ノ出來形
(用地竝物件移轉補償關係ヲ除ク)ヲ金額ニ比例換算シタルモノヲ掲記スルコト

四、用地費竝物件移轉補償費中支拂義務確定シ當該期間内ニ支拂ヲ爲ス
見込アルモノニ付テハ其ノ金額ヲ支拂額欄ニ括弧書ヲ以テ外書スル
コト

五、勞力奉仕及物件ノ寄附等ハ之ヲ金額ニ換算シ朱書スルコト

六、監督雜費ニ付テハ豫算額支拂額及同步合ヲ合計欄ニ夫々掲記スルコ
ト

○紀元二千六百年奉祝會設立及監督規程

昭和十二年七月一日
閣令第三號

紀元二千六百年奉祝會設立及監督規程左ノ通定ム

紀元二千六百年奉祝會設立及監督規程

第一條 本令ニ於テ紀元二千六百年奉祝會ト稱スルハ紀元二千六百年祝典評議委員會ノ審議ヲ經タル奉祝記念事業ヲ施行スルコトヲ主タル目的トスル財團法人ヲ謂フ

紀元二千六百年奉祝會ノ設立及監督ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 紀元二千六百年奉祝會ノ設立者ハ設立許可申請書ニ寄附行爲竝ニ資産ノ種類及總額ヲ具シ内閣總理大臣ニ差出スベシ

第三條 左ニ掲グル事項ニ付テハ内閣總理大臣ノ認可ヲ受クベシ

一 事業計畫及收支豫算竝ニ其ノ變更

- 二 毎年度ノ收入支出豫算及其ノ變更
 - 三 役員ノ選任
 - 四 豫算外義務ノ負擔
 - 五 權利ノ讓渡又ハ拋棄
 - 六 歲計現金ヲ預入又ハ信託スル銀行又ハ信託會社
 - 七 借入金但シ同一年度内ニ償還スルモノヲ除ク
 - 八 殘餘財産ノ處分
 - 九 寄附行爲施行ニ關スル細則及其ノ變更
- 第四條 民法第四十五條、第四十六條又ハ第四十八條ノ規定ニ依リ登記ヲ爲シタルトキハ其ノ事項ヲ遲滯ナク内閣總理大臣ニ届出ツベシ
- 第五條 紀元二千六百年奉祝會ハ事業年度終了後二月以内ニ左ニ掲グル事項ヲ内閣總理大臣ニ報告スベシ
- 一 當該年度ノ事業狀況

- 二 當該年度ノ收入支出決算
 - 三 當該年度末ノ財産目錄
- 第六條 紀元二千六百年奉祝會ハ其ノ事務所ニ左ニ掲グル表簿ヲ備フベシ

- 一 寄附行爲所定ノ議決機關ノ決議錄
 - 二 處務日誌
 - 三 收入簿、支出簿及證憑書類
 - 四 資産臺帳及負債臺帳
 - 五 寄附臺帳及寄附申込書
 - 六 其ノ他必要ナル表簿
- 附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

文書課
15.9.7
第132號

116

主計局
15.9.6
第1019號

15.9.9
第600號

委囑件認可指令案

神武天皇聖蹟顯彰施設ニ関スル事務

大藏大臣了

次

官

文書課長

豫算課長

主計局長

調査課長

内閣書記官

内閣書記官

書記官

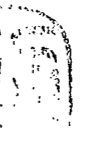
五八八

五八三

五九十一

昭和拾五年九月拾貳日

Multiple circular official seals and stamps, including names like '内閣書記官' and '書記官'.



紀元二千六百年奉祝會長公爵近衛文麿

昭和十五年八月二十一日附第一。四四號申請

神武天皇聖蹟顯彰施設ニ関スル事務委

囑件認可ス

昭和十五年九月十一日

内閣總理大臣

内閣總理大臣

第一〇四四號

昭和十五年八月二十一日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵近衛文麿



内閣總理大臣 公爵近衛文麿 殿

神武天皇聖蹟顯彰施設ニ関スル事務委囑ノ
件認可申請

本會施行ニ係ル紀元二千六百年奉祝記念事業タル神武天皇聖蹟ノ關
查保存顯彰ノ中施設ニ關スル事務ヲ左記條件ニ依リ奈良、和歌山、
岡山、廣島、福岡及大分ノ各縣知事ニ對シ夫々委囑致度候條御認可
相成度此段及申請候也

記

15.8.23
第577號

- 一 顯彰施設ヲ要スル箇所ハ別紙ノ通トシ之ガ經費ハ一箇所凡ソ金壹萬壹千圓トス
- 二 顯彰施設ノ方法ハ個々ノ箇所ニ付夫々本會提出ノ設計圖及仕様書ニ依ルコト
- 三 施設ニ關スル事務ハ凡ソ昭和十五年十二月末迄ニ完了スルコト
- 四 豫算ハ豫メ本會ト協議ノ上之ヲ決定スルコト
- 五 前號ノ經費ハ事業ノ進捗ニ伴ヒ本會夫々關係縣ニ納付スルコト
- 六 前各號ノ外事務施行ニ關スル取扱手續ハ別紙ノ通トスルコト

神武天皇聖蹟顯彰施設事務施行ニ關スル取扱手續

第一

縣ハ事業ニ着手シタルトキ及之ガ竣工シタルトキハ速ニ其ノ箇所毎ニ着手又ハ竣工ノ日ヲ紀元二千六百年奉祝會ニ報告スルコト

第二

縣ハ事業ガ本年度内（昭和十五年十二月三十一日）ニ竣工セザルトキハ次年度經費概算ヲ本年九月三十日迄ニ紀元二千六百年奉祝會ニ提出スルコト

第三 縣ハ當該年度支出精算書ヲ年度經過後速ニ紀元二千六百年奉祝會ニ提出スルコト

第四 經費ノ納付ニ關シテハ左ノ通トスルコト

一 縣ハ各年度ノ經費ニ付キ豫メ月別支拂豫定額ヲ概定シ
紀元二千六百年奉祝會ニ通知スルコト

二 縣ハ支拂見込額ヲ前月末迄ニ紀元二千六百年奉祝會ニ
通知シ之ガ資金ノ納付ヲ受クルコト但シ一時ニ多額ノ支拂ヲ爲

ス場合ニ於テハ其ノ都度納付ヲ受クルコト

第五 縣ハ毎月收入支出計算書ニ證據書類ヲ添ヘ次月上旬迄
ニ紀元二千六百年奉祝會ニ提出スルコト

第六 縣ハ左ニ掲グル場合ニ於テハ事前ニ紀元二千六百年奉
祝會ニ協議スルコト

一 豫算各科目ノ金額ヲ彼此流用スルトキ
二 給與ニ關スル規程ヲ制定スルトキ

- 三 價格五百圓以上ノ物品ヲ購入スルトキ
- 四 賞與又ハ手當ヲ給與スルトキ
- 五 殘餘物件ノ處分ヲ爲ストキ
- 第七 前各號ニ掲グルモノノ外重要ナル事項ニ付テハ紀元二千六百
年奉祝會ニ協議スルコト

神武天皇聖蹟顯彰施設委囑調

名 稱	縣 名
一 丹生川上	奈良縣
一 鷗 邑	同
一 鳥見山中靈時	同
一 菟田穿邑	同
一 磐余邑	同
一 狹井河之上	同
一 名草邑	和歌山縣

一 狹野	和歌山縣
一 熊野神邑	同
一 高嶋宮	岡山縣
一 埃ノ宮	廣島縣
一 多祁理宮	福岡縣
一 崗水門	大分縣
一 菟狹	大分縣

丹生川上ニ關スル件

奈良縣

一 調査概要

一 名 稱

神武天皇聖蹟丹生川上

一 所在地

奈良縣吉野郡小川村

一 地點地域

大字小ノ官幣大社丹生川上神社中社ノ附近

二 保存顯彰ノ方法ニ關スル意見

神武天皇聖蹟丹生川上ニ關スル保存顯彰施設ニ付テハ左ノ通寶施セラルベキ要アリト認ム

一 保存顯彰施設ノ實施箇所

奈良縣吉野郡小川村大字小ノ官幣大社丹生川上神社中社

社丹生神社（本宮）ノ地先

一、保存顯彰施設ノ内容

顯彰碑（良質ノ花崗岩）及石柵ノ建設

二、顯彰碑ノ記載文辭

（表面）

神武天皇聖蹟丹生川上顯彰碑

（裏面）

神武天皇戊午年九月天下平定ノ爲平^{ヒラカ}免^{イツバ}及殿^{イツバ}免^{イツバ}ヲ造リ給ヒ丹生川上ニ陟リテ天神地祇ヲ祭ラセラレ又丹生之川ニ殿^{イツバ}免^{イツバ}ヲ沉メテ所リ給ヘリ聖蹟ハ此ノ地附近ナリ

三、其ノ他必要ナル事項

本件保存顯彰施設實施箇所ハ通路ノ一部ニ係ルモノナルヲ以テ實施ノ際ハ該通路ヲ他ニ變更セシムルノ要アルモノト認メラル

鶏^ニ 鷄^ニ 飼^{スル} 件

一、調査概要

二、名稱

神武天皇聖蹟鶏^ニ 鷄^ニ 飼^{スル} 件

三、所在地

奈良縣生駒郡

四、地點地域

凡ソ北倭村及富雄村ニ亙ル地方

五、保存顯彰ノ方法ニ關スル意見

神武天皇聖蹟鶏^ニ 鷄^ニ 飼^{スル} 件ニ付テハ左ノ通實施セラベキ要アリト認ム

六、保存顯彰施設ノ實施箇所

奈良縣生駒郡北倭村大字上字峯ノ浦

一、保存顯彰施設ノ内容

顯彰碑（良質ノ花崗岩）及石柵ノ建設

一、顯彰碑ノ記載文辭

（表面）

神武天皇聖蹟鶏邑顯彰碑

（裏面）

神武天皇戊午年十二月皇軍ヲ率キテ長髓彦ノ軍ヲ御討伐アラセ
ラレタリ時ニ金鶏ノ瑞ヲ得サセ給ヒシニ因リ時人其ノ邑ヲ鶏
邑ト稱セリ聖蹟ハ此ノ地方ナルベシ

鳥見山中靈跡ニ關スル件

一、調査概要

一、名稱

神武天皇聖蹟鳥見山中靈跡傳説地

一、所在地

奈良縣磯城郡城島村、櫻井町

一、地點地域

城島村及櫻井町ニ跨ル鳥見山附近

二、保存顯彰ノ方法ニ關スル意見

神武天皇聖蹟鳥見山中靈跡傳説地ニ關スル保存顯彰施設ニ付テハ左
ノ通實施セラルベキ要アリト認ム

一、保存顯彰施設ノ實施箇所

奈良縣磯城郡櫻井町大字櫻井字能登村社等彌神社附近

一、保存顯彰施設ノ内容

顯彰碑（良質ノ花崗岩）及石柵ノ建設

二、顯彰碑ノ記載文辭

（表面）

神武天皇聖蹟鳥見山中靈時顯彰碑

（裏面）

神武天皇御東征ノ鴻業ヲ遂ゲサセ給ヒ橿原宮ニ御即位ノ後四年

二月鳥見ノ山ノ中ニ靈時スリノミヲ立テテ皇祖天神ヲ祭ラセラレ大孝ヲ

申ヘ給ヘリ聖蹟ハ此ノ地附近ニアリト傳ヘラル

菟田穿邑ニ關スル件

一、調査概要

一、名稱

神武天皇聖蹟菟田穿邑ウサキノムラ

二、所在地

奈良縣宇陀郡宇賀志村

三、地點地域

大字宇賀志ノ邊

二、保存顯彰ノ方法ニ關スル意見

神武天皇聖蹟菟田穿邑ニ關スル保存顯彰施設ニ付テハ左ノ通實施セラレベキ要アリト認ム

一、保存顯彰施設ノ實施箇所

奈良縣宇陀郡宇賀志村大字宇賀志ノ村社八坂神社附近

一 狹野	和歌山縣
一 熊野神邑	同
一 高嶋宮	岡山縣
一 埃ノ宮	廣島縣
一 多祁理宮	廣島縣
一 崗水門	福岡縣
一 菟狹	大分縣

丹生川上ニ關スル件

奈良縣

一、調査概要

一、名稱

神武天皇聖蹟丹生川上

一、所在地

奈良縣吉野郡小川村

一、地點地域

大字小ノ官幣大社丹生川上神社中社ノ附近

二、保存顯彰ノ方法ニ關スル意見

神武天皇聖蹟丹生川上ニ關スル保存顯彰施設ニ付テハ左ノ通寶施セラルベキ要アリト認ム

一、保存顯彰施設ノ實施箇所

奈良縣吉野郡小川村大字小ノ官幣大社丹生川上神社中社

社丹生神社（本宮）ノ地先

一、保存顯彰施設ノ内容

顯彰碑（良質ノ花崗岩）及石柵ノ建設

一、顯彰碑ノ記載文辭

（表面）

神武天皇聖蹟丹生川上顯彰碑

（裏面）

神武天皇戊午年九月天下平定ノ爲平^{ヒラカ}免及嚴^{イツバ}免ヲ造リ給ヒ丹生川上ニ陟リテ天神地祇ヲ祭ラセラレ又丹生之川ニ嚴免ヲ沉メテ祈リ給ヘリ聖蹟ハ此ノ地附近ナリ

一、其ノ他必要ナル事項

本件保存顯彰施設實施箇所ハ通路ノ一部ニ係ルモノナルヲ以テ實施ノ際ハ該通路ヲ他ニ變更セシムルノ要アルモノト認メラル

鷄邑ニ關スル件

一、調査概要

一、名 稱

神武天皇聖蹟鷄邑

一、所在地

奈良縣生駒郡

一、地點地域

凡ソ北倭村及富雄村ニ互ル地方

二、保存顯彰ノ方法ニ關スル意見

神武天皇聖蹟鷄邑ニ關スル保存顯彰施設ニ付テハ左ノ通實施セラレベキ要アリト認ム

一、保存顯彰施設ノ實施箇所

奈良縣生駒郡北倭村大字上字峯ノ浦

一、保存顯彰施設ノ内容

顯彰碑（良質ノ花崗岩）及石柵ノ建設

二、顯彰碑ノ記載文辭

（表面）

神武天皇聖蹟鷄邑顯彰碑

（裏面）

神武天皇戊午年十二月皇軍ヲ率キテ長髓彦ノ軍ヲ御討伐アラセ
ラレタリ時ニ金鷄ノ瑞ヲ得サセ給ヒシニ因リ時人其ノ邑ヲ鷄
邑ト稱セリ聖蹟ハ此ノ地方ナルベシ

鳥見山中靈時ニ關スル件

一、調査概要

一、名稱

神武天皇聖蹟鳥見山中靈時傳説地

二、所在地

奈良縣磯城郡城島村、櫻井町

三、地點地域

城島村及櫻井町ニ跨ル鳥見山附近

四、保存顯彰ノ方法ニ關スル意見

神武天皇聖蹟鳥見山中靈時傳説地ニ關スル保存顯彰施設ニ付テハ左
ノ通實施セララルベキ要アリト認ム

一、保存顯彰施設ノ實施箇所

奈良縣磯城郡櫻井町大字櫻井字能登村社等彌神社附近

一、保存顯彰施設ノ内容

顯彰碑（良質ノ花崗岩）及石柵ノ建設

二、顯彰碑ノ記載文辭

（表面）

神武天皇聖蹟鳥見山中靈時顯彰碑

（裏面）

神武天皇御東征ノ鴻業ヲ遂ゲサセ給ヒ樞原宮ニ御即位ノ後四年
二月鳥見ノ山ノ中ニ靈時（イリノミ）ヲ立テテ皇祖天神ヲ祭ラセラレ大孝ヲ
申ヘ給ヘリ聖蹟ハ此ノ地附近ニアリト傳ヘラル

菟田穿邑ニ關スル件

一、調査概要

一、名稱

神武天皇聖蹟菟田穿邑（ウサノノハラ）

二、所在地

奈良縣宇陀郡宇賀志村

三、地點地域

大字宇賀志ノ邊

二、保存顯彰ノ方法ニ關スル意見

神武天皇聖蹟菟田穿邑ニ關スル保存顯彰施設ニ付テハ左ノ通實施セ
ラルベキ要アリト認ム

一、保存顯彰施設ノ實施箇所

奈良縣宇陀郡宇賀志村大字宇賀志ノ村社八坂神社附近

一、保存顯彰施設ノ内容

顯彰碑（良質ノ花崗岩）及石柵ノ建設

二、顯彰碑ノ記載文辭

（表面）

神武天皇聖蹟菟田穿邑顯彰碑

（裏面）

神武天皇戊午年頭八咫鳥ノ鄉導ニ依リ道臣命ヲ皇軍ノ將トシテ
菟田穿邑ニ至リ給ヘリ聖蹟ハ此ノ地方ナルベシ

磐余邑ニ關スル件

一、調査概要

一、名稱

神武天皇聖蹟磐余邑推考地

二、所在地

奈良縣磯城郡櫻井町、安倍村、香久山村

三、地點地域

櫻井町大字谷ノ磐余山及其ノ南ノ丘陵附近ヨリ安倍村大字池
之内及香久山村大字池尻附近ニ互ル地域

二、保存顯彰ノ方法ニ關スル意見

神武天皇聖蹟磐余邑推考地ニ關スル保存顯彰施設ニ付テハ左ノ通
實施セラルベキ要アリト認ム

一、保存顯彰施設ノ實施箇所

奈良縣磯城郡香久山村大字吉備字高部村社春日神社附近

一、保存顯彰施設ノ内容

顯彰碑（良質ノ花崗岩）及石柵ノ建設

二、顯彰碑ノ記載文辭

（表面）

神武天皇聖蹟磐余邑顯彰碑

（裏面）

神武天皇戊午年十一月兄磯城ヲ討チ給ヒ皇軍ノ虜ヲ破ルヤ
大軍集マリテ磐余邑ニ充滿セリ聖蹟ハ此ノ地方ナリト推セ
ラル

狹井河之上ニ關スル件

一、調査概要

一、名稱

神武天皇聖蹟狹井河之上（イカハノホトリ）推考地

二、所在地

奈良縣磯城郡三輪町、織田村

三、地點地域

凡ソ三輪町大字三輪字鎮女附近ヨリ織田村大字茅原字堀田附
近ニ互ル地域

四、保存顯彰ノ方法ニ關スル意見

神武天皇聖蹟狹井河之上推考地ニ關スル保存顯彰施設ニ付テハ左
ノ通實施セラルベキ要アリト認ム

五、保存顯彰施設ノ實施箇所

奈良縣磯城郡織田村大字茅原字堀田

一、保存顯彰施設ノ内容

顯彰碑（良質ノ花崗岩）及石柵ノ建設

一、顯彰碑ノ記載文辭

（表面）

神武天皇聖蹟狹井河之上顯彰碑

（裏面）

神武天皇伊須氣余理比賣命ノ御家アリシ狹井河之上ニ行幸アラセラレタリ聖蹟ハ此ノ地附近ナリト推セラル

名草邑ニ關スル件

和歌山縣

一、調査概要

一、名稱

神武天皇聖蹟名草邑推考地

一、所在地

和歌山縣海草郡、和歌山市

一、地點地域

海草郡安原村及和歌山市紀三井寺町ニ跨ル名草山附近

二、保存顯彰ノ方法ニ關スル意見

神武天皇聖蹟名草邑推考地ニ關スル保存顯彰施設ニ付テハ左ノ通實施セラルベキ要アリト認ム

一、保存顯彰施設ノ實施箇所

和歌山縣海草郡安原村大字廣原字長山附近

一、保存顯彰施設ノ内容

顯彰碑（良質ノ花崗岩）及石柵ノ建設

二、顯彰碑ノ記載文辭

（表面）

神武天皇聖蹟名草邑顯彰碑

（裏面）

神武天皇戊午年六月皇軍ヲ率キテ名草邑ニ至ラセラレ名草
戸^{ナクサ}降ヲ降シ給ヘリ聖蹟ハ此ノ地方ナリト推セラル

狹野ニ關スル件

一、調査概要

一、名稱

神武天皇聖蹟狹野

二、所在地

和歌山縣新宮市

三、地點地域

佐野ノ邊

二、保存顯彰ノ方法ニ關スル意見

神武天皇聖蹟狹野ニ關スル保存顯彰施設ニ付テハ左ノ通實施セ
ラルベキ要アリト認ム

一、保存顯彰施設ノ實施箇所

和歌山縣新宮市佐野字秋津野ノ佐野王子趾附近

一、保存顯彰施設ノ内容

顯彰碑（良質ノ花崗岩）及石柵ノ建設

一、顯彰碑ノ記載文辭

（表面）

神武天皇聖蹟狹野顯彰碑

（裏面）

神武天皇戊午年皇軍ヲ率キ狹野ヲ越エテ熊野神邑ニ向ハセ
給ヘリ聖蹟ハ此ノ地方ナルベシ

熊野神邑ニ關スル件

一、調査概要

一、名 稱

神武天皇聖蹟熊野神邑

一、所在地

和歌山縣新宮市

一、地點地域

新宮ノ邊

二、保存顯彰ノ方法ニ關スル意見

神武天皇聖蹟熊野神邑ニ關スル保存顯彰施設ニ付テハ左ノ通寶
施セラルベキ要アリト認ム

一、保存顯彰施設ノ實施箇所

和歌山縣新宮市新宮字上熊野ノ村社阿須賀神社境内

一、保存顯彰施設ノ内容

顯彰碑（良質ノ花崗岩）及石柵ノ建設

一、顯彰碑ノ記載文辭

（表面）

神武天皇聖蹟熊野神邑顯彰碑

（裏面）

神武天皇戊午年皇軍ヲ率キテ熊野神邑ニ至リ給ヘリ聖蹟ハ
此ノ地方ナルベシ

高嶋宮ニ關スル件

岡

縣

一、調査概要

一、名 稱

神武天皇聖蹟高嶋宮傳説地

一、所在地

岡山縣兒島郡甲浦村

一、地點地域

大字宮ノ浦字高嶋

二、保存顯彰ノ方法ニ關スル意見

神武天皇聖蹟高嶋宮傳説地ニ關スル保存顯彰施設ニ付テハ左ノ通寶
施セラルベキ要アリト認ム

一、保存顯彰施設ノ實施箇所

岡山縣兒島郡甲浦村大字宮ノ浦字高嶋

一、保存顯彰施設ノ内容

顯彰碑（良質ノ花崗岩）及石柵ノ建設

二、顯彰碑ノ記載文辭

（表面）

神武天皇聖蹟高嶋宮顯彰碑

（裏面）

神武天皇乙卯年三月舟師ヲ帥キ吉備國ニ入ラセラレ高嶋宮ニマシマシ三年ノ間舟楫ヲ備ヘ兵食ヲ蓄ヘ給ヘリ聖蹟ハ此ノ地ナリト傳ヘラル

埃多 多祁理宮ニ關スル件
多祁理宮ニ關スル件
多祁理宮ニ關スル件

廣島縣

一、調査概要

一、名稱

神武天皇聖蹟 埃多 多祁理宮 傳説地

二、所在地

廣島縣安藝郡府中町

三、地點地域

總社趾（字右宮ノ町）、縣社多家神社境内（字上宮ノ町）及松崎八幡趾（字八幡山、字松崎）ニ互ル地域

二、保存顯彰ノ方法ニ關スル意見

神武天皇聖蹟 埃多 多祁理宮 傳説地ニ關スル保存顯彰施設ニ付テハ左ノ道實施セララルベキ要アリト認ム

一 保存顯彰施設ノ實施箇所

廣島縣安藝郡府中町字上宮ノ町縣社多家神社附近ノ高處

一 保存顯彰施設ノ内容

顯彰碑（良質ノ花崗岩）及石柵ノ建設

一 顯彰碑ノ記載文辭

（表面）

神武天皇聖蹟埃宮多祁理宮宮顯彰碑

（裏面）

神武天皇甲寅年十二月舟師ヲ帥キ安藝國ニ至リマシテ埃宮ニマシマセリ阿岐國之多祁理宮モ蓋シ此ノ宮ナラン聖蹟ハ此地附近ニアリト傳ヘラル。

岡水門ニ關スル件

一 調査概要

一 名稱

神武天皇聖蹟岡水門

一 所在地

福岡縣遠賀郡蘆屋町

一 地點地域

蘆屋町ノ遠賀川河口附近ノ地

二 保存顯彰ノ方法ニ關スル意見

神武天皇聖蹟岡水門ニ關スル保存顯彰施設ニ付テハ左ノ道實施セラルベキ要アリト認ム

一 保存顯彰施設ノ實施箇所

福岡縣遠賀郡蘆屋町大字蘆屋ノ蘆屋尋常高等小學校校庭

一、保存顯彰施設ノ内容

顯彰碑（良質ノ花崗岩）及石柵ノ建設

二、顯彰碑ノ記載文辭

（表面）

神武天皇聖蹟崗水門顯彰碑

（裏面）

神武天皇甲寅年十一月舟帥ヲ帥キテ筑紫國崗水門ニ至リ給ヘ
聖蹟ハ此ノ地附近ナルベシ

菟狹ニ關スル件

一、調査概要

一、名稱

神武天皇聖蹟菟狹推考地

一、所在地

大分縣宇佐郡

一、地點地域

凡ソ北馬城村大字和氣、大字橋津附近ヨリ宇佐町大字南宇佐
附近ニ互ル地域

二、保存顯彰ノ方法ニ關スル意見

神武天皇聖蹟菟狹推考地ニ關スル保存顯彰施設ニ付テハ左ノ通實
施セラルベキ要アリト認ム

一、保存顯彰施設ノ實施箇所

大分縣

六分縣字佐郡字佐町大字南字佐ノ官幣大社字佐神宮境内附近

一、保存顯彰施設ノ内容
顯彰碑（良實ノ花崗岩）及石橋ノ建設

（表面）

勅武天皇聖蹟苑映顯彰碑

（裏面）

此碑天皇甲寅年冬舟師ヲ歸キテ筑紫國菟狹ニ至リ給ヘリ聖蹟
此碑地方ナリト推セラル

奉送
一。十八號

昭和十五年九月十三日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

供
内閣總理大臣 公爵 近衛文麿 殿

局長 長...

職員囑託ノ件

本會職員左ノ通囑託致候條此段及報告候

記

（日本放送協會業務局文藝部洋樂課員）

有坂愛彦
三宅善三
牧定忠

紀元二千六百年奉祝會事務ヲ囑託ス



祝會 第一〇五號

昭和十五年九月十六日

紀元二千六百年奉祝會會長 公爵近衛文麿

内閣總理大臣 公爵近衛文麿 殿

職員囑託ノ件

本日附本會職員左ノ通囑託致候ニ付此段及報告候

記

小澤省三

紀元二千六百年奉祝會事務ヲ囑託ス



Faint, mostly illegible text on the reverse side of the document, possibly bleed-through or a separate page.

昭和二十六年九月十七日

小野 幸三

本日附本會職員左記ノ通退職致候ニ付此段及報告候

御真繼清八将

内閣總理大臣 公爵 近衛 文麿

昭和二十六年九月十六日

昭和二十六年九月十六日



1150

昭和十五年九月十七日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛 文

内閣總理大臣 公爵 近衛 文麿 殿

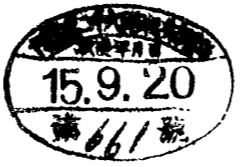
職員退職ノ件

本日附本會職員左記ノ通退職致候ニ付此段及報告候

記

宮崎 典一
大屋 一

願ニ依リ紀元二千六百年奉祝會書記ヲ免ス



願ニ於テ紀元二千六百年奉祝會書請カテ候ス

大 皇 宮 御 一

請

本日御本會職員法請ノ紙紙類並列ニ於出廻又辨告列

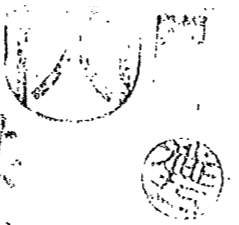
職員紙類ノ并

内閣總理大臣 公爵 近衛文麿

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

昭和十五年九月十七日

1/1/0



昭和十五年九月十七日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文

供覽 内閣總理大臣 公爵 近衛文麿 殿

職員採用ノ件

本日本會職員左ノ通採用致候ニ付此段及報告候

記

小 西 弘 男

紀元二千六百年奉祝會事務ヲ囑託ス



昭和二十六年九月二十四日

小西 巖 畏

請

本日本會職員等ノ職務用業務ニ付出現及報告書

職員採用ノ件

内閣總理大臣 公署 近衛文麿 殿

昭和二十六年九月二十四日

昭和二十六年九月二十四日



昭和二十六年九月二十四日

昭和二十六年九月二十四日

紀元二千六百年奉祝會長 公署 近衛文麿 殿



内閣總理大臣 公署 近衛文麿 殿

地方副支部長囑託ノ件

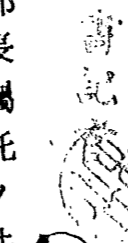
本日本會副支部長左記ノ通囑託致候ニ付此段及報告候

記

山梨縣學務部長

渡部 宏 綱

紀元二千六百年奉祝會山梨縣副支部長ヲ囑託ス



昭和十五年九月二十八日

紀元二千六百年奉祝會會長 公爵近衛文麿

内閣總理大臣 公爵近衛文麿 殿

職員囑託ノ件

本會職員左ノ通囑託致候ニ付此段及報告候

記

齋藤秀雄

局長

書記官

職員囑託ノ件

紀元二千六百年奉祝會會務ヲ囑託ス

昭和十五年九月二十八日

紀元二千六百年奉祝會會長 公爵近衛文麿

内閣總理大臣 公爵近衛文麿 殿

職員囑託ノ件

記

齋藤秀雄

紀元二千六百年奉祝會會務ヲ囑託ス

15.11

紀元二千六百年奉祝會事務手囑託ス

本會職員左ノ通囑託致候條此段及報告候
職員囑託ノ件

内閣總理大臣 公爵 近衛 文 麿 殿

昭和十五年九月二十八日

紀元二千六百年奉祝會事務手囑託ス

紀元二千六百年奉祝會會長 公爵 近衛 文 麿

内閣總理大臣 公爵 近衛 文 麿 殿

職員囑託ノ件

本會職員左ノ通囑託致候條此段及報告候

記

(内務技師)

春藤 眞三

(同)

町田 保

紀元二千六百年奉祝會事務手囑託ス

(内務技手)

小野 好男

紀元二千六百年奉祝會書記手囑託ス



伊江二十六年十月廿五日
 内閣 大臣 公爵 近衛 文麿
 紀元二千六百六十年奉祝會會長 公爵 近衛 文麿
 本會職員等、御趣意に對し、御禮を呈上す。

内閣總理大臣 公爵 近衛 文麿

昭和十五年九月三十日

第一一五五號



15.10.-1
 第1155號

昭和十五年九月三十日

紀元二千六百年奉祝會會長 公爵 近衛 文麿

内閣總理大臣 公爵 近衛 文麿 殿



供覽

局 候
 局長 近衛 文麿

顧問囑託ニ關スル件

九月二十四日附總裁ヨリ左記ノ通本會顧問御囑託相成候條此段及報告

記

書記官

海軍大臣

及 川 古 志 郎

紀元二千六百年奉祝會顧問ヲ囑託ス

昭和十五年十月一日

岩手縣總務部長

紀元二千六百年奉祝會岩手縣副支部長才囑託ス

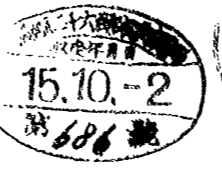
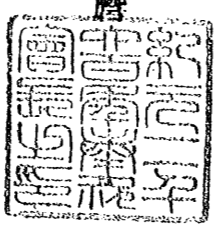
内閣總理大臣公爵近衛文麿殿

地方副支部長囑託ノ件

本日本會副支部長左記ノ通囑託致候ニ付此段及報告候

記

紀元二千六百年奉祝會長 公爵近衛文麿



供覽

内閣總理大臣公爵近衛文麿殿

馬長

地方副支部長囑託ノ件

本日本會副支部長左記ノ通囑託致候ニ付此段及報告候

記

岩手縣總務部長

遠山信一郎

紀元二千六百年奉祝會岩手縣副支部長才囑託ス

昭和二十六年十月三日附第...

第...

本日本會... 附支... 附支...

內閣廳野大臣公體...

昭和二十六年十月一日

六九六

六九六

十五十五

昭和十五年十月七日

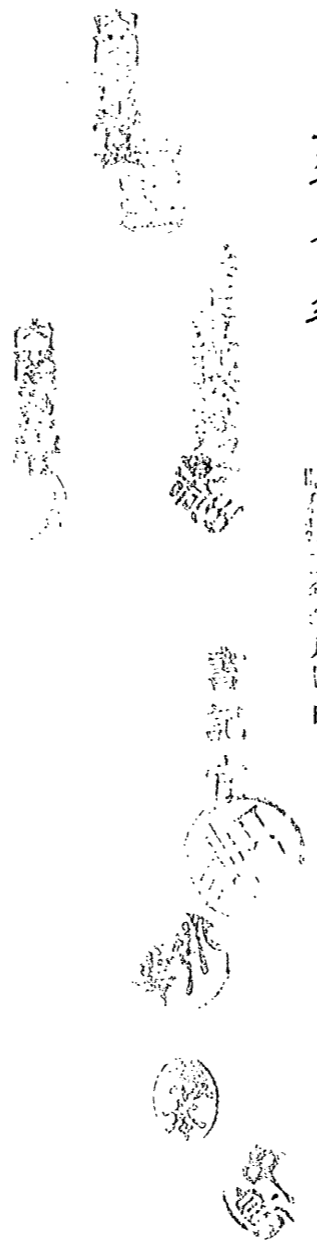
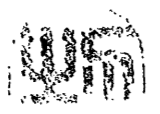
了

紀元二千六百年奉祝會役員選任認可指令案

紀元二千六百年奉祝會長公爵近衛文磨

昭和十五年十月二日附第...

一三五號申請役員選任一件認可



188

昭和十五年十月七日

内閣總理大臣

内閣記録第六〇

第一二二二號

昭和十五年十月二日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文



内閣總理大臣 公爵 近衛文 啓 殿

役員選任ノ件認可申請

本會評議員左ノ通選任致度候條御認可相成度此段及申請候也

記

山形縣知事
三條商工會議所會頭
清水商工會議所會頭
釜石商工會議所會頭

山 内 繼 喜
今 井 雄 七
原 田 三 左 衛 門
紀 谷 佐 太 郎

15.10.-5
第 696 號

門司商工會議所會頭
 鹿兒島商工會議所會頭
 合同新聞社長
 佐賀縣農會長
 紀元二千六百年奉祝會評議員ヲ囑託ス

久野勘介
 池畑徳藏
 橋本富三郎
 武富禮太郎

内閣總理大臣公爵近衛文麿

奉祝會第一二三九號

昭和十五年十月三日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵近衛文麿



内閣總理大臣 公爵近衛文麿 殿

役員選任ノ件認可申請

本會役員左ノ通選任致度候條御認可相成度此段及申請候也

記

京都商工會議所會頭 竹上藤次郎

紀元二千六百年奉祝會理事ヲ囑託ス

昭和二十六年半年奉還會賬簿

村上 謙 次 頂

印

本會役員及、監事並経理者等の出退及申請書

役員並出、申請書

内閣府大蔵省 公債 証券 文庫 編

昭和二十六年半年奉還會長 公債 証券 文庫

昭和二十六年十月三日

六七九

五十一

五十九

書記官

紀元二千六百年奉還會長公爵近衛文磨ヨリ別紙ノ通

昭和十五年八月分收入支出計算提出ノ付内容

査閲セルニ異状無シ

右供高覧候

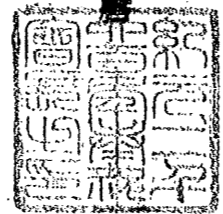
昭和十五年九月二十八日

第一二一、號

昭和十五年九月二十八日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵近衛文麿

内閣總理大臣 公爵近衛文麿 殿



收入支出計算書提出ノ件

昭和十五年八月分收入支出計算書別紙ノ通及提出候也

收支一覽表

昭和 年 月 分

收		入		支		出		現在高
前月迄累計	本月分	計	前月迄累計	本月分	計	前月迄累計	本月分	計
7,677,073.74	1,130,972.25	8,808,046.00	12,447,983.37	716,743.16	1,971,717.53	7,167,206.53		

備考

現在高内譯

銀行預金總額	振替貯金	國債證券	現金	合計
7,167,206.53	1,344.73	2,453.00	42.22	7,167,206.53

備考

- 1 銀行預金總額ノ明細下段ノ部
- 2 國債證券ハ 三分午年債額 2,500円也

銀行預金明細

銀行名	定期	通知	特別當座	當座	計
三井銀行	500,000.00	0	51,721.77	0	551,721.77
三菱銀行	500,000.00	0	32,546.77	0	532,546.77
安田銀行	750,000.00	0	124,071.12	0	874,071.12
住友銀行	820,000.00	2,520,000.00	51,301.23	0	3,391,301.23
第一銀行	750,000.00	1,078,000.00	75,716.37	1,044.73	2,903,761.10
橫濱正金銀行東京支店	70,000.00	0	112,572.71	0	182,572.71
朝鮮銀行東京支店	70,000.00	0	57,164.78	0	127,164.78
臺灣銀行東京支店	70,000.00	0	51,072.75	0	121,072.75
第一百銀行	322,000.00	0	35,325.77	0	357,325.77
三和銀行	520,000.00	0	47,076.64	0	567,076.64
野村銀行	400,000.00	0	28,108.75	0	428,108.75
計	5,070,000.00	1,338,000.00	743,217.65	1,044.73	7,167,206.53

收入計算書

昭和十五年 月分

科 目	豫 算 額	收 入		豫 算 残 額	備 考
		前月迄累計	本 月 分		
第一款 下賜金	1,000,000.00	1,000,000.00	0	1,000,000.00	0
第一項 下賜金	1,000,000.00	1,000,000.00	0	1,000,000.00	0
第一目 下賜金	1,000,000.00	1,000,000.00	0	1,000,000.00	0
第二款 國庫補助金	1,000,000.00	250,000.00	250,000.00	500,000.00	500,000.00
第一項 國庫補助金	1,000,000.00	250,000.00	250,000.00	500,000.00	500,000.00
第一目 國庫補助金	1,000,000.00	250,000.00	250,000.00	500,000.00	500,000.00
第三款 附 金	5,000,000.00	3,259,644.13	265,375.72	4,225,539.85	874,460.15
第一項 附 金	5,000,000.00	3,259,644.13	265,375.72	4,225,539.85	874,460.15
第一目 附 金	5,000,000.00	3,259,644.13	265,375.72	4,225,539.85	874,460.15
第四款 收入	74,500.00	301,047.62	7,133.50	308,181.12	213,681.00
第一項 收入	74,500.00	301,047.62	7,133.50	308,181.12	213,681.00
第一目 金利子	74,500.00	68,871.88	6,831.60	75,703.48	8,996.52
第二目 入	10,000.00	232,175.74	301.90	232,477.64	222,477.64
第五款 繰越金	3,480,000.00	3,196,402.09	0	3,196,402.09	283,597.91
第一項 繰越金	3,480,000.00	3,196,402.09	0	3,196,402.09	283,597.91
第一目 前年度繰越金	3,480,000.00	3,196,402.09	0	3,196,402.09	283,597.91

計 10,574,500.00 8,607,098.4 523,029.22 7,130,123.06 1,441,376.94

支出計算書

昭和15年 月 分

(1)

科 目	豫 算 額	支 出 額		豫 算 残 額	備 考
		前月迄累計	本 月 分		
第一項 第一目 事務費	46,924.00	44,377.68	1,326.11	53,203.74	43,920.21
第一項 第一目 第一目 議費	2,195.00	1,720.20	0	1,720.20	254.70
第一項 第一目 第二目 議費	2,195.00	1,720.20	0	1,720.20	254.70
第一項 第一目 第三目 與費	17,447.00	5,605.75	702.50	5,303.25	11,070.64
第一項 第一目 第四目 給	1,230.00	1,230.00	45.00	2,166.74	745.71
第一項 第一目 第五目 託給	2,400.00	1,149.67	120.00	1,329.67	1,070.33
第一項 第一目 第六目 託給	1,160.00	0	0	0	1,160.00
第一項 第一目 第七目 託給	564.00	0	0	0	564.00
第一項 第一目 第八目 當	3,000.00	2,117.30	140.50	2,241.50	725.20
第一項 第一目 第九目 費	570.00	570.00	0	570.00	0
第一項 第一目 第十目 費	6,000.00	4,564.55	1,275.07	5,349.67	142.33
第一項 第一目 第十一目 費	6,000.00	4,564.55	1,275.07	5,349.67	142.33
第一項 第一目 第十二目 費	4,400.00	2,071.51	559.12	2,647.43	1,750.57
第一項 第一目 第十三目 費	500.00	249.77	107.54	359.33	142.67
第一項 第一目 第十四目 費	1,500.00	249.67	70.00	237.67	1,160.33
第一項 第一目 第十五目 費	1,200.00	749.14	290.67	1,139.72	60.16
第一項 第一目 第十六目 費	1,200.00	742.71	67.00	712.11	379.77
第一項 第一目 第十七目 費	21,000.00	14,353.50	3,972.50	13,146.00	2,754.00
第一項 第一目 第十八目 費	13,450.00	14,353.50	3,972.50	13,146.00	304.00
第一項 第一目 第十九目 費	2,650.00	0	0	0	2,650.00
第一項 第一目 第二十目 費	40,700.00	13,572.23	1,221.97	14,314.02	25,785.98
第一項 第一目 第二十一目 費	40,800.00	13,572.23	1,221.97	14,314.02	25,975.78
第一項 第一目 第二十二目 費	5,000.00	2,747.80	708.31	3,458.11	1,541.87
第一項 第一目 第二十三目 費	5,000.00	2,747.80	708.31	3,458.11	1,541.87
第一項 第一目 第二十四目 費	72,000.00	77,217.70	11,721.73	79,739.73	2,060.17
第一項 第一目 第二十五目 費	72,000.00	77,217.70	11,721.73	79,739.73	2,060.17
第一項 第一目 第二十六目 費	72,000.00	77,217.70	11,721.73	79,739.73	2,060.17

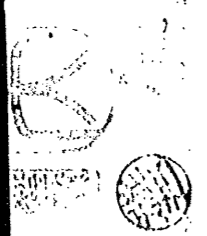


支出計算書

昭和15年 月 分

11)

科 目	豫 算 額	支 出 額		豫 算 残 額	備 考
		前月迄累計	本 月 分		
事務費	26,924.00	44,377.68	1,326.11	53,203.79	43,920.31
議費	2,115.00	1,725.00	-	1,725.00	390.00
議費	2,715.00	1,725.00	-	1,725.00	1,000.00
喫費	17,447.00	5,565.00	1,326.11	6,891.11	11,555.89
給	2,315.00	1,115.00	45.00	2,165.00	250.00
託給	2,400.00	1,021.67	10.00	1,324.67	1,075.33
託人	1,250.00	-	-	-	1,250.00
科當	814.00	-	-	-	814.00
喫	3,000.00	2,075.00	142.50	2,217.50	782.50
喫	570.00	570.00	0	570.00	0
費	6,000.00	4,564.55	1,213.07	5,777.62	222.38
費	6,000.00	4,564.55	1,213.07	5,777.62	222.38
所費	4,400.00	2,071.51	557.12	2,628.63	1,771.37
品費	50.00	247.77	107.54	355.31	144.69
印刷費	1,500.00	247.67	70.00	317.67	1,182.33
私品費	1,200.00	747.14	270.67	1,017.81	182.19
運搬費	1,200.00	742.71	614.00	1,356.71	163.29
車費	2,000.00	14,353.55	3,742.57	18,096.12	1,903.88
作成費	1,400.00	14,353.55	3,742.57	18,096.12	1,903.88
送達費	2,150.00	0	0	0	2,150.00
旅費	40,700.00	13,572.23	1,221.97	14,794.20	25,905.80
旅費	40,700.00	13,572.23	1,221.97	14,794.20	25,905.80
費	5,000.00	2,747.80	707.31	3,455.11	1,544.89
費	5,000.00	2,747.80	707.31	3,455.11	1,544.89
事務費	72,000.00	70,217.70	11,721.73	81,939.43	2,060.57
事務費	72,000.00	70,217.70	11,721.73	81,939.43	2,060.57
事務費	72,000.00	70,217.70	11,721.73	81,939.43	2,060.57



第一項 第一目 事務費
 第一項 第二目 議費
 第一項 第三目 議費
 第一項 第四目 喫費
 第一項 第五目 給
 第一項 第六目 託給
 第一項 第七目 託人
 第一項 第八目 科當
 第一項 第九目 喫
 第一項 第十目 喫
 第一項 第十一目 所費
 第一項 第十二目 品費
 第一項 第十三目 印刷費
 第一項 第十四目 私品費
 第一項 第十五目 運搬費
 第一項 第十六目 車費
 第一項 第十七目 作成費
 第一項 第十八目 送達費
 第一項 第十九目 旅費
 第一項 第二十目 旅費
 第一項 第二十一目 費
 第一項 第二十二目 費
 第一項 第二十三目 事務費
 第一項 第二十四目 事務費
 第一項 第二十五目 事務費

支出計算書

昭和 年 月 分

科目	豫算額	支出額			豫算残額	備考
		前月迄累計	本月分	計		
	円	円	円	円		
第三款 業費	5,024,315.00	1,121,377.47	176,775.12	1,298,152.59	3,206,162.41	
第一項 行政費	1,475,000.00	412,790.53	650,670.17	1,063,460.70	131,439.30	
第一目 行政費	1,475,000.00	412,790.53	650,670.17	1,063,460.70	131,439.30	
第二項 衛生費	137,000.00	133,245.00	0	133,245.00	4,755.00	
第二目 衛生費	137,000.00	133,245.00	0	133,245.00	4,755.00	
第三項 調査費	250,000.00	21,152.17	4,627.40	25,779.57	224,220.43	
第三目 調査費	250,000.00	21,152.17	4,627.40	25,779.57	224,220.43	
第四項 衛生費	376,000.00	76,737.77	30.00	76,767.77	299,232.23	
第四目 衛生費	376,000.00	76,737.77	30.00	76,767.77	299,232.23	
第五項 文庫建設費	1,047,434.00	14,804.30	1,051.21	15,855.51	1,031,578.49	
第五目 文庫建設費	1,047,434.00	14,804.30	1,051.21	15,855.51	1,031,578.49	
第六項 文化事業費	550,881.00	23,000.00	0	23,000.00	527,881.00	
第六目 文化事業費	550,881.00	23,000.00	0	23,000.00	527,881.00	
第七項 教育費	400,000.00	114,630.51	36,182.89	150,813.40	249,186.60	
第七目 教育費	400,000.00	114,630.51	36,182.89	150,813.40	249,186.60	
第八項 文化施設費	370,000.00	102,128.93	35,177.50	137,306.43	232,693.57	
第八目 文化施設費	370,000.00	102,128.93	35,177.50	137,306.43	232,693.57	
第九項 祝合費	750,000.00	5,437.37	4,307.45	9,744.82	740,255.18	
第九目 祝合費	750,000.00	5,437.37	4,307.45	9,744.82	740,255.18	
第四款 備費	193,330.00	0	0	0	193,330.00	
第四目 備費	193,330.00	0	0	0	193,330.00	
第五款 年度繰越費	5,164,731.00	0	0	0	5,164,731.00	
第五目 年度繰越費	5,164,731.00	0	0	0	5,164,731.00	
第六目 年度繰越費	5,164,731.00	0	0	0	5,164,731.00	
第七目 年度繰越費	5,164,731.00	0	0	0	5,164,731.00	
計	10,574,500.00	1,264,773.37	716,743.16	1,981,516.53	8,612,983.47	

第六百三十九號

一三三九

昭和十五年十月八日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵近衛文麿

內閣總理大臣 公爵近衛文麿殿

役員異動ノ件

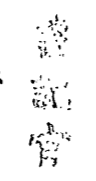
本會役員左記ノ通解囑相成候條此段及報告候

記

元京都商工會議所會頭

紀元二千六百年奉祝會理事囑託ヲ解ク

田中博



紀元二千六百年奉祝會常議員囑託ヲ解ク

本會役員左記ノ通異動有之候條此段及報告候

元海軍次官

元山形縣知事

元京都市會議長



内閣總理大臣 公爵 近衛 文 麿

昭和十五年十月八日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛 文 麿



内閣總理大臣 公爵 近衛 文 麿

書記官

役員異動ノ件

本會役員左記ノ通異動有之候條此段及報告候

記

元海軍次官

紀元二千六百年奉祝會常議員囑託ヲ解ク

元山形縣知事

元京都市會議長

住 山 德 太 郎

石 黒 武 重

田 中 和 一 郎



元秋田縣町村長會長	土田萬助
元東京文理科大學長	森岡常藏
元門司商工會議所會頭	出光佐三
紀元二千六百年奉祝會評議員囑託ヲ解ク	美馬儀一郎
昭和十四年八月二十日死亡 評議員	諸石兵藏
同 十五年四月 七日死亡 同	麻生久
同 九月 六日死亡 同	

奉祝會
 中一三九
 昭
 和
 十
 五
 年
 十
 月
 十
 四
 日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵近衛文麿

供
 應

内閣總理大臣 公爵近衛文麿 殿



顧問囑託ニ關スル件

十月五日附總裁ヨリ左記ノ通本會顧問御囑託相成候條此段及報告候

記

鐵道大臣

紀元二千六百年奉祝會顧問ヲ囑託ス

小川郷太郎



昭和十五年十月八日

本會理事異動本日登記完了致候條此段及御届候

同 日理事退任

内閣總理大臣 公爵 近衛 文 麿 殿
書記官

内閣第六五号

昭和十五年十月十四日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛 文 麿

同 日理事退任

同 田 中 博

同 竹 上 藤 次 郎

記

昭和十五年十月八日理事ニ就任

同 日理事退任



同日
昭和十五年十月十八日
...

本會職員左ノ通囑託竝ニ解囑相成候ニ付此段及報告候

内閣總理大臣 公爵 近衛 文磨 殿

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛 文磨

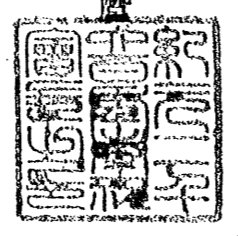
昭和十五年十月十六日

内閣經第之八号

第一三〇四號

昭和十五年十月十六日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛 文磨



内閣總理大臣 公爵 近衛 文磨 殿
書記官

職員囑託竝ニ解囑ノ件

本會職員左ノ通囑託竝ニ解囑相成候ニ付此段及報告候

記

(大藏省主計局調査課長)

河野 一之

紀元二千六百年奉祝會會務ヲ囑託ス

(宮内屬)

宮澤勝藏

紀元二千六百年奉祝會書記ヲ囑託ス

(元大藏省主計局調査課長)

前田克己

紀元二千六百年奉祝會會務囑託ヲ解ク

(元内閣屬)

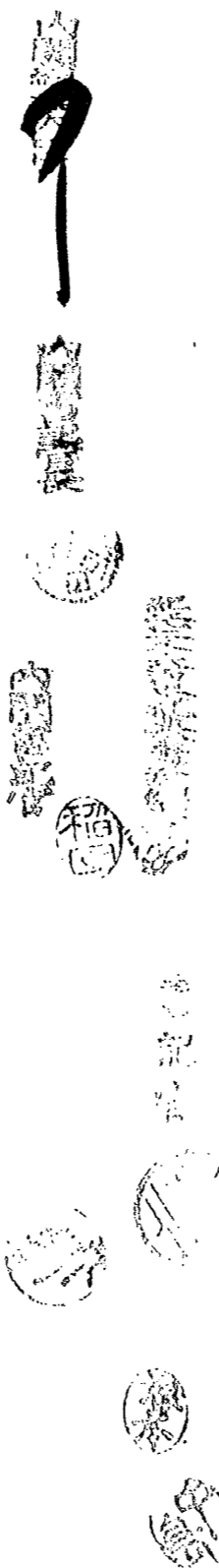
鯨井正

紀元二千六百年奉祝會書記囑託ヲ解ク

五十九

五十二元

五十二元



會計課長

別紙、通紀元二千六百年奉祝會長ヨリ昭和

十五年九月分収入支出計算書提出ニ付

内容審査セルニ異状無之

右供高覽候

内閣 第六八〇号

一三九

昭和十五年十月二十二日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

内閣總理大臣 公爵 近衛文麿 殿

收入支出計算書提出ノ件

昭和十五年九月分收入支出計算書別紙ノ通り及提出候也



收支一覽表

昭和15年 9月分

收		入		支		出		現在高
前月迄累計	本月分	計	前月迄累計	本月分	計	計		
2,130,123.06	614,244.70	2,744,557.70	1,961,916.53	39,870.01	2,001,786.54	2,744,209.126		

備考

現在高内譯

銀行預金總額	振替貯金	國債證券	現金	合計
2,707,279.03	17,957.06	15,453.00	92.17	2,742,779.26

備考

- 1 銀行預金總額ノ明細下記ノ通り
- 2 國債證券ハ

銀行預金明細

銀行名	定期	通知	特別當座	當座	計
三井銀行	700,000.00	0	7,598.47	0	707,598.47
三菱銀行	700,000.00	0	210,546.77	0	910,546.77
安田銀行	750,000.00	0	37,097.57	0	787,097.57
住友銀行	720,000.00	330,000.00	22,725.23	0	1,172,725.23
第一銀行	750,000.00	1,077,000.00	70,858.47	8,395.54	1,927,254.01
橫濱正金銀行東京支店	170,000.00	0	127,255.28	0	297,255.28
朝鮮銀行東京支店	170,000.00	0	5,164.98	0	175,164.98
臺灣銀行東京支店	170,000.00	0	1,072.75	0	171,072.75
第一百銀行	420,000.00	0	8,528.88	0	428,528.88
三和銀行	520,000.00	0	46,771.34	0	566,771.34
野村銀行	450,000.00	0	11,273.75	0	461,273.75
計	5,720,000.00	1,417,000.00	561,893.49	8,395.54	7,707,279.03

收入計算書

昭和15年9月分

科目	豫算額	収入額			豫算残額	備考
		前月迄累計	本月分	計		
第一級						
御下賜金	1,000,000.00	1,000,000.00	0	1,000,000.00	0	
御下賜金	1,000,000.00	1,000,000.00	0	1,000,000.00	0	
御下賜金	1,000,000.00	1,000,000.00	0	1,000,000.00	0	
第二級						
國庫補助金	1,000,000.00	500,000.00	0	500,000.00	500,000.00	
國庫補助金	1,000,000.00	500,000.00	0	500,000.00	500,000.00	
國庫補助金	1,000,000.00	500,000.00	0	500,000.00	500,000.00	
第三級						
附金	5,000,000.00	4,125,539.85	600,346.26	4,725,886.11	274,113.89	
附金	5,000,000.00	4,125,539.85	600,346.26	4,725,886.11	274,113.89	
附金	5,000,000.00	4,125,539.85	600,346.26	4,725,886.11	274,113.89	
推入	74,500.00	307,181.12	14,077.48	322,269.60	227,269.60	
推入	74,500.00	307,181.12	14,077.48	322,269.60	227,269.60	
預金利息	24,500.00	75,773.48	13,650.00	89,353.48	4,703.48	
推入	10,000.00	232,477.64	437.48	232,916.12	222,916.12	
前年度繰越金	3,470,000.00	3,196,402.09	0	3,196,402.09	283,597.91	
前年度繰越金	3,470,000.00	3,196,402.09	0	3,196,402.09	283,597.91	
前年度繰越金	3,470,000.00	3,196,402.09	0	3,196,402.09	283,597.91	
計	10,574,500.00	7,130,123.06	614,434.74	7,744,557.80	829,942.20	

支出計算書

昭和 15 年 7 月 分

(1)

科 目	豫 算 額	支 出 額			豫 算 残 額	備 考
		前月迄累計	本 月 分	計		
第一級 本部事務費	109925.00	53,203.79	2,776.75	55,980.54	53,933.25	
第一級 本部事務費	71,250.00					
第一級 本部事務費	2,175.00	1,920.20	115.00	1,931.90	243.30	
第一級 本部事務費	2,175.00	1,920.20	115.00	1,931.90	243.30	
第一級 本部事務費	17,449.00	6,358.36	778.50	7,136.86	10,312.14	
第一級 本部事務費	9,635.00	2,166.87	430.00	2,596.87	7,038.11	
第一級 本部事務費	2,400.00	1,329.67	206.00	1,535.67	864.33	
第一級 本部事務費	1,260.00	0	0	0	1,260.00	
第一級 本部事務費	564.00	0	0	0	564.00	
第一級 本部事務費	3,000.00	2,271.80	142.50	2,414.30	585.70	
第一級 本部事務費	590.00	590.00	0	590.00	0	
第一級 本部事務費	19,000.00	5,857.67	907.65	6,765.32	12,234.68	
第一級 本部事務費	19,000.00	5,857.67	907.65	6,765.32	12,234.68	
第一級 本部事務費	4,400.00	2,649.43	236.42	2,885.85	1,514.15	
第一級 本部事務費	500.00	357.33	0	357.33	142.67	
第一級 本部事務費	1,500.00	337.67	81.00	420.67	1,079.33	
第一級 本部事務費	1,200.00	1,139.82	33.70	1,173.52	26.48	
第一級 本部事務費	1,200.00	812.61	121.72	934.33	265.67	
第一級 本部事務費	21,100.00	18,146.00	0	18,146.00	2,954.00	
第一級 本部事務費	18,450.00	18,146.00	0	18,146.00	304.00	
第一級 本部事務費	2,650.00	0	0	0	2,650.00	
第一級 本部事務費	40,700.00	14,814.02	654.74	15,468.76	25,231.24	
第一級 本部事務費	40,700.00	14,814.02	654.74	15,468.76	25,231.24	
第一級 本部事務費	5,000.00	3,457.11	178.14	3,646.25	1,353.75	
第一級 本部事務費	5,000.00	3,457.11	178.14	3,646.25	1,353.75	
第一級 本部事務費	96,269.79	89,939.83	6,329.96	96,269.79	0	
第一級 本部事務費	96,269.79	89,939.83	6,329.96	96,269.79	0	
第一級 本部事務費	96,269.79	89,939.83	6,329.96	96,269.79	0	

支出計算書

昭和 年 月 分

(2)

科 目	豫 算 額	支 出 額		豫 算 残 額	備 考
		前月迄累計	本 月 分		
第三款 業 費	5,022,315.00	1,318,772.71	30,783.10	1,247,536.01	3,177,778.99
第一項 警備費	1,475,000.00	1,363,560.70	0	1,363,560.70	131,439.30
第一目 警備費	1,475,000.00	1,363,560.70	0	1,363,560.70	131,439.30
第二項 警備費	137,000.00	133,245.00	0	133,245.00	4,755.00
第一目 警備費	137,000.00	133,245.00	0	133,245.00	4,755.00
第二項 警備費	250,000.00	25,781.59	3,784.05	27,565.64	220,434.36
第一目 警備費	250,000.00	25,781.59	3,784.05	27,565.64	220,434.36
第三項 警備費	396,000.00	96,767.88	6,174.46	102,942.34	293,057.66
第一目 警備費	396,000.00	96,767.88	6,174.46	102,942.34	293,057.66
第四項 警備費	1,047,434.00	15,855.51	260.00	16,115.51	1,031,318.49
第一目 警備費	1,047,434.00	15,855.51	260.00	16,115.51	1,031,318.49
第五項 警備費	550,881.00	23,000.00	0	23,000.00	527,881.00
第一目 警備費	550,881.00	23,000.00	0	23,000.00	527,881.00
第六項 警備費	400,000.00	150,815.40	15,293.49	166,108.89	233,891.11
第一目 警備費	370,000.00	137,308.23	14,090.40	151,398.63	218,601.37
第二目 警備費	30,000.00	13,507.17	1,203.09	14,710.26	15,289.74
第七項 警備費	450,000.00	27,468.3	5,251.10	14,977.93	735,002.07
第一目 警備費	450,000.00	27,468.3	5,251.10	14,977.93	735,002.07
第八項 警備費	176,060.21	0	0	0	176,060.21
第一目 警備費	176,060.21	0	0	0	176,060.21
第九項 警備費	176,060.21	0	0	0	176,060.21
第一目 警備費	5,164,931.00	0	0	0	5,164,931.00
第二目 警備費	5,164,931.00	0	0	0	5,164,931.00
第三目 警備費	5,164,931.00	0	0	0	5,164,931.00
計	10,574,500.00	1,961,916.53	37,870.07	2,001,786.54	8,572,713.46

七六。

五十一

十五十一

十五十一

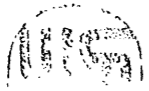
了

紀元二千六百年奉祝會役員選任認可指令案

紀元二千六百年奉祝會長公壽近衛文麿

昭和十五年十一月二日附第一三三四號申請役

員選任ノ件認可ス



書記官



昭和十五年十一月八日

内閣總理大臣

内閣經第六九四号

一三三四號

昭和十五年十一月二日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛 文

内閣總理大臣 公爵 近衛 文 殿

役員選任ノ件認可申請

本會評議員左ノ通選任致度候條御認可相成度此段及申請候也

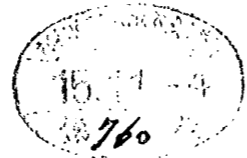
記

和歌山縣知事

今 松 治 郎

秋田縣町村長會長

佐 藤 有 秀



衆議院議員

河上丈太郎

紀元二千六百年奉祝會評議員ヲ囑託ス

一、
15.10.30
143

昭和十五年十月二十八日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵近衛文

内閣總理大臣 公爵近衛文 殿

顧問囑託ニ關スル件

十月二十一日附總裁ヨリ左記ノ通本會顧問御囑託相成候條此段及報
告候

記

農林大臣

石黒忠篤

紀元二千六百年奉祝會顧問ヲ囑託ス



Faint, mostly illegible text on the right page, possibly bleed-through or very light printing.

15.10.30

15. 10. 30

15.10.30

昭和十五年十月二十八日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵近衛文麿

内閣總理大臣 公爵近衛文麿 殿

局長

書記官

地方支部長囑託並ニ解囑ノ件

本日本會地方支部長左記ノ通囑託並ニ解囑致候ニ付此段及報告候

記

和歌山縣知事

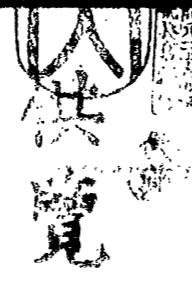
今 松 治 郎

紀元二千六百年奉祝會和歌山縣支部長ヲ囑託ス

元和歌山縣知事

清 水 重 夫

紀元二千六百年奉祝會和歌山縣支部長囑託ヲ解ク



内閣 經第六八五号

奉祝會 一三四一 號

昭和十五年十月二十八日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛 文 麿

内閣總理大臣 公爵 近衛 文 麿 殿

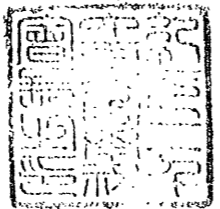
局長

書記官

豫算流用ノ件報告

本會昭和十五年度收入支出豫算中第三款事業費第二項宮崎神宮境域擴張整備費ニ於テ左記ノ通不足生ジ候ニ付同款第五項國史館建設費ヨリ彼此流用ノ上支出致候條此段及報告候

記



15.10.29 第797號

15.10

09 07 197

昭和十五年度支出第三款事業費項流用調書

款項	豫算額	支出済額	差引残額	今後所要額	今回流用額	備考
三定協賛費 一、八〇〇.〇〇	一、八〇〇.〇〇	一、三三〇.〇〇	四七〇.〇〇	五七〇.〇〇	六二七.三三	
五回定録 一、四七五.〇〇	一、四七五.〇〇	一、二二五.〇〇	二五〇.〇〇			六六七.〇〇
計	三、二七五.〇〇	二、五五五.〇〇	七二〇.〇〇	五七〇.〇〇		(五、七三四、七〇)

原 七五七

十五十一四

十五十一四

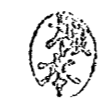
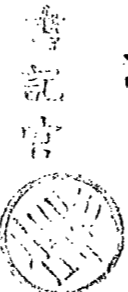
十五十一四

紀元二千六百年奉祝會昭和十五年度収入支出追加豫算認可指令案

紀元二千六百年奉祝會長公爵近衛文麿

昭和十五年十月三十日附第一三五四號申請昭和十

五年度収入支出追加豫算ニ関スル件認可ス



昭和十五年十一月十四日

内閣總理大臣

内閣 綴字第六九二号

一三五四號

昭和十五年十月三十日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

内閣總理大臣 公爵 近衛文麿 殿

昭和十五年度收入支出追加豫算ニ關スル件認可申請

本會寄附行爲第六條第一項但書ニ據リ昭和十五年度收入支出追加豫算別紙ノ通り決定致候ニ付御認可相成度此段及申請候也



15.11.-4
第117號

昭和十五年度紀元二千六百年奉祝會收入支出追加豫算
 本會管轄内各支部及分會等より昭和十五年四月三十日現在迄の収入支出は
 既決豫算に比し、収入は増加し、支出は減少し、結果として収入が支出を上回り、
 繰越剰余金が生じた。茲に昭和十五年四月三十日現在の収入支出の概況を
 報告する。

高岡縣興業局 認可 武 蔵 支 店

昭和十五年四月三十日現在迄の収入支出の概況

昭和十五年四月三十日

一三五四

昭和十五年度紀元二千六百年奉祝會收入支出追加豫算

收 入

第三款 寄 附 金 九〇、〇〇〇

第一項 寄 附 金 九〇、〇〇〇

合 計 九〇、〇〇〇

既決豫算 一〇、五七四、五〇〇

收 入 總 計 一〇、六六四、五〇〇

圓

支 出

第二款 支部事務費

第一項 支部事務費

合 計

既決豫算

支 出 總 計

九〇、〇〇〇	九〇、〇〇〇	九〇、〇〇〇	一〇、五七四、五〇〇	一〇、六六四、五〇〇
--------	--------	--------	------------	------------

昭和十五年度紀元二千六百年奉祝會收入支出追加豫算説明書

收 入

科 目	款 項 目	本年度		備 考
		既決豫算	追加	
第三款	寄附金	五、〇〇〇、〇〇〇	九、〇〇〇、〇〇〇	
第一項	寄附金	五、〇〇〇、〇〇〇	九、〇〇〇、〇〇〇	
第一目	寄附金	五、〇〇〇、〇〇〇	九、〇〇〇、〇〇〇	
合 計		一〇、六六四、五〇〇	一〇、五七四、五〇〇	

支 出

科 目	款 項	目	本年度追加	本年度既決豫算高	計	備 考
			高	高		
第二款	支部事務費		九〇、〇〇〇	九二、〇〇〇	一八二、〇〇〇	
	第一項	支部事務費	九〇、〇〇〇	九二、〇〇〇	一八二、〇〇〇	
		第一目	支部事務費	九二、〇〇〇	一八二、〇〇〇	
		合 計	九〇、〇〇〇	一〇、五六四、五〇〇	一〇、六六四、五〇〇	

理由

各道府縣支部ニ於テ募集セシ寄附金豫定以上ノ額ニ達シタル爲之ガ
 事務費（寄附金額ノ一割）ニ不足ヲ生ズルニ至リタリ仍テ今後所要
 見込額九萬圓ヲ追加シ之ガ財源ヲ寄附金ニ求メタルニ依ル

昭和十五年六月廿五日奉祝會常議員囑託ヲ解ク

本日式、洋本會常議員囑託ヲ解ク

内閣總理大臣 公爵 近衛文麿

昭和十五年十一月十日

内閣總理大臣 公爵 近衛文麿

昭和十五年十一月十日

供

内閣總理大臣 公爵 近衛文麿 殿

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

本會役員左記ノ通解囑相成候條此段及報告候
記

元拓務次官

紀元二千六百年奉祝會常議員囑託ヲ解ク

元和歌山縣知事

元唐津市長

元東京府町村長會長

田 中 武 雄

清 水 重 夫

萩 谷 勇 之 介

桑 田 佑 榮

15.11.4
15

元富山縣町村長會長	森丘正唯
元高知縣町村長會長	久保田馬太郎
元貴族院議員(奈良)	山本米三
元北陸毎日新聞社長	深江彦市
元九州新聞社長	高木亮
元盛岡商工會議所會頭	中岡孫一郎
元群馬縣會議長	星野元治
元愛知縣會議長	永田安太郎
元神奈川縣會議長	高橋長治
元奈良縣會議長	高森榮喜三
元長崎縣會議長	永安恕
元青森縣會議長	福士永一郎
元福井縣會議長	田保仁左衛門
元廣島縣會議長	大原博夫

元沖繩縣農會長

長嶺安心

紀元二千六百年奉祝會評議員囑託ヲ解ク

昭和二十六年六月五日
東京市会館
庶務課長 小

七六
十五十一十二
五十一
五十一

局長
局長
局長

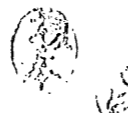
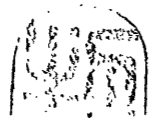
昭和十五年十一月十六日

局長

紀元二千六百年奉祝會長宛

會計検査院ヨリ貴會提出ノ昭和十三年度及同十四年

度貴會収支計算書検査結果ニ関シ別紙寫シ



通通牒有之候并御了知相成度

會送第九七・號

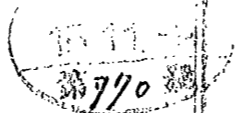
昭和十五年十一月九日

内閣官房會計課長 佐藤朝生

紀元二千六百年祝典事務局長

歌田千勝殿

會計検査院ヨリ紀元二千六百年奉祝會會長ノ證明ニ係ル昭和十三年度及同十四年度紀元二千六百年奉祝會收支計算書ノ検査結果ニ關シ別紙ノ通り通知有之候條此段及移牒候也



内閣

昭和十五年十一月七日

内閣總理大臣公爵近衛文麿殿

會計検査院長岡今朝雄

昭和十五年十一月七日

普第八號

内閣總理大臣公爵近衛文麿殿

普第八號

昭和十五年十一月七日

會計検査院長岡

今朝雄

内閣總理大臣公爵近衛文麿殿

紀元二千六百年奉祝會會長公爵近衛文麿ノ證明ニ係ル昭和十四年度
紀元二千六百年奉祝會收支計算書ノ検査ヲ遂ケ正當ト決定候條此段
及通牒候也



祭ニ總理大臣、臨場方申請有之候ニ付
テ代理官トシテ左ノ者派遣相成可然哉相伺
候

記

内閣紀元二千六百年祝典事務局長歌田千勝

内閣紀元六九一

一三六〇

昭和十五年十月三十一日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

内閣總理大臣 公爵 近衛文麿 殿

來ル十一月十九日午前十時ヨリ奈良縣畝傍町官幣大社權原神宮境
内ニ於テ權原神宮境域竝畝傍山東北陵參道擴張整備工事竣工奉獻
式ヲ別紙次第ニ依リ舉行致シ引續キ同十一時二十分ヨリ官幣大社
權原神宮ニ於テ權原神宮境域竝參道擴張整備工事竣工奉獻奉告祭
ヲ別紙次第ニ依リ執行相成候ニ付テハ貴官若ハ代理官御臨場賜度
此段及申請候

15.11.31
750

權原神宮境域竝欽傍山東北陵參道擴張整備工事竣工奉獻式次第

日 時 昭和十五年十一月十九日（火曜日）午前十時

場 所 奈良縣欽傍町 官幣大社權原神宮境内

午前九時三十分マテニ参列員所定ノ席ニ著ク

欽傍山東北陵参拜

會長以下役職員

權原神宮参拜

會長以下役職員

次 總裁宮殿下御臨場（全員起立敬禮）奏樂「君か代」

吹 奏 樂 團

次 開會ノ辭

次 宮城参拜

次 國歌「君か代」

全 員 起 立

次 式 辭

次 工事經過報告

次 紀元二千六百年奉祝會長奉獻目錄ヲ權原神宮宮司竝宮内省諸陵
 頭ニ手交ス

次 權原神宮宮司挨拶

次 宮内省諸陵頭挨拶

次 祝 辭

次 閉會ノ辭

次 總齋宮殿下御退場(全員起立敬禮)奏樂「君か代」吹 奏 樂 團

次 参列員退出

内閣總理大臣
 宮内務大臣
 内務大臣
 奈良縣知事

權原神宮境域並參道擴張整備工事竣工奉獻奉告祭式次第

日 時 昭和十五年十一月十九日(火曜日) 午前十一時二十分

場 所 奈良縣畝傍町 官幣大社權原神宮

午前十一時参列員參進所定ノ座ニ著ク

午前十一時五分ヨリ宮司以下神職參進
(是ヨリ先手水及修葺ノ儀アリ)

次 宮司以下神職所定ノ座ニ著ク

次 紀元二千六百年奉祝會總齋宮殿下御參進拜殿所定ノ座ニ御著
(是ヨリ先御手水及御修葺ノ儀アリ) 役 員 隨 從

次 宮司御屏ヲ開キ畢リテ側ニ候ス 此ノ間奏樂一同奏折

次 彌宣以下神饌ヲ供ス 此ノ間奏樂

次 宮司祝詞ヲ奏ス 一同 奏 折

次 紀元二千六百年奉祝會總裁宮殿下玉串ヲ奉リテ御拜禮

一同起立

次 宮司玉串ヲ奉リテ拜禮

次 紀元二千六百年奉祝會長玉串ヲ奉リテ拜禮

次 内閣總理大臣玉串ヲ奉リテ拜禮

次 宮内大臣玉串ヲ奉リテ拜禮

次 内務大臣玉串ヲ奉リテ拜禮

次 奈良縣知事玉串ヲ奉リテ拜禮

次 參列員總代玉串ヲ奉リテ拜禮

次 禰宜以下神饌ヲ撤ス

次 宮司御屏ヲ閉チ畢リテ本座ニ復ス

次 紀元二千六百年奉祝會總裁宮殿下御退下

次 宮司以下退出

次 參列員退出

參列員一同自座列拜

此ノ間奏樂

此ノ間奏樂一同聲折

役員隨從

七四九

五十五

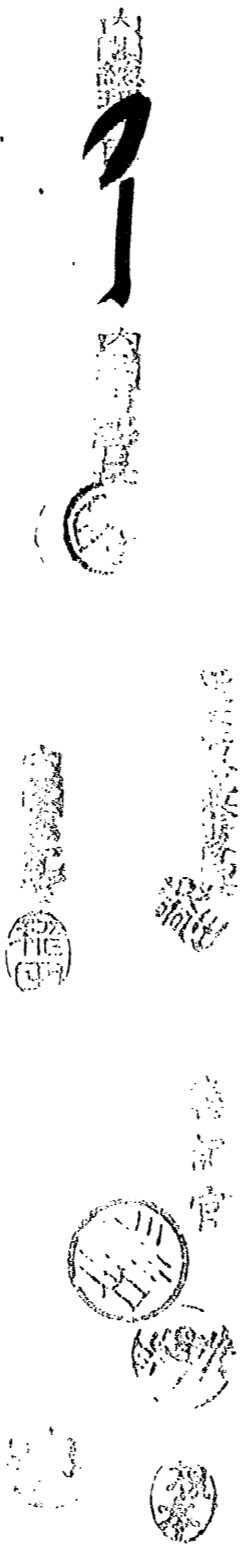
五十五

紀元二千六百年奉祝會長ヨリ別紙ノ通來ル

十月二十五日與手行ノ宮崎神宮境域擴張整備

工事竣工奉獻式及宮崎神宮境域擴張整備

備工事竣工奉獻奉告祭ニ總理大臣臨場



方申請有之候ニ付テ代理官トシテ左ノ者派遣
相成可然哉相伺候

記

内閣紀元二千六百年祝典事務局長 歌田千勝

紀元二千六百年祝典事務局
第一五三七號

昭和十五年十月三十一日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵近衛文麿

内閣總理大臣 公爵近衛文麿殿

來ル十一月二十五日午前十時ヨリ宮崎市官幣大社宮崎神宮境内ニ於テ
宮崎神宮境域擴張整備工事竣工奉獻式ヲ別紙次第ニ依リ舉行致シ引續
キ同十一時二十分ヨリ官幣大社宮崎神宮ニ於テ宮崎神宮境域擴張整備
工事竣工奉獻奉告祭ヲ別紙次第ニ依リ執行相成候ニ付テハ貴官若ハ代
理官御臨場賜度此段及申請候

15.11.31
729

明治神宮境内整備工事竣工奉獻式次第
 午後九時三十分マデニ参列員所定ノ席ニ著ク
 宮崎 神宮 参拜
 會長以下役職員
 吹奏楽團
 次 開會ノ辭
 次 宮城遙拜
 次 国歌「君が代」
 次 式辭
 次 工事經過報告

内閣縣縣大臣 公稱 並 謝文 覽 覽

昭和十五年十一月二十五日

昭和十五年十一月二十五日

宮崎神宮境内整備工事竣工奉獻式次第

日 時 昭和十五年十一月二十五日（月曜日）午前十時
 場 所 宮崎市 官幣大社 宮崎神宮境内
 午前九時三十分マデニ参列員所定ノ席ニ著ク
 宮崎 神宮 参拜
 會長以下役職員
 吹奏楽團
 次 開會ノ辭
 次 宮城遙拜
 次 国歌「君が代」
 次 式辭
 次 工事經過報告

次 開會ノ辭
 次 宮城遙拜
 次 国歌「君が代」
 次 式辭
 次 工事經過報告

次 紀元二千六百年奉祝會長奉獻目錄ヲ宮崎神宮宮司ニ手交ス
次 宮崎神宮宮司挨拶

次 祝 辭
内閣總理大臣
宮内大臣
内務大臣
宮崎縣知事

次 閉會ノ辭
宮崎縣知事

次 總裁宮殿下向退場（全員起立敬應）奏樂「君か代」

吹奏樂團

次 参列員退出

宮崎神宮境域擴張整備工事竣工奉獻奉告祭式次第

日 時 昭和十五年十一月二十五日（月曜日）午前十一時二十分
場 所 宮崎市 官幣大社 宮崎神宮

午前十一時参列員参進所定ノ座ニ著ク
午前十一時五分ヨリ宮司以下神職参進
（是ヨリ先手水及修祓ノ儀アリ）

次 宮司以下神職所定ノ座ニ著ク

次 紀元二千六百年奉祝會總裁宮殿下御参進拜所所定ノ座ニ御著
（是ヨリ先御手水及御修祓ノ儀アリ） 役員 隨從

次 宮司御躰ヲ開キ畢リテ側ニ候ス 此ノ間奏樂一同聲折

次 彌宜以下神饌ヲ供ス 此ノ間奏樂

次 宮司祝詞ヲ奏ス 一同聲折

次 紀元二千六百年奉祝會總裁宮殿下玉串ヲ奉リテ御拜禮

一同起立

次 宮司玉串ヲ奉リテ拜禮

次 紀元二千六百年奉祝會長玉串ヲ奉リテ拜禮

次 内閣總理大臣玉串ヲ奉リテ拜禮

次 宮内大臣玉串ヲ奉リテ拜禮

次 内務大臣玉串ヲ奉リテ拜禮

次 宮崎縣知事玉串ヲ奉リテ拜禮

次 參列員總代玉串ヲ奉リテ拜禮

次 職宜以下神饌ヲ撤ス

次 宮司御屏ヲ閉チ舉リテ本座ニ復ス

次 紀元二千六百年奉祝會總執宮殿下御退下

此ノ間 奏樂
參列員一同自座列拜
役員 隨從

次 宮司以下退出

次 參列員退出

内閣總理大臣

奉祝會第 八七二 號

昭和十五年七月十六日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文

内閣總理大臣 米 内光 政殿

供覽

豫算流用ノ件報告

本會昭和十五年度收入支出豫算中第一款本部事務費、第二項給與費

ニ於テ左記ノ通支拂ヲ要シ候ニ付彼此流用ノ上支出致候條此段及報

告候

記

15.7.17
第511號

款	項	目	豫算残額	要支出額	費目流用増減額
本部事務費	給與費	俸給	八七〇三五九	〇	△三九〇〇〇
	賞與	與	〇	三九〇〇〇	三九〇〇〇

奉祝會第 八七六號

昭和十五年七月十六日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

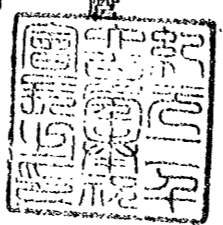
内閣總理大臣 米内光政 殿

豫備費充用事件報告

昭和十五年度本會收入支出豫算中第一款本部事務費第七項雜費ハ左記ノ通不足ヲ生ジタルヲ以テ豫備費ヨリ充用致候ニ付此段及報告候

記

款	項	當算額初	豫算残額	要支出額	差引不足額	豫備費充用額
本部事務費	雜費	¥1000000	¥517000	¥517000	¥1000000	¥1000000
豫備費	豫備費	¥1000000	¥1953000	〇	〇	¥1000000



15.7.17
第572號

對前費類	對前費	對前費	對前費	對前費	對前費	對前費	對前費	對前費
本備費	本備費	本備費	本備費	本備費	本備費	本備費	本備費	本備費
1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000
1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000
1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000
1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000
1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000
1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000
1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000
1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000

品

昭和十五年平本會收入支出豫算中第一項本部事務費第三項旅費ノ既
定豫算額ハ左記ノ通り不足ヲ生ジタルヲ以テ豫備費ヨリ充用致候ニ
付此段及報告候

内閣總理大臣 米内光政

昭和十五年平本會收入支出豫算中第一項本部事務費第三項旅費ノ既
定豫算額ハ左記ノ通り不足ヲ生ジタルヲ以テ豫備費ヨリ充用致候ニ
付此段及報告候

奉祝會 第八七七 號

昭和十五年七月十六日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

供覽

内閣總理大臣 米内光政

書記官

豫備費充用ノ件報告

昭和十五年度本會收入支出豫算中第一款本部事務費第三項旅費ノ既
定豫算額ハ左記ノ通り不足ヲ生ジタルヲ以テ豫備費ヨリ充用致候ニ
付此段及報告候

記

款	項	豫當算額初	豫算殘額要支出額	差引不足額	豫備費充用額
本部事務費	旅費	250000	19653	269347	250000
豫備費	豫備費	2000000	0	0	250000
					250000

15.7.17
第573號

款	項	目	豫算残額	要支出額	流用増減額	備考
本部事務費	會員章費	會員章作成費	二三八〇〇	四五二〇〇	二一三〇〇	
	發送諸費		二一〇九二五	〇	二一三〇〇	

内閣總第七四六号

一四八七

昭和十五年十二月十日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

内閣總理大臣 公爵 近衛文麿 殿

職員命免ノ件

日本會職員左ノ通命免致候條此段及報告候

記

相原桂次

紀元二千六百年奉祝會書記ヲ免ズ

15.12.11
831

紀元二千六百年奉祝會書記ヲ囑託ス

相原桂次

紀元二千六百年奉祝會書記囑託ヲ解ク

守屋秋太郎

内閣總理大臣公爵近衛文麿

一四八九號

昭和十五年十二月十日

紀元二千六百年奉祝會長公爵近衛文麿

内閣總理大臣公爵近衛文麿殿

地方支部長囑託竝ニ解囑ノ件

本日本會地方支部長左記ノ通囑託竝ニ解囑致候ニ付此段及報告候

記

奈良縣知事

山内逸造

紀元二千六百年奉祝會奈良縣支部長ヲ囑託ス

15.12.11
132

元奈良縣知事

宮村才一郎

紀元二千六百年奉祝會奈良縣支部長囑託ヲ解ク

内閣經第四八号

一四九〇

昭和十五年十二月十日

紀元二千六百年奉祝會長公爵近衛文麿

供覽

内閣總理大臣公爵近衛文麿殿

地方支部長囑託竝ニ解囑ノ件

本日本會地方支部長左記ノ通囑託竝ニ解囑致候ニ付此段及報告候
記

鳥取縣知事

八田三郎

徳島縣知事

中村四郎

15.12.11
第33號

15.12

紀元二千六百年奉祝會 (縣名) 支部長ヲ囑託ス

元鳥取縣知事

副 見 喬 雄

元德島縣知事

荒 木 義 夫

紀元二千六百年奉祝會 (縣名) 支部長囑託ヲ解ク

内閣總理大臣

一五〇五

昭和十五年十二月十一日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵近衛文麿

供覽

内閣總理大臣 公爵近衛文麿 殿

局長

常議員會開會ノ件

本月十九日午前九時三十分ヨリ左記事項ニ關シ常議員會開會致候ニ付
此段及報告候

記

- 一 昭和十六年度紀元二千六百年奉祝會收入支出豫算ノ件
- 二 昭和十四年度紀元二千六百年奉祝會收入支出決算ノ件

- 三 昭和十五年度紀元二千六百年奉祝會收入支出追加豫算會長專決報告ノ件
- 四 昭和十四年度事業報告ノ件
- 五 其ノ他報告

内閣總理大臣 公爵 近衛文麿 殿

第一、五四一

昭和十五年十二月十八日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

内閣總理大臣 公爵 近衛文麿 殿

豫算流用ノ件報告

本會昭和十五年度收入支出豫算中第一款本部事務費、第二項給與費ニ於テ左記ノ通支拂ヲ要シ候ニ付彼此流用ノ上支出致候條此段及報告候

記

款	項	目	豫算額	要支出額	差引不足額	流用増減額	摘要
本部事務費	給與費	賞與	〇	一九〇〇	一九〇〇	〇	
全	全	俸給	六四二八二	〇	〇	一九〇〇	
本部事務費	給與費	手當	三一三七〇	六一五四	二八一四	〇	
全	全	俸給	六四二八二	五〇	六八四一	八〇	
全	全	雇員給	一三六〇〇	〇	〇	一三六〇	
全	全	備人料	五六四〇	〇	〇	五六四〇	

備考

一、手當要支出額六〇〇四五〇圓中一三三、五〇圓ハ十二月分手當
 五八七三〇〇圓ハ年度末手當ナリ
 二、俸給十二月分計二三〇圓、雇員給、備人料支出ナシ

八六九

五十二

五十二

五十二

ア

昭和十六年度紀元二千六百年奉祝會
 収入支台豫算認可指令案

紀元二千六百年奉祝會會長公島近衛文磨

昭和十五年十二月二十三日附第一五六九號申請

昭和十六年度紀元二千六百年奉祝會収入支出豫

算、件認可入

昭和十五年十二月二十八日

内閣總理大臣

一五九

昭和十五年十二月二十三日

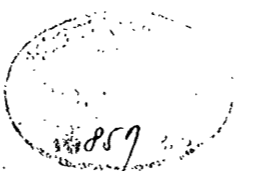
紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

内閣總理大臣 公爵 近衛文麿 殿

昭和十六年度紀元二千六百年奉祝會收入

支出豫算認可申請

昭和十六年度本會收入支出豫算別紙ノ通議決致候條御認可相成度此段及申請候也



昭和十六年度紀元二千六百年奉祝會收入支出豫算

收入

第一款 國庫補助金	二五〇、〇〇〇
第一項 國庫補助金	二五〇、〇〇〇
第二款 寄附金	四五〇、〇〇〇
第一項 寄附金	四五〇、〇〇〇
第三款 雜收入	三四五、〇〇〇
第一項 雜收入	三四五、〇〇〇
第四款 前年度繰越金	八、四四六、〇〇〇
第一項 前年度繰越金	八、四四六、〇〇〇

圓

合計

九、四九一、〇〇〇

支出

第一款 本部事務費

三六、〇二九

第一項 會議費

一、〇〇五

第二項 給與費

二〇、二二四

第三項 旅費

二、五〇〇

第四項 事務所費

四、四〇〇

第五項 會員章費

九〇〇

第六項 寄附募集費

四、〇〇〇

第七項 雜費

三、〇〇〇

第二款 支部事務費

五、〇〇〇

第一項 支部事務費

五、〇〇〇

第三款 專費

二、八七三、四〇〇

第一項

檮原神宮境域並臥傍山
東北陵參道擴張整備費

九四、七〇〇

第二項

宮崎神宮境域擴張整備費

五、〇〇〇

第三項

神武天皇聖蹟調査保
存細彰費

二四二、四〇〇

第四項

御陵參拜道路改良費

三二八、〇〇〇

第五項

國史館建設費

一、〇三〇、〇〇〇

第六項

日本文化大觀編纂出版費

五五八、三〇〇

第七項	敘化事業費	五九〇、〇〇〇
第八項	記錄編纂費	二五、〇〇〇
第四款	慰勞金	一〇〇、〇〇〇
第一項	慰勞金	一〇〇、〇〇〇
第五款	豫備費	一〇〇、〇〇〇
第一項	豫備費	一〇〇、〇〇〇
第六款	次年度繰越金	六、三七六、五七一
第一項	次年度繰越金	六、三七六、五七一
合計		九、四九一、〇〇〇

昭和十六年度紀元二千六百年慶祝會收入支出豫算說明書

收入

科目	款項目	豫算額		比增	較減	備考
		本年度	前年度			
第一款國庫補助金	第一款國庫補助金	二五〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇〇		七三〇〇〇〇	
	第一項國庫補助金	二五〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇〇		七三〇〇〇〇	
第二款寄附金	第一款寄附金	二三〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇〇		七三〇〇〇〇	
	第一項寄附金	四三〇〇〇〇	三〇九〇〇〇〇		四六四〇〇〇〇	
第三款雜收入	第一款雜收入	四三〇〇〇〇	三〇九〇〇〇〇		四六四〇〇〇〇	
	第一項雜收入	三三〇〇〇〇	九四五〇〇〇	二五〇五〇〇		本部撥出 五〇〇〇〇〇〇圓
第二目預金利子	第一目預金利子	三三〇〇〇〇	九四五〇〇〇	二五〇五〇〇		
	第二目雜收入	二四〇〇〇〇	八四五〇〇〇	一六〇五〇〇		土地賣換代其、他
合計		一〇〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇	九〇〇〇〇		

第四款前 續越年度 金度	第一項前 續越年度 金度	第一目前 續越年度 金度	○ 御下賜金	○ 御下賜金	合
八四四六〇〇	八四四六〇〇	八四四六〇〇	一〇〇〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇〇	計九四九一〇〇〇
三四八〇〇〇	三四八〇〇〇	三四八〇〇〇	一〇〇〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇〇	一〇六六四三〇〇
四九六六〇〇〇	四九六六〇〇〇	四九六六〇〇〇	一〇〇〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇〇	一〇七三三三〇〇

支出

科目	款項	本年	前年	比	較	備考
第一款本部事務費	第一項會議費	三六〇二九	九〇一三三		五四一〇四	
	第一目會議費	一〇〇三	一〇〇三			理事會、常議員會 委員會諸費
	第二項給與費	一〇〇二二	一〇〇二九	七九七五		主事年三、一六〇四 二人此金三、三〇〇四 書記月八、二〇六八 此金三、九〇四四
	第一目俸給	一〇二三四	一〇二三四			賜託員月一〇〇圓 二人
	第二目囑託給	二五〇〇	二五〇〇			雇員月三五圓三人
第四目傭人料		一、二六〇	一、二六〇			給仕月一五圓一人 此金一、八〇〇圓一人 小使月三〇圓一人 此金三、八四〇圓一人
	第五目手當	三〇〇〇	三〇〇〇			

第六目費	三六六	一	二七五		
第三項旅費	三三〇〇	三三〇〇			役職員旅費
第一目旅費	三三〇〇	三三〇〇			
第四項事務所費	四四〇〇	四四〇〇			
第一目備品費	三〇〇〇	三〇〇〇			
第二目印刷費及	一三〇〇	一三〇〇			
第三目消耗品費	一三〇〇	一三〇〇			
第四目通電運送費	一三〇〇	一三〇〇			
第五項會員章費	九〇〇	二一〇〇		二〇一〇〇	
第一目會員章	八〇〇	一八五〇		一七六〇	
第二目發送請費	一〇〇	二六〇		二六〇	
第六項寄附募集費	四〇〇〇	四〇八〇〇		三六八〇〇	
第一目寄附募集費	四〇〇〇	四〇八〇〇		三六八〇〇	

第七項雜費	一〇〇〇	一〇〇〇			
第一目雜費	一〇〇〇	一〇〇〇			舟車馬僱入料、賄料其ノ他
第二款支部事務費	一〇〇〇	一八〇〇〇		一七〇〇〇	
第一項支部事務費	一〇〇〇	一八〇〇〇		一七〇〇〇	
第三款事業費	一八〇〇〇	一〇四七三三		一三三九二	
第一項	九〇〇〇	一三三三〇〇		一三〇〇〇〇	
第一目	九〇七〇〇	一三三三〇〇〇		一三〇〇〇〇〇	
第二項	三〇〇〇	一三三〇〇〇		一三〇〇〇〇	

第六款 繰次 越年 金度	第一項 繰次 越年 金度	第一目 繰次 越年 金度	合 計
六三六六五七一	六三六六五七一	六三六六五七一	六三六六五七一
五二六四九三二	五二六四九三二	五二六四九三二	五二六四九三二
一三二一七六四〇	一三二一七六四〇	一三二一七六四〇	一三二一七六四〇
			一三二一七六四〇
			一三二一七六四〇
			一三二一七六四〇

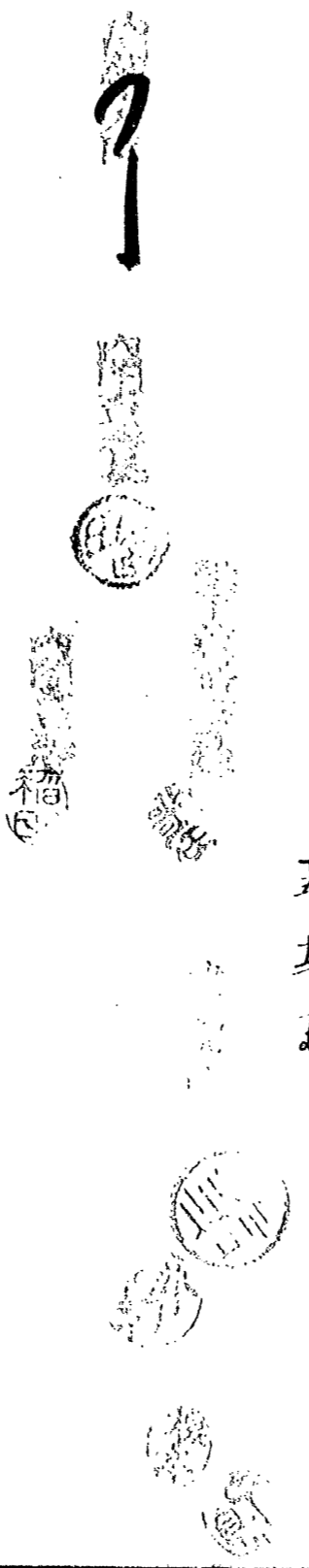
八二一 五十二十四 十五上七 十五上十九

紀元二千六百年奉祝會役員選任認可指令案

紀元二千六百年奉祝會長公爵近衛文麿

昭和十五年十二月十日附第(四八)四號申

請役員選任一件認可



昭和十五年十二月十九日

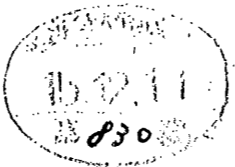
内閣總理大臣

一四八四號

昭和十五年十二月十日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵近衛文

中閣總理大臣 公爵近衛文磨殿



役員選任ノ件認可申請

本會評議員左ノ通選任致度候條御認可相成度此段及申請候也

記

奈良縣知事

中央敎化團體聯合會理事長

紀元二千六百年奉祝會常議員ヲ囑託ス

德島縣知事

鳥取縣知事

紀元二千六百年奉祝會評議員ヲ囑託ス

山内逸造

柴田善三郎

中村四郎

八田三郎

内閣
第七七七号

一四八四号

昭和十五年十二月十九日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

内閣總理大臣 公爵 近衛文麿 殿

役員異動ノ件

本會役員左記ノ通異動有之候條此段及報告候

記

元貴族院書記官長

元台灣總督府總務長官

元日本興業銀行總裁

元帝國農會長

瀬古保次

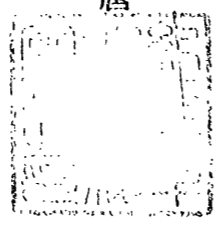
森岡二郎

寶來市松

山田 敎

（Faint vertical text on the right page, likely bleed-through or a list of names)

（Faint vertical text in the middle of the right page)



15

元奈良縣知事

宮村才一郎

紀元二千六百年奉祝會常議員囑託ヲ解ク

元鳥取縣知事

副見喬雄

元德島縣知事

荒木義夫

元貴族院議員（埼玉）

松本眞平

紀元二千六百年奉祝會評議員囑託ヲ解ク

昭和十五年十一月十一日死亡評議員石川正作

同 十二月一日死亡同 柳原豊三郎

内閣
第七五號

一五七〇

昭和十五年十二月二十四日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文麿

内閣總理大臣 公爵 近衛文麿 殿

地方支部長囑託竝ニ解囑ノ件

本日本會地方支部長左記ノ通囑託竝ニ解囑致候ニ付此段及報告候

記

福井縣知事

久保田峻

紀元二千六百年奉祝會福井縣支部長ヲ囑託ス

15.12.27
第859號

元福井縣知事

木村清司

紀元二千六百年奉祝會福井縣支部長囑託ヲ解ク

昭和十六年一月八日

第一八三號

昭和十六年一月八日

紀元二千六百年奉祝會長 公爵 近衛文

内閣總理大臣 公爵 近衛文麿

顧問囑託ニ關スル件

昭和十五年十二月二十九日附總裁ヨリ左記ノ通本會顧問御囑託相成候
條此段及報告候

記

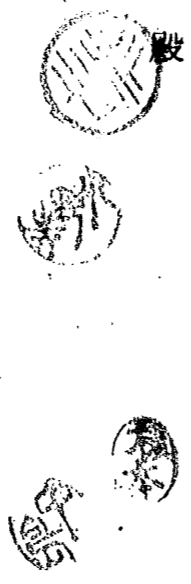
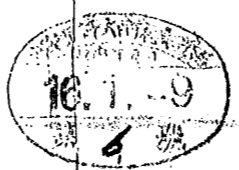
樞密院議長

原

嘉

道

紀元二千六百年奉祝會顧問ヲ囑託ス



昭和十六年度本會收支豫算中第三款事業費第二項宮崎神宮境域擴張整

備費ニ於テ左記ノ通不足ヲ生ジタルヲ以テ豫備費ヨリ充用致候ニ付此

段及報告候

記

備用費充用ノ件報告

昭和十六年 八月

備用費充用ノ件報告

備用費充用ノ件報告

備用費充用ノ件報告

備用費充用ノ件報告

昭和十五年度本會收支豫算中第三款事業費第二項宮崎神宮境域擴張整

備費ニ於テ左記ノ通不足ヲ生ジタルヲ以テ豫備費ヨリ充用致候ニ付此

段及報告候

記

昭和十五年六月廿六日

五

奉 命 到 任 啓 事

謹啓 茲因 貴會 奉命 到任 承辦 各項 事務 凡有 關於 貴會 事務 之處 務請 隨時 指示 俾得 遵照 辦理 此 啓

國語講習會 庶務課長 齋藤 誠

國語講習會 庶務課長 齋藤 誠

昭和十五年六月廿六日

昭和十五年六月廿六日

齋藤 誠

豫備費充用ノ件報告

昭和十五年度本會收支豫算中第三款事業費第二項宮崎神宮境域擴張整備費ニ於テ左記ノ通不足ヲ生ジタルヲ以テ豫備費ヨリ充用致候ニ付此段及報告候

記

款	項	豫算額	豫算殘額	要支出額	差引不足額	豫備費充用額
事業費	宮崎神宮境 壇張整備費	一三八〇〇 圓	二七六八 錢	一四九八八 錢	一三三二 圓	一三三二 圓
豫備費	豫備費	三〇〇〇〇 圓	一七六六 錢			一八二四 圓

備用金
別添添
...